

スバル・レヴォーグ
チューニング&ドレスアップ徹底ガイド

**HYPER
REV**

ニューズムック
[ハイパーレブ]
車種別チューニング&
ドレスアップ徹底ガイドシリーズ
2015年3月16日発行

vol.189

LEVORG

リアルスポーツツアラー 完全解剖

レヴォーグのベースポテンシャルに迫る



有名スバルチューナーが勢揃い

DEMONSTRATION LEVORGS

レヴォーグドレスアップの最先端がここに!

**The Cutting Edge of
Dress up Custom**



THE NEWEST WHEELS

~ホイールの“今”を
ピックアップ



SUBARUの
DNAはいかに受け継がれたか

スバル・グランドツアラーの軌跡







HYPER REV vol. 189 スバル・レヴォーグ No.1 LEVORG



10 リアルスポーツツアラー 完全解剖

レヴォーグのベースポテンシャルに迫る

tuned by STI

34 デモカー & STIパーツカタログ

39 有名スバルチューナーが勢揃い

DEMONSTRATION LEVORGS

TOTAL TUNE

Kansaiサービス/HKS/BLITZ/SYMS RACING/K2 GEAR/ZERO SPORTS
PROVA/ワンガン/スーパーオートバックス東京ベイ東雲/ガレージNOB

ENGINE TUNE

AVO/フェニックスパワー京都店/オートプロデュースA3

MUFFLER TUNE

FUJITSUBO/柿本レーシング

SUSPENSION TUNE

BILSTEIN/CUSCO

79 レヴォーグドレスアップの最先端がここに!

THE CUTTING EDGE OF DRESS UP CUSTOM

EXTERIOR

CORAZON/DAMD/ROWEN/GARAGE VARY/DATA SYSTEM

INTERIOR

LIBERAL/AQUA/SONIC DESIGN

スバルDNAはいかに受け継がれたか
98 スバル・グランドツアラーの軌跡

2015オートサロンでCHECK!

113 最新オススメパーツ for LEVORG

ホイールの“今”をピックアップ!

124 **THE NEWEST WHEELS**

139 **最新レヴォーグ PARTS CATALOG**

エアロパーツ/エクステリアパーツ/インテリアパーツ/サスペンション
足まわりパーツ/ブレーキ/駆動系パーツ/剛性パーツ/吸排気パーツ/エンジンパーツ

レヴォーグにまつわる最新&興味深いトピックスを一挙にご紹介!

168 スバル・レヴォーグTOPICS

108 全国ショップガイド

110 掲載メーカー & ショップ問い合わせ一覧



~**REAL SPORTS TOURER**~

LEVORG

完全解剖

1989年に誕生したロングセラーモデル「レガシィ・ツーリングワゴン」の後継モデルとして、国内ユーザー向けに開発されたレヴォーグ。まずはカスタムを進める前に、「レヴォーグとはどんなクルマなのか？」をおさらい。パート別のくわしい仕様や機能などをチェックしていこう。

レヴォーグのラインアップは、大きく分類すると1.6ℓと2.0ℓの2種類! LEVORGのラインアップ ALL CHECK!!

2014年4月、レヴォーグのデビューは、じつに大々的に行われた。年初めの東京オートサロンでは発売前にもかかわらず、スバルブースではカスタムされたレヴォーグを展示するなど、かなり気合いが入っていた。それだけ「社運を懸けたモデル」ともいえるだろう。

アイサイト非装着の 1.6ℓターボモデル

5グレードあるうち唯一、アイサイトが装着されていないモデルとなる「1.6GT」。エンジンは1.6ℓの直噴ターボDITを搭載し、駆動システムはスバル伝統のAWD。トランスミッションはCVT(リニアトロニック)と、ベースとなる基本的な機能は、これから紹介するふたつの1.6ℓグレードと変わりほとんどなく、アイサイトが装着されていないのが大きな特徴だ。アイサイト付きの1.6GTアイサイトと価格を比較すると、10万8000円の差となっている。

1.6GT

車両価格:266万7600円



1.6GT EyeSight

車両価格:277万5600円

手ごろな価格がうれしい スバル車入門モデル

上記で紹介した1.6GTに対し、最新のアイサイトVer.3が追加されたモデルが「1.6GTアイサイト」だ。1.6GT最大の特徴は、ターボエンジンながらレギュラーガソリン仕様という点だろう。またアイドリングストップ機能なども採用することで、燃費にも考慮したモデルとなる。車両価格が安く、しかも維持費も抑えられるので、初めてスバル車を購入する、という人にオススメ! ファミリーカーとしてセレクトする人も多い。

1.6GT-S EyeSight

車両価格:305万6400円

スポーティな装備を 各所に追加したGT-S

1.6ℓ直噴ターボDIT&CVTという基本パッケージは同様だが、各所に走りの質を高めるためのアイテムが投入されているのが大きな特徴だ。たとえばサスペンションには、ビルシュタイン製ダンパーが投入されたり、アルミ鍛造製フロントロアアームになるなど、シャープなハンドリングが楽しめる。また内装もホールド性の高いフロントシートやブルーステッチ、シルバーカーボン調加飾パネルなど、スポーティな雰囲気を各所で演出してくれる。



2.0GT EyeSight

車両価格:334万8000円

300馬力を誇る 2.0ℓターボを搭載

レガシィから受け継がれてきたスポーツモデルが、この「2.0GT」だ。最大の特徴は、2ℓ直噴ターボDITを搭載し、そのスペックはパワーが300馬力、トルクが40.8kgmと、スバルの走りのフラッグシップモデルとなるWRXシリーズと同様のパワー&トルクを誇っている。これまでレガシィがクルマ好きに愛されてきた理由のひとつが、「圧倒的な速さ」だと思われる。レヴォーグの「リアルスポーツツアラー」の名に恥じない、高いポテンシャルを秘めている。



2.0GT-S EyeSight

車両価格:356万4000円

レヴォーグでもっとも スポーティなグレード

300馬力の2.0ℓ直噴ターボDITを搭載し、さらにサスペンション関係もスポーティに味付けしたモデルがこの「2.0GT-Sアイサイト」だ。1.6GT-Sグレード同様、ビルシュタイン製ダンパーやアルミ鍛造リアアームなどを装着。街なかでの快適性を犠牲にせず、ワインディングや高速道路でも、安心して走りを楽しめるセッティングに仕上げている。シート素材にアルカンターラ&本革を採用するなど、スポーティかつ上質なインテリアも見逃せない。



SPEC:2.0GT-S EyeSight

発売日	2014.4.1
車名	LEVORG 2.0GT-S EyeSight
型式	スバル・DBA-VMG
	2.0ℓ DOHC 直噴ターボ"DIT"
車種	AWD
	スポーツリニアトロニック
寸法・重量	
全長×全幅×全高	4690mm×1780mm×1490mm
ホイールベース	2650mm
トレッド(前)/(後)	1530mm/1540mm
最低地上高	135mm
室内長×室内幅×室内高	2005mm×1490mm×1490mm
車両重量	1560kg
乗車定員	5名
車両総重量	1835kg
性能	
最小回転半径	5.5m
燃料消費率(JC08モード)	13.2km/ℓ
主要燃費向上対策	-----
ステアリング	
ステアリング歯車形式	ラック&ピニオン式
ステアリングギヤ比	14.5
サスペンション	
フロント	ストラット式独立懸架
リア	ダブルウィッシュボーン式独立懸架
ブレーキ	
主ブレーキ形式	2系統油圧式(倍力装置付き)
ブレーキ・フロント	ベンチレーテッドディスク
ブレーキ・リア	ベンチレーテッドディスク
駐車ブレーキ形式	電気式
エンジン	
	FB20
型式・種類	水平対向4気筒
	2.0ℓ DOHC 16バルブ デュアルAVCS直噴ターボ"DIT"
内径×行程	86.0mm×86.0mm
総排気量	1998cc
圧縮比	10.6
最大出力	300馬力/5600回転
最大トルク	40.8kgm/2000-4800回転
燃料供給装置	筒内直接燃料噴射装置
タンク容量	60ℓ
使用燃料	無鉛プレミアムガソリン
トランスミッション	
	スポーツリニアトロニック(マニュアルモード付)前進無段・後退1速
変速機形式	
	3.105~0.482[マニュアルモード時 1速3.105/2速1.983/3速1.454/4速1.057/5速0.779/6速0.542]
変速比(第1~6速)	
	後退 2.077
最終減速比	4.111
タイヤ&ホイール	
タイヤ	ダンロップ SPORT MAXX 050 225/45R18
ホイール	18×7.5J in 55(114.3)
ボディカラー	
	スティールブルーグレーメタリック・ギャラクシブルーシリカ・ライティングレッド・アイシルバーメタリック・ダークグレーメタリック・クリスタルブラックシリカ
スタンダード	
	クリスタルホワイト・パール(3万2400円アップ)
オプション	
価格	
8%税込み価格	356万4000円

SPEC:2.0GT EyeSight

発売日	2014.4.1
車名	LEVORG 2.0GT EyeSight
型式	スバル・DBA-VMG
	2.0ℓ DOHC 直噴ターボ"DIT"
車種	AWD
	スポーツリニアトロニック
寸法・重量	
全長×全幅×全高	4690mm×1780mm×1490mm
ホイールベース	2650mm
トレッド(前)/(後)	1530mm/1540mm
最低地上高	135mm
室内長×室内幅×室内高	2005mm×1490mm×1205mm
車両重量	1560kg
乗車定員	5名
車両総重量	1835kg
性能	
最小回転半径	5.5m
燃料消費率(JC08モード)	13.2km/ℓ
主要燃費向上対策	-----
ステアリング	
ステアリング歯車形式	ラック&ピニオン式
ステアリングギヤ比	14.5
サスペンション	
フロント	ストラット式独立懸架
リア	ダブルウィッシュボーン式独立懸架
ブレーキ	
主ブレーキ形式	2系統油圧式(倍力装置付き)
ブレーキ・フロント	ベンチレーテッドディスク
ブレーキ・リア	ベンチレーテッドディスク
駐車ブレーキ形式	電気式
エンジン	
	FB20
型式・種類	水平対向4気筒
	2.0ℓ DOHC 16バルブ デュアルAVCS直噴ターボ"DIT"
内径×行程	86.0mm×86.0mm
総排気量	1998cc
圧縮比	10.6
最大出力	300馬力/5600回転
最大トルク	40.8kgm/2000-4800回転
燃料供給装置	筒内直接燃料噴射装置
タンク容量	60ℓ
使用燃料	無鉛プレミアムガソリン
トランスミッション	
	スポーツリニアトロニック(マニュアルモード付)前進無段・後退1速
変速機形式	
	3.105~0.482[マニュアルモード時 1速3.105/2速1.983/3速1.454/4速1.057/5速0.779/6速0.542]
変速比(第1~6速)	
	後退 2.077
最終減速比	4.111
タイヤ&ホイール	
タイヤ	ダンロップ SPORT MAXX 050 225/45R18
ホイール	18×7.5J in 55(114.3)
ボディカラー	
	スティールブルーグレーメタリック・ギャラクシブルーシリカ・ライティングレッド・アイシルバーメタリック・ダークグレーメタリック・クリスタルブラックシリカ
スタンダード	
	クリスタルホワイト・パール(3万2400円アップ)
オプション	
価格	
8%税込み価格	334万8000円

SPEC:1.6GT-S EyeSight

発売日	2014.4.1
車名	LEVORG 1.6GT-S EyeSight
型式	スバル・DBA-VM4
	1.6ℓ DOHC 直噴ターボ"DIT"
車種	AWD
	リニアトロニック
寸法・重量	
全長×全幅×全高	4690mm×1780mm×1490mm
ホイールベース	2650mm
トレッド(前)/(後)	1530mm/1540mm
最低地上高	135mm
室内長×室内幅×室内高	2005mm×1490mm×1205mm
車両重量	1550kg
乗車定員	5名
車両総重量	1825kg
性能	
最小回転半径	5.5m
燃料消費率(JC08モード)	16.0km/ℓ
主要燃費向上対策	アイドリングストップ装置
ステアリング	
ステアリング歯車形式	ラック&ピニオン式
ステアリングギヤ比	14.5
サスペンション	
フロント	ストラット式独立懸架
リア	ダブルウィッシュボーン式独立懸架
ブレーキ	
主ブレーキ形式	2系統油圧式(倍力装置付き)
ブレーキ・フロント	ベンチレーテッドディスク
ブレーキ・リア	ベンチレーテッドディスク
駐車ブレーキ形式	電気式
エンジン	
	FB16
型式・種類	水平対向4気筒
	1.6ℓ DOHC 16バルブ デュアルAVCS直噴ターボ"DIT"
内径×行程	78.8mm×82.0mm
総排気量	1599cc
圧縮比	11
最大出力	170馬力/4800-5600回転
最大トルク	25.5kgm/1800-4800回転
燃料供給装置	筒内直接燃料噴射装置
タンク容量	60ℓ
使用燃料	無鉛レギュラーガソリン
トランスミッション	
	リニアトロニック(マニュアルモード付)前進無段・後退1速
変速機形式	
	3.581~0.570[マニュアルモード時 1速3.560/2速2.255/3速1.655/4速1.201/5速0.887/6速0.616]
変速比(第1~6速)	
	後退 3.667
最終減速比	3.9
タイヤ&ホイール	
タイヤ	ダンロップ SPORT MAXX 050 225/45R18
ホイール	18×7.5J in 55(114.3)
ボディカラー	
	スティールブルーグレーメタリック・ギャラクシブルーシリカ・ライティングレッド・アイシルバーメタリック・ダークグレーメタリック・クリスタルブラックシリカ
スタンダード	
	クリスタルホワイト・パール(3万2400円アップ)
オプション	
価格	
8%税込み価格	305万6400円

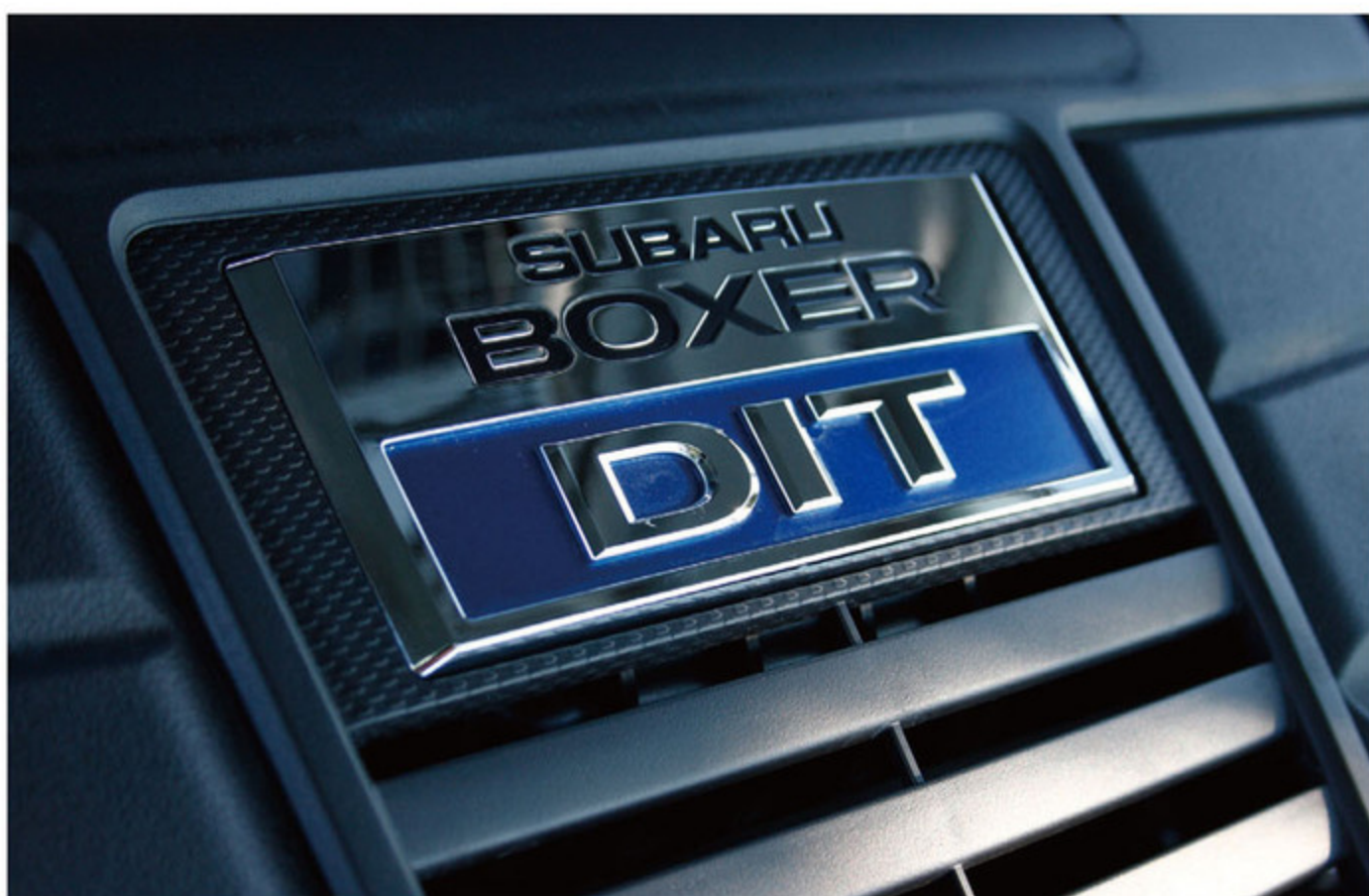
SPEC:1.6GT EyeSight

発売日	2014.4.1
車名	LEVORG 1.6GT EyeSight
型式	スバル・DBA-VM4
	1.6ℓ DOHC 直噴ターボ"DIT"
車種	AWD
	リニアトロニック
寸法・重量	
全長×全幅×全高	4690mm×1780mm×1485mm
ホイールベース	2650mm
トレッド(前)/(後)	1530mm/1540mm
最低地上高	130mm
室内長×室内幅×室内高	2005mm×1490mm×1205mm
車両重量	1530kg
乗車定員	5名
車両総重量	1805kg
性能	
最小回転半径	5.4m
燃料消費率(JC08モード)	17.4km/ℓ
主要燃費向上対策	アイドリングストップ装置
ステアリング	
ステアリング歯車形式	ラック&ピニオン式
ステアリングギヤ比	14.5
サスペンション	
フロント	ストラット式独立懸架
リア	ダブルウィッシュボーン式独立懸架
ブレーキ	
主ブレーキ形式	2系統油圧式(倍力装置付き)
ブレーキ・フロント	ベンチレーテッドディスク
ブレーキ・リア	ベンチレーテッドディスク
駐車ブレーキ形式	電気式
エンジン	
	FB16
型式・種類	水平対向4気筒
	1.6ℓ DOHC 16バルブ デュアルAVCS直噴ターボ"DIT"
内径×行程	78.8mm×82.0mm
総排気量	1599cc
圧縮比	11
最大出力	170馬力/4800-5600回転
最大トルク	25.5kgm/1800-4800回転
燃料供給装置	筒内直接燃料噴射装置
タンク容量	60ℓ
使用燃料	無鉛レギュラーガソリン
トランスミッション	
	リニアトロニック(マニュアルモード付)前進無段・後退1速
変速機形式	
	3.581~0.570[マニュアルモード時 1速3.560/2速2.255/3速1.655/4速1.201/5速0.887/6速0.616]
変速比(第1~6速)	
	後退 3.667
最終減速比	3.9
タイヤ&ホイール	
タイヤ	ダンロップ SPORT MAXX 050 215/50R17
ホイール	17×7.0J in 55(114.3)
ボディカラー	
	スティールブルーグレーメタリック・ギャラクシブルーシリカ・ライティングレッド・アイシルバーメタリック・ダークグレーメタリック・クリスタルブラックシリカ
スタンダード	
	クリスタルホワイト・パール(3万2400円アップ)
オプション	
価格	
8%税込み価格	277万5600円

SPEC:1.6GT

発売日	2014.4.1
車名	LEVORG 1.6GT
型式	スバル・DBA-VM4
	1.6ℓ DOHC 直噴ターボ"DIT"
車種	AWD
	リニアトロニック
寸法・重量	
全長×全幅×全高	4690mm×1780mm×1485mm
ホイールベース	2650mm
トレッド(前)/(後)	1530mm/1540mm
最低地上高	130mm
室内長×室内幅×室内高	2005mm×1490mm×1205mm
車両重量	1520kg
乗車定員	5名
車両総重量	1795kg
性能	
最小回転半径	5.4m
燃料消費率(JC08モード)	17.4km/ℓ
主要燃費向上対策	アイドリングストップ装置
ステアリング	
ステアリング歯車形式	ラック&ピニオン式
ステアリングギヤ比	14.5
サスペンション	
フロント	ストラット式独立懸架
リア	ダブルウィッシュボーン式独立懸架
ブレーキ	
主ブレーキ形式	2系統油圧式(倍力装置付き)
ブレーキ・フロント	ベンチレーテッドディスク
ブレーキ・リア	ディスク
駐車ブレーキ形式	機械式
エンジン	
	FB16
型式・種類	水平対向4気筒
	1.6ℓ DOHC 16バルブ デュアルAVCS直噴ターボ"DIT"
内径×行程	78.8mm×82.0mm
総排気量	1599cc
圧縮比	11
最大出力	170馬力/4800-5600回転
最大トルク	25.5kgm/1800-4800回転
燃料供給装置	筒内直接燃料噴射装置
タンク容量	60ℓ
使用燃料	無鉛レギュラーガソリン
トランスミッション	
	リニアトロニック(マニュアルモード付)前進無段・後退1速
変速機形式	
	3.581~0.570[マニュアルモード時 1速3.560/2速2.255/3速1.655/4速1.201/5速0.887/6速0.616]
変速比(第1~6速)	
	後退 3.667
最終減速比	3.9
タイヤ&ホイール	
タイヤ	ダンロップ SPORT MAXX 050 215/50R17
ホイール	17×7.0J in 55(114.3)
ボディカラー	
	スティールブルーグレーメタリック・ギャラクシブルーシリカ・ライティングレッド・アイシルバーメタリック・ダークグレーメタリック・クリスタルブラックシリカ
スタンダード	
	クリスタルホワイト・パール(3万2400円アップ)
オプション	
価格	
8%税込み価格	266万7600円

ENGINE & TRANSMISSION

1.6ℓのエコターボと2ℓのハイパワーターボ
スバルらしい2種類のターボエンジンを用意

編集部・注目POINT!!

- ①エコな1.6ℓのターボエンジン
- ②高性能2ℓターボエンジン
- ③高トルク対応CVT

レヴォーグを語るうえでもっともポイントとなるのが、搭載されている2種類のターボエンジンだろう。通常のクルマのラインアップは、排気量の大きな自然吸気エンジン（NA）と、パワーねらいのターボエンジン（NA）の両方を用意することが多い。だがこのレヴォーグというクルマは、すべてのモデルがターボエンジンのみ、というところが最大の特徴となっている。

燃費のいいハイブリッドモデルが主流となりつつある今、時代を逆行するこのラインアップはいかにスバルらしい。これに対するスバルが出した答えは……、「1.6ℓのレギュラーガソリン仕様のターボエンジン」だった。

ターボエンジンにもかかわらずレギュラーガソリン仕様という点だ。最高出力は25ℓNAエンジン同等の170馬力を発生、トルクはターボエンジンだからこそ実現できた25・5kgmという数値をマークしている。

この出力を実現するには、かなりの苦労があったという。ターボエンジン制御でもっとも難しいのは、ノッキングをいかに発生させないかがポイントとなる。もっとも手っ取り早いのが、オクタン価の高いガソリンを使用することで、レイスカーなどはオクタン価の高いレースガスを使用して対策している。

だがレヴォーグは、いばらの道とわかってあえてレギュラー仕様にこだわった。さらに、スバルのターボ車では初となるアイドリングストップ機能を盛り込むことで、ターボながら燃費は17・4km/ℓを実現している。

一方、スバルらしいスポーティな走りを重視するユーザー向けに用意されたのが、パワー300馬力・トルク40・8kgmを誇るFA20エンジンを搭載する2.0GTモデルだ。この数値を見れば一目瞭然だと思いが、必要にして十分なパワーが与えられている。数値的には先代レガシィとまったく同じだが、レヴォーグのほうが先代レガシィ・ツーリングワゴン（BR型）よりも車両重量が40kgほど軽いため加速がよく感じるだろう。

次に注目したいのがリアトローニク（CVT）だ。1.6モデルは軽量・コンパクトなCVTを採用し、レヴォーグ専用チューニングを施したうえで搭載している。2.0モデルに関しては、同じリアトローニクを採用するが、1.6モデルとは別物のCVTを搭載している。

主な違いは耐久性で、高出力にも対応するスポーツリアトローニクとなっている。またエンジンファイリングを左右するS・Iドライブも、1.6モデルはS・Iモードの2種類。対して2.0モデルは、S・Iモードの3種類となっている。

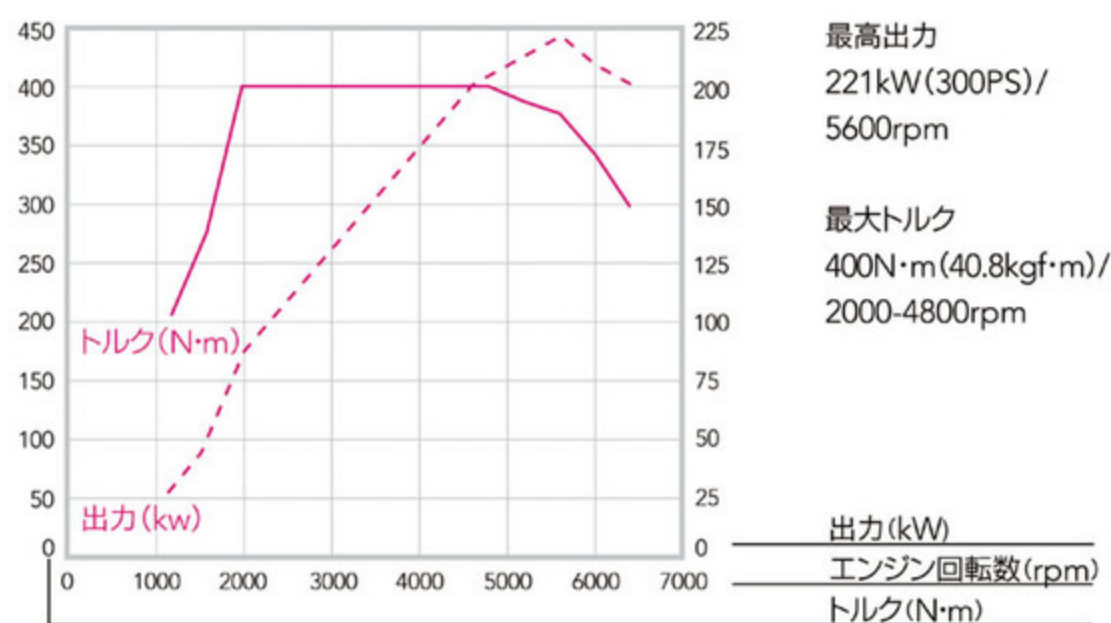
またファイナルや変速特性なども、エンジンに合わせて最適化されている。

エンジンは直噴の
1.6ℓ&2.0ℓの2種類

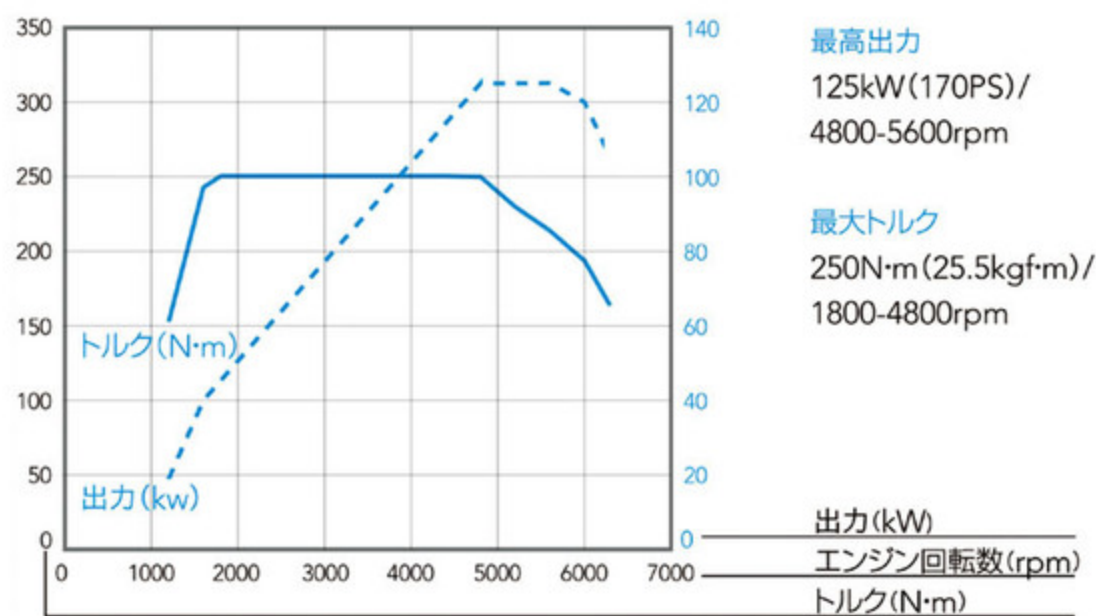
ラインアップされているすべてのモデルがターボエンジンというの、いかにもスバルらしいところ。レギュラー仕様の1.6ℓターボと、ハイオク仕様の2ℓターボの2種類で構成される。

**300馬力を誇る
FA20ユニット**

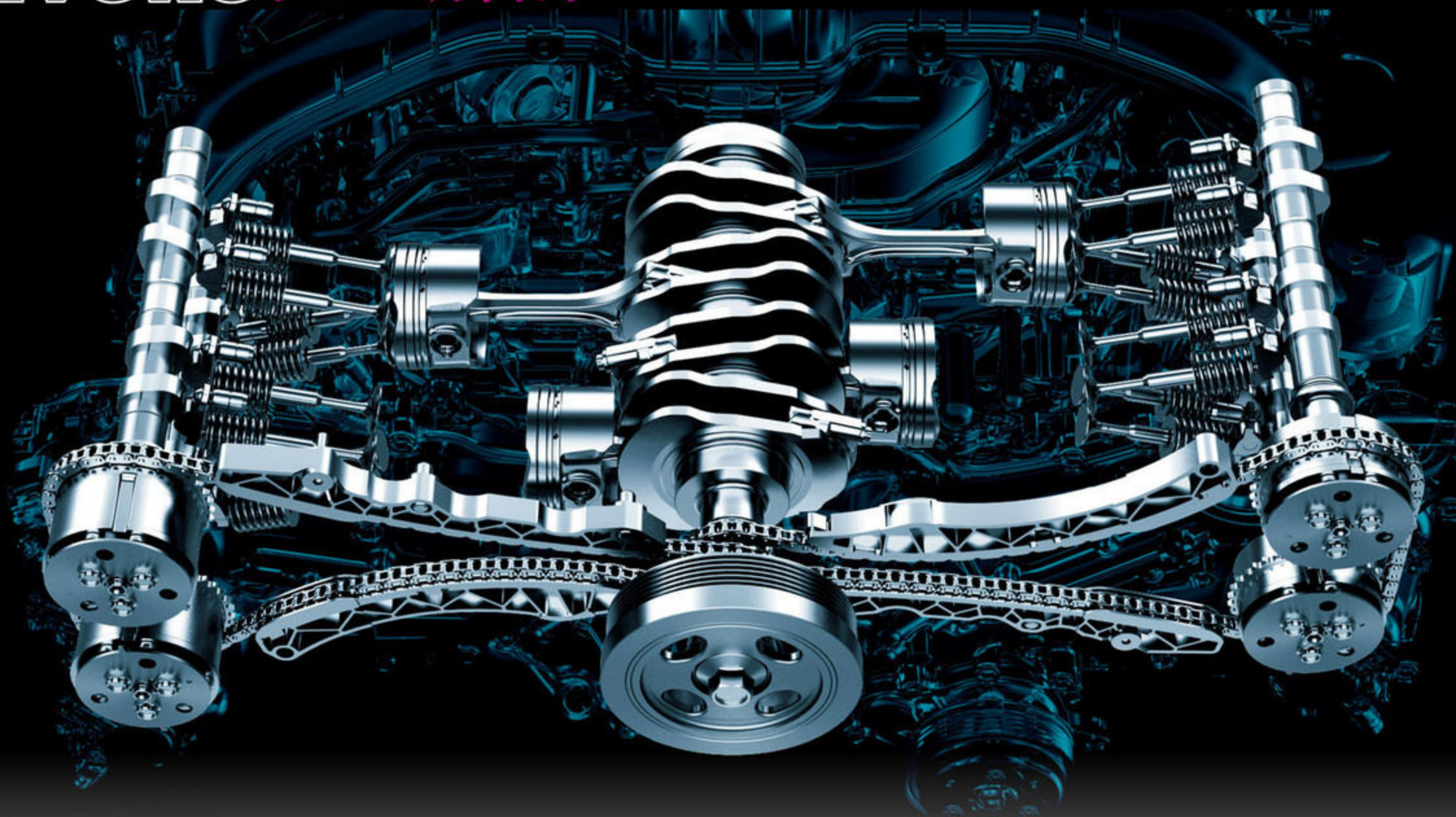
リアルスポーツツアラーというモデルネームは伊達ではない！FA20エンジンは、300馬力と40・8kgmを出力。国内最強のツーリングワゴンといっても大げさでないだろう。

環境性能を追求した
レギュラーターボ

通常ターボエンジンの場合、ガソリンはハイオク仕様となる。だがスバルは、1.6ℓモデルのFB16エンジンを、経済性や環境性能を考慮しレギュラー仕様としている。



LEVORG 完全解剖



同じFA&FBでもターボは中身が違う

パワー&トルクに対応させるため、2.0L & 1.6Lともに、NAモデルに対しピストン&コンロッドがターボ専用部品となっている。なおクランクシャフト以外のパーツは、ほぼターボ専用だ。



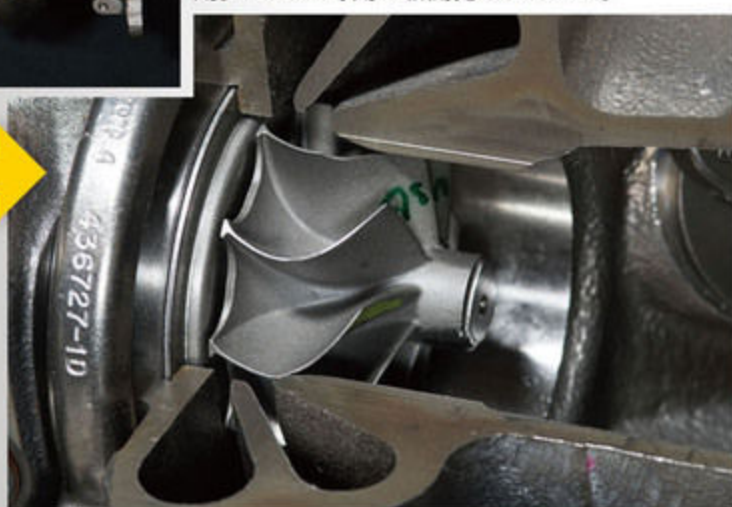
吸入効率を追求したFA&FBエンジン

いかに走行風をエンジンに取り込めるか？ ボンネットに開けられたインテークダクトは、効率よくインタークーラーに導くためのガイドがある。エアクリナーも同様に、エアガイドを設けている。



スバルが得意とするターボエンジン

世の中がNAエンジンにシフトした時代でも、スバルはかたくなにターボエンジンを追求。低速域からもレスポンスするツインターボを採用。1.6Lは専用に新開発されている。



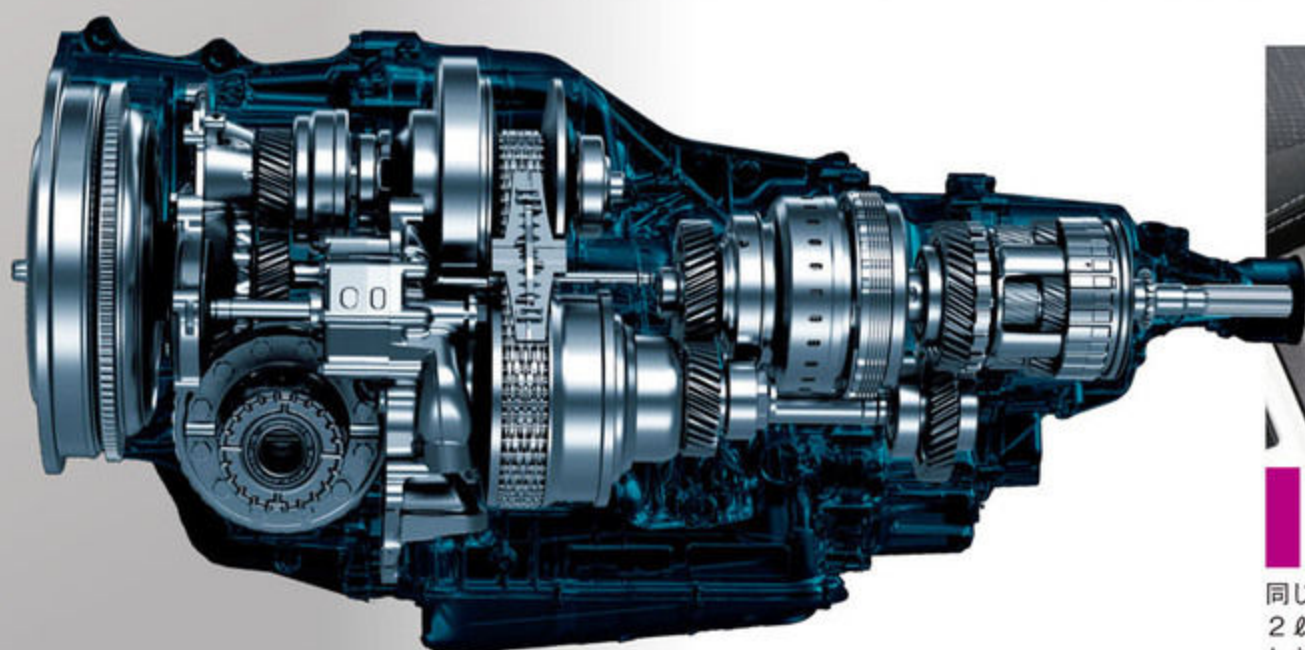
エンジン下にターボをレイアウト

先代レガシーからターボをエンジン下にレイアウト。EJエンジンと比較するとエキマニが短くなるため、効率よく出力が発生できレスポンスに優れたFA20&FB16エンジン。



メンテナンスも考慮されたエンジン

伝統のEJエンジンからFA&FBにスイッチしたことで、整備性や快適性などにも進化が見られる。オイルフィルターなどは交換しやすいよう上側に配置。フェンダー部は風切り音を防止するカバーもある。



同じCVTでも1.6と2.0は仕様が違う

同じCVT(リニアトロニック)でも、高出力に対応した2.0L用のCVTと、コンパクトで軽量な環境性能を追求した1.6L用のCVTの2種類を用意している。



スバル伝統の水平対向エンジン

スバル最大の特徴は、軽量コンパクトで左右バランスに優れた水平対向エンジンを搭載している点だろう。搭載位置が低いと重心位置が低くできる。これがスバルらしい優れたハンドリングを生み出している。



02 メカニズム解析 SUSPENSION

GTとGT-Sとでは特性が別物
走りを楽しむならGT-Sが◎

編集部・注目POINT!!

- ①ビルシュタイン製ダンパー採用
- ②ピロ式アルミ鍛造ロアアーム
- ③ジオメトリーの最適化



GT-Sモデルには
ビルシュタインを採用



GT-Sグレードには、ビルシュタイン製ダンパーと、ピロブッシュを採用したアルミ鍛造ロアアームが装備される。このおかげで、かなりシャープで気持ちいいハンドリングになっている。

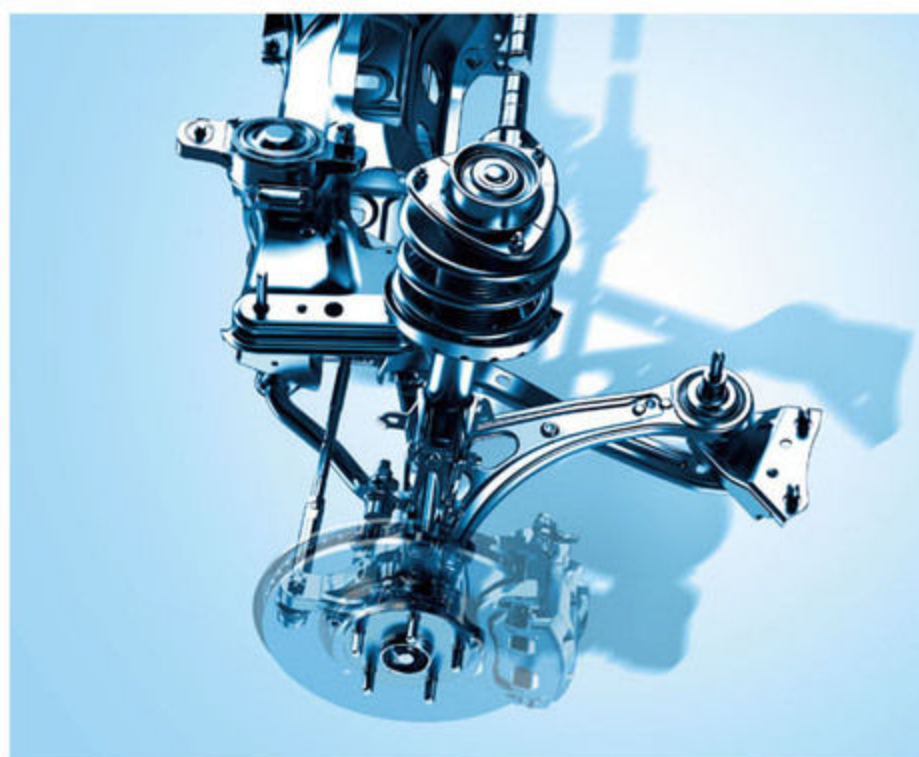


1.6と2.0モデルで
センターデフが違う

2.0モデルのセンターデフは、前後トルク配分が45対55とリア寄りのVTD/AWDを採用。WRX S4にも採用されるVTDは、旋回性能を高めたセンターデフとなっている。

安定性を重視した
AWDを採用

1.6モデルは、レガシーやエクシガ、フォレスターなどにも採用されている「アクティブトルクスプリット」を採用。前後のトルク配分は60対40と、安定志向の強い特性となっている。



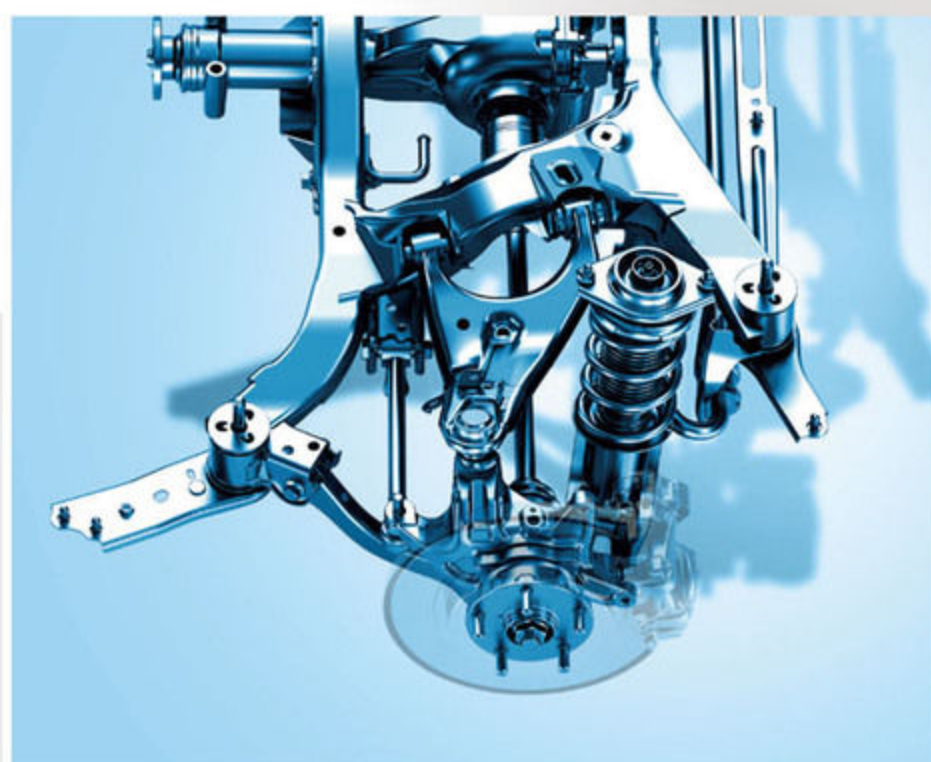
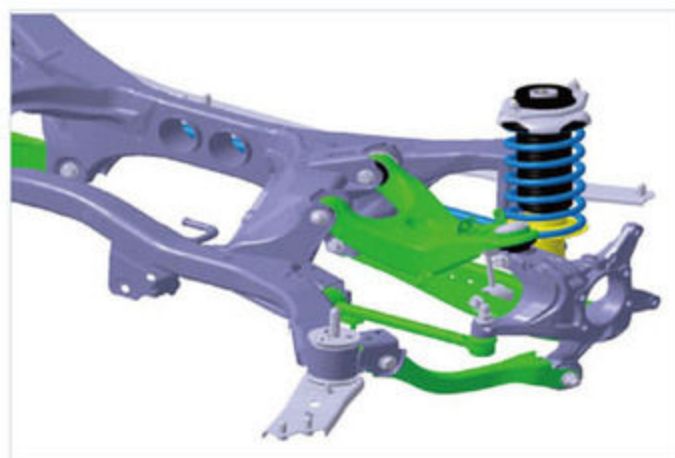
フロントは伝統の ストラット式を継続

フロントのサスペンション形式は、これまでのレガシー同様、ストラット式を踏襲。ただし、ベースとなるシャシーの違いもあり、ジオメトリー関係は大幅に変わっている。



リアの安定性を向上 安心して運転できる

リアのサスペンション形式は先代レガシー同様、ダブルウィッシュボーン式だが、スタビライザー径やリンクブッシュのバネ定数アップなど、全体的に剛性アップにより安心感を向上。



レヴォーグのラインアップは、エンジンの排気量以外にも大きく異なる部分がある。それがサスペンションだ。1.6・2.0モデルともに「S」グレードを選択すると、レガシオーナーにはおなじみのビルシュタイン社製のダンパーが装着されているところだろう。

標準モデルに装着されているダンパーと乗り比べるとその差は一目瞭然で、コーナーに進入していったときのハンドリングの応答性やロール量など、同じレヴォーグでもまったくフィーリングが異なる。もしこれからレヴォーグの購入を考えている人は、ぜひ標準ダンパーとビルシュタインダンパーを乗り比べてほしい。それほど違う。

またハンドリングの違いに関しては、アルミ鍛造ロアアームの採用も大きなポイントとなっている。アルミ製とすることでバネ下重力が軽減されつつ、剛性が高い。さらにリア側のブッシュにピロボールを採用しているため、かなり応答性に優れている。

ピロボールというと、「ゴツゴツしたり異音が聞こえそう」といったイメージを持つ人も多いが、そのような不快感はまるでない。ゴムのヨレによるアライメントの変化がないため、サスペンションの動きにストレスが発生しないのだ。そのため、クルマの動きがスムーズに感じる。スポーティな動きを求めるなら、間違いなくSグレードをお勧めしたい。

各モデルに共通していることは、メンバーやダンパー本体の剛性を大幅にアップさせている点だ。これらはドライバーのハンドリング操作に対し、リアに反応させるため、スポーティなレヴォーグの走りを決定づけている。

そのほかにも一部、ピロブッシュを採用したりゴムブッシュのバネ係数をアップしたり、スタビライザーを太くするなど、スポーティなセットアップが全体的に施されている。

また1.6モデルと2.0モデルとは、センターデフが異なるのも見逃せない。1.6モデルに採用されるアクティブトルクスプリットは、トルク配分をフロント60・リア40とすることで、より4WD傾向が強いセットアップだ。対して2.0モデルは、旋回性能を重視した45対55というトルク配分。このあたりもハンドリング特性に大きく影響する。

03

メカニズム解析 BRAKE & TIRE

ブレーキもタイヤも新開発
すべてレガシィより進化した!

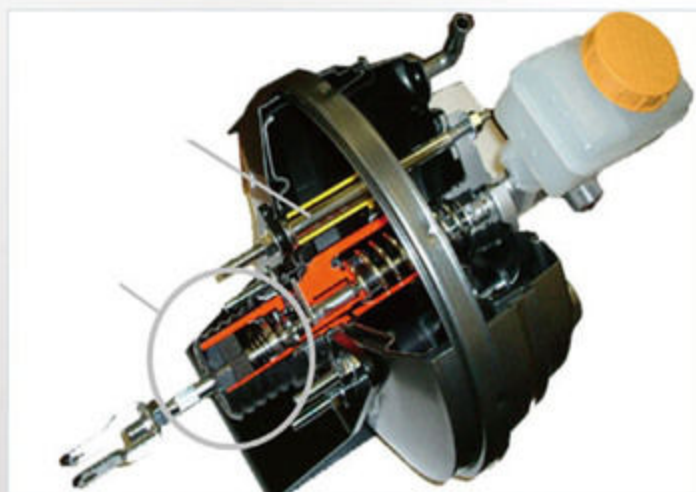
編集部・注目POINT!!

- ①フィーリングに優れた制動力
- ②ダンロップ製専用タイヤの開発
- ③キャリパー交換は難しいかも?



16&17インチの 2種類のブレーキ

タイヤ同様、1.6GTは16インチ、1.6GT-S以上のモデルは17インチとサイズアップ。先代レガシィに対し、ローターの厚みを24mmから28mmとし、熱容量をアップさせている。



リニアに効きが伝わる 高応答ブースター

安心して止まれるクルマとは、コントロール性に優れたブレーキを搭載しているのが必須条件。レヴォーグは高応答バルブの採用などにより、踏み込みに応じた制動力を発揮する。



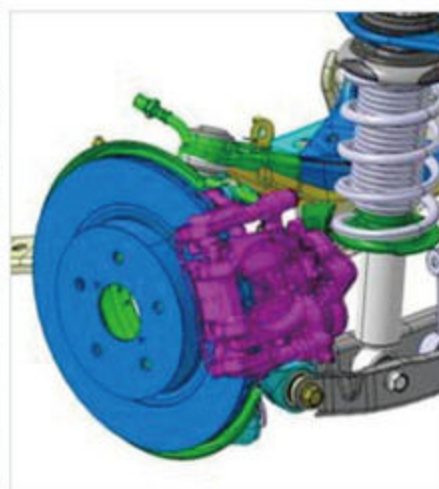
グレードにより デザインが異なる

1.6GTは215/50-17となるのに対し、1.6GT-S以上のモデルは225/50-18を装着。ホイールデザインも、各グレードによりデザインを変えているのが特徴となっている。



リアキャリパーは 電動式を採用

先代レガシィから引き継ぎ、パークイングブレーキは電動式を採用。特殊なブレーキキャリパーのため、リアに関してはアフターパーツ製のブレーキキャリパーにするのは難しいかも?



まずブレーキだが、スバルでは定番となっている片押しキャリパーを装備。1.6GTは16インチで、1.6GT-S以上のグレードは17インチを採用している。なおリアのローターサイズはアイサイト車は17インチ、アイサイト非装着車は15インチとなっている。

先代レガシィと比べ進化している点は、高応答ブースターの採用により、リニアな効きや応答性を高めることで、パニックブレーキ時でも高い制動力を発揮できるようになっている。これはアイサイト作動時のブレーキ性能向上にもひと役買っている。

次に注目したいのが、タイヤ&ホイールだ。走りや燃費を両立させるべく、ダンロップ製の最新開発タイヤを装着。17インチ仕様はSPORT MAXX 050の215/50-17サイズで、18インチ仕様は同じタイヤながらサイズを225/45-18としている。たった1サイズアップながら、タイヤの絶対グリップ力が変わっているのが、かなりフィーリングが異なってくる。

タイヤサイズの違いにより、当然ホイールもサイズが違ふ。オフセットはどちらも55mmと共通だが、17インチ仕様はリム幅が7Jなのに対し、18インチ仕様は7.5Jと太くなっている。

またグレードによりホイールのデザイン&塗装が違うのも面白い。1.6GTはホイールキャップが装着されていて、1.6GTはガンメタリック塗装、2.0GTはシルバー塗装、2.0GT-Sはブラック塗装と若干カラーが異なっている。

チューニングフリークとしては、PCDが先代レガシィまでの100から、114・3になったことは見逃せないトピックスだろう。アフターパーツ製のホイールが選びやすくなったのもうれしいが、ハブ剛性アップは安心感も飛躍的に高まるはずだ。

リアのブレーキキャリパーがちょっと特殊なため、アフターパーツメーカー製の前後キャリパー交換は難しいと思うが、ブレーキパッドに関しては徐々にラインアップされ始めている。とくにハイパワーな2.0モデルは、安心して走るためにもパッド交換を検討したいところ。ワインディングを楽しむ人は、ブレーキパッド&ブレーキフルード交換は必須となるので覚えておこう。

04 メカニズム解析 EXTERIOR

国内ユーザーが求めていた 使い勝手のいいボディサイズが最大の特徴



18インチホイールで バランス感が◎

写真は2.0GTのため、ホイールは18インチを装着している。ボディが非常にスタイリッシュなので、今時のクルマとしては小さな18インチでも、違和感なくマッチしている。

編集部・注目POINT!!

- ① シャープなフロントフェイス
- ② 視認性の高いLEDクリアランスライト
- ③ 空力に優れるAピラーの角度



ロー&ワイド感が スポーティさを演出

歴代のスバル車は、ノーマルだとかなり車高が高く、腰高なイメージが強いのだが……。レヴォーグはノーマルでも低く見えるので、フロントリップの追加でかなりいい感じになりそう。



17インチだと ちょっとさびしい?

上の18インチ仕様に対し、こちらは17インチ仕様。若干、ホイールの存在感が弱いいため、ボディとのバランスがよくないかも? あとはホイールキャップがチープに感じてしまう。



レガシイにかぎらずほとんどの日本車は、モデルチェンジのたびにボディサイズが大きくなる傾向が強い。海外市場のことを考えると仕方ないのだが……。日本の道路事情を考えると、とても使い勝手が悪い。そんなユーザーからの声にこたえるため誕生したのがこのレヴォーグなのだ。

先代レガシイのボディサイズは、全長4790mm、全幅1780mm、全高1535mmなのに対し、レヴォーグは全長4690mm(マイナス100mm)、全幅1780mm(±0mm)、全高1490mm(マイナス45mm)と、4代目レガシイに近いサイズに戻している。日本の道路事情や駐車場のことを考えると、これくらいのボディサイズがもっとも適正なのではと、改めて考えさせられた。

ボディサイズの縮小で問題となるのが室内空間だが、先代レガシイの室内は、室内長2190mm×室内幅1545mm×室内高1230mmに対し、レヴォーグは室内長2005mm(マイナス185mm)×室内幅1490mm(マイナス55mm)×室内高1205mm(マイナス25mm)と当然だが狭くなっている。だが実際に乗ってみると、大人5名乗車でもとくに不具合は感じない。セカンドシートの足もとも広く、ゆったりとしている。「これで十分」と思えるサイズだ。

ここからはエクステリアの見た目に着目していこう。このあたりは好みの問題があるので一概にはいえないが、精悍なヘッドライトとエッジのきいたキャラクターラインのおかげで、かなりスポーティな雰囲気を感じさせてくれる。サイドから見るとAピラーの角度がかなり寝ているため、フロントからリアまでのシルエットが非常に美しい。クルマ全体が引き締まって見え、ノーマル車高でも低く見える。

このAピラーの角度変更はインプレッサで初めて採用され、同じシャシーのWRX STIやWRX S4も同様のAピラーとなっている。じつはフロントガラスが寝ることによるメリットは、見た目だけではなく空力にも大きく貢献する。とくに高速道路を走るとよくわかるが、加速感がスムーズで高速移動が非常に楽チンなのだ。

たとえるなら、実際に走っている車速よりも体感速度が低く感じる。エンジン性



1.6GTアイサイトをベースに 上級グレードのパーツを装着した 特別仕様車

1.6GT EyeSight S-style

カタログを見ていると、「上級モデルのコレだけは欲しいなあ〜」なんて思うことがある。そんなユーザーに声にこたえ、スバルでは特別仕様車として1.6GTアイサイトSスタイルを発売した。ベースとなるのは人気の1.6GTアイサイトで、通常は17インチ仕様だが18インチに変更。さらにヘッドライトは、夜間のドライブが楽しくなるLED 4灯ロービーム仕様となる。価格は約12万円アップの289万4400円という設定だ。



タイヤ&ホイールは、上級モデルに採用されている18インチが装着される。インチアップしたときの迫力が、容易に手に入ることになる。



LED4灯ロービーム+ハロゲンハイビームランプを装備。ウオッシャー機能も装備しているので、夜間や雪道でも安心してドライブできる。



ルーフからの流れを意識したウイング



ルーフとの一体感が最大の特徴のルーフウイング。ワゴンとしてはかなり大きなサイズを採用し、ルーフを流れる走行風をキレイに後方に流してくれる形状となっている。



左右のダクトには ターン&フォグランプ

上段にターンランプ、下段にはフォグランプを埋め込んだ大型フォグカバーを採用。中央にはメッキバー(写真はオプションのLEDデイルイト)を装備し、スポーティな印象に。



スバルらしい ヘキサゴングリル

大型のヘキサゴングリルは、レヴォーグのフロントフェイスの印象を大きく左右している。アフターパーツ製のグリルを装着したら、かなり印象が変えられるだろう。



コの字型デザインが 最大の特徴

ターンランプをストップランプで囲うようにデザインされたテールランプユニット。LEDを採用することで、視認性の向上をねらっている。クリアではなくレッドレンズなのも好印象。

**GTとGTiSは
ヘッドライトが違う**
ヘッドライトをよく見ると、GTは右の写真のようにメッキ仕様なのに対し、GTiSシリーズはブラックベゼルにより、より精悍な顔つきになっている。注意して見比べてみよう。



**スバル伝統の
プロジェクトを踏襲**
シャープで精悍な印象が強いヘッドライトは、ナイトシーンになるとさらに鋭さが増す。オプション設定となるLEDデイルイトを追加すれば、さらに戦闘的な顔つきになる。



能やサスペンションによる安定感なども関係してくるので一概にいいきれないが、Aピラーの角度による空力性能の向上は、かなり大きなメリットだろう。風切り音が小さくなったり燃費が向上するなど、安心感や快適性が大きく進化しているように感じた。

そのほかにレヴォーグらしいエクステリアといったら、ヘッドライト&テールランプだろう。コの字型のLEDクリアランスランプが、遠くからでも「あつレヴォーグが来た」と認識できる。とくにナイトシーンでは、よりコの字型のLEDが強調されカッコいい。

ヘッドライト&テールランプを極力ボディに対し外側にレイアウトしたり、前後フェンダーの張り出しを強調するデザインなど、全体的に「ワイド&ロー」スタイルを意識している。低くマウントできる水平対向エンジンを意識させる、スポーティなエクステリアだ。



スバル車のインテリアはチープな印象が強い。これまではそう評価するユーザーが多かった。ところがこのレヴォーグの発売以降、WRX系も新型レガシィも、インテリアの質感がグッと向上しているのが特徴だ。

つやのあるピアノブラック調仕上げに加え、金属調アクセントを追加することで、上質感とスポーティ感がうまく融合しているように感じる。



インテリアの質感が大幅にアップしている

センターコンソールやステアリング、シートに使われている生地やカラーなど、車両価格以上の質感に仕上がっているレヴォーグ。1.6モデルでも、気にならないクオリティだ。



**長モノでも問題なし
ファミリーカーに◎**

セカンドシートを倒せば、荷室空間がさらに拡大！左の写真のように、セカンドシートも分割タイプなので、搭載する荷物によりアレンジできる。このあたりは先代レガシィと同じだ。



広々とした荷室空間に注目

先代レガシィ時代から、圧倒的な支持を得ていた荷室フロア。フラットで荷物が搭載しやすく、サブトランクの使い勝手も◎。ゲートとフロアとの段差が少ないところも見逃せない。



パネル類を工夫してスポーティな雰囲気

室内のアクセントとして、メッキパーツやピアノブラック調パネルを使うなど、アダルトスポーツな雰囲気を醸し出している。GT-Sモデルは、シルバークarbon加飾を採用する。



05 メカニズム解析 INTERIOR

スポーティな印象と上品な質感がうまく両立 ブラックを基調としたインテリアが好印象

編集部・注目POINT!!

- ① 質感の大幅向上
- ② スバル伝統のシートアレンジ
- ③ ディスプレイからの情報

とくにスポーツグレードの2.0GT-Sは、アルカンターラ&本革コンビに加えブルーステッチを採用、シルバークーパーン調パネルなどを使い、標準グレードとの差別化が図られている。

ステアリングは下側がカットされたDシェイプを採用しつつ、握ったときのフィーリングを考えた形状になっている。このあたりの演出は、オーナーをやる気にさせてくれること間違いなしだ。

レガシィから踏襲されている機能としては、多彩なシートアレンジやフックやポケットが豊富に装備されている点だろう。荷室フロアは大型ボディの先代レガシィと同様の広さを確保。容量は先代レガシィが520ℓなのに対し、レヴォーグは522ℓ(サブトランク含む)となっている。

スキーやスノーボードといった長モノを搭載するときは、リアからボタンひとつでセカンドシートを倒せるのも◎。カーゴフックが計4カ所設けられているので、自転車などを搭載したときでも、固定に困らないのがうれしい。

またレヴォーグ以降に発売されたスバル車には、センターコンソール上部に「マルチファンクションディスプレイ」が装備されている。



センターコンソールは 必要な情報を表示

センターコンソール上部には、「マルチファンクションディスプレイ」と呼ばれるカラーの液晶モニターを装備。エアコン操作確認やシートベルト警告灯に加え、メーターや時計&気温、ブースト計(2ℓモデルのみ)など、車両情報がリアルタイムで表示される。

マルチファンクションディスプレイ一覧

燃費画面	エコ履歴画面
3連メーター画面	高速巡航ECOチャレンジ画面
予防安全画面	ブースト表示画面(2.0ℓ車のみ)
時計&気温画面	方角画面

ステアリング部で 多彩な操作ができる

ステアリングの右側がアイサイトとS・Dライプの制御スイッチ。そして左側がオーディオやマルチファンクションディスプレイなど、あらゆる操作がここで完結できる。



スポーティに走れる パドルシフト

今では定番となりつつあるパドルシフトは、全モデルに標準で装備。なおS・Dライプの選択モードにより、変速特性が大幅に変わり、扱いやすさとスポーティさを両立させている。

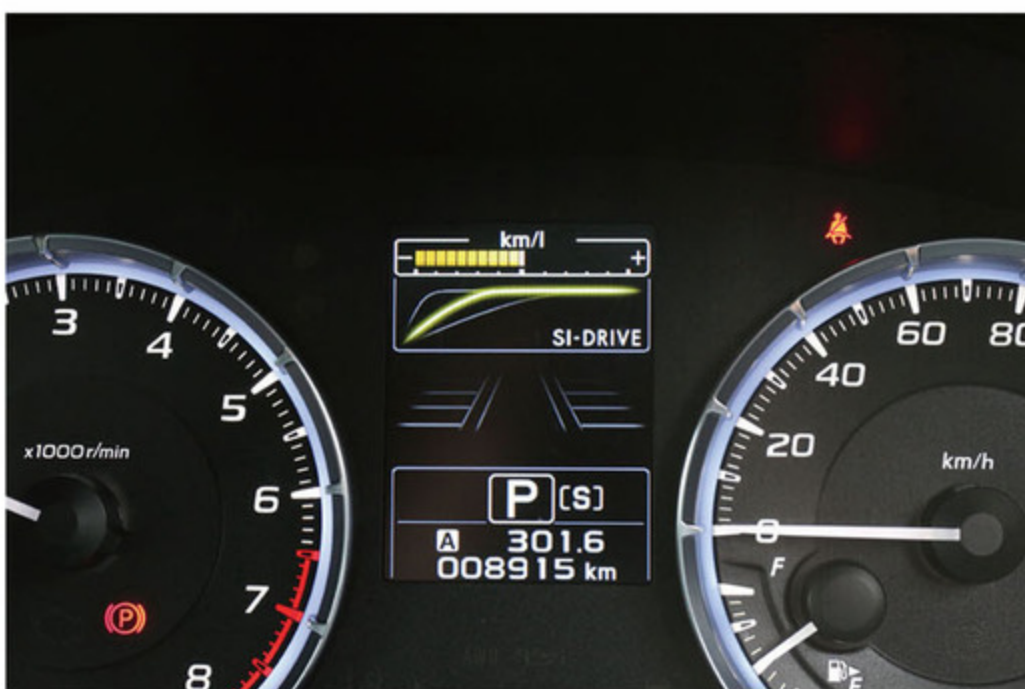


ETCやトランク開閉は ステア右に集約

プッシュスタートボタンの右側がメーターの明るさ調整、次がトランク開閉ボタンがレイアウトされる。下に見えるのがETC本体が、スッキリと収まるようなスペースが設けられている。

メーター中央部には カラーディスプレイ

トリップメーターやギアポジションに加え、アイサイト情報を表示。さらに上段にはマルチインフォメーションディスプレイを配置して、車速や運転時間、アイドリングストップ時間などを表示できるようになっている。



レヴォーグを運転してまずはじめに気がつくのが、ものすごくボディがしっぺりしている点だ。高速道路でギャップを通過してもサスペンションだけでスッと衝撃を吸収し、室内空間は何事もなかったかのような安心感がある。

先代レガシィと比較すると、ねじり剛性係数はなんと40%以上もアップしている。とくにAピラーの付け根やリアタイヤ周辺、そしてリアゲートを支えるDピラーを中心に補強を行っている。これにより、徹底的にボディの変形を抑制しているのだ。さらに、Bピラー部やフレーム全体に超高張力鋼板を採用し、軽量化と剛性アップを両立させている。

フロア下にも剛性アップに関係する工夫が多数見られる。フロアパネルは板厚をアップ、フレームとフロアとの結合部分は、これまで以上に強固に連結するなど、ボディ全体の剛性を大幅にアップさせている。

メルセデスベンツやBMWといったドイツ車に乗るとよくわかるが、しっかりとしたボディのおかげで、ものすごく安心感が高い。その感覚が、レヴォーグにも感じられる。さらにドイツ車と異なり、そこに「軽快感」が加わっているところが最大のポイントだ。

レヴォーグの車両重量は1560kg(2ℓ)とけっして軽くはない。まあ、メルセデスベンツやBMWと比べると、軽いかもしれないが……。レヴォーグを走らせると、スムーズに加速し安定して止まり、そして違和感なく曲がついていく。エンジンやサスペンションのセットアップにもかかわってくるが、やはり土台と

走りと快適性を両立させるため ボディ構造を見直して大幅に剛性アップ

なるボディのしっぺり感が、走りの軽快感を生み出しているといってもけっして間違いではないだろう。

またスバルといったら、安全性の高さも世界トップクラスという点も忘れてはならない。最近ではモデルチェンジして間もないアイサイトver.3が話題だが、衝突安全性はつねに世界で最高評価を獲得している。

さらにレヴォーグは、ドライバーの膝を守るための「ニーエアバッグ」をスバル車として初めて採用。サイドエアバッグやカーテンエアバッグなども加わることで、計7つのエアバッグを標準で装備している。安全性に優れているボディも特筆ポイントだ。

最後に注目したいのが空力性能だ。フロア下を確認すると、エンジンの下側にあたるフロントアンダーパネル、フロントタイヤ前、そしてホイールベース内にある中央部分にもフロアアンダーパネルが装備されている。

このやり方はまさしくスポーツカーの手法で、フロア下を流れる走行風をスムーズに後方へと排出させる。残念ながらリア周辺は未処理となっているが、ここまででも市販車としてはかなり優秀だ。WRX STIは先代モデルから行われていたため、その空力技術を安定性や燃費向上に生かした形だ。

ボディがしっぺりすると、1ランク上のクラスのクルマに乗っている感覚になる。まさしくレヴォーグの乗り味は、「上質」という評価がぴったりとくる。高速道路を高速で長時間移動する場合でも、ドライバーは疲れない。



06

メカニズム解析

BODY & CHASSIS

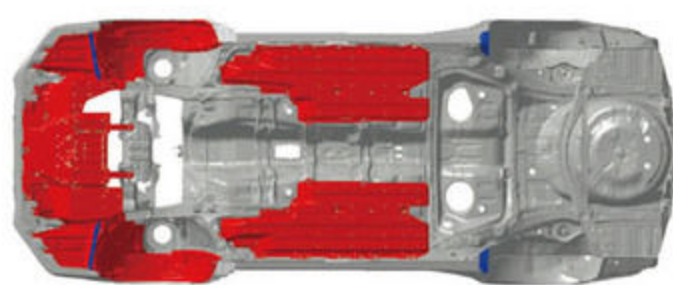
編集部・注目POINT!!

- ①高剛性なボディ
- ②安全性も考慮した造り
- ③視認性にも優れるレイアウト



ホイールベースを100mm短縮している

先代レガシィとホイールベースを比較すると、100mmも短縮している。全長もびったり100mm短いので、そのままホイールベース間を短くしたことになる。この長さが旋回性能を決めている。

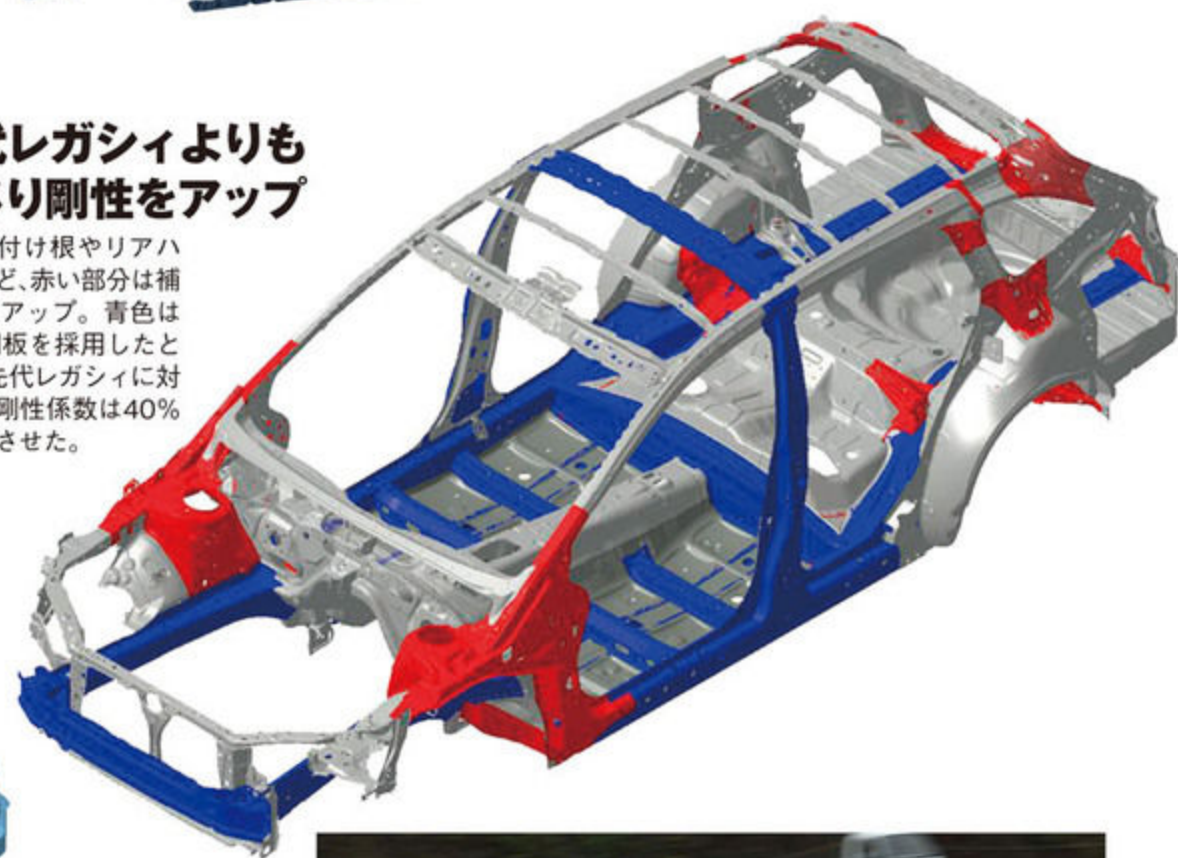


空力を煮詰めると走りも燃費も向上する

フロア下には大型のアンダーカバーを装着。空力がよくなれば直進安定性も向上するし燃費もよくなる。なお先代レガシィと比較し、15mmもアンダーカバーを低くしている。

先代レガシィよりもねじり剛性をアップ

Aピラーの付け根やリアハウス周辺など、赤い部分は補強して剛性アップ。青色は超高張力銅板を採用したところ。なお先代レガシィに対し、ねじり剛性係数は40%以上アップさせた。



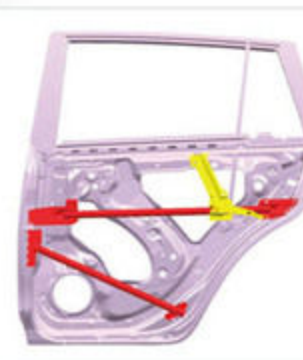
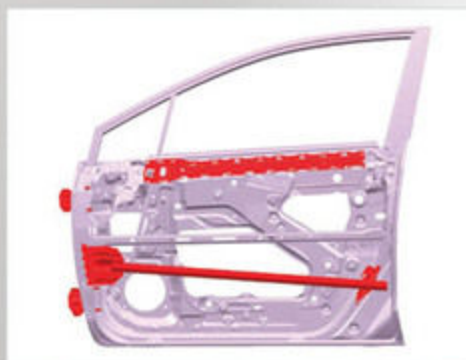
フロア部の鉄板を厚くして快適性アップ

フロア部の鉄板を厚くしたり、サイドドアガラスの板厚をアップするなど、さまざまな部分を工夫して振動や騒音を減少。高速移動でも不快な風切り音や振動がなく、安心してドライブが楽しめる。



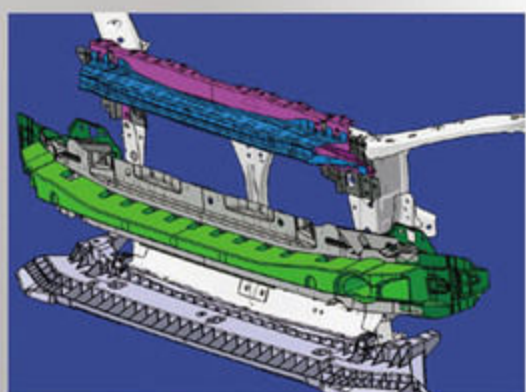
運転するとはっきり剛性の高さがわかる

写真のようにコーナーを攻め込むことをしなくても、高速道路を普通に走るだけで剛性の高さが感じられる。とくに荒れた路面でのレーンチェンジでは、抜群の安定感を発揮する。



側面衝突を考えた強固なビームを配置

車両の軽量化のためドアの鉄板自体は薄くしているが、ドア内部には最適な位置にビームを配置し、側面衝突に備えている。またハンドル周辺の強度を高め、緊急時脱出も考慮した。

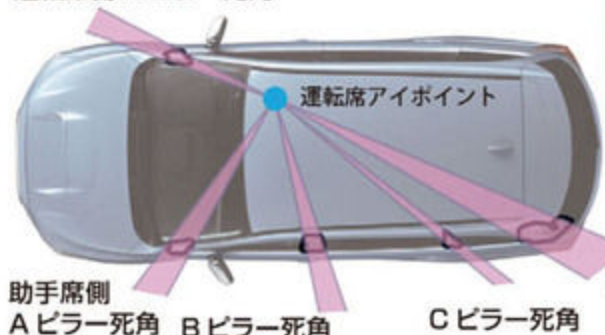


衝突安全性を高め歩行者を守る

万が一のときも考慮した、スバルの安全技術は世界でも認められているくらい高い。フロントバンパー内には3つの衝撃吸収構造を採用し、歩行者へのダメージを抑えるようにしている。

LEVORGの死角イメージ

運転席側 A ピラー死角

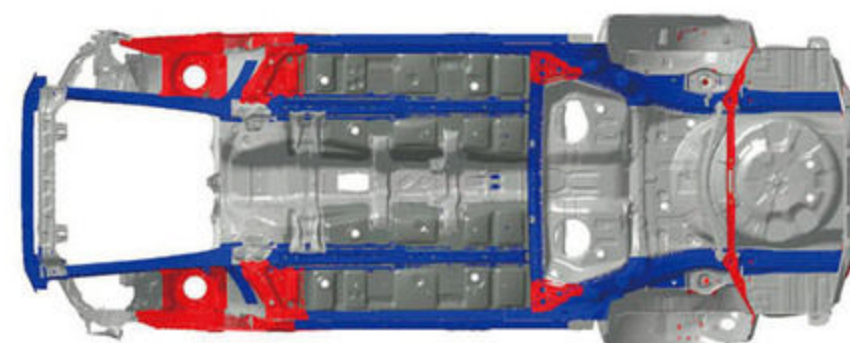


LEVORGはピラーによる死角を減らして、全方位で優れた視界を確保。特にCピラーによる死角の少なさが際立っています。

■ピラーによる死角

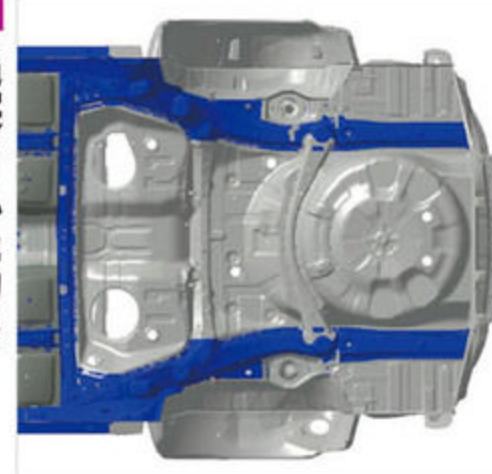
高速道路への合流がしやすい

実際に運転するとよくわかるが、ピラーによる死角が少ないので後方確認がしやすい。とくに高速道路などの本線合流時などは、ちょっと振り向くと確認できるのがよかった。



写真右がリアバンパー。万が一、後方から衝突されたときは青色のフレームに沿って衝突エネルギーを左右に逃し、室内にいる乗員へと伝わらないようにしている。

追突された力を左右に逃がす





ここまでエンジンやサスペンションなど、各項目ごとにレヴオーグを分析してきた。だが「リアルスポーツツアラ」というサブネームがついているくらいだから、実際の走りが気になるところだろう。そこでハイレブ編集部では、1.6GTと2.0GTの2台を埼玉県にある本庄サーキットに持ち込み、スポーツ走行時の挙動をチェック。どちらもスタンダードグレードのGTなので、公平に両モデルの違いを比べることができた。

インプレッションを担当したのは、スーパー耐久などで活躍する井尻薫選手。場所はサーキットでのテストとなっているが、ユーザー目線での分析をしてみよう。速度域はあえて「ワインディング走行レベル」で走ってもらった。峠道でちよつとタイヤのスキール音が聞こえるかも？という速度域だ。

「2台を比較してもっとも大きく違うなと感じたのは、ステアリングをきつたときの挙動の違いだね。」

2.0GTはものすごく安定感が高い反面、ちよつと『よっこらしょ』というゆったりとした動きを感じた。対して1.6GTは、ステアリングをきつたときの反応が鋭く、スムーズにクルマの向きが変わる印象だった。「クルマのフロント部分が軽い」というイメージ？ 体感では100kg近く違うんじゃないの？ と思っただけ、1.6GTのほうが軽快感がある。実際のカタログ数値を比較すると30kgだけど、かなり大きな違いに感じた」とコメントしていた。

つぎに大きな違いと思われる、エンジン関係の印象を聞いてみた。

「1.6GTは、今はやりの欧州車によくある小排気量ターボに似た感じだった。ちよつとわりにはよく走って、低速域からトルク感があるから、街なかを走るぶんにはまったく不満は出ないレベルだね。高速道路を巡航していても、このエンジンだったらOKじゃないかな？」

対して2.0GTは、全域でアクセルに対する反応がよく、パワー感十分！ 1.6GTよりもリアに反応し加速してくれるから、高速道路の合流とか巡航するときものすごく楽チンじゃないかな。速さを楽しむ人は、やっぱり2.0GTがオススメになるね。

個人的にはレギュラーガソリン仕様



で、燃費にも優れる1.6GTのほうを購入するかな？ アクセルをハーフでキープした状態から、グイッと踏み込んで加速する、なんてシチュエーションはどうしても2.0GTに負けてしまうけど、300馬力と170馬力という、約2倍くらいもの大きな違いは感じられないと思う」とのこと。

このあたりの感覚は、前に乗っていた、もしくは今乗っているクルマによって大きく印象が異なるかもしれない。

たとえば300馬力オーバーのインプレッサに乗っている人が1.6GTに乗ったら……、「これじゃモノ足りない！」と感じる可能性が高い。

逆にミニバンオーナーがレヴオーグに乗ったら、どちらのモデルも速い！と感じると思う。このあたりは自分自身で判断してもらいたい部分だ。

サスペンションやボディについての印象は、「サスペンションの味付けとし

2.0GT EyeSight

パワーは300馬力、トルク40.8kgmと、スバルが誇るFA20直噴DITターボエンジンを搭載。加速感やトルク感などは、全域でストレスなくスムーズに加速してくれる。

07

メカニズム解析

IMPRESSION

今はやりの欧州車のような1.6GTと
全域でストレスフリーの2.0GT



インプレッション担当
レーシングドライバー
井尻 薫 選手

スーパー耐久に参戦するレーシングドライバー。2014年はST-4クラスに参戦。過去にはシリーズチャンピオンを獲得した実績を持つ。またショップ&メーカーのデモカーのタイムアタックを担当したり、ドライビングレッスンの講師を務めるなど、幅広く活躍する人物だ。

ではベシッくなですね。リアが非常に安定していて、限界域でもリアが出てスピンしてしまうようなオーバー特性ではありません。必ずフロントが逃げてしまう挙動です。

この限界域でもレヴォーグはものすごく安定していて、不安感はほとんどない。仮に限界を超えてしまっても、そこからすぐにリカバリーできるような味付けになっています。

印象的だったのがボディ剛性ですね。人間にたとえるなら体幹がしっかりしているってイメージ。コーナーの進入からクリップ、そして出口で加速して立ち上がり一連の動作を行っても、ステアリングの修正がものすごく少ない。

たとえばボディがヨレているクルマだと、思ったよりも曲がらなくて舵角を足したりといった修正が頻繁に必要になってきます。とくに縁石を乗り越えたときなどは、ボディがしっかりしているクルマとしないクルマとでは、安心感がまるで違いますからね。

またステアリングをきったときの初期反応の速さは、ボディがしっかりしているのも大きな要因だと思います。

最後にミッションやブレーキといった項目について尋ねてみた。

「CVTに関しては、とくに違和感なくスムーズにシフトチェンジができたという印象かな? 車速を落としきらないでシフトダウンしてしまうと、警告音が鳴って落ちないときはあつたけど……、ストレスに感じるほどの違和感はないかな?」

ブレーキに関しては、ブレーキに効いた本庄サーキットを約10分間ほど連続走行しても、フィーリングが変わることはなかった。全開で走りまわった話とは別かもしれないが、ワインディングレベルの速度だったら、十分な制動力といえると思う」という感想だった。

街なかをキビキビ走るなら、1.6でも十分だということがわかった。あとはどれくらいのパワーで満足できるか。ここがチョイスのかぎを握っている。



1.6GT EyeSight

新開発されたFB16エンジンを搭載。パワーは170馬力、トルク25.5kgmと、2.0GTと比較するとちょっとモノ足りなく感じるが……。だが実際に乗り比べると十分なパワーが味わえる。



ポジションが決めやすい

シートは電動式なので、微調整がしやすいのがうれしい。動きは遅くもなく速くもない感じ。シート形状はもうちょっとホールド性がほしいかな？



アイサイトの操作スイッチ

ステアリングの右側には、アイサイトの操作スイッチが設けられている。ちよつと操作が複雑なので、初めての人は慣れが必要かな？



ドリンクホルダーが◎

リアシートの中央にはヒジ掛けが設けられているだが、ここにドリンクホルダーがあるのが非常に便利。ドアポケット部だと、ペットボトルしか使えないからだ。



視認性は問題なし！

ドアミラーの面積は大きく、取り付け位置も自然なので、後方確認がしやすい。なおルームミラーによる後方確認も、まったく問題ないレベルだ。



このディスプレイは便利

マルチファンクションディスプレイには、走行中にナビの情報が表示される。これは非常に便利！視線を下にしないでいいのがうれしい。

ちよつとした工夫がいい
コンソールボックスのふたが前にスライドすることで、ヒジ掛けになる。ロングドライブのときに、ものすごく役に立つ機能だ。



08

メカニズム解析

Usability CHECK

ファミリーカーとしてもバツグン! 各部に工夫が感じられるのが好印象

編集部・注目POINT!!

- ①ドライビングのしやすさ
- ②ナビをサポートするモニター
- ③小物入れやフックが充実

ハイレブ編集部の勝手な予想で恐縮だが、レヴォーグを購入する年齢層はおそらく30代から40代といったところだろう。子供がいるのでスポーツカーは無理だし4ドアセダンでは不便。だからといってみんなと同じミニバンは……。そんなユーザーが多いはず。そんなクルマ好きなお父さんとお母さんに声を大にして言いたい。「レヴォーグはファミリーカーとして最適ですよ」と。

まず特筆ポイントとして紹介したいのが、ドライビングのしやすさだ。1.6 & 2.0モデルともにアクセルに対し素直に加速するので、高速への合流や車線変更も楽チン。ステアリングもむだな遊びがないので、思いどおりにクルマの向きが変わりロール量も適量。これまでスポーツカーに乗ったことがない人でも、スムーズに走らせることができる。

極めつけはアイサイトの存在。使いはじめはちょっとドキドキするけど、慣れれば非常に便利! とくに渋滞のときは「アイサイトが付いていてよかった」

と思うくらい運転が楽チンになる。次に便利なのは、荷室の広さとシートアレンジがワンタッチで変更できるところだ。たとえばベビーカーや自転車といった長尺物を積み込むことがあっても、セカンドシートを倒せば問題なく載せられる。しかもシートを倒すのは荷室からでもセカンドシート側でも、ボタンひとつでワンタッチ。ボタンとすぐに倒せるので、力のない女の人でも安心。元に戻すときも簡単だ。ミニバンだとシートをしまうとき、「どうやってやるんだっけ?」なんて困っている人を多く見かける。レヴォーグはスイッチを引くだけなのうれしい。

あとは収納スペースが多いのが便利だ。ドアポケットはペットボトルや雑誌などが収納できるスペースだったり、荷室には大型サブトランクなどがあるのでも不便に感じることはないだろう。細かな部分も使い勝手を追求。レガシイで培ったノウハウが満載だ。



シートポジションは2パターン

プッシュスタートボタンの周辺には、シートポジションメモリーボタンがふたつ装備されている。1番が本人、2番が奥さんといった使い方ができるのは便利だ。



USB電源は前後で4つ

シフトノブの前側と、コンソールボックスの後ろ側に、それぞれふたつずつUSB電源が設けられている。みんなで同時に、スマートフォンの充電ができるのがGOOD!



スマートに開閉可能

アクセスキーをポケットなどに入れておけば、スムーズにドアを開閉できる。またリアゲートは、ナンバープレート上部のボタンを押すと開く。

スマートフォン専用ホルダー?

運転席の横側には、スマートフォンを置くのに便利な小物入れがある。おそらくそのためのスペースだと思うが……?



レンズのブラック処理

室内灯などは、一般的なクリアレンズではなくブラック処理が施されているため、シートや内装との一体感が自然だ。



便利なフックを装備

荷室には計4つのフックやコンビニフック、リアシートを倒すためにスイッチなどが装備されている。これらの便利装備がスバルらしいところだ。



給油のフタが置ける

給油のとき、キャップを置くためのホルダーが装備されている。なおフタを締めるときの感触は、ちょっとあいまいなのが気になったかな?



収納しやすい工夫が満載

荷室カバーを開けると大容量の収納スペースがあり、仕切り板の位置も変更できる。左右の側面にもネット付きの荷物入れがある。



09

メカニズム解析

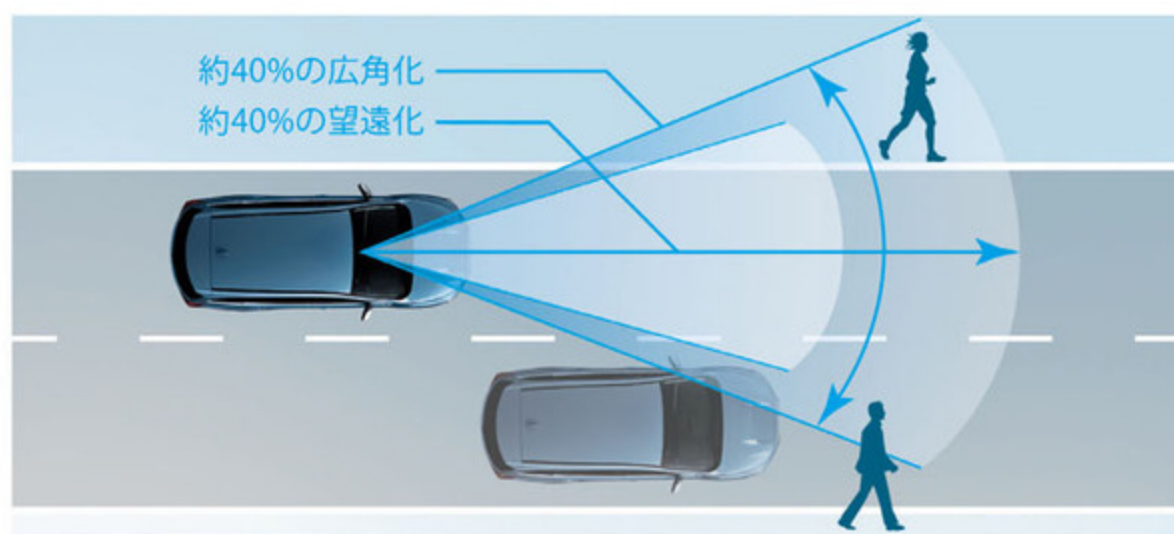
EyeSight

自動運転化まであと一歩？
さらに進化したアイサイトVer.3は
自動ステアリング操作も加わった!

編集部・注目POINT!!

- ①さらに進化したVer.3
- ②ステアリング制御も追加
- ③よりぶつからないクルマに

LEVORG 完全解剖



□ステレオカメラの認識範囲を拡大

約40%の広角 望遠化したカメラ

これまで以上にカメラが広範囲で認識できるようになったのが、Ver.3の特徴のひとつ。また悪天候のときや逆光でも安定して認識できるように進化している。

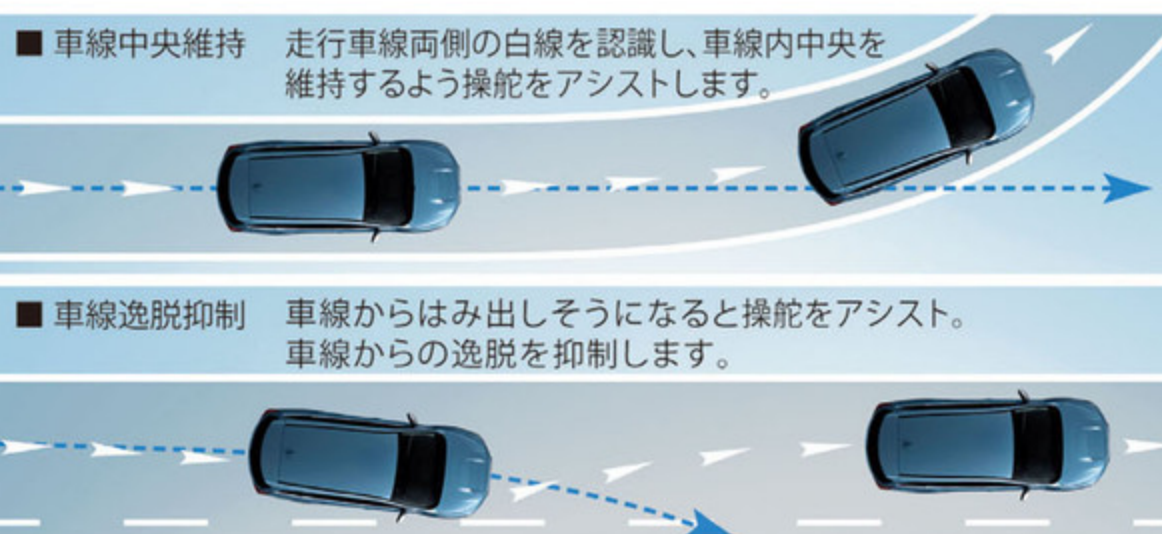
AT誤後進制御で 踏み間違い事故を抑制

従来はDレンジのみの速度リミッターが、LEVORGではRレンジにも追加。任意で速度調整が可能なので、不用意な急加速による事故が未然に防げる機能だ。

誤後進とシステムが判断した場合、出力を抑え後進をゆるやかにします。



□AT誤後進抑制制御



□アクティブレーンキープ

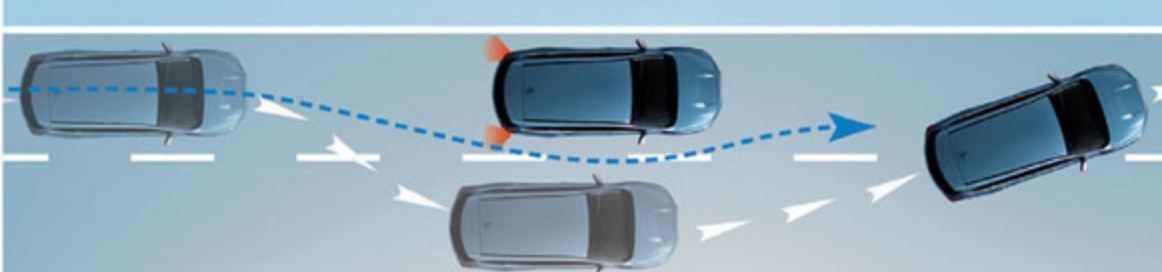
自動的に レーンをキープ

Ver.3最大の進化は、この「アクティブレーンキープ」だ。クルーズコントロールをセットした状態で速度が65km/h以上という条件だと、自動的にステアリングを操作してくれる。

ブレーキをサポートし 危険回避を行う

衝突の可能性が高いとシステムが判断した場合、ドライバーがステアリングで回避操作を行うと、ブレーキを自動でかけて回避操作をサポートしてくれる機能が加わった。

VDCの車両統合制御によって、衝突回避操舵をアシストします。



□プリクラッシュステアリングアシスト

今、スバル車を買う理由の8割以上が「アイサイトが装着されているから」といわれるくらい、画期的なシステム「アイサイト」。その同システムがさらに進化し、Ver.3となった。これまでにない新たな機能としては、自動的にステアリング操作をサポートしてくれる「アクティブレーンキープ」機能だ。

ステアリング部にあるレーンキープスイッチをON状態にし、クルーズコントロールをセットすると、カメラが中央線などを認識し、自動的にステアリングを操作しレーンをキープする。

編集部でも高速道路で試してみたが、コーナーに差しかかると勝手にステアリングが動き出し、走行しているレーンをキープしようとする。はじめは本当にステアリングが動くか不安になるが、慣れてくると違和感なくドライブを楽しめるようになる。

ただし注意点として、このアクティブレーンキープはあくまでもサポート機能であり、自動運転機能ではない！というところ。ステアリングを長時間離していると、クルマから警告音と表示が出る。また時速65km/h以下では、このアクティブレーンキープ機能は作動しない。アイサイト任せで運転していると、大きな事故につながる可能性があることも付け加えておきたい。

そのほか、プリクラッシュブレーキの衝突回避可能な速度が、30km/hから50km/hに拡大。さらに、衝突の可能性が高いとシステムが判断した場合、瞬時にVDCが内側にブレーキをかけることで、旋回力をアップ。衝突を回避してくれる機能も加わっている。

数年前までは、一部の高級車だけの機能だった自動ブレーキシステムだが、今では装備されていて当たり前くらいの定番システムとなった。この普及は間違いなく、スバルのアイサイトの存在が大きく影響しているだろう。各自動車メーカーは自動ブレーキシステムの開発に力を入れ、あらゆるモデルに装着できるように力を入れている。

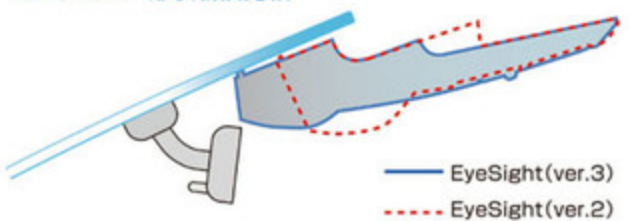
そんな状況でも、スバルのアイサイトは一步進んだ機能を持っているといっても大げさではないだろう。LEVORGに搭載されたVer.3で、さらに他社との差が開いたように感じる。このシステムが、たった10万円なのも驚きだ。



カメラカバーが じゃまにならない

アイサイトVer.2まではちょっとカメラカバーが大きく、ルームミラーやサンバイザーの使い勝手に影響があった。だがVer.3では右のイラストのとおり、薄型化してスッキリとなった。

カメラカバー形状新旧比較



高解像度化に加え カラー化を採用

カメラでとらえた画像を高解像度&カラー化とすることで、より正確に前方の状況を識別できるようになった。テールなどのブレーキを認識し、より素早く制御できるのがポイントだ。



□カラー高画質化により、先行車のブレーキランプを認識



EyeSight

クルーズコントロール

ぶつからないクルマ、というキャッチフレーズがCMで流れているので、クルマにあまりくわしくない人は「アイサイトってぶつからない機能だよな？」と認識していることが多い。たしかに間違いではないのだが……。アイサイトが持つ機能でもっとも素晴らしいのは、「クルーズコントロール機能」だと編集部では考えている。これまでのクルーズコントロールは、設定した速度をキープするだけで、前にクルマがいたらブレーキを踏んで回避しなくてはならない。そこからもう一度、クルーズコントロールをセットして、という操作を行わなければならなかった。だがアイサイトは一度セットすれば、前のクルマの速度に合わせて自動でブレーキをかけて車間をキープし、前が加速すれば設定した速度までは自動で追従してくれる。万が一、渋滞で前のクルマが停止してしまったら、アイサイトが自動的に停止させ、ステアリングのスイッチだけで、再発進を行える。この機能がものすごく便利なのだ！



EyeSight

プリクラッシュブレーキ

CMでおなじみとなった「ぶつからないクルマ」といわれるプリクラッシュブレーキ。万が一、前に障害物がある状態でブレーキを踏むのが遅れた場合、クルマが自動的に判断し急ブレーキをかけてくれる。これまでのアイサイトVer.2ではカメラの性能などにより、時速30km/hまでしか回避するのはむずかしいとアピールしていたが、レヴォーグに採用されたアイサイトVer.3からは、カメラの性能アップに伴い時速50km/hまで衝突回避できるようになっている。居眠り運転やよそ見運転なんてことは、運転していればだれでも一度は経験したことがあるだろう。そんなとき、もし前のクルマにぶつかってしまったら……。程度により差はあるが、修理代に最低でも10万円以上の金額がかかってしまうことだろう。だがこのアイサイトは、車体価格から計算するとたった10万円(税抜き)で装備できる機能なのだ。この値段はVer.1から同じ。1回事故を回避できたら、もう元がとれる計算なのだ。



EyeSight

アクティブレーンキープ

怖い！ 最初にこのアクティブレーンキープ機能を試したときの正直な感想だ。数年前、初めてアイサイトでプリクラッシュブレーキ機能を試したときもそう感じたのを思い出した。ステアリングは自分で操作するものという思いがあるので、最初はどうしても自動でステアリングが動き出す領域まで我慢ができない。でも試してみないことには原稿を書くことすらできない……。意を決してステアリングに触れるだけの状態にしてみると、スーッとステアリングが動き出した。もうちょっとグイッと動くのを想像していたが、意外とスムーズなのに驚いた。かなりのカルチャーショックだ。優れた機能だが、あまり信頼しすぎて事故る人がいるかも？なんて心配もあるが、高速道路でのロングドライブには絶大な効果を発揮してくれるだろう。注意点としては、65km/h以下では機能がキャンセルになることと、センターラインなどが消えかかっている道路では、カメラが認識できないので注意しよう。

LEVORG 完全解剖

アイサイトのクルーズコントロール機能は ちょっと操作が複雑なので慣れが必要？



操作はスイッチのみ 慣れれば簡単だ

ステアリングの右側にあるのが、アイサイトの操作スイッチ。設定速度や車間距離設定などが任意で決められ、完全停止状態からは、追尾復帰のためのボタンもある。



イラストで追尾して いるかが認識できる

メーター中央にあるモニターを見ると、前にクルマがいてと表示され、車線変更などでいなくなると消える。割り込みなどのときも、かなり認識が早いのはびっくりした。

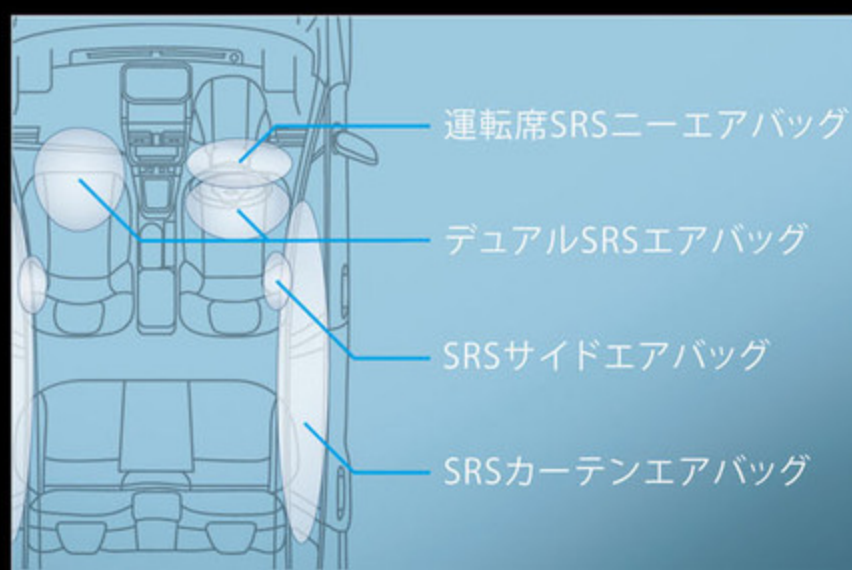


レヴォーグはアイサイトだけじゃない！ 最新技術で安全性能を追求している



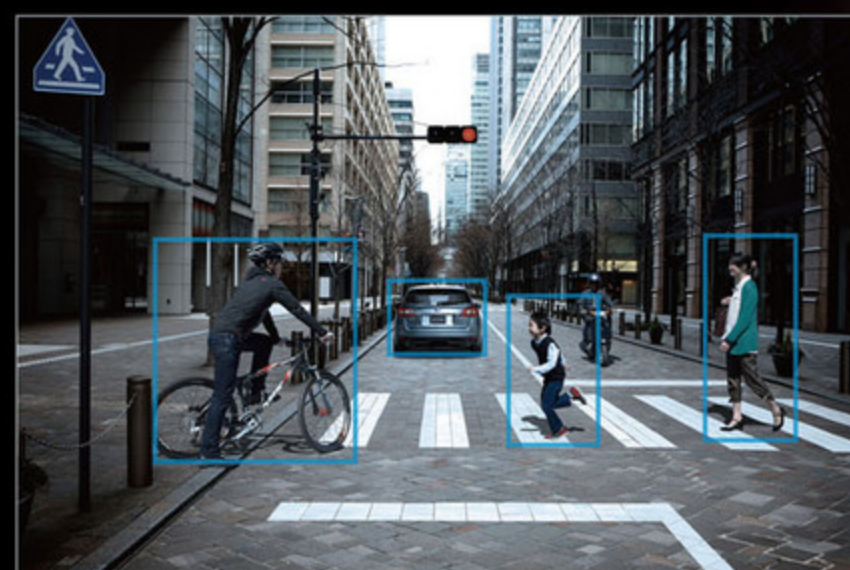
エマージェンシー ストップシグナル

高速域から急制動をかけたとき、ハザードランプが高速で点滅することで後方に危険を知らせる「エマージェンシーストップシグナル」が新たに加わった。



エアバッグは 計7つも装備

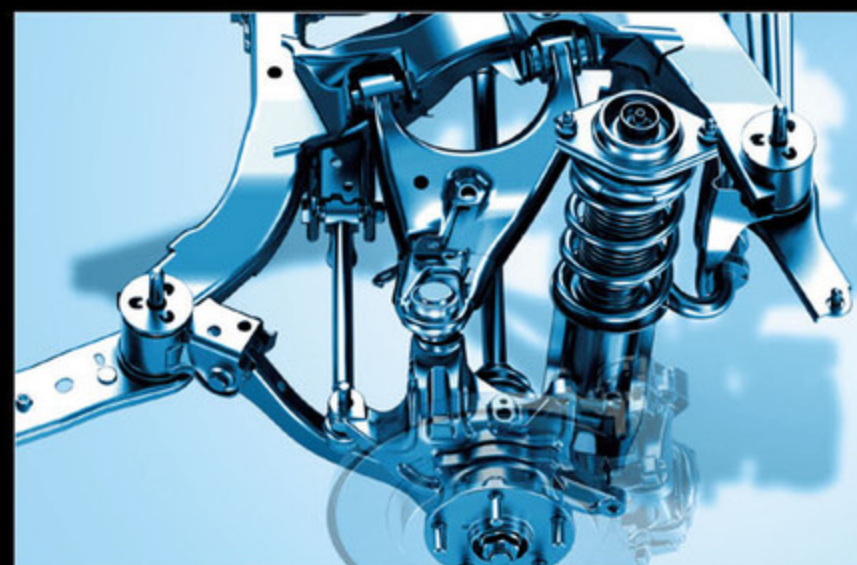
運転席＆助手席はもちろん、サイドエアバッグやカーテンエアバッグが定番となりつつある。あらにレヴォーグには、運転者のひざを守るニーエアバッグも標準装備されている。



広範囲に しかもカラーで認識

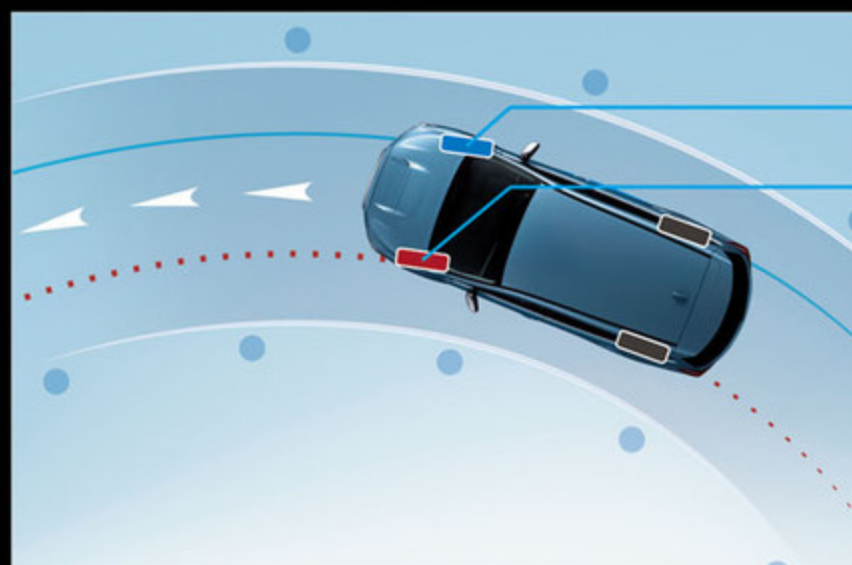
これまでのカメラはモノクロ映像だったが、アイサイトVer.3からはカラー映像で認識。テールランプの点灯を判断し、より早い段階で緊急回避ができるようになった。

ABSやトラクションコントロール、そしてVDCにより 安全回避機能がさらに高まっている



自動操作にこたえる ボディ&サスペンション

いくらECU機能が優れていても、それにこたえられるボディ&サスペンションでなくては危険回避は難しい。スバルではさらに基本性能の向上を行っている。



内輪のブレーキで 旋回性をコントロール

コーナーの内側のブレーキのみ作動させることで、旋回性能をアップ。急激なステアリング操作などにより、横転やスピンといった危険を自動的に回避してくれる。



カメラにより 車線を認識

カメラの性能向上により、道路にある車線を認識。Ver.2までは車線をはみ出すと警告のみだったが、Ver.3からは自動でステアリング操作してくれるまでになった。

09 メカニズム解析 EyeSight 注意点

車高調編

極端なローダウンや
前後の車高が異なると
アイサイトが誤作動する？



空気圧も車高に影響する要素

極端なたとえば、フロントとリアの空気圧が大きく違った場合や、荷室に重たい荷物を載せてしまうと、極端な前上がりスタイルになる。このとき誤作動が発生する可能性も考えられる。

**車庫調の緩みは
つねに点検しておく**
レヴォーグの場合、フロントがストラットなので、車高調整ネジが緩みやすい。緩むと当然、車高が変更してしまうので、定期的な点検をしておく。



常識の範囲だったら まったく影響なし

写真左がノーマルで、写真右のクルマが約30mmダウン。ホイールのサイズなどによってだいぶ異なるが、30mmダウンくらいがもっとも上品なスタイルだろう。



30mmダウンだと 走行にも支障なし

写真右がノーマルで、左が30mmダウン。フロントリップを追加しても、コンビニなどの輪止めさえ気をつければ、普段乗りでの不具合は出ないレベルだ。

「ローダウンするとアイサイトが使えなくなる……」。そんなウワサを聞いたことがあるオーナーも多いだろう。結論からいうと、「一般的なローダウンだったらアイサイトに影響は出ない」だ。

一般的な車高調の場合、推奨車高はノーマルに対し20mm〜40mmくらいの範囲となる。これくらいのローダウンならば、アイサイトの作動に影響が出ることはないと言言できる。実際に車高調キットでローダウンしているチューナーやメーカーの担当者に聞いたところ、「なんの問題もなくクルーズコントロールでここまで来たよ」なんて返答だ。

ただし、全長調整式車高調の場合、タイヤやアームとの干渉を無視してしまえば、90mm近くダウンさせられる。ここまでダウンしたら、あちこちに干渉してしまっただけで走れないから、アイサイトの作動どころではないと思うが……、常識の範囲での設定にしておく。

あと不具合が発生する原因として考えられるのが、極端な前上がりな車高設定だ。フロントがノーマルよりも高く、リアを車高調で思いっきりダウンしたときなどは、カメラが上方向に向いてしまふので、もしかしたらアイサイトが誤作動を起こす可能性が考えられる。

まあ、こんなめっちゃくちゃなセッティングをする人はいないと思うが、レヴォーグの場合、荷室に重たい荷物を載せて走ることとは十分に考えられる。前上りのサスセッティングにしてさらに後ろに荷物を搭載する、なんて場合は注意してみよう。前後で極端な車高を変えなければ、問題になることはないだろう。

あと注意したいのが、フロントのネジの緩みだ。レヴォーグのフロントサスはストラット式なので、ステアリングをきるたびに車高調にねじり方向の力が加わる。そんな理由から、車高調整ネジが緩んでしまっていることも多い。これが原因で車高が変わってしまうので、定期的に点検をしておく。

アイサイトが作動しなかったらどうしよう？と不安な人は、まずクルーズコントロールから試してみよう。それが問題なければアクティブブレーンキープという感じで、段階を踏んでいけば安全にチェックできるはず。間違っても、プリクラッシュブレーキから試す人はいないと思うが……（笑）。

LEVORG 完全解剖

メカニズム解析

EyeSight

注意点

ブレーキ編

あまりにも初期性能の高い
ブレーキパッドを装着すると
追突される可能性が高くなる？



ローター径拡大は 前後バランスを考慮

純正ブレンボ流用やアフターパーツのキャリパーを装着する場合、フロントとリアとのブレーキバランスを考慮したセレクトをしたい。極端なバランスはABSやアイサイトの誤作動を招く。



タイヤのグリップも パッドと合わせたい

極端にパッドが効くものに対し、タイヤのグリップ力が低い場合、頻繁にABSが作動してしまい誤作動が起こる可能性が考えられる。安全性も考慮し、高性能タイヤをチョイスしたい。



パッドとローターは 初期制動を考慮せよ

ブレーキローターは、スリット入りのほうが食いつきがよくなる。ブレーキパッドとの相性もあるが、サーキットを走らないのであれば、できればスリットなしのローターを選んでおくのがベストだろう。



たしかに高速での 急ブレーキは危険

運転手本人はそんなつもりはなくても、アイサイトによって勝手に急ブレーキがかかってしまったら……、追突される危険性も考えられる。制動力はつねにチェックしておきたい。



ブレーキの摩擦材は ノンアスベスト推奨

ブレーキパッドを選ぶときは、初期から制動力が立ち上がる特性ではなく、コントロール性重視のタイプがおすすめ。摩擦材がメタル系ではなくノンアスベスト系だったら問題ない。

車高問題と同じく、チューニングすることでアイサイトの作動に影響が出る可能性があるのは、ブレーキだろう。極端に初期制動の高いブレーキパッドに交換してしまうと……、後から追突されてしまう可能性があるのだ！その理由は、コンピュータがノーマルのブレーキパッドとアフターパーツ製のパッドを認識できないので、ノーマルパッドだと思ってブレーキを始動↓ノーマルパッドとは比べ物にならないくらい急ブレーキがかかる↓後ろを走っていたクルマは発見が遅れ追突、といった心配が考えられる。

アイサイトはプリクラッシュブレーキをはじめ、自動的にブレーキをかける機能が多い。問題はクルーズコントロール機能とプリクラッシュステアリングアシストだろう。

クルーズコントロール機能を作動中、車間距離が詰まるたびに急ブレーキがかかってしまったら……、追突まではいかなくても後続車にかなり迷惑をかけるかもしれない。

さらに危険なのが、プリクラッシュステアリングアシストだろう。危険回避のために内側のブレーキをかけた瞬間、予想よりもブレーキがかかってスピンするかもしれない。実際にテストをしていないので予想となってしまうが、いわれてみればたしかに考えられることだ。

STIのアフターパーツのなかにレヴォーグ用のブレーキパッドがラインアップされていないのは、こういった理由があるのかもしれない。

ここまで読むと「レヴォーグはパッド交換ができないの？」と勘違いされそうだが、それは誤解だ。ジムカーナ車両などに使われる、極端な初期制動の高いパッドを入れると危険かも？ということなので間違えないでほしい。

純正パッド+αレベルのパッドはもちろんだが、一般的なストリート向けのパッドだったらまったく問題ないだろう。素材でいったらノンアスベスト系だったら大丈夫だ。サーキット対応のメタル系を選ぶ場合は、ちょっとこういった危険性が考えられる、ということ覚えておいてほしい。

レヴォーグでサーキットを限界まで攻める人は少ないと思うので、よい心配だと思っただけね。

tuned by STI

“機能パーツ”でグランドツアラーの ポテンシャルを素直に向上させる

機能性、ブランド力、そして安心感。STIのパーツには、熱狂的なスバルファンならずともユーザーを引きつける魅力が満載だ
そんなパーツでベースカーの持つポテンシャルをしっかりとボトムアップしたデモカーをチェックしてみよう

Photo: 小竹 充

スバルテクニカインターナショナル ☎0422-33-7848 <http://www.sti.jp>

低く乾いたサウンドに変化するスポーツマフラー。それでいてうるさすぎない、STIならではの信頼性の高いパーツ。もちろん保安基準適合品だ。



フレキシブルタワーバーは、路面からの入力を適度に逃がす機構になっているので、上品な乗り味を残しつつリニアなハンドリングを楽しめる。

ハンドリング性能とドライバビリティの向上を 目指して目指して生まれたスポーツパーツ

メーカー直系のチューニングファクトリーであるSTI。人気の秘密は、そのすべてのパーツが機能パーツであることだ。当然、レヴォーグ用パーツにおいてもこのコンセプトは踏襲されている。そんなパーツが満載されたデモカーについて、STIの篠田氏にお話を伺った。

「名前こそ変わりましたが、レヴォーグはレガシィの流れをくんだグランドツアリングカーで、いかに長い距離

を楽に、そして気持ちよく走れるかを追求したクルマです。われわれのパーツは、レヴォーグがもともと持っているGTカーとしての素性を、バランスを崩すことなくボトムアップさせることが目的です。そのために、ハンドリング性能とドライバビリティの向上に注目しました」

こうして開発されたのが、フロントアンダースポイラーをはじめとするエアロパーツや剛性パーツたちだ。

「STIのパーツは、エアロパーツであつてもちゃんと機能を持たせています。フロント、サイド、リアのアンダースポイラーは、風洞実験などを経て、100km/hを超えるとバランスよく全体を押し下げて、4輪をびたりと路面に押し付けるように設計されています」

また、フレキシブルタワーバーはさまざまなスバル車で評価を得ているベストセラーです。ハンドリングによ

るジオメトリー変化が少なくなり、ハンドリング性能、ドライバビリティともに向上します。付けたことがすぐわかるくらい手ごたえのあるパーツですよ。ボディとクロスメンバーをつなぐフレキシブルドローステイフナーと同時に装着すると、よりハンドリングに対して素直に曲がってくれるクルマになるはずですよ」

STIのパーツには、こういった機能性に加えて、ディーラーでも扱っているほどの信頼感があるのも特徴だ。純正レヴォーグの乗り味を十分堪能したユーザーは、もう1段上の走りを味わうことのできるSTIパーツを試してみたいかがだろう。





Specifications

BODY

フレキシブルタワーバー
フレキシブルドロースティフナー

ENGINE

スポーツマフラー
アルミホイールセット/ブラック

EXTERIOR

フロントアンダースポイラー
サイドアンダースポイラー
リアアンダースポイラー
スカートリップ

INTERIOR

シフトノブ

細身の15本スポークが採用されたスポーティな
鋳造アルミホイール。カラーは、ブラックのほか
シルバーとガンメタリックがラインアップ。



ファンならぜひ欲しくなる、チェリーレッドのS
Tロゴが縫い込まれた本革シフトノブ。しっと
りと手になじむ感触で、操作感が向上する。



パフォーマンス パッケージは とくにオススメ!

フロント、サイド、リアのアン
ダースポイラーとスカート
リップ、そしてフレキシブルタ
ワーバーとフレキシブルロー
ドスティフナーがセットに
なったパッケージ。購入特典と
して非売品のエンブレムが付
属される。



フロント、サイド、リアのスポイラーは純正ボディにビス留めするアンダータイプ。より低いスポーティなフォルムを生み出すことができるうえに、半ツヤブラックのカラーがルックスを引き締めてくれる。さらに、高速走行時にはタイヤの接地性を高める機能があるスポーツパーツなのだ。フロントアンダースポイラーの下部先端に取り付ける硬質ゴム製のスカートリップは、空力効果効果があるだけでなく、スポイラーをプロテクトする機能もある。

レヴォーグは、レガシィの跡を継ぐ
正当なグランドツーリングカーです



STI

篠田 淳氏

「アイサイトVer.3との兼ね合いでもう
少し時間はかかりそうですが、現在ロー
ダウンスプリングとリアのラテラルリン
ク、そしてブレーキパッドの開発も進ん
でいます」と篠田氏。レヴォーグの素性
を生かすパーツの登場に、今後も期待し
ていきたい。





STI

SPORTS PARTS for LEVORG CATAROG

ここでは現在ラインアップしているレヴォーグ用STIパーツを一挙にご紹介
デモカーには装着されていなかったパーツもあるので
熱狂的なSTIファン以外のユーザーにもぜひしっかりとチェックしてほしい



フレキシブルタワーバー

●適応車種 全車 ●価格:3万2400円

左右分割構造となっているため、路面からの入力を適度にいなしてくる。乗り心地をキープしたままハンドリングが向上する。



フレキシブルドロースティフナー

●適応車種 全車 ●価格:3万240円

ボディとクロスメンバーをつないで、シャシーのしなりを補正。クイックで素直な操舵感を生み出す。タワーバーとの併用でより効果が出る。

BODY



サイドアンダースポILER

●適応車種 全車 ●価格:5万9400円

フロントからボディサイドへと流れる空気を整流する。走行安定性を高めてくれる空力パーツだ。車高ダウンは約15mm。



フロントアンダースポILER

●適応車種 全車 ●価格:4万2120円

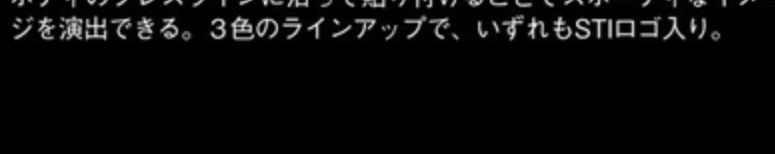
高速走行時にフロントに受ける空気の流れを整えて負圧を発生させ、フロントタイヤの接地性を向上させる。車高ダウンは約10mm。



リアアンダースポILER

●適応車種 全車 ●価格:4万3200円

フロントからサイド、そしてリアに流れる空気を整流して、前後の空力バランスを最適化させるエアロパーツ。



スカートリップ

●適応車種 全車 ●価格:1万800円

フロントアンダースポILER下部の先端に装着することで、より空力性能を高めることができる。フロントアンダースポILERの保護機能も。



フロントアンダースポILER

●適応車種 全車 ●価格:4万2120円

高速走行時にフロントに受ける空気の流れを整えて負圧を発生させ、フロントタイヤの接地性を向上させる。車高ダウンは約10mm。



リアアンダースポILER

●適応車種 全車 ●価格:4万3200円

フロントからサイド、そしてリアに流れる空気を整流して、前後の空力バランスを最適化させるエアロパーツ。



STIスタイルパッケージ

フロントアンダースポILER/サイドアンダースポILER/リアアンダースポILER 3点セット

●適応車種 全車 ●価格:12万9600円

3種のアンダースポILERをパッケージ。フロント、サイド、リアのデザインを統一することで、一体感のあるフォルムを生むことができる。

EXTERIOR

現在開発中のパーツも多数 リリースを心待ちにしたい

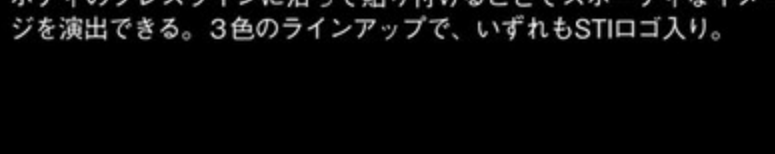
現在、以下のパーツが鋭意開発中だ。これらは、いずれも精巧な機能を持つアイサイトVer.3との十分なマッチングが計られたうえでリリースされる予定だ。アイサイト搭載車の割合が約9割というレヴォーグだけに、STIの安全性へのこだわりはうれしいところ。ぜひ楽しみにしておきたい。

SUSPENSION

コイルスプリング(F)	開発中
コイルスプリング(R) 標準ダンパー用	開発中
コイルスプリング(R) ビルシュタイン用	開発中
リヤサスペンションリンクセット	開発中

BRAKE

ブレーキパッドセット	開発中
------------	-----



ピンストライプ

●適応車種 全車

●価格:1万2960円

●カラー チェリーレッド、ダークグレー、シルバー

ボディのプレスラインに沿って貼り付けることでスポーティなイメージを演出できる。3色のラインアップで、いずれもSTIロゴ入り。

アルミホイールセット

- 適応車種 全車
- カラー：シルバー／ガンメタリック／ブラック
- 17インチサイズ：7.0J+55／P.C.D114.3／5H 価格：4万2120円
- 18インチサイズ：7.5J+55／P.C.D114.3／5H 価格：4万5360円

リム部の成型にスピニング工法を用いた、軽量かつ高剛性の鋳造アルミホイール。17インチと18インチで、各3色がラインアップする。



STIバルブキャップセット

- 適応車種 全車 ● 価格：4212円

STIロゴをあしらったアルミ削り出しのバルブキャップ。滑り止めのローレット加工やアルマイト処理などが施されたこだわりのアイテムだ。



ホイールナットセット(ブルー)

- 適応車種 全車 ● 価格：2万1600円

鮮やかなSTIロゴがあしらわれているだけでなく、専用工具でしか脱着できない簡易盗難防止機能も持つ機能的なホイールナット。

セキュリティホイールナットセット

- 適応車種 全車
- 価格：3万5640円

上の簡易ホイールナット16個に、小型の花形キー4個を加えたよりセキュリティ機能の高いナットセット。カラーはガンメタリックのみ。



プッシュエンジンスイッチ

- 適応車種 全車 ● 価格：1万6200円

ボタン部分にSTIのアイコンカラーであるチェリーレッドをあしらったプッシュ式のエンジンスタートスイッチ。



シフトノブ

- 適応車種 全車 ● 価格：2万3760円

STIのロゴを縫い込んだ本革製のCVTシフトノブ。操作感がよくなるだけでなく、インテリアのアクセントにも最適だ。



ペダルセット

- 適応車種 全車 ● 価格：1万4040円

確実なペダルワークをサポートするラバーパッド&ノンスリップシートが付いたアルミペダル。リニアなアクセルフィールを堪能できる。

INTERIOR



ラジエーターキャップ

- 適応車種 全車 ● 価格：3672円

サーキットなどの過酷な使用状況でも冷却水のオーバーフローを防止。鮮やかなチェリーレッドで、開弁圧は1.3bar。



スポーツオイルフィルター

- 適応車種 全車 ● 価格：3240円

チタン酸カリウム繊維を濾材とした、カーボン質などの微粒子もキャッチする。STIのイメージカラーであるチェリーレッドを採用。



STIオイル5W40(5ℓ)

- 適応車種 全車 ● 価格：1万4040円

ストリートからサーキット走行まで幅広く対応するエンジンオイル。高度なエンジン保護性能を長期間維持することができる。



スポーツマフラー

- 適応車種 全車 ● 価格：15万9840円

バフ仕上げが施された美しいオールステンレスマフラー。95φのスラッシュカットテールがスポーティな印象を与える。



バッテリーホルダー

- 適応車種 全車 ● 価格：9504円

フレキシブルタワーバーをデザインモチーフにしたバッテリーホルダー。機能性に加えて、エンジンルームのアクセントにも。



オイルフィルターキャップ

- 適応車種 全車 ● 価格：9504円

ダイキャスト成型に切削を加えたアルミ製キャップに樹脂のカバーを組み合わせた凝った作り。グローブをしていても扱いやすい。

WHEEL

ENGINE



<<< TOTAL TUNING

K2 GEAR



SYMS RACING



BLITZ



HKS



KANSAI SERVICE



GARAGE NOB



SUPER AUTOBACS
TOKYO BAY SHINONOME



WANGAN



PROVA



ZERO SPORTS



<<< MUFFLER

KAKIMOTO RACING



FUJITSUBO



AUTO PRODUCE A3



FENIX POWER KYOTO



AVO



<<< SUSPENSION & BODY

CUSCO



BILSTEIN



DEMONSTRATION LEVORGs

有名スバルチューナーそろい踏み

名車とうたわれたグランドツアラー・レガシィの正当な後継者であるレヴォーグ。そんなモデルをスバルチューナーたちが指をくわえて見ているわけがない。早くもレヴォーグチューンに着手した全国のスバルチューナーたちが手がけたデモカーを一気に紹介してみよう。そろそろ本格的に手を入れようと思ってるユーザーのみなさん、ぜひ参考にしてください！



KANSAI SERVICE 向井敏之氏

LEVORGを 大いに語る

長年のチューニング実績を武器とした冷静沈着な車両評価
そして取り組むべき対処ポイントの洗い出しに定評の高い
大御所チューナー、Kansaiサービス・向井氏
レヴォーグはどのようなアプローチが理想と考えているのだろうか

Photo：稲田浩章 Text：村田純也(四馬力)

スポーツツアラーとして
魅力をマイルドに高めたい

モデルデビューと同時にレヴォーグをデモカーに迎え、素早くノーマルチェック＆開発をスタートさせたKansaiサービス。ワゴンをベースとしたチューニングはBPレガシイやGRBインプレッサで取り組んでいたとはいえ、ほかのスポーツモデル開発で多忙な時期にレヴォーグへ注目した理由が気になるところだ。「ワゴン自体は使い勝手と走りを巧みに両立できる素材として評価しているんだけど、最近ではミニバン全盛でワゴン自体が少なくなっているうえ、ワゴンであってもボディサイズが大きすぎる。その点、レヴォーグはボディサイズも大きすぎず、小さすぎないジャストサイズ。アイサイトなどの

先進機能がチューニングに対して影響を受けないかも気になっていたし、FA20なら潜在ポテンシャルも高いと判断してデモカーに導入したよ」ということで、まず進められた

のがノーマルの徹底解析。これはレヴォーグだけに限らず、豊富にノウハウのある定番車種でもマイナーモデルチェンジされれば必ず行っているKansaiサービスの儀式だ。ノーマルを把握することでチューニングすべきポイントが見えてくる、というポリシーのもと、どのような評価が下されたのだろうか。

「全体的にバランスよく仕上げられているけど、気持ちよく走ろうとするなら足まわりはもっとしなやかに動かしたい。ポイントは回頭性やステアフィードバックを左右するフロントかな。ノーマルは少し剛性が不足している

CIRCUIT IMPRESSION



青木孝行選手

スーパーGT、スーパー耐久などで卓越した速さを見せつける実力派ドライバー。車両に応じたドライビングで無理なく速さを引き出していく。

快適な乗り味なのに 旋回性バツグン!

ストリート用の足がマッチングされているということもあって、乗り心地はノーマル以上にバツグン。ストロークは大きいんだけどゆっくりとロールしていくから、不快な腰砕け感もなく楽しく走れるね。コーナリングにしてもステアリングをきいていけばノーズがスムーズに入ってくれるので、ストレスは皆無。ハイチューンドのような圧倒的なパワーはないけどアクセルを踏み込めばしっかりと加速してくれるから、ストリートからサーキットまで現状の仕様で問題なく通用するはずだよ。余談だけど、気になったのはアイサイト。あまりに思いどおりのラインをトレースできるから前のクルマを追走していくと、警告音が鳴って怒られちゃった(笑)。単純にオフしてやればいいんだろうけど、この先進機能とチューニングがどのように共存していくかも楽しみだね。



トルクを強化しての頼もしさ演出が重要と判断しているFA20。耐久性はもちろんのこと、制御面に配慮した安定性も与え、ポテンシャルアップを図っていく予定だ。



ターボモデルではあるが、ブーストを高めても即ポテンシャルアップとはならない。ブーストを抑えつつ低回転から安定させていくことが重要となる。



ブアだが慎重なアプローチが必要と考えているブレーキ。まずはフロントのみスポーツパッドへ交換してアイサイトの動作を確認中だ。



シーンに応じて走り最適化できるSIドライブ。各モードの個別セッティングも視野に入れてコンピュータチューンを模索中。

感じだけど、安直に横方向ばかり強化すればクイックすぎて扱いづらくなるはず。高速クルージング時の頼もしさやブレーキング時のフィールアップも考慮しつつ、前後方向にウエイトを置いた剛性アップがいいだろうね。あと、スポーティに走るならブレーキもブア。ただ、アイサイトでブレーキ制御が絡んでいるから、バランスを崩すことがないように取り組んでいくべき。こうしたポイントに対処するだけで、レヴオーグの走りは格段によくなっていくはずだよ」

では、続いて気になるのがFA20チューンの可能性。すでにノーマルの解析を終えてブーストアップまで完了したデモカーから、どのような可能性を見出しているのかを尋ねてみた。「CVTとのマッチングや中間域重視ということもあって、タービンサイズは小さめ。だから、ブーストを引き上げていっても高回転でサージングするし、いかにブーストを安定させるかが重要な。今はパーツも出そろっていない状態だけど、ゆくゆくはメタルキャタライザーやハイフロータービンなどで低中回転を犠牲にせず高回転も強化していきたいところ。それよりも気になっているのは制御の細かさ。連続してのパワーチェックだと計測グラフが大きく乱れる原因を探っていて判明したんだけど、センタードフやCVTが高温になると、保護制御が介入してくる。トルク重視で仕上げるのが質の高いツアラ―完

成へのキーポイントと考えていたけど、ポテンシャルは問題なく引き出せても不安要素が生じれば意味がない。CVTへの負荷を考慮しつつ、じっくりチューニングを進めていきたいね」

ここまでの話を総括すると、レヴオーグはトルク重視のセッティングとリニアすぎないフットワークセッティングで欧州車の頼もしさを引き出していくチューニングアプローチがベスト。これは走りを意識しすぎていくと、ワゴンとしての使い勝手よさや快適性が薄れてトータルバランスに影響するとの考えからだ。

なお、デモカーは2.0モデルだが、向井氏はレギュラー仕様のダウンサイジングターボとなる1.6モデルにもひそかに注目している。まずはFA20でのセッティングアップが最優先となるが、共通のボディパッケージだけに開発へと着手されれば攻略はスピーディだろう。スポーツツアラ―としての魅力引き出しを求めるなら、Kansaiサービスはけっして目が離せない存在だ。

株式会社Kansai サービス
代表取締役

向井敏之氏

ベース車の魅力を引き出す能力にたけるベテランチューナー。これからレヴオーグをどのように進化させていくかに期待したい。

KANSAI SERVICE

Kansaiサービス 奈良県奈良市小倉町1080 ☎0743-84-0126 <http://www.kansaisv.co.jp>

目指すは欧州車ライクな質実剛健さ しなやかな足の動きで走りの魅力を高める

前ページでも紹介したように、スポーツアライとしての魅力を引き出しをコンセプトとしてチューニングが進められるKansaiサービスのレヴォーグ。ここで注目すべきポイントとなるのは、車種問わずに徹底したこだわりを注いで仕上げるフットワークセッティングだ。

イメージ的にはリニアなハンドリング＆引き締めた足というイメージ

があるだろうが、Kansaiサービスでは初期段階でボディ剛性のモノ足りない部分がないかをチェックしてフロア下を中心としたボルトオン補強パーツの開発へと着手。ストローク時に足まわり以外で生じるよいいな動きを抑制することへこだわった。

その結果、足まわりが積極的に動かせる理想環境が完成。最低地上高やラゲッジルームの使い勝手などは

いっさい犠牲とすることなく、ハイパーマックスⅣ・GTとのマッチングで乗り心地よさとハンドリングのリニアさが高次元で両立できる、欧州車のフットワークへと導かれている。

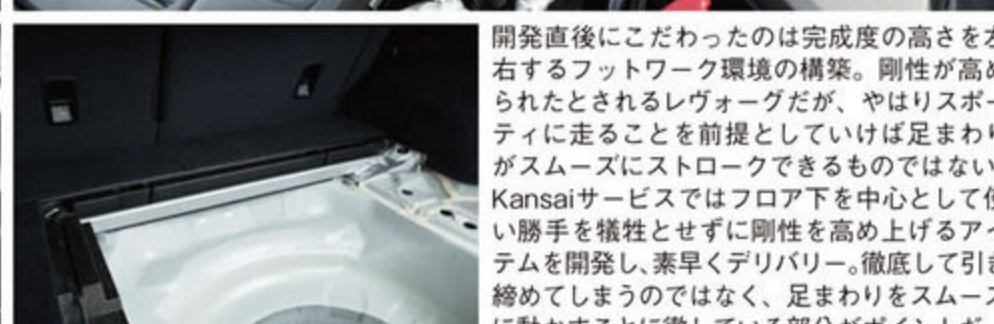
もちろん、こうしてボディのバツケーシングがしっかりと高められれば、仮にパワー関係がノーマルだとしても走りの楽しさはノーマルと別物。その仕上がりレベルの高さは、「フツ

トワークを整えたあとは、ポテンシャルアップへ取り組むより安定したドライビングを楽しむようにシート交換とブレーキチューニングを優先してほしい」という向井氏のアドバイスからも伝わってくるだろう。

なお、パワー系に関しては、マフラー交換のチェックを終えて、現在はエクテックを使っているブーストアツプまで進行中。キアアイテムと考えるメタルキャタライザーのリリース待ちといった事情もあるが、条件によってはCVT保護など細かな制御も介入してくるため、各段階をロングランテストしていく開発体制とした。

とはいえ、現状のライトな仕様でも296馬力&41.4kgmという好ポテンシャルをマーク。マフラーとコンピュータチューニングのみという少ない手数なので、コストパフォーマンスはバツグンのファーストチューンだ。

つねにベース車両の持ち味を高める自然体なチューニングメニューを模索するKansaiサービスだけに、レヴォーグでも定番として愛される仕様を生み出していくのは間違いない。まずはファーストメニューとして披露されたデモカーの仕様を目指し、スポーツアライとしての魅力を味わってみよう。



開発直後にこだわったのは完成度の高さを左右するフットワーク環境の構築。剛性が高められたとされるレヴォーグだが、やはりスポーティに走ることを前提としていけば足まわりがスムーズにストロークできるものではない。Kansaiサービスではフロア下を中心として使い勝手を犠牲とせず剛性を高めるアイテムを開発し、素早くデリバリー。徹底して引き締めてしまうのではなく、足まわりをスムーズに動かすことに徹している部分がポイントだ。



FA20はこまかな制御が絡むこともあり、慎重にチューニングを進めている。とはいえ、マフラー交換+コンピュータチューンで実現したブーストアツプは効果絶大のメニュー。



走りを楽しむための重要ポイントに掲げるスポーツシート。乗降性を犠牲とせずホールド性を高めるレカロLX-Fで安定したドライビングポジションを構築した。

DEMONSTRATION LEVORGS

SPECIFICATIONS

BASE

2.0GT EyeSight

ENGINE

HKSスーパーターボマフラー

KansaiスポーツECU

SUSPENSION

HKSハイパーマックスIVGT

BRAKE

Projectμ・タイプHC-CS

BODY

Kansaiフロントタワーバー

Kansaiリアタワーバー

Kansaiフロントロアブレスバー

Kansaiミッションメンバーブレスバー

Kansaiリアロアアームバー

Kansaiリアメンバーブレスバー

INTERIOR

Kansaiフロアマット フロント/リアセット

RECARO・LX-F

TIRE & WHEEL

YOKOHAMA

アドバンススポーツV105 235/40ZR19

YOKOHAMA

アドバンレーシングRSⅡ8.5J×19+51



乗り心地よさとハンドリングの頼もしさを演出するためハイパーマックスIV・GTをチョイス。ボディ補強効果でスムーズにストロークさせられることもあり、乗り味は欧州車ライク。

上質な走りのパートナーとして推奨するのはアドバンススポーツ。静粛性とグリップレベルを高次元で両立可能なコンフォートタイヤだ。



アイサイトとのマッチングを考慮し、慎重に進めるブレーキチューニング。まずはフロントのパッド交換、ローター交換と進み誤作動など生じることがないかを確認している。



SPECIFICATIONS

BASE

2.0GT EyeSight/1.6GT EyeSight

ENGINE

HKSハイパースペックLマフラー/スーパーターボマフラー

HKSスーパーハイブリッドフィルター

HKSフラッシュエディター(開発中)

HKSラジエターキャップSタイプ

HKSハイブリッドスポーツオイルフィルター

SUSPENSION

HKSハイパーマックスIV GT

TIRE & WHEEL

YOKOHAMA アドバンスポーツV105 235/40ZR19

YOKOHAMA アドバンレーシングRSII8.5Jx19+51

1.6GT/SUPER TURBO MUFFLER



2.0GT/HIPOWER SPEC L



1.6ℓに装着されているのがスーパーターボマフラーで2ℓがハイパースペックL。いずれのマフラーも1.6ℓ用、2ℓ用ともがリリースされる。純粋にスポーツ性能をねらうならスーパーターボマフラー、ファッション性も考慮するならハイパースペックLとなる。



エンジン関係はまだノーマルだが、純正交換タイプのフィルターが発売中。現在開発が進んでいるのは、プレミアムサクションキットとスーパーパワーフローという吸気系だ。

デモカーのためアドバンレーシングの19インチを装着しているが、純正サイズでもサスペンションのテストは行われている。



前後の車高バランスを整えながら低く構えたスタイリングで精悍なイメージを演出しながらも、乗り心地まで向上させている。



大人のツーリングセダンを演出する オリジナルパーツをラインアップ

幅広いユーザー層からの支持も高く、高いボディ剛性から生み出されるスポーツワゴンとしての資質を兼ね備えたレヴォーグ。これに対してHKSの出した回答は、「より快適に走りを楽しめるスポーティさを身につける」ということだ。

ベースの持つポテンシャルの高さは、HKSでも確認済みだ。ところがスタンダードな状態では高いボディ剛性から生まれるハンドリングは優れていても、リアシートの快適性はイ

ハイパーマックスVGT



走行性能の向上と乗り心地を高次元で両立

開発をスタートさせてから15年。構築されたノウハウに、つねに上積みを重ねてきたのがHKSのハイパーマックスシリーズだ。4代目となるGTは、そのネーミングのごとくグラウンドツアラーを意識して走行安定性を向上させることはもちろん、レヴォーグの走りのよさを引き出しながらもリアシートの快適性も向上させたセッティングを施す。しっかりと動かす30段調整のショックは高い減衰特性を再現させ、その乗り味は格別だ。

マイチ。ファミリーユース向けでもあることから、この点に留意して、「スポーツ性を高めながらも乗車した全員が快適なドライブを楽しめること」をコンセプトに開発はスタートした。この根本的な要因は、リアのショックストロークやセッティングにあると考えた。そのためリアのバンブラー任せのセッティングを見直し、しっかりとストロークさせることにポイントを置いたという。

また、スタンダードな状態でもフェンダーとタイヤのクリアランスは少なくはなっているものの、さらに低く構えて精悍さを増すこともスポーツサスペンションとして不可欠な部分。そこで車高を落としても前後のストローク量をしっかりと確保しながらサスペンションとしての機能を十分に生かせるように、内製ショックはMシャフトと呼ばれる太いサイズを採用。オイル容量が増えたことで減衰特性をリニアにしながらスプリングに追従するようにセツトアップでき

た。低速域でもショックの減衰が働き、しっかりとストロークし、路面の凹凸を吸収して上質な乗り心地を実現した。さらにハイスピードレンジでもロールスピードが増すにつれて高い減衰特性になっているので、不安なくコーナリングを楽しめるよ。車両の特性に合わせた足のセッティングはHKSの得意分野でもあるため、高い満足度を得られることは間違いないだろう。

エンジンに関してはD-ITの機能をさらに引き出すべくフラッシュエディターを開発中。マフラーはよりパワフルなサウンドを奏でながら高



開発部
坂詰達也さん

高い走行性能を引き出しながら、幅広いユーザー層に支持されるセッティングを施しています。今後も開発は続きますよ。



SPECIFICATIONS

BASE
2.0GT EyeSight
ENGINE
BLITZサスパワーコアタイプLM
BLITZニュルスペックVSマフラー
BLITZラジエターキャップ
BLITZレーシングオイルフィルターハイプレッシャータイプ
軽量バッテリー

SUSPENSION
BLITZ DAMPER ZZ-R SpecDSC
CONTROL
BLITZ スマートブレイン
BLITZ スロットルコントローラーフルオートプラス
TIRE & WHEEL
DUNLOPディレツァDZ102 235/35R19
ENKEI PF07

Photo：服部真哉／犬塚直樹 Text：塩見 誠



ダッシュボード上にセットされているのはスマートブレイン。本体でも表示できるが、スマホと連動させ専用アプリを使うと、さまざまな車両情報が表示できる。メーター右下にセットされているのはスロットルコントローラーとZZ-RスペックDSCのコントローラーだ。

しなやかな乗り心地と キビキビ動く操縦性のよさを サスと電制パーツで両立

レヴォーグというクルマはどんなキャラクターを持っているのか。ブリッツはそこをハッキリさせることから、アイテムの開発を始めている。具体的にいうと、たとえばBP/B型までのレガシイオーナーのうち、ターボエンジン車に乗っている人は自らが運転することを楽しむ傾向が強かった。ところがBR/BM型レガシイのオーナーは、快適性のほうを求める人が多く、それまでのレガシイ用アイテムと同じように味付けしたのでは、ベクトルにズレが生じてしまいがちだった。

ではこのレヴォーグはどうなのか？ まだはっきりとした傾向がつかめていないわけではないが、おそらく2ℓを選ぶ人はドライビングの楽しさを、1.6ℓを選ぶ人は快適性を重視するのではないだろうか……。

その両方のベクトルを同時に満足させるため、ブリッツが選択したのは、ダンパーZZ-Rを基本的にはマイルドな味付けとしつつ、走りの楽しさを求めるオーナーに向けては減衰力を調整することで、ダイレクトなハンドリングを楽しめるようにするというものだった。

具体的にいうとレヴォーグ用のZZ-Rは、アッパーマウントを強化ゴム製としている。これはピロアッパと比べるとだるさは出るが、ノーマルアッパよりしっかりと感があり、かつ振動吸収という面ではピロアッパに優っている。またバネレートは前後ともに6kg/mmと比較的柔らかめとすることで、自然なボディロールが得られるようにしている。そのため、減衰を緩めにセットしておくことと乗り心地がよく、減衰を締めればロール量は変わらないものの、ロールスピードが抑えられるため、ストリートレベルの走りであれば十分にスポーティなモノとなるのだ。

そういった減衰調整を室内から行うことができるのが、ダンパーZZ-RスペックDSC。このデモカーにはこれがセットされていたため、走行中に減衰調整ができ、さまざまな乗り味を確認することができた。用途が広い、というレヴォーグのキャラクターを考えたら、このZZ-RスペックD

DEMONSTRATION LEVORGS

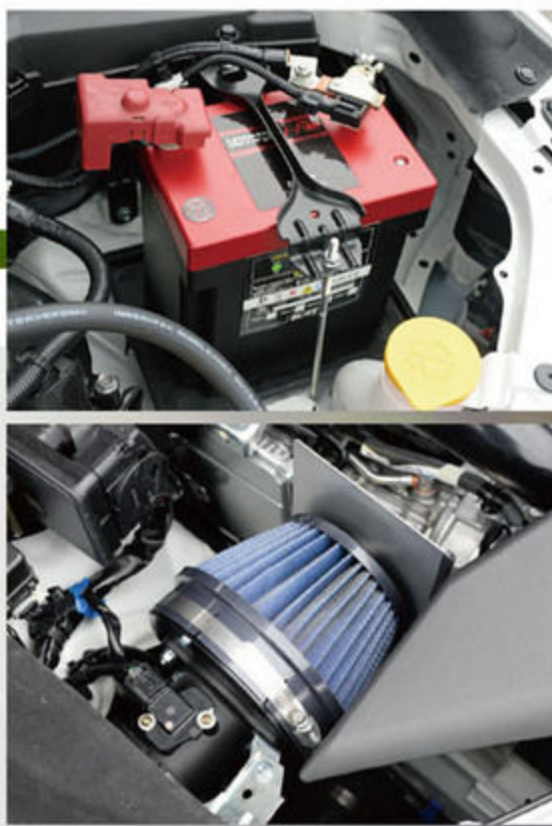


ブリッツ
小林潤一さん

「ファミリーでのドライブでも不快感がなく、ひとりで走るときにはスポーツカー並みの運動性能を実現できるよう工夫しています」

ホイールはエンケイのPF07をセット。サイズは前後とも19×8.0J+45というもの。ローダウンしたスタイルにマッチするフェースだ。

エンジンやタービンはノーマルだが、吸排気系のみオリジナルアイテムを装備。まずエアクリナーは、SUSパワーLMをセット。ノーマルエアダクトを使ってフレッシュエアを吸えるよう工夫されている。またマフラーはニュルスペックVSを装着していた。さらにバッテリーは超軽量なりチウムフェライトに交換。車軸より前に置かれているため、この部分の軽量化は非常に効果が大きい。ノーマルバッテリーと比べるとおよそ3分の1という重さのこのバッテリー、要注目だ。



CIRCUIT IMPRESSION

クルマのコンセプトどおりの仕上がりだね

「サーキットを走ってみた感じでいうと、このサスペンションの基本はストリートにあるな、と思う。前後のバランスは非常によく、加減速で何かが起こるというわけではないし、ロールは大きめだけど怖さがあるわけじゃない。減衰を緩めにするると伸び側の減衰が若干不足気味だけど、バンプ側のストロークがたっぷりあるので、だるいながらも問題なく走れる。逆に減衰を締め込むと、硬さが出てきてタイトコーナーでは内輪が浮き気味になって、激しくいくと制御が入ることもあった。そうやっていろいろ試した結果、この本庄のコースではフロントを20、リアは25にするといい感じで走ることができた。こうやって簡単に試せるDSCって、いいね」

井尻 薫選手

バンプ側ストロークがたっぷりあるので、ストリートレベルだったらこのサスペンションはとても扱いやすいはず、と井尻選手。



ダンパーZZ-RスペックDSCは、DSCなしのZZ-Rと基本は同じでアッパーマウントも強化ゴム製。ただ、標準モデルのZZ-Rが減衰32段階調整なのに対して、スペックDSCはステッピングモーターのおかげで32/64/96段階の調整が可能となっている。さらにこのスペックDSCは、車速による減衰力設定も可能。タッチブレインやスマートブレインと連動させれば、運動はより簡単だ。オプションのワイヤレススイッチはステアリングに装着しておく、手を放さずモード切り替えが可能。

SCは、マストアイテムといっている。さらにブリッツが得意としている電子パーツのうち、スロットルコントローラーも見逃せないアイテムのひとつといえる。右足の動きにエンジンがリアに反応すれば、荷重による姿勢やステア特性のコントロールが容易になる。サスペンションがノーマルでも、装着することで扱いやすくなることを感じられるこのアイテム、サスをZZ-Rにレベルアップしているなら、よけいにセットしておきたい。スロットルとブレーキによる姿勢のコントロールと、ゆっくりとしたボデイロールの具合がリンクしたときのレヴオーグは、いつまでも乗っていただくはずだ。



SYMS RACING

シムスレーシング 群馬県太田市本町43-15 ☎0276-25-1055 <http://www.syms.jp>

欧州車的なキャラクターを踏まえながら オリジナル리티を強調するアイテムでアピール

古くからのスバリストにとっては、シムスレーシングの名は特別な意味合いがあるはずだ。それだけスバルと深いつながりを持ち、数多くのパーツ開発を行いながらユーザーの高い満足感を支えてきた。

そんなシムスだけにレヴオーグに關しても早くから車両を導入し、パーツ開発も積極的に行ってきた。もちろん現在も継続中であり、その計画は長期にわたって行われるスケジュールが組まれている。それだけ本気な1台をと考えているのだ。

販売をスタートさせているのは、より高い個性を強調させることができるアイテムであるエアロシステム。オリジナルのボディデザインを崩すことなく、欧州車的なキャラクターのラインを強調するようにオリジナル리티を演出。擦れ違うレヴオーグオーナーの視線をクギづけにするかのようなインパクトを与えることに成功している。パーツ構成はフロントバンパー、サイドステップ、リアバンパー、リアウイングの4点。

フロントバンパーは開口部を大きくすることで冷却効果を高め、チューニングにも対応できるような順応性を持たせる。それでいて純正のフォグランプを使えるようにデザイン

ンされ、純正グリルとは明らかに異なるインパクトのあるデザインによって高い注目度を浴びることが可能だ。サイドステップはエッジをきかせながらもフロントからのラインをリアに流すように造形。こちらもフロント同様、塗り分けによってキリッとしたイメージをアピールする。

リアバンパーはディフューザー風な形状を採用してスポーティさを強調。サイドのアウトレットは純正リアバンパーの間延びしたイメージを払拭する。スポーツワゴンのイメージを引き出す効果が高いデザインだ。

同じくリアウイングもワゴンスタイルでありながらもスポーティさを演出するには効果的なデザインを採用。どれも洗練されたシムスらしい形状を踏襲しているといえる。

エンジンに関しては吸気系のエアインダクションボックスをカーボンで製造。より多くの空気を導入することが可能だ。マフラーはリヤマフラーとEXチャンバー付きのセンターの2ピースで、吸排気だけでもその効果を感じることが可能なアイテム。

今後もサスやボディダンパーなどパーツの開発を順次行っていく。高い完成度を求めるシムスだからこそ長期的なスパンが必要なのだ。

エアインダクションボックスは、上部からだけでなく下部からもエアを導入できるような構造で、多くのフレッシュエアを取り込む。オリジナルのオイルフィルターも準備される。



Photo : 服部真哉 Text : 高橋明宏

DEMONSTRATION LEVORGS

SPECIFICATIONS

BASE

1.6GTEyeSight

EXTERIOR

SYMS RACINGフロントバンパー

SYMS RACINGサイドステップ

SYMS RACINGリアバンパー

SYMS RACINGリアウイング

ENGINE

SYMS RACINGエアインダクションボックス

SYMS RACING EXチャンバー付きセンター&リヤマフラーセット

SYMS RACINGオイルフィスター

INTERIOR

RECAROクロススポーツスター

TIRE & WHEEL

YOKOHAMA アドバンスポーツ225/45R-8

OZレーシングITALY150 5J-18+45



シムレーシング マネージャー

遠山哲也さん

車両の性格を考えて方向性を決定しています。エンジンやサスペンション、ボディダンパーなどのパーツを開発する計画です。

ホイールはデザイン性に優れたOZレーシングのイタリア150を装着。サイズを8J×18としたことで、純正タイヤと同サイズを選択する。



リアエンドのメインサイレンサー部分とセンターのチャンバー部分の2分割で構成。テストを重ね、太さを抑えながらも排気の脈動を考えたことでトルク特性の向上をねらった。



シートはレカロのクロススポーツスターに交換。サイドサポートを低くして乗降性を高め、快適性とサポート性を両立する。



フロントバンパー、リアバンパー、サイドステップ、リアウイングの4点で構成されるエアロシステムは、純正のボディデザインを尊重しながらも、個性的なボディラインを描くようにデザインすることでヨーロッパ車の雰囲気を演出することに成功している。特徴のあるフロントフェイスは、開口部を広くしながらグリルデザインを大きく変更することで強烈なインパクトを形成。同じレヴォーグユーザーから間違いなく注目される形状となっている。



K2 GEAR

K2ギア 大阪府大阪市城東区今福東3-7-4 ☎06-6932-7772 <http://www.k2k2.jp>

いかにもといった形で主張するのではなく、ノーマルの持つスタイリングへなじむようにデザインされたフロントまわりのエアロパーツ。フロントリップスポイラーにしても前上がりなイメージを解消しつつ、ノーマルバンパーとともにスピード感を打ち出せる好デザインだ。なお、フロントグリルやバルジカバーとともに効果的なのがヘッドライト内側に与えるアイライン。アイシャドーのようにフェイスを引き結めることができるため、精悍さを手にすることができる。



リムエンドまでスラリと伸ばしたフラットスポークで優雅に存在感を主張するプロドライブのGC-05N。19インチだが20インチクラスのインパクトだ。



実走行でテストを進めるオリジナルのダンパーキット。スポーティなスタイルにふさわしいハンドリングの確かさと乗り心地よさをねらってセッティングアップ中。



Photo: 稲田浩章 Text: 村田純也(四馬力)

「ユーザーのニーズをこまやかに満たすバリエーション豊富なパーツラインアップ、そしてハイセンスに仕上げた歴代デモカーの実績から、スバル車力スタムにおける頼もしいパートナーとして広く支持を集めているK2ギア。レヴォーグに関しても1.6ℓ&2ℓの両モデルをデモカーへ導入する気合いの入れよう、着々と開発が進められている。

「レヴォーグは走らせて楽しめる好素材。機能系以外は共通ですし、1台専念体制でポテンシャルの高い2ℓモデルをベースに開発を進めても良かったのですが、それだとパワー系やフットワークで違いが生じる1.6ℓモデルのオーナーを待たせることとなってしまうため2台体制としました(平山さん)」

なお、デモカーへ投入されているのは大半がプロトタイプとなっているため、K2ギアからレヴォーグ用パーツのリリースが本格化するのには春ごろとなる。とはいえ、その仕上がりは素材の魅力を引き出すプラスαカスタムをコンセプトとしているだけに開発段階でも質感上々。

とくに注目しておきたいのは、オリジナリティの演出とトータルイメージを左右するエクステリアだ。フロント

ユーザーニーズへこたえる プラスαカスタムの提案で レヴォーグをブラッシュアップ

SPECIFICATIONS

BASE
2.0GT-S EyeSight
EXTERIOR
K2 GEAR フロントリップスポイラー
K2 GEAR フロントグリル
K2 GEAR バルジカパー
K2 GEAR アイライン
SUSPENSION
K2ギア・ダンパーキット
INTERIOR
Reiz Sports Steering 360F
K2 GEAR 3Dデザインマット
K2 GEAR マットプロテクター
K2 GEAR LEDマップランプ
TIRE&WHEEL
BRIDGESTONEポテンザS001
PRODRIVE GC-05N

SPECIFICATIONS

BASE
1.6GT EyeSight
ENGINE
カキモレーシング・レグ06&R
EXTERIOR
K2 GEARフロントグリル
K2 GEARクォーターメッキモール
SUSPENSION
K2 GEARダウンサス
INTERIOR
K2 GEAR 3Dデザインマット&ラゲッジマット

また、あまりに自然で見落としてしまいそうになるが、クォーターウィンドウ下のメッキモールも要チェック。不自然に途切れていたノーマルのメッキ部分が整うことで、高級感あるサイドセクションが手に入るのだ。

もちろん、ほかのモデルで好評を集めるステアリングやフロアマットなどもデビューに向けてスタンバイ。エクステリアと同様、後付け感なく質感を高めていくことができるシンプル仕上げとなっている。

いずれのアイテムも首を長くして待つ価値は大いにあり。テストの進むフットワークに加えて近日中にはサイドステップエンドやリアサイドヘ

プラスαしたアイテムも披露されてくるので、K2ギアの考える理想のレヴォーグを心待ちにしておきたい。

ントグリルを奥行き感あるメッシュ仕様とするだけでも印象深いフェイ

スとなるが、薄っぺらいイメージとならないようにバルジカパーまで用意して存在感をフロント全体でアップ。エッジを巧みにきかせてスピード感を打ち出すリップスポイラーでボトムに視線が誘導されても、レヴォーグらしさが崩れない秘訣は、この卓越したボリウムコントロールにあるの



フロントグリルのみマッチングさせてもフェイスイメージは大きく変わる。さりげなく仕上げたいユーザーにうってつけ。



1.6ℓモデルのポテンシャルチェックを兼ねて投入したカキモレーシングのマフラー。今後はコンピュータチューンも手がける予定。



ライツ・スポーツステアリングはオプションでカーボンベゼルが用意される。インテリアで存在感を放つキーポイントだけに、ここでのアクセントづけは効果テキメンだ。



専用設計でジャストフィットする3D形状フロアマット&ラゲッジマットはもちろん、スムーズなステアリング操作をねらって作り込むライツ・スポーツステアリングもデビュー間近。また、高級感と使い勝手を高めるLEDマップランプといった光モノも拔かりなした。一度摩耗すると補修困難に陥ってしまうフットレストサイドのフロアカーペットをレーシーに保護するマットプロテクターも、コンディション良好な段階で素早く投入しておきたい注目アイテム。



K2ギア
平山清啓さん

ユーザーのニーズをサポートするためのパーツ開発へ日夜取り組む平山さん。年内にはフルエアロの提案も視野に入れてレヴォーグカスタムを進行。



ラゲッジやフロアのマットはブルーステッチ以外にレッドステッチもラインアップ予定。インテリアのイメージに合わせたカラーコーディネートを楽しむことができる。

ZERO SPORTS

ゼロスポーツ ☎058-380-2828 <http://www.zerosports.co.jp>



3ピース構成でボトムボリュームをコントロールするフロントストレイク&フロントセンター。センターのみ、両サイドのみといったアレンジも楽しめる注目アイテムだ。

SPECIFICATIONS

ENGINE

ZEROSPORTS N1エアクリナー
ZEROSPORTS ツインワールドリーガー
ZEROSPORTS オイルフィーラーキャップ
ZEROSPORTS WRCクランクブリー

SUSPENSION

ZEROSPORTS ウィニングRS

BRAKE

ZEROSPORTS ブレーキパッド

EXTERIOR

ZEROSPORTS フロントストレイク&フロントセンター

INTERIOR

ZEROSPORTS シングルメーターフード
ZEROSPORTS スポーツフロアマット

TIRE & WHEEL

YOKOHAMA アドバンネオバAD08 245/35R19
YOKOHAMA アドバンレーシングRS-D



Photo : 稲田浩章 Text : 村田純也(四馬力)

コンフォートスポーツをコンセプトに掲げて ゼロスポーツがレヴォーグチューンを開始!

スバルチューナーとして数々のアイテムをデリバリーし、ユーザーを魅了するゼロスポーツ。ただ、気になるレヴォーグに関しては、ようやく初期のパーツ開発が完了直前といった状態だった。

「VABの開発へ追われていたという理由もあるのですが、レヴォーグに与えられた車格を考えると1ランク上の上質な1台へ仕上げるべきと考え、初期段階から慌てずじつくりと取り組むことに決めていました。コンフォートスポーツをコンセプトとし、ライトなメニユーでパーツ展開していく予定です」(栗本さん)

そんなわけで、ファーストアプローチのメインパーツとして重要視したのは、ダンパーキットとリアピース交

換のマフラー。走行ステージに左右されることなく快適な乗り心地で楽しめるハンドリングの確かさ、アクセルを踏み込むのが楽しくなるサウンドチューンこそがレヴォーグの魅力を引き出すと判断したからだ。

なお、開発を進める一方で思案されていたのは、前上がりなフェイスで優雅さに欠けるスタイリング改善。いくらダンパーキットで車高を下げていっても前上がりとなるボトム関係は打破できないこともあり、使い勝手とノーマルの持つボディラインを崩さないフロントストレイク&フロントセンター誕生へと行き着いた。

コイツはクリップと両面テープだけで簡単にフロントバンパーへブラスすることができ、3ピース構成の

エアロパーツ。クリアランスが厳しくなるフロントアンダースポイラーのようにギャップでの干渉を気にすることなく手軽に扱えるうえ、センターだけやサイドだけといったアレンジも楽しめるアクセントアイテムだ。

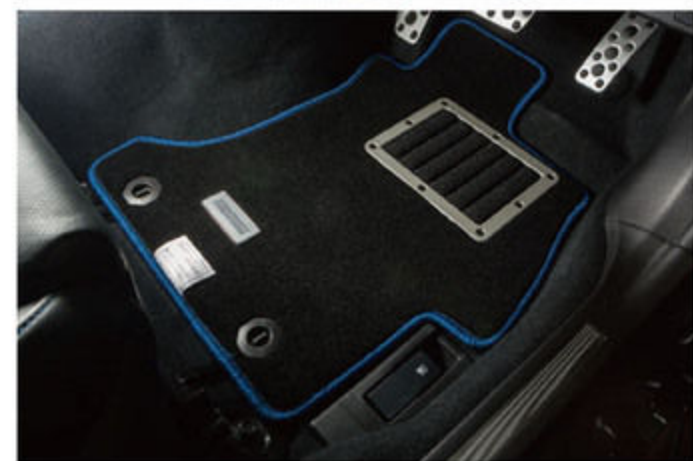
もちろん、ゆくゆくはレガシィでリリースしていたようなエアロパーツデリバリーも予定しているのだが、手軽に不満要素を解消できる新たなパーツ開発を優先したことから、ゼロスポーツがどれだけレヴォーグの魅力を引き出しに慎重となっているかわかるだろう。

ちなみに、今後はラジエターホースやブレーキラインなどの走りの魅力をこまやかにアシストするアイテムを中心とした開発が進められていく。



アイドリング時にノーマル同等の静音性としながらアクセルを踏み込めば上質なサウンドが楽しめるツインワルドリーガーを軸として、ライトチューンを提案していく予定のFA20。エンジンルームに映える機能美パーツとして人気のWRCクランクプリーに続き、クールアクションやラジエターホースなども順次開発を進めていく。

ストリートでの乗り心地とダイレクトなステアフィール実現にターゲットを絞り込んで仕上げるウイニングRS。コンフォートスポーツを実現するキーアイテムとして開発進行中。



ヒールプレート付きフロアマットや視認性とフィッティングの両方からクオリティを追求したシングルメーターフードも近日リリース。インテリアのアクセントアイテムとして注目!



ストリート、スポーツ、サーキットと3つのスペックで新たにモデルデビューするブレーキパッド。ブアなノーマルブレーキからの脱出にうってつけとなる存在だ。



暫定でマッチングされたアドバンRS-D。レヴォーグはスポーツよりもラグジュアリーテイストが打ち出せるアイテムを模索中だ。

ゼロスポーツ 栗本 誠さん

車格に応じてフレキシブルなセットアッププラン提案を心がける栗本さん。レヴォーグは焦らずじっくりと取り組んでいく予定。



スバル専門チューニングメーカーが放つ 走りのスタイリッシュワゴンへの変貌

インプレッサをベースにニュルブルクリンク24時間レースへの挑戦やスパー耐久への参戦など、スバル車をベースに輝かしい戦績を残してきたプローバ。これまでも数多くのチューンドパーツをリリースし、多くのスバルユーザーから高い支持を獲得している。

レヴォーグに関しても登場後、間もなくパーツ開発をスタートさせ、す

で多くのラインアップをそろえている。開発のコンセプトは「官能的なドライビングを楽しめるスタイリッシュワゴン」だ。

レーシングドライバーとして多くの経験を積む吉田寿博選手がその開発を担当しながら、レヴォーグが持つ素材のよさを徹底して引き出すことで、ストリートでの安定した走行性能とスポーツ走行での追従性を両立。

低く構えたスタイルを形成しながらも20インチの大径ホイールを装着しても乗り心地を損なわないように、サスペンションはオーリンズDFVをベースに減衰力特性を変更。シャイブなハンドリングと、路面とのコンタクトを失わないようなセットアップを実現して、高い速度域でも安定した走行性能を得ている。

またピロボールのスタビリンクも

用意。車高によって変化するテンションを安定させ、リニアなスタビライザーの効果を発揮することが可能だ。

エンジンはより効率的に吸入空気を取り入れるカーボンインテークダクトにスポーツエアフィルタをセット。さらにブラックステンレスを採用したテールパイプのスポーツマフラーはリアビューを引き締め、独特のサウンドでドライバーのスポーツマインドを刺激する。

ボディワークにもプローバならではのエッセンスを加えることで、レヴォーグが持つオリジナルのボディラインを強調しながら、さらに周囲の

視線をクギづけにするような大胆さも持ち合わせている。

パーツ構成はフロントアンダーリップ、サイドアンダーステップ、サイドアンダーエクステンション、ルーフレールエクステンション、オーバーフェンダーパネルキットの5点となっており、装着も比較的手軽に行えるようになっている。注目のオーバーフェンダーは7mmほどワイドになるが車検には問題なく、それでいてボディの印象をガラリと変身させる効果を演出。数多くのレヴォーグユーザーの一步を先を行くなら、欠かすことのないアイテムといえる。



エンジンルームで黒く輝くカーボンインテークダクトは外気を積極的に導入し、スポーツエアクリナーを装着することで吸入抵抗を軽減させる。スポーツラジエターキャップは調整弁圧アップさせることで冷却システムの性能を引き出す。特殊な表面処理を施したブラックステンレスを採用するスポーツマフラーは、官能的なサウンドを響かせながらも保安基準に適合、リアビューを独特な雰囲気に変える。スポーツECUは現在開発中だ。



ホールド性に若干難のある純正シートから、レカロのスポーツスターへと変更。現行モデルとは異なるブルーの配色を施したタイプを装着する。



DEMONSTRATION LEVORGS



PROVA レーシングドライバー

吉田寿博さん

「普段から営業にも使ってますけど、燃費もいいし安定した走行性能とハンドリングは格別ですね。乗っていて楽しいですよ」

サスペンションシステムはオーリンズのDFVをベースに減衰力特性をオリジナルに変更することで、さらに路面との追従性を高めながらもシャープなハンドリングと高速安定性を向上させてスポーツ走行にも対応する。スタビリンクはピロボール式を採用し、車高に対する変化に対応させながらスタビライザーの効果を100%発揮できるようにセットアップが可能。そのほかにも純正ビルシュタインにマッチするローダウンスプリングもリリースされている。



SPECIFICATIONS

BASE

2.0GT EyeSight

EXTERIOR

アンダーリップスポイラー

サイドアンダーステップ

サイドアンダーエクステンション

ルーフエクステンション

オーバーフェンダーパネルキット

ENGINE

PROVAカーボンインテークダクト

PROVAバイパスバルブDIT

PROVAスポーツマフラー

PROVAオイルフィルターキャップ

PROVAスポーツエアフィルター

PROVAラジエーターキャップ

SUSPENSION

OH LINES DFV

FOOTWORK

PROVAピロボールスタビリンクG/D

TIRE&WHEEL

MICHELIN/パイロットスポーツ 245/30ZR20

PROVAオールエイト8.5J×20+44



ブローバオリジナルホイールのオールエイト。ブラッククリアの8.5J-20+44を装着。このほか純正タイヤにマッチする18インチも用意する。



Photo : 小竹 充 Text : 高橋明宏

素性のよさを生かした チューンを目指す。オリジナル 車高調キットも完成



ワンガン
堀切孝宏さん

「レヴォーグはノーマルでもスポーティな走りが魅力のワゴンなので、その特性を伸ばす方向でチューニングしていきたいですね」

歴代レガシィのドレスアップパーツを手がけてきた「ワンガン」が、レヴォーグ用のパーツ開発にも着手。レガシィユーザーに支持されてきた、オリジナルセクスのテイストを盛り込んだパーツを次々と投入し、ラインアップを拡充中だ。

ワンガンのコンセプトとしては、レヴォーグには「高速ツアラーやストリートスポーツの要素がある」ということで、その「素性のよさ」を生かしたチューニングを目指している。普段使いでのワゴンとしてのユーティリティの高さを保ちつつ、いざというときにはドライバーの感性に訴えるスポーツフィールを発揮できるようなチューニングだ。

そこで、まずオリジナルのマフラーを開発した。レヴォーグのようなターボ車にアフターパーツのマフラーを装着すると、音量が大きくなりすぎることもあるが、ワンガンではあくまでもジェントルでスポーティなサウンドを追求しており、アイドリング時の音量を抑えながら、アクセルを踏み込んでいったときに「気持ちいい音」が出るよう、マフラー内部の構造にこだわった。

そしてもうひとつ注目したいのが、オリジナルのサスキット「MONOC

EROS」だ。アラゴスタ製ダンパーをベースに、ワンガンがオリジナルの減衰力、ストロークなどを設定したモデルだが、ストリートでの乗り心地とスポーツ性能の両立を目指して開発されている。取材時はその試作品によるインプレッションが行われたが、その後製品は完成し、リリースに至っている。開発には純正タイヤを使用（もちろんスポーツタイヤもテストしている）し、いろいろな走行状況でのデータを取りながら、最終仕様が決定された。レガシィチューンでは定評があったワンガンが手がけただけに、レヴォーグユーザーとしても、その性能には期待したいところだろう。

そして、こうした機能パーツとともに、ワンガンが従来からラインアップしているHID製品についてもレヴォーグ用を新規に開発。レガシィでも好評だったHIDフォグランプは純正のLEDヘッドランプやポジショニングランプとの色あいのマッチングを図った。また、ルームランプやカーボンパネルなどのインテリアパーツも投入している。

スバル車のチューニング&ドレスアップを知り尽くしたワンガンだけに、ツボを押さえたパーツを用意してきた。今後の展開にも期待したい。





SPECIFICATIONS

■BASE

2.0GT-Sアイサイト

■ENGINE

ワンガン・ステンレスマフラー-ZEROplus+

■SUSPENSION

MONOCEROS

■EXTERIOR

ワンガン・Hyper HID Light Σfor FOG

■INTERIOR

メーター・インナーパネル(あや織りカーボン)

エアコンカバーパネル(あや織りカーボン)

ワンガンWARM(LED室内灯)

■TIRE&WHEEL

DUNLOP SP SPORT MAXX 225/45R18

AME CDS1 8.0Jx18



オリジナルサスキットの「MONOCEROS」。市販に向けていろいろな状況を想定したテストが行われた。バネレートはフロント:8kg/mm、リア:6kg/mmに決定されている。



マフラーは純正同様、左右2本出し。テールピースのみを交換するオールステンレスタイプ。シンプルだが高級感のあるマフラーだ。

純正フォグランプの位置にボルトオンで装着できるHIDフォグランプ。6000Kタイプと3000Kの2タイプを用意している。3000Kはやや黄色っぽい光で、6000Kは青白い光を放つ。



ホイールはAME CDS1。サイズは8Jx18だ。シックなカラーがレヴォーグに似合う。現在はサステストのために純正タイヤを装着。



インテリアパーツとしては、メーターフードのインナーに装着するインナーパネルと、空調ダクト用のパネル(ダッシュボードの4カ所)を用意する。いずれもカーボン製となっており、ダクトパネルは平織りとあや織りの2タイプを設定。また、マップランプなどインテリア照明には、暖色系のLEDを装着している。



CIRCUIT IMPRESSION 井尻 薫選手

サスペンションもマフラーもスポーティな味付け

アラゴスタのダンパーらしい応答性のよさがうまく生かされたセッティングになっている。車高調整式のサスキットが組まれているが、純正タイヤとの組み合わせということもあって、サーキットでの全開走行では若干、内輪のリフトが出やすい傾向にあった。ただ、これは減衰力のダイヤル調整で十分対応できる範囲だろう。全長調整式のダンパーなので、スポーティなフィーリングを保ったままで車高を変更できるメリットがある。エンジンに関しては、マフラーがオリジナルに交換されており、音質がとてもしポータィになっている。サーキットではアクセルのオンオフだけなのでわかりづらいが、ストリートであれば、吹け上がり時に心地よいサウンドが楽しめると思う。



KYOBAY SHINONOME

スーパーオートバックス東京ベイ東雲 東京都江東区東雲2-7-20 ☎03-3528-0357 <http://www.sa-tokyobay.com>

Photo：服部真哉／金子信敏 Text：松本尊重

LEVORG
East cloud



まずはストリート仕様で
レヴォーグの上質な走りに
いっそう磨きをかける

BRZやレガシィでサーキット・タイムアタック仕様を作り上げてきた実績を持つスーパーオートバックス東京ベイ東雲。スバル車のチューニングにおいては、プロショップと同等レベル、あるいはそれ以上のノウハウを持っているが、レヴォーグに関しては、サーキット仕様よりもストリート仕様を目指してセットアップ。レヴォーグならではの「上質な走り」に、さらに磨きをかけるチューニングを施している。

オートバックスは各社のチューニングパーツを扱う量販店なので、そうした数多くのパーツの中から、レヴォーグの性能を高めるパーツを選択しつつ、どのパーツがどんなユーザーにマッチするかというデータよりも行わなければならない。そのため、現在サスペンションやマフラーなど、数社のパーツをテスト中だが、今回チョイスしてきたのは、HKSのハイパワースペックレマフラーと、オーリンズ・DFVダンパーだ。

レヴォーグの直噴ターボエンジンについては、コンピュータチューニングのデータ作りをしている最中。ということもあって、パワーアップよりも、フィーリングアップをねらってHKSのマフラーをチョイスしている。今後、チューニングが進んでくれば、エアクリーナーなどの吸気系パーツもテストする予定だ。

サスペンションについては、DFVダンパーをベースに、SA東雲オリジナルの減衰力を設定する。ストリートでの乗り心地のよさを確保しつつ、スポーツ走行にも対応できるサスキットの完成を目指し、ストリートおよびサーキットで開発テスト中だ。今後、SA東雲スペシャルとして、オリジナルサスキットをリリース

するということで楽しみだ。また、フットワークチューニングの一環として、ホイールもオリジナルの軽量タイプ（TWS製）を組み合わせている。PCDが114・3になったことで、軽量かつ高剛性といった選べる高性能なホイールが少なくなってしまう。それならば、とTWSにオーダーし、SA東雲オリジナルを製作したのだ。「上質な走りの性能を発揮するプレミアムなレヴォーグを作りたい」が、その実現のためにフットワークパーツにはこだわりました（SA東雲・田中さん）ということだが、今回出来上がった車両は、まさにねらい通りの仕上がりになっているといえるのではないだろうか。

スーパーオートバックス
東京bay東雲

田中智己さん

「レヴォーグは上質なスポーツワゴンなので、走りのクオリティを高めるチューニングを心がけています。これから各社のパーツをテストして、お客さんに向けて情報提供していきます」



CIRCUIT IMPRESSION 井尻 薫選手

ストリートスポーツ向けのサスセッティングが絶妙

サスペンションのレベルが非常に高い。レヴォーグのフットワーク性能を使いこめたセッティングだ。スポーティストリート仕様のコンセプトに合っていて、ラジアルタイヤとのマッチングもとてもいい。ダンパーが動き出すときのフリクションが小さくてスムーズだし、バネレートのセッティングが絶妙で、ヘルパースプリングなしで遊びが出ないギリギリのストロークに設定してあるため、イン側の後輪が浮くこともない。そのため、ウェットな路面でも踏んでいける。逆に現在のタイヤ(ネオバ)だと、グリップが高すぎる感じで、サーキットのような路面のいいところではロールが大きくなりがち。もう少しコンフォートなタイヤのほうがベストバランスかもしれない。

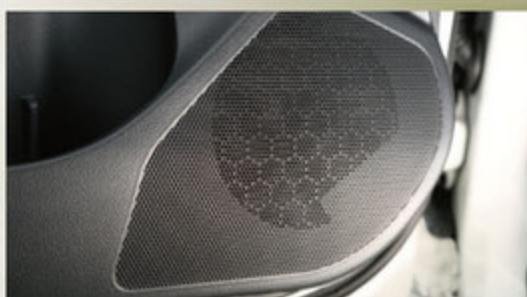


マフラーはHKSのハイパワー・スベックL。テールパイプにカーボンが巻かれたスパルタンなルックスが人気のマフラーだ。

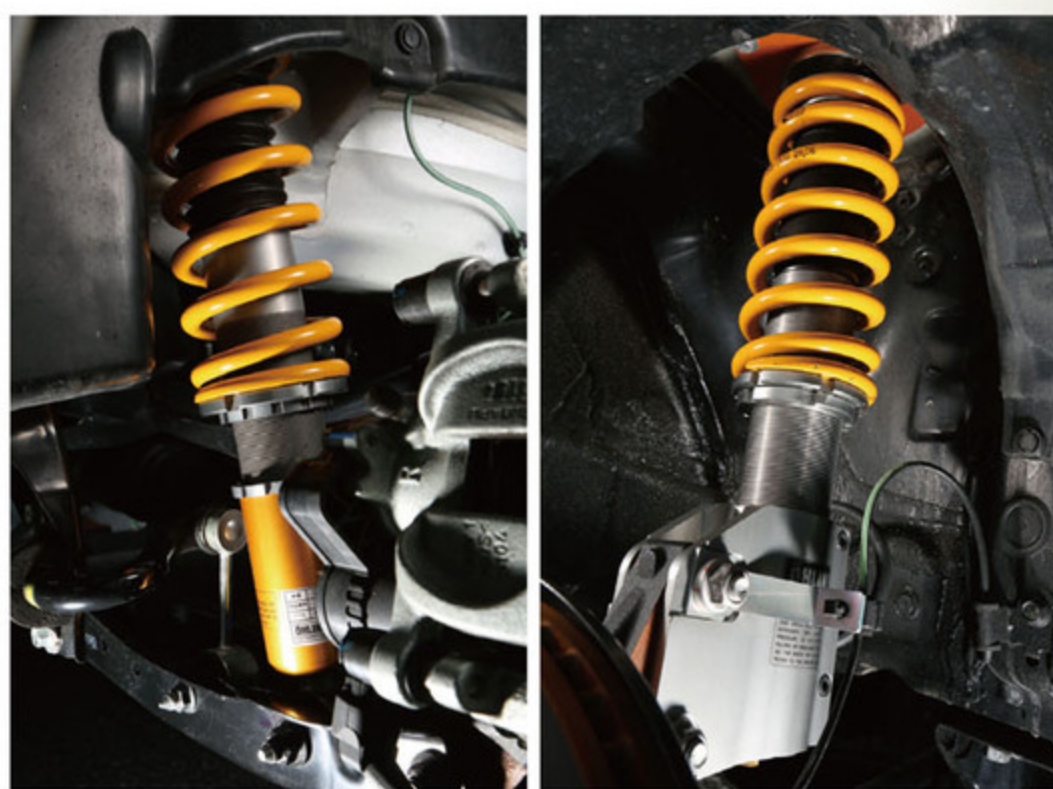
ホイールはTWSのT-66F。鍛造で軽量・高剛性。特注設定のサイズは8.0J×18+45で、カラーはレーシーなフラットブラックをチョイス。



インテリアでは、メーターフード内側に装着するフードリングを用意した。コックピットをスポーティに演出する。



「プレミアム・レヴォーグ」のために、ソニックデザインのスピーカーを開発中。ハスレフボックス装備ながらトレードインで交換できる。



オーリンズ・DFVダンパーは、減衰力設定がオリジナルとなり、フロント10kg/mm、リア7kg/mmというスプリングが組み合わせられる。前後ともヘルパースプリングはなしだ。



フロント&リアの六連星オーナメントはオリジナルタイプに変更。カラーは「オニキスブラック」で、純正に比べてダークだがシックな印象。



レヴォーグは外観上の識別点が少ないので、2.0モデル用にグレードエンブレムを製作。オリジナルパーツとして市販される予定だ。



SPECIFICATIONS

BASE
2.0GT-S EyeSight
ENGINE
HKSハイパワースベックL
SUSPENSION
OHLINS BTO
EXTERIOR
スパルマークオリジナルエンブレム
オリジナルグレードエンブレム
INTERIOR
オリジナルメーターフードリング
TIRE & WHEEL
YOKOHAMA アドバンネオバAD08 225/45R18
TWS T66F東雲オリジナル 8.0J×18+45

ハイセンスに仕上げた 全ステージに対応する オールラウンドビークル

レガシイやフォレスターを中心に展開し、スバルチューナーとしての地位を確立しているガレージノブ。レヴォーグではユーザー目線のマシンメイクを発信するべく、代表である坂下さんの個人的な好みやセンスをふんだんに盛り込み、マイカー感覚で仕上げられている。

パーツセレクトを進める上で多趣味の坂下さんがイメージしたのは、街乗り、ワインディング、ロングツーリング、さらには雪山まで、幅広くカバーするオールラウンドプレーヤー。あらゆるステージに順応できる懐の深さと安定性を求めた。

そこで、オリジナル車高調ではローダウン量を実用的な25mmに設定し、そのなかで最大限のストローク量を

確保。柔軟性のある走りを生み出す。オーバーホールをしながら長く使うことができ、用途や目的に応じた要望を反映させやすいフルオーダーモデルであることを評価し、ベースダンパーにはアラゴスタを選ぶ。

ヨレやタワミを適度に抑制し、車高調のポテンシャルをフルに引き出すため、ゴム製の純正サスペンションブッシュはウレタン製に変更。スタビリンクも摺動性に優れたオリジナルピロリンクへと置き換える。

加速フィールについてもスムーズで違和感のない特性を理想に掲げる。インタークーラー、マフラー、吸気経路の構築など、すべてのパーツにおいて、ピークパワーよりもピックアップのよさや安定性を重視する。



車高調はアラゴスタベースのオリジナル。バネレートはフロント9kg/mm、リア7kg/mmに設定し、幅広いステージをカバーする。



車体を補強するパーツとして、リアフレームエンドバー(RFEB・写真下)とフロントフレームトップバー(FFT・写真上)をラインアップ。



ヨレなどを抑えてダンパーのスムーズな動きを引き出すため、一部のブッシュを純正ゴムからスーパープロのウレタンに変更する。



重荷重に対応したピロボールを採用するオリジナルピロスタビリンク。ターンバックル部もA7075超超ジュラルミンを用いる。

また、スバル車は伝統的にオーバーヒート傾向が強く、水温の上昇とともに点火時期がリタードしてしまうことで空燃比が濃くなり、加速感が鈍くなりやすい。ストリートでも一定の冷却対策は必要と考え、高性能ラジエターや水冷式オイルクーラーの導入でコンディションの維持に努める。

エクステリアは「ノーマルのキャラクターを壊さず、ほどよく精悍さが加わっている」と、シムスのエアロを選択。部分的にブラックアウトすることで、精悍さと躍動感を増幅させる。ホイールは「雪のシーズンでもセンスをアピールする気持ちを忘れたくない」と、19インチのレイズ製ホムラ2×5sを選び、スタッドレスと組み合わせる。随所に坂下イズムが反映され、微塵の妥協もない。



スタッドレスタイヤ用に19インチのホムラ2×5sを奢る。躍動感のあるスポークデザインと質感の高い作り込みが魅力だ。



機能性とアクセント効果を備えたフットレストガイド。1.2mm厚のアルミを使用し、レッドとブラックのアルマイト仕上げを用意。



DEMONSTRATION LEVORGS



SPECIFICATIONS

BASE

2.0GT-S

ENGINE

SYMSエアインダクションボックス

SAMCOエアインダクションホース

AVOインタークーラー

FUJITSUBOエキマニ

SYMSマフラー

garage NOBアルミ2層式ラジエター

garage NOB水冷式オイルクーラーキット

garage NOBウォーターポンプブリー

garage NOBクランクブリー

garage NOBブリーカバー

SUSPENSION

garage NOBアラゴスタ車高調

garage NOBスタビリンク

Super Proサスペンションブッシュ

EXTERIOR

SYMSフロントバンパー

SYMSサイドステップ

SYMSリアバンパー

SYMSリアウイング

INTERIOR

garage NOBフットレストガイド

WHEEL

HOMURA 2×5s



水温上昇を抑制するため、アルミ2層のオリジナルラジエターを導入。クーラントも全量交換の高性能タイプに入れ換えられる。



オリジナルエンジンオイルクーラーキットは、コンパクトなので装着スペースを確保しやすく、価格も手頃な水冷式を採用している。



インタークーラーは高効率なAVOのビッグコアタイプを採用。サムコのエアインダクションホースなどで吸気経路の改善も図る。



排気系はシムスのマフラーと45φのフジツボのエキマニで構成。アクセルのツキがよく、なめらかでスムーズな加速が得られる。

ANALYSIS THE ENGINE POTENTIAL TURBOWORLD JAPAN

AVO Turboworld japan ☎042-549-1296 <http://www.avoturboworld.jp/>

発売早々にレヴオグを購入した AVO。WRX STIを購入するものだと思っていたので少し意外だ。「WRX STIはEJエンジンだったからすぐに買わなくていいかなって。レヴオグはすごく売れてるし、面白そう」とロス代表。

ハードユーザーではないだろう。そこでいきなりチューニングパーツを装着するのではなく、まずはパワーチェックやコーナーウエイトでの体重ならぬ車重測定を行うことにした。ダイナパックを備えているため、まずはパワーチェックから始めることにした。なお AVO が選択したのは 1.6

データどりのために
アイサイトレス仕様をチョイス
まずは「体力測定」で実力拝見



Photo: 犬塚直樹

ブースト比較



ブーストの落ち方もあまり変化がないようだった。やはりダイナパックではきれいに計測できないのが残念なところ。クルマがスリップしていると判断しているような節があった。

レギュラーガソリン / I mode



レギュラーガソリンの計測をしたときにインテリジェントモードだったので、ハイオクのときにもそろえるようにした。レギュラーで173.8馬力/26.0kgm、ハイオクで175.2馬力/26.1kgmと、馬力の数値で1.5馬力ほどのアップだが、これは誤差の範囲？ 乗り続けているとコンピュータが学習してもっと変化があるのかもしれない。

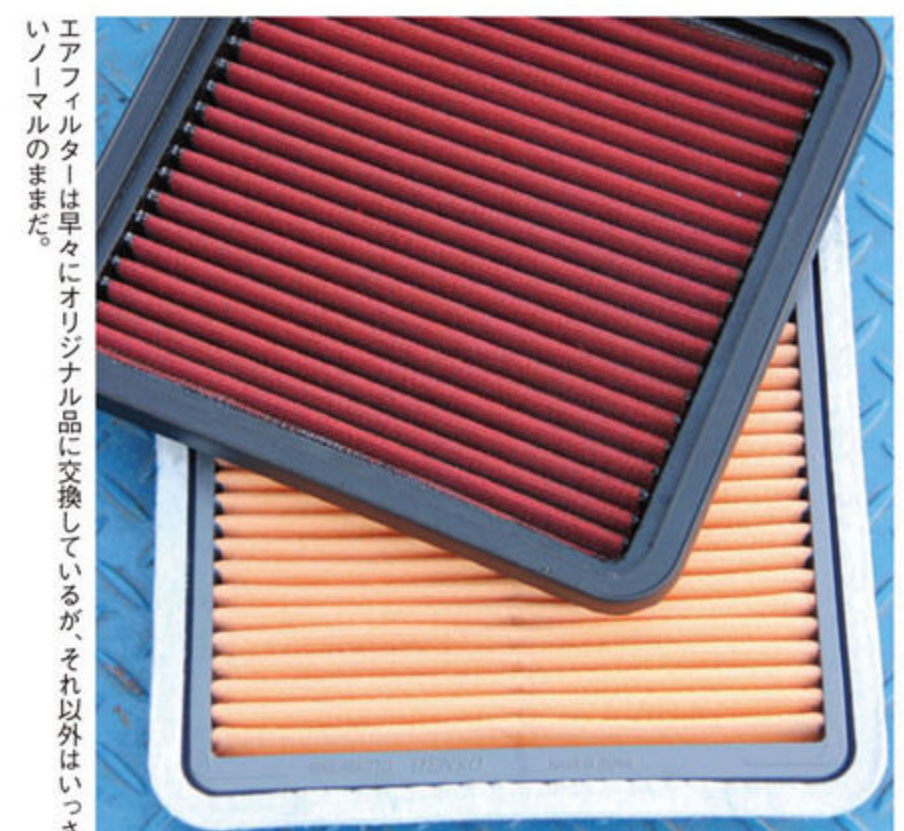
ハイオクガソリン



コーナーウエイトで車重を計測

厚みのある板の上に4輪を載せて、それぞれにかかっている重量をトータルしたものが、車重ということになる。かっきりカタログ値と同じになったのにはいささか出来すぎの感が。フロントヘビーはどんなクルマも同じだが、前後の配分が極端ではな

くいい感じだ。コーナーウエイトは本来、車高調を使った荷重セットなどに使うもの。車高を上下させると、バランスが変化するのだ。今後はサスペンションも交換するため、このコーナーウエイトによるセッティングで脱ノーマルだ。



エアフィルターは早々にオリジナル品に交換しているが、それ以外はいいノーマルのままだ。

装着可能なアイテムをセットし 走りをレベルアップ

まだAVOのデモカーで実際に交換しているパーツはマフラー、クリーナーくらいであるが、当然これからさらにステップアップしていく予定だ。ただし、チューンの方向はスポーツを前面に押し出したものではなく、ストリートをメインにスポーティな走りが楽しめるようなものとなる予定。スタビリンクなど、ハードにならずに走りをシャープにするアイテムからセットしていく。最終的にはインタークーラーなども交換するつもり。そしてどれくらいパワーアップしたかを再度チェックするプランになっている。

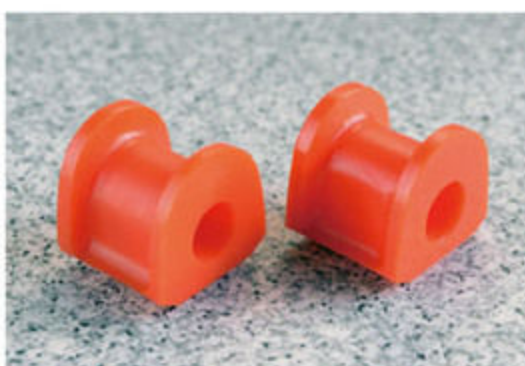
ホイールはワーク製のエモーションKai。正面から見るとブルーだが、少し角度を変えるとメタリックのように見える不思議なカラーリングだ。



フロントのスタビリンク。ピロボールジョイントでロアアームとスタビリンクを直接結び、スタビライザーの作用をより鮮明にしてくれる。



ねじれ剛性を研究して作り上げたリアのスタビリンクは既存タイプが使える。純正品より短めに設定、ノーマル車高、ちょいダウンに対応。



スタンダードタイプのスタビブッシュは、強化ポリウレタン製で専用グリス付き。スタビが社外品の場合は調べてから交換するようにしたい。



ノーマル交換タイプのスポーツフィルター。特殊繊維をステンレスメッシュにてパーティングしており、ノーマルよりも圧損を軽減できる。



スタンダードブラケットをより強固な形状にすることにより、スタビライザーが持っている本領を最大限に発揮するリアスタビ強化マウント。



後部側の純正ゴムブッシュをポリウレタンブッシュに交換することによって、スタビリングレスポンスを向上させるフロントロアアームブッシュ。

SPEC

ENGINE

エアフィルター

ENGINE

デアルリアマフラー

TIRE & WHEEL

HANKOK ヴェンタスR-s3 235/40ZR18

WORK EMOTION Kai



オリジナルマフラーに交換して見た目もスポーティに。ただし今時のジェントルなサイレントタイプ。



AVO TURBO JAPAN

Ross Willsonさん

いろいろな使い方をすることで、素性を見極めていく段階。実際レジャーにも使ってみて、すでに〇と×がいくつかでてきたという。



2. ユーザーの大半を占めるであろうという判断から選択している。マックスパワーも気になるところだが、興味があったのはハイオクガソリンを入れたらどうなるか、だ。

さっそくパワーを計測してみた結果、173馬力あたりと、ほぼカタログと同じくらいだった。途中、タイヤに回転信号が伝わっていないのか、2WD状態になっていた。こうしたトラブル、今どきの課題か？

次にガソリンをある程度抜き取って、ハイオクガソリンを入れてみる。計測したら2馬力弱アップ。ここで注目したのはブーストのかかり方で、ほぼ頭打ち状態だった。

単純にガソリンをハイオクにしただけでは、やはりパワー&トルクが変

わることはないようだ。ハイオク専用のマップを用意し、ハイオクガソリンに合わせた燃調、および点火時期にしないとパワーアップは難しいようだ。このあたりは今後、さらに試していきたい部分だ。

続いてコーナーウエイトを使って車重を計測。コーナーウエイトとは量りの上に4輪を載せて、それぞれの重量を個別に計測できる。クルマは各部で車重が異なるため、4輪の車高を微妙に調整し、左右のバランスをとっていくためだ。またコーナーウエイトなら前後配分もわかるので、足まわりのセッティングをどうするかの手がかりになる。

ラゲッジルームにあるパンク修理キットなども、カタログと同様に取り

外して計測してみた。

「1528kg、ピッタリ！」

カタログと同じ数字だったのには、ちょっと鳥肌が立つくらい驚いた。また前後の重量配分も意外といいようで、ロス代表いわく、「BRZに近い配分だ」という。ここにレヴォーグの走りの楽しさがあるのだろう。

基礎のスペックがわかったところで、次のステップは取り付け可能なオリジナルアイテムをセットしていくこと。まだマフラー程度しかセッティングしていないが、これから専用パーツも順次ラインアップしていく予定である。

また全国で行われるイベントで見かけることもあるだろうから、そんなときはレヴォーグに付いているパーツをじっくり見てみよう。

ANALYSIS THE ENGINE POTENTIAL PHOENIX'S POWER KYOTO

フェニックスパワー京都店 京都府久世郡久御山町佐古外屋敷37-2 ☎0774-48-1157 <http://www.phoenixs.co.jp/phoenixs/>



Photo: 稲田浩章 Text: 村田純也(四馬力)

着々とセツトアップが進む フェニックスパワー流 アダルトツアラー化計画

インブレッサやランエボ、GTRといったスポーツモデルのチューニングで名高いフェニックスパワー。そんなチューナーがどうしてレヴォーグ?といったイメージもあるかもしれないが、代表の横山氏は歴代レガシイもデモカーとして精力的に手がけていたほど実用性の高い走りが楽しめるスポーツワゴンを好んでおり、新しく登場したレヴォーグにも魅力を感じたというわけだ。

さて、ここで気になるのは、デモカーで目指している方向性だろう。エンジンチューンやコンピュータセッティングを駆使しての圧倒的ポテンシャルを引き出しを得意としているだけにパワー重視かとも予想したが、実際はピーク値の引き上げよりも市街地から高速クルージングまで使い勝手を高めたアダルト仕様をねらっている。そのため、まずはフルノーマル状態を徹底解析しての不満点洗い出しが進められており、取材段階ではリアピース交換のマフラーとエクテックを使うためのコンピュータセッティングでブーストアップの第1段階を終えたところだった。

なお、現段階でレヴォーグの走りを楽しむために必要不可欠と判断しているのは、コンピュータチューニング。というのもノーマルデータでさまざまなテストチェックを進めると、ノックセンサーの感度が高められているためか5500回転以上の領域

でセーフモード的な制御が介入してしまい、しばらくは本来のポテンシャルを引き出せない症状を確認しているからだ。もちろん、そのポイントは現状でしっかりとクリアされており、燃費重視のバルタイを最適化することで低中速域のフィーリングが向上することも判明している。

ほかにもエアクリーナー部分では低い吸気温度がインマニ部分で大きく上昇していることからインタークーラーやバイピングの見直し、タービン直後での抵抗過多としてメタルキャタライザーが効果的、などといった対処ポイントをリストアップ済み。それらのポイントはCVTへの負荷も考慮しつつ少しずつ攻略していくとのことなので、今後どのようなチューニングが展開されていくかに期待しておきたい。

ちなみに、それ以外のポイントは「シンプルスポートイ」をキーワードにして、死角のないアダルトツアラーを目指していく。その思いは細部までじっくり観察せずとも、高級感を打ち出すためにマッチングさせたBBS・LMや静粛性とグリップレベルを両立したアドバンスポーツというチョイスからも強く伝わってくるはずだ。ベテランチューナーが本気で取り組んだレヴォーグのアダルト仕様。2.0モデルのデモカーと並行して1.6ℓモデルも解析中とのことなので注目しておこう。



フェニックスパワー
横山耕治さん

コンピュータセッティングによるポテンシャル引き出しにこだわるベテランチューナー。レヴォーグでは使い勝手を徹底重視。

車格やねらいの方向性から、スポーツホイールではなくBBS・LMの19インチをチョイス。落ち着いた足もとへと仕上げた。



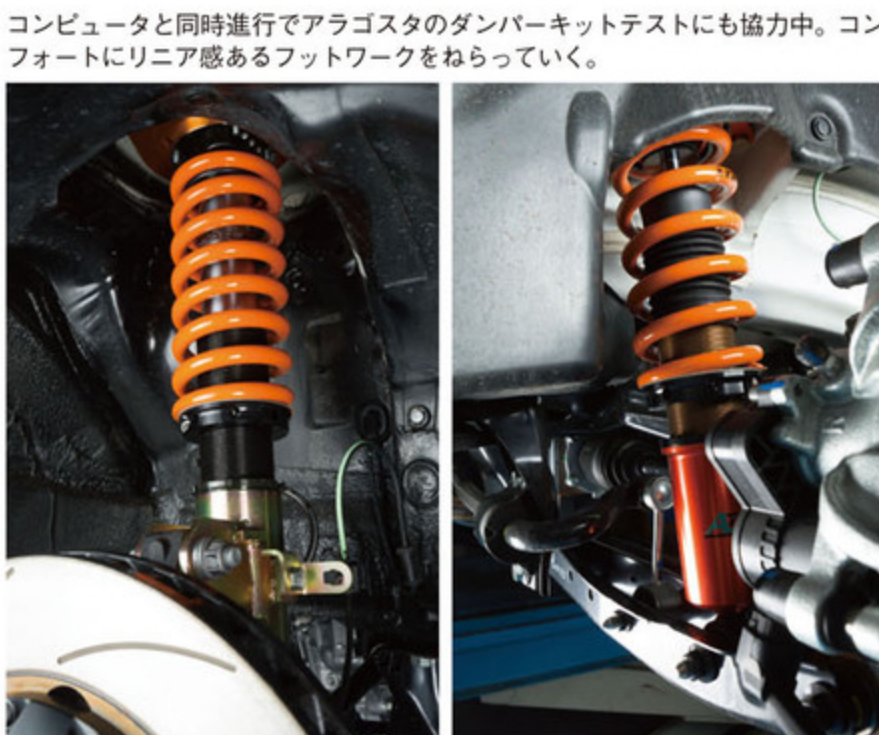
現状はノーマルだがインマニ部分での吸気温度上昇はインタークーラーやバイピングが原因と予想。次なる対処ポイントと考える。



排気チューンにはマフラーよりもキャタライザーが有効と予想。アベックスのマフラーはスポーティさをプラスするためにチョイスした。



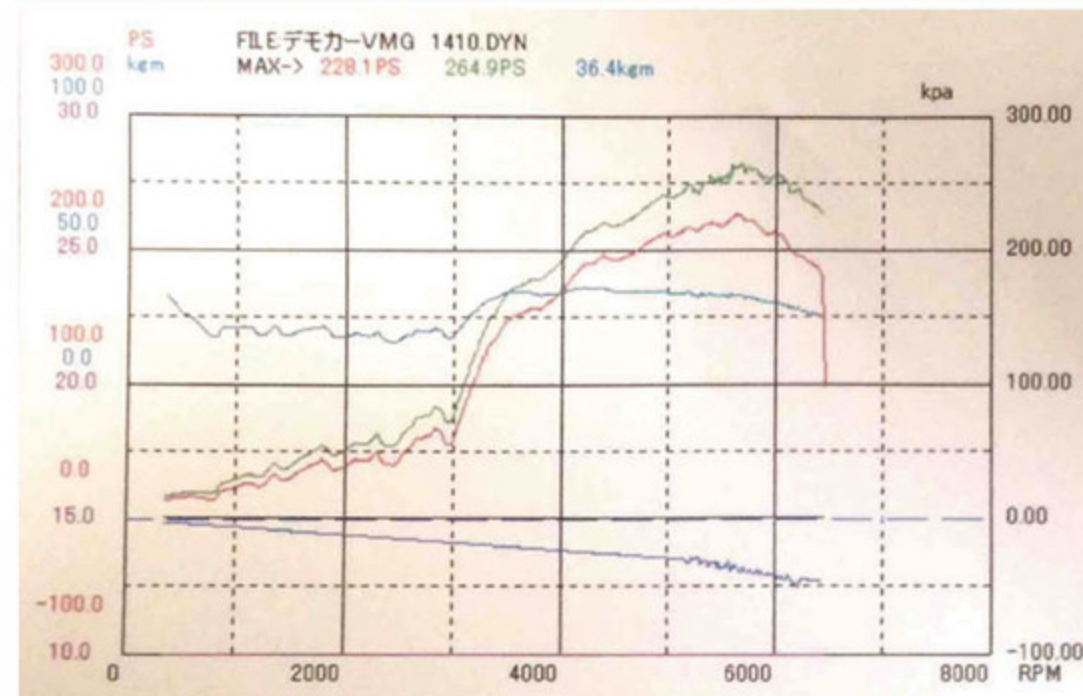
まだチューニング初期ではあるが、車重を考慮してキャリパーキットを投入。高速クルージング時の安心感が増し、トータルでの完成度の高さに貢献する。



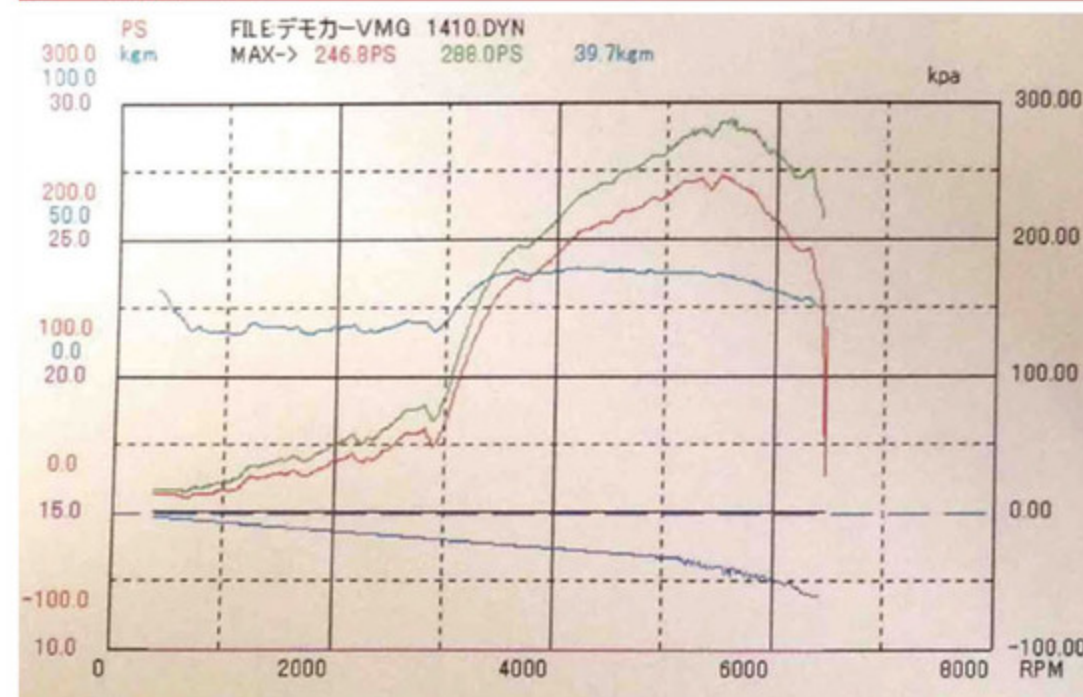
コンピュータと同時進行でアラゴスタのダンパーキットテストにも協力中。コンフォートにリニア感あるフットワークをねらっていく。

ブーストアップの効果は？

ノーマル



ブーストアップ



セーフモード的制御介入前の状態で計測したノーマルとブーストアップの比較グラフ。ブーストアップとはいっても安定方向へとセットアップしたものだが、中間域からレブリミットまで大きくノーマルを上まわっていき、ピーク値でパワーが20馬力以上、トルクが3kgm以上増している。この仕上がりであれば市街地から高速クルージングまで頼もしい走りを楽しめるはず。走りにこだわるユーザーのファーストチューニングとして最適だ。

SPEC

ENGINE

アベックス・ハイブリッドメカホンエボ
アプリケーションCPU

EXTERIOR

STIフロントアンダースポイラー
STIサイドアンダースポイラー
STIリアアンダースポイラー

BODY

STIフレキシブルタワーバー

SUSPENSION

アラゴスタ車高調(プロトタイプ)

BRAKE

D2 8POTキャリパー&330φスリットローター

TIRE & WHEEL

アドバンスポーツ(235/35-19)
BBS・LM(8.5×19・43)



ANALYSIS THE ENGINE POTENTIAL AUTO PRODUCE A3

オートプロデュース エースリー 大阪府岸和田市稲葉町216-5 ☎072-479-2760 <http://www.apa3.jp/>

走りも重視したスポーツワゴンとして、1.6ℓ以外に2ℓモデルを用意したレヴォーグ。もちろん、パドルシフトやSシャープ選択時には専用制御となる8段クロスレシオ変速を与えてスポーティさを引き出しているのだが、それでは納得できなかった

ないものねだりこそチューニングの神髄と考え レヴォーグへEJ200&6速を投入する！

チューナーがオートプロデュースA3の武田さんだ。
「ないものねだりなのは十分わかってるんですけど、やっぱりEJ200+6MTのポテンシャルの高い走りから離れない。それなら理想をデモカーで実現してしまおうと、スワップ

に取り組みました。じつはエクシードでも同様の考えからEJ200+6MTをスワップしたことがあるのですが、今回は加工個所の少ないVABのハートネスをベースとしたり、ボルトオン可能な部分が多かったので、難易度は比較的低かったですね」



オートプロデュースA3
武田雅博さん

つねにユーザー目線での理想形を探るスバル車チューナー、武田さん。今回のレヴォーグはオーナーのスタンスでアプローチした渾身の1台だ。



カメラ：鶴身 健／稲田浩章
文：村田純也(四馬力)

1.6ℓモデルなら不要だった ミッションメンバー取り付け加工



ミッションメンバー位置が10cmほど異なっていたため、フロア部分を溶接加工。ここがいちばんの大加工だったが、作業完了後に1.6ℓモデルなら加工不要と判明。

ボルトオンでクリアできた ワイヤー式サイドブレーキ



サイドブレーキを電動式からワイヤー式へと変更しているが、アイサイト非搭載モデルが存在しているからか移植はボルトオン。取り付け穴まで用意されていた。

駆動系やアーム類は GRB&VABを投入



パワーやファイナルギアも考慮して、GRB用のLSDやドライブシャフトへと変更。アーム類はVABを使用しているが、リアメンバー自体はレヴォーグのまま。

GRB用フロントメンバーが ボルトオンで装着OK



搭載エンジンが異なることもありフロントメンバーも変更を迫られるのだが、驚くことにGRB用フロントメンバーがボルトオンでマッチング可能だった。

フロア穴やコンソールも 加工なくクリアOK



ミッションメンバーを調整したこともあり、シフトレバー位置はレヴォーグのフロア穴にドンピシャ。VABのコンソールもボルトオンで違和感なく装着できた。

クラッチマスターを新設し ABS類はVABへと変更



MT設定自体がないため、クラッチマスターやクラッチペダルは新設が必要。ABSとの兼ね合いからブレーキマスターまでも含めてVAB用を移植した。

ドンガラ状態こそが 確実なスワップ作業の近道



エンジンやミッションのスワップだが、万全を期してメインハーネスをVABへと入れ替えるため内装もすべて取り外しての作業が必要。なお、インテリアは基本変更なし。

燃料タンクはそのままに ポンプやラインはVABへと変更



燃料タンク自体はVABと同じように見えたが、燃料ラインがVABで3本となるのに対して、レヴォーグは2本。ポンプとともに交換することで対処した。

FA20 ↓ EJ20換装完了!



とはいえ、実際は同じスバル車同士とはいえ簡単なものじゃない。エンジン&ミッション換装やハーネスチェックといった主要メニューだけでなく、パワステ電動から油圧に変更したり、燃料ポンプやラインを入れ替えるなどの複雑な作業が夜を徹して繰り広げられていった。

ちなみに、仕上がりのイメージとしては「レヴォーグの皮を被ったWRX」といったもの。エンジン&ミッションからLSDや足まわりまで含めた駆動系一式はGRB、メンバーやハーネス、メーター類にコンピュータなど補機類&制御系一式はVABとなっていくからだ。

なお、ここで気になるのはレヴォーグの先進機能であるアイサイトの存在だが……、オートプロデュースA3ではMT化とリアブレーキ変更を考えている時点で共存できないと判断して潔くカット。細かく突き詰めていけば一部機能を共存可能だったかもしれないが、VABにはアイサイトが

設定されていないことや万が一の誤作動を考えると、賢明な判断だったといえるだろう。

ということで、気になるスワップ後の実走フィーリングを聞くと、「レヴォーグの使い勝手は崩すことなく、スポーティに走れる」これぞ求めていた「一台」といったもの。制御関係に關してもマルチファンクションディスプレイからDCCDまで問題なく動作し、アイサイト以外はオールOK。詳細は次のページで紹介するがWRXイメージのオリジナルエアロまでも投入され、ないものねだりだったはずの「レヴォーグ・WRX」が見事に完成したのだ。

用意するパーツ代や新車直後からの大胆チューンを考えるとまあユイザーは少ないと思われるが、ないものねだり理想をかなえる探求心の追求こそがチューニングの神髄。ないものねだりが少しでも脳裏をよぎったなら、先駆者であるオートプロデュースA3を頼ってみるといい。

VABの存在が作業難易度を下げ、完成度を高めた

ということで、各種作業を地道にこなして完成したデモカーが左の写真。違和感のまったくないエンジンルーム、シフトまわりとなっているだけでなく、アイサイト以外はすべて問題なく機能する完成度の高さだ。なお、ダッシュボードはレヴォーグのままとするが、メーターに関してはVAB用へと変更している。ち

なみに今回のスワップ作業がエキシーガのEJ20スワップよりも難易度が低かったというのは、同時期に登場したVABの存在が大きい。年代の大きく異なる車両からのスワップであればどうしても細かな部分で違いが生じてくると思われるだけに、天も武田さんのないものねだりに味方した!?

ANALYSIS THE ENGINE POTENTIAL AUTO PRODUCE A3



オプションパーツのリアサイドアンダースポイラーはWRXのみにオプションで与えられていた垂涎アイテム。これはぜひとも投入すべし!



その存在感でワイド&ローなリアビューへと導くリアフォグランプもオプション設定。専用ハーネス付きで装着も簡単だ。

デモカーの搭載エンジンはEJ20だが、現在オリジナルダンパーキットのリリースも視野に入れてプロトタイプをチェック中。ほかのアイテム同様に完成度高い仕上がりが期待できるはず。

走りにこだわるからこそ、足もとは重要。タフネスさを備えた軽量スポーツホイールであるZE40の新品を投入して、軽快なイメージを引き出した。



ポテンシャルにふさわしい制動力を与えるべく、apレーシングのキャリパーキットをチョイス。アイサイトのカットでリアキャリパーも交換可能となったため、速度域を問わない安心の制動力を発揮する。



念願だったEJ20+6MTで車重を感じることもない痛快走りが満喫できるようになった。ポテンシャルはまだまだ引き上げられるが吸排気+αでとどめている。



シフトレバーやサイドブレーキなどに違和感を感じないほど自然に仕上げられたインテリア。もちろん、ワゴンとしての使い勝手はいっさい犠牲としていない。

走りを存分に楽しめるスポーツワゴン見参! そのWRXテイストをフィードバックスタート

前ページでクローズアップしたように、理想を求めたものなだけに、レヴォーグへのEJ20+6MTスワップ敢行で見事果たしたオートプロデュースA3。

通常であれば一大作業を無事に終

えたことで満足してしまいがちだが、そこはトータルバランスを重視するスバル車チューナー。使い勝手を犠牲とせずにボディ剛性を高める補強パーツやWRXテイストを与えたエアロパーツを同時進行で手がけ、ま

るでレヴォーグの特別仕様車としてEJ20+6MT搭載モデルが存在するかのような完成度の高い1台へと仕上げています。もちろん、補強パーツやエアロパーツは搭載エンジンに関係なく装着で

きるため、走りを重視するオーナーへとすでにデリバリー開始。とくに注目しておきたいのは、一気にスピード感あるスタイリングへと進化させられるエアロパーツのフロントセクションだろう。というのも、ノーマルでは前上りのフェイスイメージとなっていることからSTI製フロントリップスポイラーをオプション装着するオーナーが多いことに配慮して、無加工装



SPEC

ENGINE

EJ20&6MT換装	
TRSアルミラジエター	
シムス・カーボンエアインダクションBOX	
プロト・軽量ブーリー	
AGRESS・フルデュアルマフラー	要問い合わせ
シムス・GRB用EXマニ	

BODY

AGRESS・ボディサポートフルキット	
レカロ・スポーツスター	
AGRESS・フロアマット	2万4000円(税別)
AGRESS・トランクマット	1万6000円(税別)
プロト・フットレストバー	

SUSPENSION

AGRESS・ダンパーキット(プロトタイプ)

BRAKE

AP RACING (フロント:6ポット リア:4ポット)

AERO

AGRESS・フロントバンパー	8万8000円(税別)
STI・フロントリップスポイラー	
AGRESS・リヤバンパー	8万2000円(税別)
AGRESS・リヤサイドアンダースポイラー	2万8000円(税別)
AGRESS・リヤフォグランプキット	1万2000円(税別)

着可能なようにボトム形状や高さが緻密にコントロールされているのだ。また、フロントグリルはスタンダード状態でメッシュグリルとなっているが、VAB用フロントグリルの装着も無加工で可能となっている。ほかにもスポーツ走行を楽しむ際には欠かせないクーリングを確実にける開口部デザインが与えられているので、走りやすさ・ティスタイルを少しで

も意識するのならコイツしかないといえる仕上がり。

もちろん、リアに関しても妥協はいいないし。奇をてらわれないディフューザーデザインのリヤバンパーを与えらるとともに、デュアルパイプで地上高を犠牲にすることなく排気効率を高めるオリジナルマフラーを用意。フロントからリアまでのボトムラインを違和感なく結ぶためにオ

ブションで用意されたリアサイドアンダースポイラーは、WRXのみオプション設定された特権ともいえるアイテムだったため、ユーザーの心くすぐる絶妙な隠し味といえる。

スワップされたエンジンなどと同様、後付け感のない仕上がりでトータルコーディネートされた気品高いスポーツワゴン。いかにもといった走りのテスト注入も悪くないが、車格

を考慮するとシンプルスポーツテイナWRXテスト注入こそが長く愛車を楽しむことのできる好スタイルだ。まずはエンジンやミッション以外のメニューを愛車に投入して楽しみ、時期が来たらEJ20+6MTをスワップ。そんなステップアッププランすら非現実には感じないほど、オートプロデュースA3のレヴオーグは完成度高く魅力的だった。



THE NEWEST LEVORG MUFFLERS FIJITSUBO

藤壺技研工業 ☎055-998-0130 <http://www.fujitsubo.co.jp>

Photo: 小竹 充 Text: 高橋明宏

スポーツワゴンを演出する 2タイプのオーソライズシリーズ

創業から80年以上が経過するフジツボ技研工業は、エキゾーストシステムのオーソライズとして数多くの車種展開を行い、その高い実績とネームバリューはチューニング業界だけでなく自動車産業にも多くの影響を与えるメーカーとして知られている。

そのフジツボが、2010年に新しい制度となった事前認証制度JQRの基準に対応してスピーディに開

発したエキゾーストマフラー、それがオーソライズシリーズである。

レヴオーグについては、フジツボでもスポーツワゴンとしての走りの質の高さを評価し、すぐに導入を決定。レヴオーグ購入者がチューニングに着手する場合、多くのユーザーがエキゾーストシステムの交換に興味を持つだろうと判断したためだ。

そのためオーソライズシリーズの

開発も早急に行われ、ラインアップに2タイプのマフラーが加わるようになった。そのひとつがオーソライズS。同シリーズのなかでもトータルバランスに重点を置いて開発されている製品だ。

その特徴はエキゾーストサウンドを抑えながらも交換した効果をしっかりと感じられる排気音であること。また材質はオールステンレスを採用

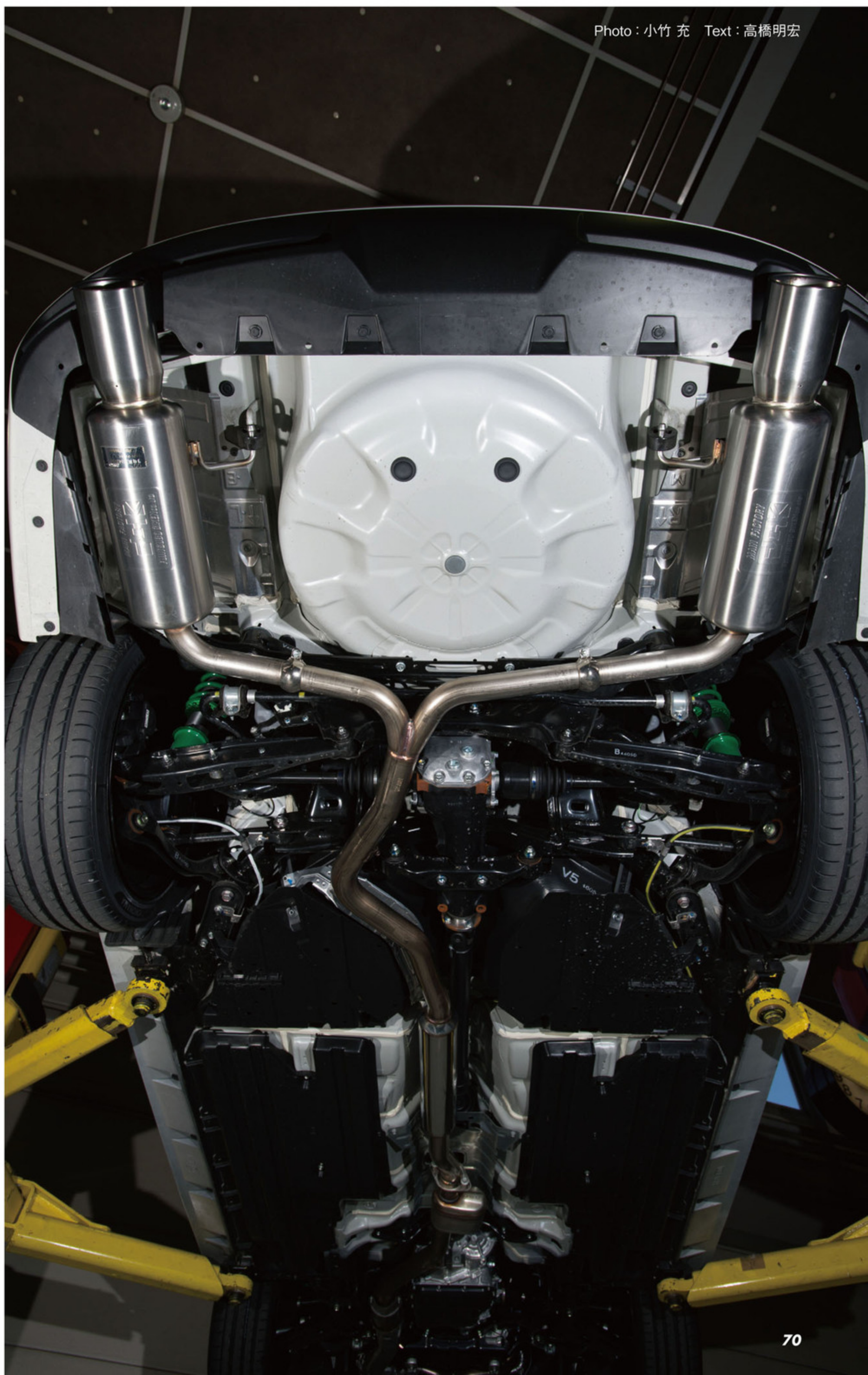
し、軽量でありながらも品質にこだわって製作されている点だ。

センターパイプまでは純正を採用することでコストを抑えながら、左右のリアエンドサイレンサーを交換することでサウンドをコントロール。フジツボ特有の音質を再現しつつ、低中速のトルク特性を向上させるようなエンジン特性を実現している。レヴオーグの走りの性格にもマッチするアイデンティティを備えている。

さらに迫力あるサウンドとトータルのパフォーマンスアップをねらって開発されているのがオーソライズRだ。こちらは、センターパイプから

交換するレイアウトを採用することでエンジン特性を中高回転志向に変身させ、よりスポーティさを強調するスタイルで開発されている。テールエンドパイプは迫力ある117φのラウンドスラッシュ形状を採用し、砲弾型のリアサイレンサーにすることでスポーツイメージを演出する。また、重低音のスポーティサウンドを響かせるようにアレンジされたエキゾーストノートは、ガンガン走り込むユーザーにも対応するようにチューニングされている。

どちらのエキゾーストシステムも1.6ℓと2.0ℓのどちらにもに対応でき



高い品質と新基準に対応するシステムを構築

フジツボ製マフラーのいちばんの特徴は、吟味された材質とたしかな製法による品質の高さだろう。古くから伝わる職人技による製法を確立させていても、次々と新たな製法を取り入れるなど、エキゾーストシステムのスペシャリストとしてつねにシーンをリードしているメーカーとして、製品精度には絶対のこだわりがあるのだ。基準に対しても社内で厳しく評価するためにテストコースを設けるなど、いち早く法令に対応するための投資も行われている。だからこそユーザーは安心してフジツボのマフラーを選べるのだ。



トルクジョイントと呼ばれるパイプの結合部にも新たな技術を採用する。高い耐久性を保持しながら整備性をも向上させているのだ。



オーソライズRはセンターパイプから交換されるタイプ。そのためレイアウト形状も徹底して研究が行われて製作されている。



裾野総合工場には走行騒音試験路を設置することで、社内基準を正確なものとして製品の音量を測定している。新基準の対応に欠かせない。



フランジにもフレキシブルジョイントを採用し、柔軟性を持たせることでエンジンの振動や走行時の振れによるストレスを軽減させている。

2種類のオーソライズシリーズ

新基準に適合させて開発されているオーソライズシリーズは全部で6種類をラインアップ。そのなかでもレヴォーグにマッチするのがオーソライズSとRの2タイプだ。同じ排気システムでも方向性を変えることで、好みの違いにも対応している。こうした豊富なラインナップを取りそろえられるのもフジツボのひとつの特徴。価格面だけでなく、音質やフィーリングを変化させることで自分だけのオリジナルな仕様を作り上げることができるのだ。



AUTHORIZE R

仕様	センター+リアピース
近接排気騒音	84dB
材質	オールステンレス
対応	VM4/VMG

パイプ径	60.5-50.8φ
タイコ径	130φ
テール径	117φラウンドスラッシュ
価格	15万6000円(税別)

AUTHORIZE S

仕様	リアピース
近接排気騒音	82dB
材質	オールステンレス
パイプ径	50.8φ
テール径	117φラウンドスラッシュ
対応	VM4/VMG
価格	11万円(税別)



アドバンレーシングのホイールにアドバンスポーツを装着。サーキットでのテストにも問題ないようにエンドレス製のブレーキも装着されている。

好みのサウンドやスタイルは、イベントなどでも披露されているのでチェックしてみるのもひとつの方法だろう。とくにデモカーが披露されている会場であれば、フジツボのスペシャリストがいるので、いろいろとアドバイスを受けてみるのも見極める判断となるはずだ。

るように開発されているので、装着するユーザーが悩むのはSにするかRにするかだけ。ただし、Sを装着してからステップアップしてRにすることはできないので、自分が欲しいと思ったデザインやサウンドは最初に決定することになる。

THE NEWEST LEVORG
MUFFLERS

KAKIMOTO RACING

カキモトレーシング ☎072-265-8411 <http://www.kakimotoracing.co.jp>



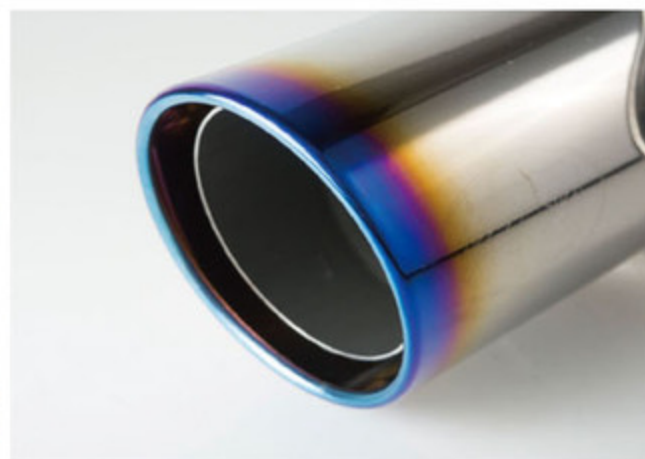
オーバルタイプのサイレンサーでアダルトスポーティなイメージを楽しめるクラスKRのテールデザイン。スタイル問わずに投入可能。

CLASS KR



スマートイメージの砲弾型サイレンサーはリアビューのレーシーさを大いにアップ。静止状態でも躍動感あるルックスだ。

REGU.06&R



奥行き感演出と焼け防止で与えた2重ディフューザーテールには、特殊コーティング仕上げでレーシーさも+。メインパイプとサイレンサーの接続部にはタフネスを引き出すための補強ステーも与えられていて、長く愛用できるアイテムへと仕上がられている。

仕様	センターパイプ+リアピース
近接排気騒音	84dB
材質	オールステンレス
パイプ径	50W(or60)-50φ
テール径	115φスラッシュ



独自のエンドプレート構造でエンジン振動吸収性を持たせたサイレンサーは、フルTIG溶接仕上げ。耐久性を高めるステー付きフック、アグレッシブさのなかに柔らかさも持つ特殊コーティング仕上げのカルテールなど、細部までカキモトレーシングのこだわりが注がれた逸品だ。

仕様	センターパイプ+リアピース
近接排気騒音	88dB
材質	オールステンレス
パイプ径	50W(or60)-50φ
タイコ径	130φ
テール径	90φ

アダルトツアラーにふさわしい 重厚感あるサウンドとルックス

オーソドックスなオーバル形状の大容量サイレンサーに特殊コーティングでのチタンイメージをプラスしたアダルトスポーティなマフラーがクラスKR。インポートチューナーモデルが醸し出すような落ち着いた走りのイメージを求めるなら、迷うことなくコイツを投入しておきたいところ。装着後のサウンドに関してもこもり音に悩まされることなく重低音を楽しめるため、ゆったりと高速クルージングするようなアダルトツアラーへ仕上げられる。デュアル仕様のセンターパイプでチューニングを進めていった際に必要となる排気効率が見逃せないポイントだ。



走り重視のスポーティ派を ルックスと排気効率の両面でアシスト

レーシングを意味するRを与えたカキモトレーシングのスポーツモデルがレグ06&R。保安基準適合というレギュレーションのなかで排気効率とサウンドを徹底追求したコイツは、スポーティさを求めるユーザーに高い満足度をもたらしてくれるアイテムだ。砲弾型サイレンサーでノンエアロのスタイリングでも躍動感を楽しめるが、走りのイメージを強調していくのであればディフューザーやダクトを用いたエアロパーツとマッチングさせたい。なお、装着後のサウンドは乾いた印象のものとなるので、高回転まで回した際の痛快感も魅力的。オプションでインナーサイレンサー装着も可能だぞ。



Photo：稲田浩章 Text：村田純也(四馬力)

ルックスと排気効率を双方向から追求する レヴォーグオーナー必見の機能美マフラー

静音志向や加速騒音規制などの影響もあり、リアピースのみの交換が主流となりつつあるマフラーチューニング。とはいえ、スポーツマフラーに求められているのはルックスだけでなく、エンジンのポテンシャルを引き出すことのできる排気効率だ。

そうしたこだわりを創業以来崩さず掲げて製品開発へ取り組んできたカキモトレーシングでは、レヴォーグに砲弾型サイレンサーを持つ、レグ06 & Rと大容量なオーバルサイレンサーを持つ、クラスKRをラインアップ。いずれのアイテムにもリアピースのみの設定に加えて、センター

パイプ搭載モデルを用意し、ルックスと排気効率の双方からレヴォーグの魅力を高めてきた。

なお、ここで見逃すことができないのは、理想の排気効率引き出しに必須となるセンターパイプの存在だろう。というのも、両アイテムともに60φシングルと50φデュアルの2タイプが設定されており、求める排気効率に応じてのチョイスが可能。JQR認証の関係からのちのちのステップアップは不可となるが、1アイテムにつきリアピースのみ/シングルセンター+リアピース/デュアルセンター+リアピースといった3バリエーション

が用意されている。

「フォーマル+αであれば60φシングルで問題なく対応できますが、走りを追求してチューニングを進めていくなら70φシングルクラスの排気効率が必要」ところ。そこで最低地上高を犠牲とせず、70φシングルクラス以上の排気効率を発揮できる50φデュアルのセンターパイプも用意しました」

（カキモトレーシング・大西さん）
もちろん、いずれのアイテム、バリエーションを選んだ場合でも安心して走りを求める保安基準適合品であり、走行中に快適な室内空間となるように、徹底したこもり音対策が



施されてきた。参考までに2.0モデルで数値面をチェックしてみると、乾いたレーシーサウンドを楽しめるレグ06 & Rの近接騒音値は、リアピースのみで81dB、センターパイプもプラスすると88dB。そして重低音が心地いいクラスKRの近接騒音値は、リアピースのみで80dB、センターパイプもプラスすると84dBだ（センターパイプはシングル、デュアルともに変わらず同数値）。

また、気になるルックスに関して、見えないところまでいいに仕上げられた溶接、ステンレスの光沢感とチタンイメージの特殊コーティングテールでリアビューの存在感は上々。好みの音質やテールデザインでアイテムを絞り込んでから、リーズナブルに愛車へオリジナリティを加えるならリアピース、ツアラーとしての魅力を引き出しを図るならセンターパイプもプラスするといった具合に愛車へこだわりを注入していくといい。スタイリングだけでなく、走りのポテンシャルも磨き抜かれたアダルトツアラー、レヴォーグ。排気効率、サウンド、ルックスにスポーティさをプラスするカキモトレーシングのアイテムで、本来あるべきレヴォーグの姿へと昇華させていこう。

THE METHOD OF LEVORG SUSPENSION TUNING BILSTEIN

阿部商会 ☎0800-100-4182 <http://www.bilstein.co.jp>

純正ビルシュタインを超えるために造られた ビルシュタインのネジ式車高調サスキット

このレヴォーグだけではなくレガシイもそうだったし、インプレッサ、現行型のWRX STIもそうだが、これらにはビルシュタインのサスペンションが一部モデルに純正採用されている。そしてその純正ビルシュタインのサスペンションは、オーナーの間で評価が高い。それなのになぜ、ビルシュタインは車高調サスキットを開発したのか。そこにはより高い走りの質を求めるオーナーの期待にこたえたい、という想いがあった。

まずスタンダードモデルだが、これは比較的フワフワ感が大きく、ステアリングレスポンスもいいモノではないために、大きめのギャップを通過したときなどにスムーズでないし、がたつきという傾向がある。これは単純にサスペンションの違い、というだけではない。たとえばスタンダードモデルはフロントのロアアームがスチール製でゴムブッシュを使っているのに対し、GT-Sはアルミ製で軽く、ジョイントにはピロボールを使っている、という違いもあつてのことだ。さらに両者に共通していることだが、ステアリングの中立地点からほん

のわずかに動かしただけの反応は、比較的ルーズ。そこでビルシュタインはよりリアにクルマが反応するようにしたい、ということ、さらにはリアサスペンションの収まりのよさを実現すること、で、フラットライドと直進性のよさを実現することを目的に、車高調整式サスペンションの開発をスタートさせた。その結果生まれたのが、このデモカーに装着されている減衰力固定式のB14・BSSキットと、減衰10段階調整のB16・PSSキットという2種のサスペンションだ。どちらも推奨車高値は、ノーマルから30〜35mmダウン

ンとなっていて、それによってシャープなステアリングを実現している。さらに、リアのマルチリンクサスの、ほんのわずかな減衰の違いで大きく特性が変わってしまうという部分を徹底的に解析して、その結果、路面のギャップを通過したときのリアの収まりは、純正ビルシュタイン以上によくなっている。

これは直進安定性のレベルアップだけではなく、低速時の硬さの低減にもつながるものだ。それがいわゆる、頭が揺すられない乗り心地のよさのもととなっている。つまりこのB14/B16は、純正ビルシュタインよりも1段階上の操縦性や乗り心地を求める、欲張りな人にピッタリなのだ。ちなみに10段階調整のB16は、減衰

ンとなっていて、それによってシャープなステアリングを実現している。さらに、リアのマルチリンクサスの、ほん

からいえば、状況によって荷室の重さが大きく変わるような使い方をしている人、また乗車人員が平日と週末で大きく変わる人には、B16がオススメとなる。逆にほとんどがひとり、という使い方をしている人は、B14で問題なし。

自然なライントレースや適度なボディロールを感じながらレヴォーグを操っていきたい人にとって、このB14/B16は純正の味を残しながら、いい換えれば自然な雰囲気のまま楽しさのみをレベルアップできるサスペンションとして、注目に値するものといえるのだ。



ビルシュタイン 野勢一成さん

今回は開発担当ではなく開発プロデューサーという立場となったビルシュタインテクニカルセンターの野勢さん。満足いく仕上がりがそう。

CIRCUIT IMPRESSION



井尻 薫 選手

伸び側がいいのでロールは大きめでも安心

「ひと言でいってしまえば、ノーマルプラスアルファのサスペンション、ということになるんだけど、それだけでは表せないバランスのよさがある。ボディロールはこういうサーキットでは大きめなんだけど、ヘルパースプリングをセットしていることもあって伸びがよく、たとえば縁石に乗っていったときにも、内輪が路面から離れない。そのために電子制御デバイスの介入もしにくいし、そのロールを生かして内側に向かっていく感じで自然に走ることができる。そのボディロールだけど、大きめとはいってもグラツとくるのではなくてじんわりロールしていくから、その点でも不安感はない。伸び側もそうだけど縮み側のストロークも十分にあって、街乗りもラクだと思うよ」



前後ともにヘルパースプリングをセットしているのは、伸び側をしっかり考えているため。フロントのショックアブソーバーは剛性の高い倒立式で、前後ともに放熱性が高い単筒構造を採用。車高調整幅は前後とも-25～-50mmだが推奨車高は-30～-35mm。

BILSTEIN B14 BSS-Kit ネジ式車高調整サスペンションキット

減衰力	固定式	車高調整幅	フロント・リアとも-25～-50mm
スプリング	フロント6kg/mm+ヘルパースプリング リア6kg/mm+ヘルパースプリング	推奨ダウン値	フロント・リアとも-30～-35mm

ビルシュタイン車高調



純正サス装着車



スタンダードモデルは車高の高さだけではなくさまざまな要因はあるが、乗り心地にフワフワ感がありステアリングに対するクルマの動きもだるく、ロングドライブでは疲労がたまりやすい。それに対してビルシュタインを採用したGT-Sは上下動のいなしが改善されていて、フラットな乗り心地。そこをさらにレベルアップさせているのがB14。車高は低くなっているがストロークは十分にあって、さらにリアの動きが改善されているため直進安定性が高く乗り心地もよくなっている。



Photo：金子信敏／服部真哉 Text：塩見 誠

THE METHOD OF LEVORG SUSPENSION TUNING CUSCO

キャロッセ ☎027-352-3578 <http://www.cusco.co.jp>

ステーションワゴンというボディ形状は、一般的にセダンボディよりも「剛性」の面では不利といわれる。しかし、レヴォーグはワゴンボディであることを前提に「骨格」から設計をはじめ、しかも、モータースポーツへの参加を視野に入れたモデルであるWRXと同時に開発されたことから、相当固なシャシー&ボディを与えられることになった。そのため、ノーマル状態でドライビングしているかぎりでは、ボディ補強の必要性を感じないかもしれない。ボディに負けず劣らず、サスペンション全体のバランスもよく、また純正タイヤとのマッチング

タイヤ、サスペンション、そしてボディ バランスよくレヴォーグの素性を生かしたい

がとれているのも、レヴォーグの特徴といえるだろう。
しかし、ノーマルからチューニングをはじめ、パフォーマンスを高めようとする、その「バランス」にも微妙なズレが生じる。レヴォーグのチューニングとしては、タイヤをハイグリップタイプに変更しつつインチアップを施し、さらに車高調整式サスペンションを組み合わせたというのが、わりとポピュラーな手法。だが、タイヤによってグリップ限界を、サスによってロール剛性を高めると、やはりそれを受け止める「ボディ」にもなんらかの影響を与える。サスペンションの段階に

なると、やはりワゴンボディであることが多少なりとも（たとえばWRXと比較すると）不利になるのだ。
サスペンションやシャシー関連パーツのスペシャリストであるクスコは、レヴォーグ用のパーツを開発するにあたり、この「ボディ剛性」に着目。車高調整式サスペンションと同時にボディ補強パーツの開発を行った。サスペンションに関しては、レヴォーグが「ワゴンのCVT車」ということで、サーキット走行よりもストリート走行時の乗り心地をもっとも重視している。ロール剛性を高める目的であっても、バネレートをできるだ



キャロッセ 小山啓紀さん

「ワゴンスタイルのクルマなので乗り心地のよさは必須要件でした。そのうえで、スポーティで気持ちのいい走りができるセッティングを目指しました」



バッテリーステー



エンジンルームのアクセントにもなるアルミバータイプのバッテリーステー。もちろん、見た目だけでなく、バッテリーのホールド性を向上させる機能パーツだ。

e-con2



室内から減衰力を調整するためのコントロール「e-con2」は、ダンパーのオプションとして設定される。前後独立調整が可能だ。

ストリートゼロA

減衰力	40段階調整式
スプリング	フロント6kg/mm リア6kg/mm
車高調整幅	フロント0~-50mm リア10~-50mm
推奨ダウン値	フロント0~-30mm リア15~-40mm

ストリート仕様に絞った「ストリート・ゼロA」。全長調整式でアッパーマウントはゴムタイプ。減衰力は40段階調整式で、e-con2によって室内からダイヤル調整が可能。





Photo: 金子信敏/服部真哉 Text: 松本尊重

け高くしない方向でセッティングを重ねたのだ。その結果、最終的に「最良」として導き出されたパッケージングが今回の仕様だ。車高調整キットは「ストリート・ゼロA」で、バネレートは前後とも6kg/mmと比較的ソフト。ただし、前後のスタビライザーを強化することでトータルでのロール剛性を高めている。

そして、このサスペンションの仕様に合わせて、ボディ各部（といってもほとんど外見からはわからない場所にブレース（補強）バーが装着されている。ブレースバーによってボディ全体をがっちり固めることで、サスペンションの追従性やタイヤのトレッド性能が向上するため、結果的に「乗り心地がいいのにグリップする」というハンドリング特性を実現することができたというわけだ。

サスチューンというスタイルリング的な観点で「車高を下げる」ということが最優先される傾向がある。それはそれでひとつの目標だとしても、できれば同時にシャシー性能を向上させながら、チューニングも兼ねてローダウンしたい。スタビリングと走りを両立させることができるレヴォーグだからこそ、その点にはこだわってほしいところだ。



ノーマルと比較するとそれほど車高が下がっているようには見えないが、ホイールが19インチに変更されていること、さらにタイヤがワイドになっているためホイールハウスのクリアランスが小さくなっていることを考慮すると、確実にスタビリッシュになっているのがわかるだろう。ストリートでの使用を想定すると、これくらいの車高がちょうどいい。この状態をベースに、走りのステージに合わせて車高を微調整するといいたいだろう。



CIRCUIT IMPRESSION

井尻 薫 選手

乗り心地はよく初期のロール特性も素直

全体的には柔らかい印象の足まわりだが、けっしてスプリングが減衰力に負けているわけではない。おそらく、ボディ補強の効果が出ているのだろう。ボディがしっかりしているぶん、サスペンションが柔らかいと感じるのかもしれない。スタビライザーも硬度アップされているが、有効ストロークは十分にあり、バンブタッチまでの余裕もある。ただ、タイヤ(RE050)がやや硬めに感じられ、若干のゴツゴツ感がある。これはスタビライザーの影響もあって、ロール時に硬く感じられるということかもしれない。とはいえ、乗り心地は全体的によく、初期ロールの特性も素直。ロール途中で踏ん張って、そのあとに反発力がたまるといった挙動がないので、ナールバにはならない点が好印象だ。

スタビライザー



スタビライザーは、フロント、リアともに太さを2mmアップした中実タイプとなる。トーションレートは、純正比でフロントが27%、リアが30%アップとなっている。

パワーブレース・フロントサイド



純正でもフロントロアアームの付け根にはブレースバーが装着されているが、クスコ製はよりストレートに近いレイアウトとなり、純正よりもしなやかにくい構造になっている。

ストラットバータイプPOS(フロント/リア)



タワーバーは前後に装着されている。フロント、リアともにオーバルのアルミシャフト仕様となる。リアタワーバーはラゲッジスペースを犠牲にしないよう、ほぼフラットに装着することが可能になっている。

水冷式エンジンオイルクーラー



純正のオイルフィルター部分に装着される水冷式オイルクーラーは、コンパクトながら4000kcalの放熱性能を発揮する。冷却水路にホースで接続され、クーラントの温度により油温を下げるという仕組みだ。



DATA SYSTEM

CORAZON

THE CUTTING EDGE

LIBERAL

DAMD

レヴォーグドレスアップ最新事情

AQUA

ROWEN

OF DRESS UP CUSTOM

SONIC DESIGN

GARAGE VARY

ここからは、レヴォーグのドレスアップについてチェックしてみよう
スタイリッシュなフォルムを手に入れるためのエアロパーツから
インテリアのカスタムパーツまで、お手本になるデモカーを紹介するので
次に手に入れるパーツ候補をじっくりと検討してほしい
スポーティにもシックにもカスタムできる
レヴォーグにふさわしいアイテムが盛りだくさんだ

EXTERIOR CORAZON

いち早くフルバンパーで 独自の世界観を構築

コラゾン 福岡県福岡市南区横手1丁目11-24 ☎092-581-3490 <http://www.corazon-world.com>
Photo: 中島昌吾 Text: 堀 辰也

SPORTIER DECOLLETE LINE

LINE UP

デコルテラインエアロコンプリート(ハイクレードFRPタイプ)	30万円(税別)
デコルテラインエアロコンプリート寒冷地仕様(ハイクレードFRPタイプ)	31万円(税別)
デコルテラインエアロコンプリート(レギュラーFRPタイプ)	22万円(税別)
デコルテラインエアロコンプリート寒冷地仕様(レギュラーFRPタイプ)	23万円(税別)
フロントデコルテラインバンパーフェイス(ハイクレードFRPタイプ/未塗装)	13万円(税別)
フロントデコルテラインバンパーフェイス寒冷地仕様(ハイクレードFRPタイプ/未塗装)	14万円(税別)
フロントデコルテラインバンパーフェイス(レギュラーFRPタイプ/未塗装)	10万円(税別)
フロントデコルテラインバンパーフェイス寒冷地仕様(レギュラーFRPタイプ/未塗装)	11万円(税別)
サイドデコルテラインスカート(ハイクレードFRPタイプ/未塗装)	10万円(税別)
サイドデコルテラインスカート(レギュラーFRPタイプ/未塗装)	8万円(税別)
リヤデコルテラインバンパーフェイス(ハイクレードFRPタイプ/未塗装)	12万円(税別)
リヤデコルテラインバンパーフェイス(レギュラーFRPタイプ/未塗装)	9万円(税別)
ドアロックチェッカー	1万5000円(税別)



オリジナルホイールもラインアップ



デザインと機能性を提案する新作アロイホイール「CW-01S」。主張しすぎないエレガントなデザインと、スバル専用のハブリング加工で、純正センターキャップをそのまま流用できる。クールライトシルバー・マットブラックとも4万8000円(税別)。

便利なドアロックチェッカー



ドアロックに連動してドアミラーが自動開閉するので、愛車から離れても、ドアミラーを見るだけでロック状態が視認できる「ドアロックチェッカー」。純正リモコンキーのまま使用できて、車内のミラー開閉スイッチ機能も損なわない。

メーカー純正のような「さりげなさ」と、スポーティで美しいボディラインを生み出す「先進性」との両立をテーマにデザインした、CORAZON「スポーティア・デコルテライン」。造形に、女性的な柔らかさを加味したことで、スポーティでありながら流麗さも感じられるプロポーションを生み出している。

ねらったのはメーカー純正の「特別仕様車」的なフォルム
昨年度の東京オートサロンに、フロントバンパーのプロトモデルのみを出展したところ、「早くフルバンパー状態で商品化してほしい」という要望が予想以上に多かった、レヴォーグ用のCORAZONブランドエアロ。先ごろ正式販売がスタートした「スポーティア・デコルテライン」は、ノーマルのデザインに融合し、より美しく先進的なボディラインを生み出すことがコンセプト。あたかもメーカー純正の特別仕様車のような、「さりげない特別感」を目指している。

レヴォーグのエクステリアデザインは、エッジのきいた精悍なフォルムが特徴。その「男性的」な部分を無理に強調するのではなく、むしろ女性的な柔らかさを加味することで、スポーティながらも流麗なラインを実現させた。女性の正装パーティードレスを意味する「Deco-tee」を製品名に採用したのも、女性的な柔らかさを意識したからにはかならない。

スポーティで力強い表情を作り上げている。ちなみに、ヘキサゴングリルの雰囲気を残した造形と、バンパー上部に六連星オーナメントをセットできるといったのは、SUBARUブランドへの敬意を表したものだそう。豪雪地帯にあるディーラーからの要望に応じて、フォグランプ横のダクトに、雪の進入を防ぐインナーカバーを取り付けた「寒冷地仕様」(1万円高)を設定したのも、新作フロントバンパーのトピックといえそう。

一方、開口面積の広いエアダクトに設けられたルーバーが印象的なサイドスカートは、整流されたエアがボディ後方に流れるイメージでデザイン。スカート後部には2列の整風ラインが刻まれており、デザインの緻密さを感じさせる。ダクト部に装着されたアルミメッシュも標準装備である。

「CORAZONブランドのレヴォーグ用新作エアロ、満を持してのデビューです。SUBARUディーラーでもご注文いただける信頼性を、ぜひ体感してください!」

を加えることで、強度を大幅に上げたニュータイプのFRP製品。重量はそれほど変わらないものの、破損率がかなり抑えられるので、スポーツ走行が好きなユーザーや、ローダウンを検討中の人にはとくにオススメだ。



カルマ営業担当
野上郷介氏

間もなく登場! 開発中アイテム

『CORAZONらしさ』満点!
近日発売予定の新作アイテム

CORAZONが誇る「スタイリッシュ・エアロフォルム」を、ワンポイントメイクでさらに魅力的に! 純正形状フレームを成形することでオリジナルデザインを引き立てる新作フロントグリルや精悍な印象を与える新作LEDテールランプ、高級素材であるナッパレザーにユーロステッチ(ブルーorレッド)を施し、握りやすく疲れにくいグングリップタイプのパンチング加工を施した新作ステアリング2種が、近日発売予定だ。オリジナルにさりげなく融合するデザイン、たしかな品質とフィッティング性はCORAZONならではの。



「ありそうでなかったデザイン」を追求。奥行きあるメッシュグリルにカーボン素材を採用してスポーティ感を高めた「フロントグリルタイプS」。



スポーツ&高速走行志向の「Dシェイプ」、スポーツ&ワインディング走行志向の「R(ラウンド)シェイプ」を設定。純正エアバック&スイッチ類にも対応。

STYLING EFFECT

LINE UP

フロントアンダースポイラーVer.1	4万7000円(未塗装/税別)/6万2000円(塗装/税別)
フロントアンダースポイラーVer.2	4万7000円(未塗装/税別)/6万2000円(塗装/税別)
サイドアンダーエクステンション	4万9000円(未塗装/税別)/6万5000円(塗装/税別)
リアバンパーサイドエクステンション	3万4000円(未塗装/税別)/5万1000円(塗装/税別)
リアバンパーアンダーエクステンション	3万円(未塗装/税別)/4万3000円(塗装/税別)
オーバーフェンダーパネルキット	12万円(未塗装/税別)/16万円(塗装/税別)
ルーフスポイラーエクステンション	4万円(未塗装/税別)/5万6000円(塗装/税別)
ボディキットA(フルコンプリート6点キット) Ver.1	28万8000円(未塗装/税別)/39万3000円(塗装/税別)
ボディキットA(フルコンプリート6点キット) Ver.2	28万8000円(未塗装/税別)/39万3000円(塗装/税別)
ボディキットB(フロアまわり4点キット) Ver.1	14万4000円(未塗装/税別)/19万8000円(塗装/税別)
ボディキットB(フロアまわり4点キット) Ver.2	14万4000円(未塗装/税別)/19万8000円(塗装/税別)



フロントアンダースポイラーVer.1は純正バンパーの形状に合わせてセンター部に変化を持たせているデザイン。レッドのアクセントラインはデモカー専用の加飾となっている。



こちらはフロントアンダースポイラーVer.2。センサー部がフラットなデザインがVer.1と異なる点だ。こうした選択肢を設けてくれるのはうれしいところ。



ダムド ☎0120-53-9991

<http://www.damd.co.jp>

Photo: 宮崎雄司

DAMD

手軽で効果的、そして安心の エアロをラインアップ

「BR系のレガシィに比べてコンパクトになって、日本の道で使うにはちょうどいい。それでいて中身は300馬力とよりスポーティになりましたね。1.6Lも2Lも高性能でカスタマイズベースとしては人気も高いです。」

デザインには、カタマリ感が出ましたね。フロントまわりはいろいろ進化はしたが、基本的な構成要素はオーソドックスだと思っています」

こうレヴオーグを評してくれたのは、ダムドの面高氏。ダムドといえば、30年以上の歴史を持つエアロメーカー。ハリウッド映画「ワイルドスピードX2」にエアロを提供するなど海外でも知名度が高いほか、国内ではエアロがディーラーオプションにも採用されるほどの信頼度も持つ、関東エアロシーンの重鎮だ。

そんなダムドが昨年11月末からレ

ヴオーグ用エアロをリリース。そのポイントをとった。

「まだクルマ自体が発売されて間もないことから、まずはユーザー目線に立つて簡単にプラスしていけるアイテムをリリースしています。」

フロントアンダースポイラーは、センサー部をえぐった形状のVer.1とフラットなVer.2を用意しています。ただ、リップ形状だけだとつまらないので、オーバーフェンダーも作りました。これは効果的だと思います。純正色塗装が可能なので、色の組み合わせも考えながら楽しんでみてほしいですね。リアまわりは、ディフューザー形状のリアバンパーアンダーエクステンションだけでなく、リアサイド部に取り付けるエクステンションもあります。

フロント、サイド、リアに加えて、オーバーフェンダーもラインアップしていますが、すべて付けなくても成立するようにデザインしています」

たしかにまだ最初の車検も迎えていないクルマに、いきなりフルバンパーというのも勇気がいるもの。アクセント的に楽しめるアイテムが充実しているのはうれしいところだ。もうひとつ、ダムド製品のありがたところ、それが安心感だ。

「車高は20〜30mmダウンで車高を下げても乗りやすいようになっています。ディーラーでも購入してもらえよう法規は遵守していますので、車検を気にするユーザーの方にも安心して付けてもらえます。」

また、フルタイプのバンパーも検討しているほか、ステアリングやシートカバーなど、まだまだパーツは拡充していく予定です。ぜひ楽しみにしておいてほしいですね」

ちなみに、エアロパーツはすべて国産でフィッティングもばっちり。車検や取り付けなどにわずらわされることなく、純粋にドレスアップが楽しめる。それがダムドのエアロなのだ。

簡単にプラスしていくことで レヴオーグをよりスポーティに



THE CUTTING EDGE OF DRESS UP CUSTOM レヴォーグドレスアップ最新事情



サイド部の形状の問題でこれだけがFRP製となるルーフスポイラーエクステンション。もちろん空力効果もばっちりだ。



シンプルなサイドアンダーエクステンションは、オーバーフェンダーを装着していなくても、効果的にフロントからリアへのラインをリンクさせてくれる。



ダムド 企画開発部
面高翔五氏

「いいものは口コミで広がっていく時代。コミュニティの力が強いスバル車だけに、これからいろんなアイテムを発信していきたいですね」。

リア下部にディフューザー形状でスポーティなアクセントを加えるリアバンパーアンダーエクステンション。サイドアンダーエクステンションは小さいながらも効果的なエアロパーツだ。

デモカーには、プロドライブGC-05の20インチをインストール。スピリッツ製の車高調によって、程よくローダウンされている。タイヤサイズは245/30-20。



ダクト風のアクセントが加えられたオーバーフェンダー。片側で最大約8mmのワイド化というサイズが信じられないほどのボリューム感だ。ルーフスポイラーエクステンションを除くすべての素材は、真空成型ABS製で製品精度はとても高い。取り付けへの不安もまったくなしだ。



ROWEN

ローウェン ☎0565-41-5755
http://www.rowen.co.jpひと目で“ROWEN”とわかる
強烈なオリジナリティと作り込み

フロントからリアへのラインをつなぐのは、シンプルでありながらボリュームなデザインが施されたサイドステップ。トータルコーディネートには必須のパーツだ。



LEDスポットランプの入ったアンダースポイラーとグリルで構成されるフロントフェイス。スポイラーにはメッシュ付きのダクトが設けられ、フルバンパータイプにもって引けを取らないオリジナリティを発揮している。レヴォーグ用でここまで凝った作りのエアロはまだまだ貴重な存在。



ROWEN 代表

樋江井尊吉氏

レガシィではかなりのバリエーションのエアロをデザインした樋江井氏。「レヴォーグ用エアロも、さまざまな角度から検討を続けていきます」とのこと。

リアウイングは参考出品。取り付け角度をさらに検討するとのこと。また、リアのアンダー部はさすがの作り込み。ディフューザー形状と色分けを採用して強烈な個性を発揮する。

THE CUTTING EDGE OF DRESS UP CUSTOM レヴォーグドレスアップ最新事情

「エアロをデザインするときには、ROWENのエアロであることがひと目でわかることを大切にしています。ユーザーの方がせっかくのお金を出して買ってくれるのはブランドがあるからだし、まずはデザインでブランドのカラーをしっかりと出したいですね。そうやってデザインしたエアロがカッコいいか、カッコ悪いかというのは、ユーザーの方が判断してくれる、いいと思っています。」

今回のレヴォーグ用のエアロは、ドレスアップ色を全面に出しました。フロントはスポイラータイプですが、レガシイ用でも好評で、ROWENの特徴ともいえるLEDのスポットランプを取り入れています。また、僕はリアフェチなので、リアまわりはとくに作り込みましたよ。ひと目で僕がデザインしたものとわかるはずですよ。

作り込みではありますが、すべての製品が車検対応品です。ROWENの

ドレスアップ色を全面に出した超個性的なデザイン

超高級な輸入車から国産のミニバンまで、幅広いモデルをターゲットにしながら、アグレッシブかつ高級感あるエアロパーツをリリースするROWEN。今年のオートサロンでは、そのレヴォーグ用エアロがお披露目されていたので、デザイナーでもある代表の樋江井氏にデザインのポイントについて話を聞いた。

「エアロをデザインするときには、ROWENのエアロであることがひと目でわかることを大切にしています。ユーザーの方がせっかくのお金を出して買ってくれるのはブランドがあるからだし、まずはデザインでブランドのカラーをしっかりと出したいですね。そうやってデザインしたエアロがカッコいいか、カッコ悪いかというのは、ユーザーの方が判断してくれる、いいと思っています。」

今回のレヴォーグ用のエアロは、ドレスアップ色を全面に出しました。フロントはスポイラータイプですが、レガシイ用でも好評で、ROWENの特徴ともいえるLEDのスポットランプを取り入れています。また、僕はリアフェチなので、リアまわりはとくに作り込みましたよ。ひと目で僕がデザインしたものとわかるはずですよ。

作り込みではありますが、すべての製品が車検対応品です。ROWENの

PREMIUM EDITION

LINE UP

- フロントスポイラー-with LED SPOT LUMP
- フロントグリル
- サイドステップ
- リアアンダースポイラー
- リアオーバーフェンダー
- リアセンターガーニッシュ
- リアウイング
- ハイクオリティエキゾーストシステム
- プレミアム01S



サイドからリアにかけてのラインは、このオーバーフェンダーを付けても付けなくても成立するデザインに仕上げられている。



マフラーは試作品。チタンの115φテールが採用されていたが、真円のテールでリリースされる可能性もあるとのこと。車検対応で、春ごろの発売を予定。



GARAGE VARY

ドレスアップシーンの老舗が
スポーティスタイルにアクセントをガレージベリリー <http://www.vary.co.jp> ☎048-469-1708 Photo: 犬塚直樹 Text: 杉山雄二

VALIANT

LINE UP

フロントリップスポイラー
2万9800円(税別)
リアルーフスポイラー
2万5800円(税別)
フロントグリル
試作品

左右非対象デザインの
スポークが躍動感を与え
る、レオニスの2015年モ
デル。20インチのほか、
17、18、19といったエン
トリーサイズもあり。

疾走感を意識したフロントリップは、純正バンパーと
の一体感を重視したメリハリのあるデザインだ。グリ
ルは純正ルーバーをカットしてメッシュ化したワン
オフ。反響次第では製品化の可能性もあるという。

ルーフスポイラーは、純正ウイングの末端に追
加するかぶせ型だ。張り出しは後方へプラス60
mmと、派手すぎないサイズとなっている。

最小限で最大の効果を
前後2点限定スポイラー

ステーションワゴンの復権を期待
させるほど好調なセールスを記録し
ているレヴォーグだが、ドレスアップ
の可能性はまだ未知数とするガレ
ージベリリー。レヴォーグは、近年発売さ
れた新型車の多くがそうであるよう
に、純正オプションやSTIなどの直
系メーカーのパーツがじつに潤沢。そ

れを好むオーナーも実際多いようだ。
そこでガレージベリリーとしては、ス
タイリングの要所として欠かせない
フロントスポイラーと、純正のデザ
インにもどかしさを感じるルーフス
ポイラーの2点に絞りパーツを開発。
「必要最小限の構成で、いかに効果的
かつバランスよく仕上げるか」を重視
している。今回撮影したデモカーに
も、サイドリアなどに先のオプショ
ンパーツがいくつか装着されている

のだが、バランスのよさは見てのと
おり。違和感はいっさいない。
要となるフロントリップは、純正
バンパーからのつながりを意識した、
エッジなプレスラインが特徴。レ
ヴォーグが持つ、スポーティな純正
しさを色濃く意識したフロントは、日
常的に無理なく扱いやすいサイズで
モデリングされている。一方のルー
フスポイラーは、純正ウイングの末端部
に追加するエクステンション。フロ

トまわりの疾走感が増したことに対
する補強的な意味を持ち、サイズ的
なモノ足りなさを感じる純正感をい
い意味で否定。リアビューの躍動感を
確実に格上げする。ハイマウントラン
プにいったい触れない構造とするな
ど、ビジュアルだけを効果的にブラッ
クアップできる。いずれもウレタン
製で、フィット感のよさはもちろん、
一般的なFRPよりも割れにくく、耐
久性のある点が特徴だ。

「デザインはもちろんですが、初めてドレスアップされる方に
も安心して使ってもらえるよう品質にもこだわりました。レ
ヴォーグの動きによつては、製品追加もありえます」

ガレージベリリー 広報
安藤 純氏

DATA SYSTEM

シンプルなデザインながら 高級感と機能の両方を引き上げる

データシステム <http://www.datasystem.co.jp> ☎086-445-1617 Photo: 小竹 充

2月末ごろから順次 ラインアップ予定

バックアイカメラをはじめとする機能系電装パーツメーカーとしておなじみのデータシステムが、東京オートサロン2015にてレヴォーグ向けパーツを多数、発表していた。まずはエアロパーツから紹介していこう。

オリジナルパーツを追加。マークレス仕様に加え3本のメッキフィン、そして内側があまり見えないような形状になっているのが特徴だ。

フロントアンダースポイラーは、中央を跳ね上げたスポーティデザイン。純正追加のスポイラータイプながら、十分な存在感を発揮している。こちらの発売は5〜6月を予定している。

得意とするカメラ&モニター関係もラインアップ予定。注目は助手席のドアミラー部にある「車種別サイドカメラキット」と「スーパースリムモニター」だ。確認しにくい左フロント周辺を、かなりの広範囲でカメラが捕らえてくれるから、縦列駐車などが非常に安心。バックギア連動でも常時モニター表示もどちらでもOKだ。

リアカメラは別売りのエンブレムを装着することで、後付け感がなくスッキリとした見た目に。角度調整タイプなので、後方走るクルマを確認するリアビューモニターとしても使える。まるでGTマシンのような表示もできるカメラなのだ。

データシステム 広報宣伝部
川田正尚氏

AEROMASTER

LINE UP

フロントグリル	試作品
フロントアンダースポイラー	試作品
インテリアキット	試作品
メーターアンダーパネル/センターディスプレイバイザー/アッパーセンターカバー/アッパーセンターパネル/センターパネル/センターコンソールパネル/センターコンソールサイドパネル	
車種別サイドカメラキット	発売予定
スーパースリムモニター	発売予定
エンブレムリアカメラキット(角度調整タイプ)	発売予定



カメラ&モニターは十八番のアイテム



ドアミラーへと装着する「車種別サイドカメラキット」と、バックアイカメラの「エンブレムリアカメラキット」。どちらも装着することによって違和感のないよう、一体感を追求した車種別専用モデル。なおリアカメラは角度調整可能なのが最大の特徴だ。

充実のインテリアカスタムパーツ

室内の質感アップに貢献してくれる、インテリアキットもラインアップ予定。ウルトラスエード素材を採用し、高級感あふれるルックスに仕上がっている。カラーは計9種類からチョイス可能となっている。





リベラル 神奈川県川崎市高津区千代792-1 青木ビル2F ☎044-753-0180
http://liberal-aero.com Photo:宮崎雄司

LIBERAL

スバル車ドレスアップのスペシャリストによる 充実のインテリアパーツラインアップ

SPECIFICATIONS

STEERING
カーボンステアリング
カーボンステアリングベゼル
SHIFT
シフトノブ
シフトレバーカバー
PANEL
インナーメーターバイザー
ベンチレーターグリル
デフロスターグリル
フロントオーナメントパネル
メーターフード
センターデフロスターパネル
コンソールスイッチケース
ウインドウスイッチパネル
MAT
フロアマット
カーゴマット
SEAT
プレミアムシートカバー
INTERIOR LED
LEDマップランプ
OTHERS
アシストグリップ
EXTERIOR LED
LEDウェルカムウインカー
LEDデタイムライト



リベラル 広報
青木康洋氏

「レヴォーグには期待しています。クルマの素性をうまく伸ばせるようなイメージでパーツを開発していきます」という青木さんのエアロデザインに期待。

まずはインテリアを充実
エクステリアはじっくりと

内外装を問わずスバル車用のドレスアップパーツを精力的にリリースしているリベラル。レヴォーグについても、内装パーツから数多くのアイテムがそろいはじめている。パーツ開発と今後の展開について、リベラルの青木さんにお話を伺った。

「レヴォーグについては、昨年発売されたばかりなので、外装についてはまだ純正の状態を楽しんでいるユーザーの方も多いと思います。ということで、まずは内装からしっかり仕上げたいこうと思っています。」

リベラルはインテリアのカーボンパーツの質感には自信がありますので、こういう作り方もあるよと提示するつもりでさまざまな製品を作っています。カーボンパーツの色を変えるのはもちろん、カラーのラインを入れることも可能です。パネルなどのパーツは単品でもキットでも買えますし、オーダーも可能です。オーダーについては、リクエストをいただくたびに製品のバリエーションが増えると考えていますので、ぜひ無理難題を投げかけてみてください。できるかできないか、じっくり検証させてもらいます。

シートカバーは試作品が上がってきた段階です。純正形状でありなが

ら、PVCレザーを使用して、高級感を感じられるような仕上がりにしたいと思っています。細かいところにもこだわっていますよ。たとえば、ステッチは、カラーはもちろん糸の太さや紡ぎ方までオーダーしています。シートに関しても、いろんなチャレンジをしてみたいと思っていますので、希望があればどんどんリクエストしていただきたいと思います（※編集部注：取材後プレミアムシートカバーは完成。オーダーを受け付け中）。

エアロパーツについては、ちょっとこだわって作りたいと思っています。ユーザーの方は実際に半年くらいレヴォーグに乗っているはずですので、そういった方が何をレヴォーグに求めているか、ぜひ意見をぜひ聞いてみたいのです。

ずっとスバル車のエアロを作ってきた強みを出して、乗ってみたいといわれるようなデザインにしたいですね。エアロはもちろん、インテリアでもトータルでコーディネートできるようなラインアップをそろえたいと思っていますので、楽しみに待っていてください」

スバル車のスペシャリストであるリベラルだけに、今後ラインアップが充実していくこと間違いなし。イベントやSNSなどで、リベラルの動きをぜひチェックしておこう。

インパネまわり



インパネまわりのあらゆるパネルがカーボン化できるといっても過言ではないほど、多くのパーツがそろそろカーボンインテリア。ほとんどのカーボンパーツはカラーオーダーも可能なので、気軽に問い合わせてみよう。

ステアリング&シフト



純正の内装色に合わせてブルーをあしらったカーボンステアリング&カーボンシフトノブ。ブラック、シルバー、ブルー、レッドのカラーだけでなく、細かいオーダーにも対応してくれるので、希望があれば問い合わせてみよう。



LED照明



車種専用の高輝度LEDは車内を明るく、使いやすくしてくれる。LEDを2個使用したマップランプのセットは6500円(税別)。

アシストグリップ



革とのコンビによるカーボンアシストグリップ。オーダーに対応。写真のアルカンターラ+カラーカーボンで9万8000円(税別/1台分)。

シートカバー



フロアマット&カーゴマット



純正内装色とカラーコーディネートしたプレミアムシートカバー。表革の質感はもちろん、ステッチに使う糸にまでこだわった高級感ある仕上がりが見逃せぬ。純正シートにかぶせるだけで、インテリアのイメージが大きく変わるアイテムだ。

チェック柄のフロアマット&カーゴマットは、ブルーのほか、レッドやグレー、ブラウンもラインアップ。この製品もワントーンカラーなどのオーダーも可能。ベーシックなフロアマットは2万4000円(税別)、カーゴマットは2万円(税別)。

EXTERIOR



LEDウェルカムウインカーキットは、純正に近い輝きを手に入れられるだけでなく、ホワイトの光で夜間の足もとを照らしてくれるアイテム。



LEDデイタイムランプは、すっかり認知度を得たアイテム。エアロなどの大技を使わずに、フロントフェイスにアクセントを与えるのは最適。



アクア 長野県 松本市 島内 4113-1 ☎0263-48-6818 <http://www.aqua-alarm.com>
Photo: 宮崎雄司 Text: 塩見 誠

AQUA

光と質感でオリジナルなイメージを作る カスタマイズのマイスター

**自分だけの1台にしたいとき
助けてくれる心強い味方**

走りのよさはもちろん、国内で使うのにちょうどいいサイズのワゴン、ということもレガシイというクルマが人気であり続けた理由だろう。そしてモデルチェンジを続けるにしたがって大きくなっていったレガシイから、レヴォーグは原点回帰を目指して造られている。当然このクルマは人気となるはずだし実際に売れている。これはオーナー側からすると、走っている

フロッキーコーティング



LED打ち替え



塗装をすることで植毛をしたような表情となるフロッキーコーティングはアクアイチ押し仕の仕上げ。シフトパネルやドアスイッチパネル、パッセンジャーオーナメントパネルなど、各部それぞれに価格を出してメニュー化。

LEDランプを別のカラーに変えることでインテリアのイメージが大きく変わる。ステアスイッチのほかドアのウィンドウスイッチやセレクト、インフォメーションディスプレイなど、さまざまな部分をメニュー化している。

ときに同じクルマに出会う可能性が高いということ。そのときに感じるわずかな悔しさを優越感に変えることができるのが、アクアのメニューだ。今から11年前にオープンしたアクアは、セキユリティシステムの取り付けからはじまり、これまでお客様のリクエストに応じてさまざまなカスタマイズメニューを開発してきた。そこでもっとも大事にしているのは、いかなるメニューでもクオリティを落とさない、ということ。たとえばヘッドライトのイカリング化などのレン

THE CUTTING EDGE OF DRESS UP CUSTOM レヴォーグドレスアップ最新事情

SPECIFICATIONS

LED打ち替え
クルコンスイッチ
パワーウインドスイッチ運転席
ミラー格納スイッチ
マルチインフォメーションディスプレイ操作スイッチ
プッシュスタートスイッチ
VDCスイッチ
イルミネーションコントロールダイヤルスイッチ
シフト
パーキングスイッチ
アイドリングストップOFFスイッチ
ヒルホールドスイッチ
車線逸脱警報OFFスイッチ
ブリクラッシュブレーキOFFスイッチ
LED加工
バックドアLED
LED流星ウインカー内蔵ミラー左右セット
ウェルカムランプLED左右セット
バックドアLED
フットランプLED
ルームランプLED
グローブボックス内照明
エアコンパネルした小物入れ照明
エアコン吹き出し口マルチLED
ナンバー灯爆光タイプ など
フロッキーコーティング
パッセンジャーオーナメントパネル
ドライバーオーナメントパネル
エアコン吹き出し口 運転席&助手席
オーディオパネル
Aピラー左右
パワーウインドウスイッチパネル 運転席&助手席
シフトノブパネル
パーキングスイッチパネル
ステアリングパネル
INTERIOR LED
LEDマップランプ
OTHERS
アシストグリップ
EXTERIOR
ヘッドライト加工/イカリリング&LED化
LEDフォグランプ
テールLED加工
ピラー&ウインドウモールカーボンシート
フロントエンブレムLED

LED照明



フットランプのLED化一般的だが、このデモカーはエアコンルーバー奥にLEDをセットするなどといったカスタマイズも行っている。こういったメニューにない仕上げも、来店作業であればリクエストが可能なので相談してみたい。

専用アプリでスマホと連動



カブラーオンで車両側にセットできる、スマホアプリを使ってのロック/アンロックシステムを開発。アプリはバイパーのモノを使い、ベーシックキットで予価は3万5000円程度。オプションでエンジンスタート機能も用意する予定だそうだ。

ズ加工は、レヴォーグに限らず他車種もメニュー化しているが、これらはすべて、社内で加工を行っている。最近のクルマに採用されているヘッドライトは殻割りができないものもあるのだが、そういうものはあらかじめ部品を手に入れ、どうやったら作業ができ、加工後も問題なく仕上げられるのか、研究して技法を確立して、初めてメニュー化をしている。

その姿勢はバルブのLED化や、LEDの打ち替えなどでも同じ。基板製作なども自社で行い、LED自体も品質の高いものを使って、国内トップクラスのクオリティを実現している。それがアクアの売りとなるポイントだ。そんなでいいんでないが、現実的な仕上げは、オーナーから見ればあこがれの的となるものだ。たとえば駐車場と同じレヴォーグが隣に止まっただけで、ちょっとノーマルとは違う仕上げをしていたら、興味を引かれるだろう。そしてそのクオリティが高ければ、どこで仕上げたのか気になるはず。アクアはそんなカスタマイズを実現する、マイスターといえるショップなのだ。



アクア 店長
宮川憲治氏

小林社長と前職で同期だった宮川店長は、小林氏がアクアを開店した1年後に移籍し、それから10年、ともに高クオリティなアイテム開発を続けている。

を表示できるマルチメーターをセットできるピラーメーターパネルや、スマホのアプリを使ってドアロック/アンロックができ、オプションでエンジンスタートも可能な雪国で便利なシステムも開発している。オーナーの希望をかなえてくれる開発者魂に触れることができるのが、アクアのアイテムが持つ魅力なのだ。

LEDフォグランプ



純正バルブと入れ替えるだけでフォグランプをLED化。ホワイトとイエローの2色を切り替えることもできる。ハイビームもLED化が可能だ。

LEDエンブレム



スバルエンブレムだけではなく、レヴォーグエンブレムやAWDエンブレムも間接照明風に点灯可能。全部ではなく一部のみ、というのもオシャレだ。

カーボンシート



ウインドウモールのみをカバーするキットと、ピラーとモールなどウインドウまわりをすべてカバーしてくれるキットを用意。さりげにスポーティ化。

EXTERIOR

エアロパーツがなくても強い個性をアピール可能

パッと見て他社との違いを出したいときに有効なのはエアロパーツやローダウンドが、雪が降る地方では物理的に難しかったりしがち。そこでオススメなのが、アクアのエクステリアカスタマイズだ。ヘッドライトだけを見てもイカリリングの2連や4連、マトリックスLED的な仕上げやサイドマーカーなど、さまざまなメニューが用意されている。そういうものを組み合わせていけば、一見ノーマルだがじつは違うという、モノのわかったオトナにこそ価値がわかるカスタマイズが可能となるのだ。

ヘッドライト加工



テールもLEDに



加工ポイントの違いや色の違いなど、さまざまなメニューが用意されていて、通販も可能。また自社に装着されているライトや、新規で手に入れたライトを送っての加工依頼も受け付けてくれる。来店して相談すればオリジナル化も可。

ハッチ側テールをスモールのみで連動するタイプと、スモールとブレーキで連動するタイプのふたつを用意。さらなるカスタムも可能だ。



SONIC DESIGN

ディーラーで付けられる安心感と
高品質のサウンドを両立SonicPLUS LEV./SX-L01E
レヴォーグ専用スタンダードモデルソニックデザイン特有のエンクロージャ
構造がサウンドの違いを生み出す

ソニックプラスの特徴は、クルマのボディ構造に合わせて設計された「大容量エンクロージャ」が一体となったハコ型構造。ドア内のウーファーは、ほかの部品に干渉しないよう設計されたエンクロージャに小径の77mmウーファーを組み合わせて構成され、エンクロージャ構造が豊かな低音を、小径ユニットがキレのよさを生み出す。さらに、ハコ型構造により車外への音漏れが激減できるのもポイントだ。Aピラー奥に取り付けるトゥイーターには18mmのマイクロドームトゥイーターを採用する。

価格：10万円(税/取り付け工賃別)

トゥイーターモジュール

高耐久性防振バックシン
ディフュージョンギャザー
(半拡散・半透過層)

アコースティック
コントロールエレメント
(吸音層)

バスレフチューニングポート(出口側)

アコースティックコントロールハウジング

18mmマイクロファイバー・ドームトゥイーター

ビルトインネットワーク(スタンダードモデルのみ)

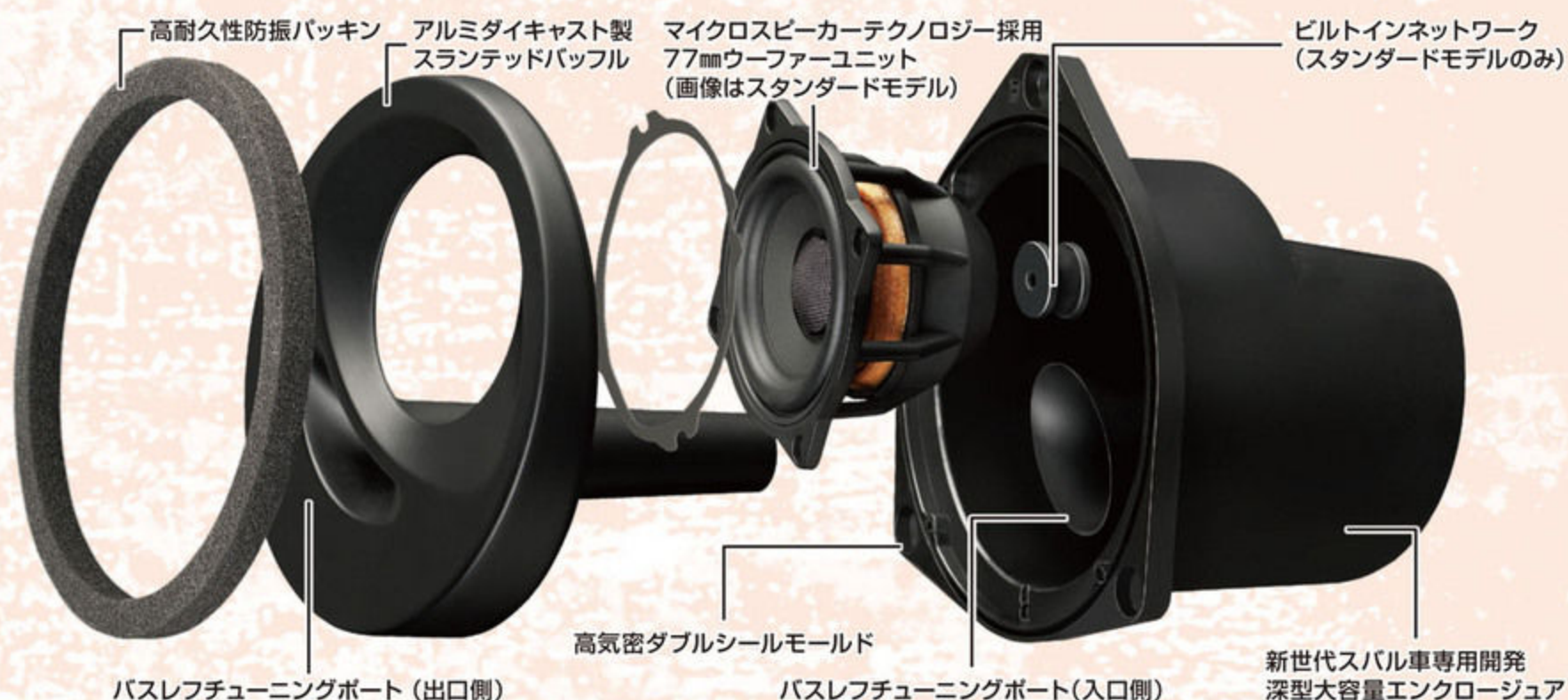
ウーファーモジュール

ソニックデザイン

☎043-209-1777

http://www.sonic-design.co.jp

Photo: 高松 弘

レヴォーグの持つ快適さは
オーディオでもさらに向上する

グラウンドツアラーであるレヴォーグは、長い距離を速く、快適に走れることが身上だ。そして、その「快適さ」をより向上させるためのインテリジェントなオーディオチューニングが含まれてくるのは当然だろう。

このオーディオチューニングは、ハマー人は徹底的にハマー奥深い世界だが、興味のない人はいつまでもまったく手をつけないジャンルでもある。だから、スピーカー交換というごく簡単な方法で確実に音の変化を生み出せることも、あまり知られていない。

さて、ここからはカーオーディオファンはもちろん、とくにこれまでオーディオチューニングにまったく興味なかったというユーザーに注目してほしいのだが、もし完全に純正オーディオとボルトオン、カプラーオンで

リプレイスするだけで、後付け感なく高品質な音を手に入れられる車種専用スピーカーキットがあったとしたら、どうだろう。さらに、そのキットにディーラーでも取り扱われるほどの信頼性があつたとしたら、かなり気にならないだろうか。そんなスピーカーキットが、すでにソニックデザインからリリースされている。実際に製品を取り扱っているディーラーである、スバル千葉南の渡部さんにお話を伺った。

「ディーラーにオーディオチューニングを依頼される方というのはまずいないと思うのですが、ソニックデザインのスピーカーキットについては、昨年レヴォーグが発売されてから、すでに何件もご依頼をいただいています。やはりディーラーに作業を依頼できるという安心感は大きいのでしょうか。」

作業は純正スピーカーを外し、数カ所のボルトとカプラーをはめ直すだ

けです。内張りにはありますが、作業時間は1人でやっても1時間目安で非常に簡単です。なんの加工も必要ない作業なのでお薦めもしやすいです。サウンドも過剰に低音を響かせるようなタイプではなく、室外に音が漏れることなく、高音やボーカルがよく聞こえるイメージです。実際、レヴォーグユーザーの方は、40〜50代の方が多いため、派手さよりも上質感をお求めになるこういった年齢層の方にもぴったりではないでしょうか。」

オーディオチューニングというと、派手に重低音を鳴らしたり、LEDでインテリジェントな光を放つという先入観があるかもしれないが、クルマの素性を伸ばし、より快適な室内空間を演出するスタイルだってあるのだ。それが手軽に、そして安心してできるのだから、ぜひトライしてほしい。

それでは、製品の詳細について、チェックしてみよう。

車種専用設計された構造にはさまざまなメリットが隠されている



クルマの構造に合わせて最適な形状が、前後左右専用設計されている。とくにフロント用は上向きに角度がついており、乗員の耳にしっかり音が届くようになっているのだ。また、スピーカーとエンクロージャ構造だけでなく、配線についても専用設計となっているので、よぶんなものはいっさい付属されていない。完全にカプラーオンで接続できるのだ。



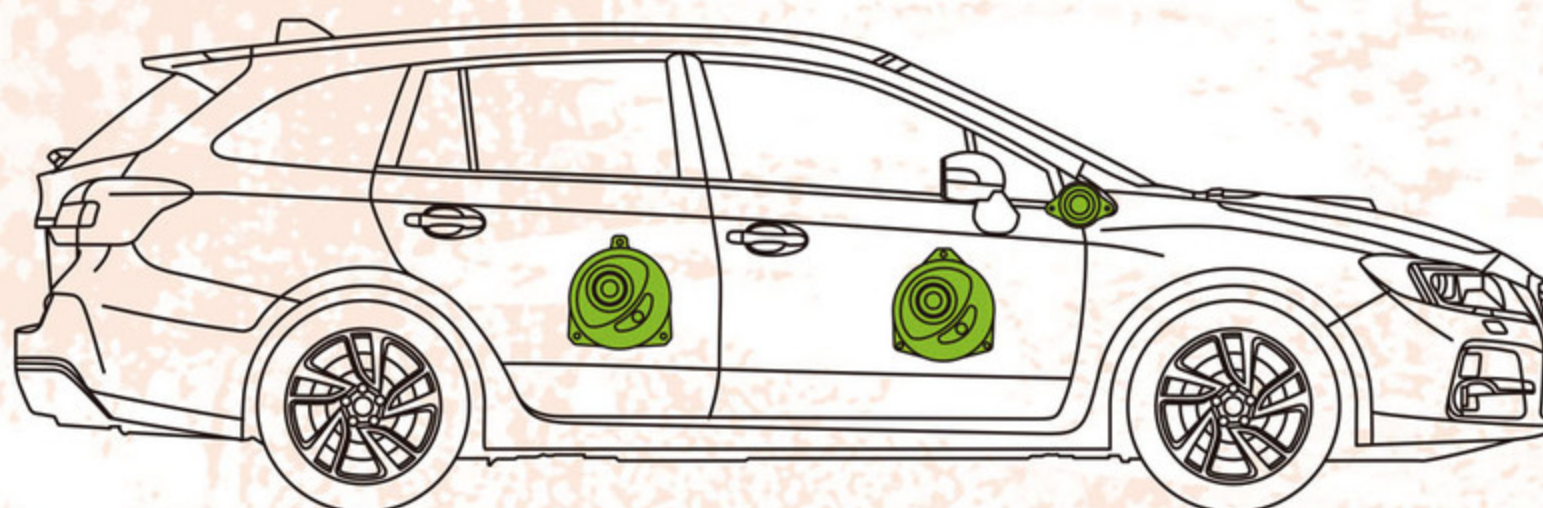
スバル千葉南
渡部寿広氏

「クルマの速度を上げて、騒音にかき消されずにクリアなサウンドが耳に届くので、ボリュームをいじらなくてすむようになりますよ」とソニックプラスに好印象だった渡部氏。



取材協力
スバル千葉南
住所：千葉県千葉市
中央区南町2-3-21
電話：043-263-1811

純正スピーカーと完全リプレイス 後付け感はまったくなし



前後同時交換がおすすめ 上級モデルもあり!

ソニックプラススバル車専用モデルは、左右ツイーターと前後のドアに装着される左右ウーファーがセット。前後で別々に購入することもできるが、前後同時交換が、価格面でもサウンド面でもお薦め。なお、ソニックプラスシリーズには、ここで紹介しているスタンダードモデルのほかに、より上質なサウンドを実現するハイグレードモデルもラインアップする。ハイグレードモデルは、ソニックプラス専門店・ソニックプラスセンターや認定店で購入することができる。ショップはホームページで検索できるので、チェックしてみよう。



取り付けは、スピーカー部分のみの交換となり純正内張りのカバーをそのまま使用するので、後付け感はまったくない。内張りを外す技術があるなら、もちろんDIYでも取り付けが可能だ(ソニックプラスセンター新潟のWEBサイトにて通信販売を実施している。取り付けサポートもあり)。



純正スピーカー



ソニックプラス装着後

SUBARU DNAは
いかに受け継がれているのか……

ツーリングワゴン 進化の軌跡

レガシイの後継モデルとして華々しくデビューしたレヴォーグは、
はたしてこれまでのレガシイと似ているのか？
それともまったく別のクルマなのか？
それを知るため今回、歴代レガシイをよく知る人物に解説を依頼。
走りの解説はモータージャーナリスト斎藤聡氏。
そしてメカニズムはスバル系チューナー桑原正典氏。
レヴォーグは長年レガシイが培ってきたノウハウをどのように継承し、
どう進化したのかを探っていこうと思う。



モータージャーナリスト 斎藤 聡が感じた ツーリングワゴン進化論

レガシイらしさは継承し
手ごろなサイズのワゴンに

レヴォーグは、ポストレガシイとして開発されたステーションワゴン、そういつて差し支えないだろう。先代レガシイであるBM/BRレガシイで、レガシイの立ち位置は国内のセダン&ワゴンから、グローバルセダン&ワゴン……、ありていにいってしまえば北米サイズのセダン&ワゴンにシフトした。当然国内では「大きすぎる」という不満の声が上がったが、北米ではこれが好評で、販売的には大成功といえる結果になった。

さらにその前のモデルとなるBP/Bレガシイはスタイリッシュでハンドリングに優れ、その完成度の高さが高く評価されていた。ただしボディサイズ、室内サイズは、北米ユーザー向きとはいいいくつかあった。当時、評判のよさを聞きつけた北米ユーザーがレガシイを購入しようとディーラーまで行ったが、室内がタイトすぎて乗り込むことができなかった、ということがあったらしい。

そんなわけで、北米に大きな拠点を置くスバルとしては、どうしてもレガシイをグローバルサイズにしなければならぬ事情があったのだ。当然スバルでもBM/BRレガ

シイが国内でジャストフィットサイズとは思っていなかった。しかも、国内ではスポーツワゴンの代名詞ともいえるレガシイだが、北米ではワゴンの販売は振るわず、セダンとアウトバックに人気が集まる。そのため次期モデル……、つまり現行型レガシイではセダンのB4とアウトバックというラインアップとすることを決定……、そんな背景があり、国内向けにはレガシイに代わるワゴンモデルの開発がいよいよ必要となったのだ。

シャシーを多く持たないスバルでは、ポストレガシイとして、WRX（インプレッサ）のシャシーをベースにワゴンモデルを開発した。これがレヴォーグというわけなのである。

こう書くとも苦肉の策、あるいは対症療法的にポストレガシイの手当てをしたと読めるかもしれない。だが、ネガティブな解釈をするよりも、文字どおりレガシイに代わる国内ユーザーが求めるサイズのワゴンを開発した、と見るのがいいのではないかとと思う。「なんだ、インプレッサのワゴンバージョンか……」と落胆するのは早計だ。もともとレガシイとインプレッサは、サスペンションやエンジン、そしてミッションなどの開発を交互に行ってきた歴史がある。インプレッサ（WRX）とレガシイは、多くの人が想像する以上に密接にかかわりながら開発されてきているのだ。

その理屈でいくと、WRXのシャシーをベースにレヴォーグが開発されたと考えれば……というが、まんまそのとおりなのだが、これはある意味正常進化といえるわけだ。

レガシイとの関係性でいえば、大方の見方どおりBPレガシイまでさかのぼり、そのサイズ感を受け継ぐイメージで作られた新型ワゴンというのがレヴォーグの位置だろう。

レガシイは、BL/BMレガシイで、ボディ剛性がそれほど高くなかったり、エンジンをつくるクレードルフレームの剛性が足りなかったりと、剛性のスバルといわれるほど高剛性ではなかった。

ボディサイズの拡大による剛性が見極めの甘さなのか、「いなし」ボディは単に硬いだけでなく逃げが必要だ



という考え方」の曲解なのか、いずれにしても、それまでのレガシイほど高い剛性が出ていたようには感じられなかった。

ただ、そんなBL／BMレガシイで感心したのは、剛性はさほど高くなかったが、そのボディの大きさや車高の高さを上手に使うことで大きなサイズのボディをスムーズに曲げることができる操縦性を、きちんと作り上げているところだ。

足まわりを硬くして、強引にタイヤで曲げていくような安直な味付けにはせず、見かけ上のシャープさや機敏さもなかった。その代わりクルマをロールさせながら、スムーズに旋回につなげていくような巧みな味付けだった。大柄になったレガシイの操縦性で高く評価できるころだと思ふ。

タイヤに極力負担をかけずに、重心の高さを巧みに使った曲がりやすいハンドリングセッティングは、現行型レガシイに引き継がれるとともに、レヴォーグ1.6L系のサスセッティングにも垣間見える。

車高が低くホイールベースの短くなったレヴォーグは、リアサスの応答性を高めた、スバルの新しいシャシーセッティングを採用している。こ



ホイールベースとトレッドの比率
ここが先代レガシイと
レヴォーグで異なる大きく

レヴォーグの骨格となるシャシーは、WRX STIと同じ。ベースが同じなので当然、走りのキャラクターは似てくる。組み合わせるサスやデフなどの味付けで、レヴォーグらしさを追求。

骨格ともいえるシャシーは、インプレッサから踏襲されている

先代レガシイと比較すると100mm短いホイールベース。なおサイズの近い4代目レガシイ(BP型)と比べると、20mmほどレヴォーグのほうが短い。これが旋回性に優れる理由だ。



のセッティングは、BPレガシイベースのSTIモデルS402(2008年)あたりからその基本的な考え方が温められてきたもの。

いまさら感はあるが、改めて簡単に説明すると、応答性が高いという、クイックイットとクルマが曲がるイメージを持っている人も少なくないが、じつは応答の遅れがあるほうがそうした動きが出やすいのだ。応答が遅れるとハンドルの舵角が先行してしまうので、必要なだけクルマが曲がったときにはもうハンドルはきりすぎている。このときクルマは半テンポ遅れて動き出し、グインと弾みをつけたように向きを変える。リアタイヤの応答が遅いと、リヤが動かずノーズだけが左右に動く感じになる。

前後のサス(タイヤ)の応答をよくすると、フロントタイヤが曲がろうとし始めてすぐにリアタイヤも曲がろうとするので、クルマの動きとしては

同位相的な動きとなり、比較的穏やかになる。しかもハンドルをきったぶんだけ前輪が動いてくれるので、ハンドルのオーバーシュート(きりすぎ)がなく、ハンドルのきつただけクルマが向きを素直に変えてくれるような印象となる。

じつはこの味付けは、レヴォーグだけでなくWRX STIにもS4にも採用されており、さらにはレガシイにも応用されている。もちろん車種ごとに多少アレンジがされている、それぞれ別の乗り味になっている。

またレヴォーグのなかでも1.6L系は、レガシイのロールを上手に使ったハンドリングとのハイブリッドともいえる味付けになっている。

2.0L系レヴォーグは、足まわりがかなり引き締められており、シャープな操縦性を持っている。トレッド幅に対して比較的ホイールベースが短めな分、リアのトレッドを広げることで安定性を出している。単純にいうと、まうと、操縦性を高めながらリアのトレッド幅を広くすることでスタビリ

ティを高めている、という味付け。

BPレガシイはトレッドに対してホイールベースが長く、これによってややおっとりした動きを作り出していた。リアのトレッドを狭めにセッティングすることで、リアのスタビリティはそれほど高くしすぎず、曲がりやすさを作り出している。

時代が違うので一概に横比較はできないが、操縦性と操縦安定性に対するセッティングのやり方の違いがあり、この部分はBPレガシイよりも現行型インプレッサやWRX寄りのセッティングといえる。

よしあしではなく、ベースとなるクルマの影響は少なからずあるということ。興味深いのは1.6L系。サスペンションを積極的にストロークさせることで、乗り心地のよさを出し、またリアの実質的なサストロークを多めにすることで安定感を作り出しているところ。

ロールの大きさをうまく使って曲がる性能を作り出しているところは、先代レガシイのノウハウが取り入れ

レガシイは海外向けモデルとして残し 国内ユーザーに特化したレヴォーグ



られているようにも感じられる。いずれにしろレヴォーグのシャシーセッティングは、スバルの今もっとも新しい考え方による味付けが施されている。多少インプレッサ(WRX)風味は強めにあるが、手ごろなサイズの運転して楽しいスポーツワゴンであることは間違いない。

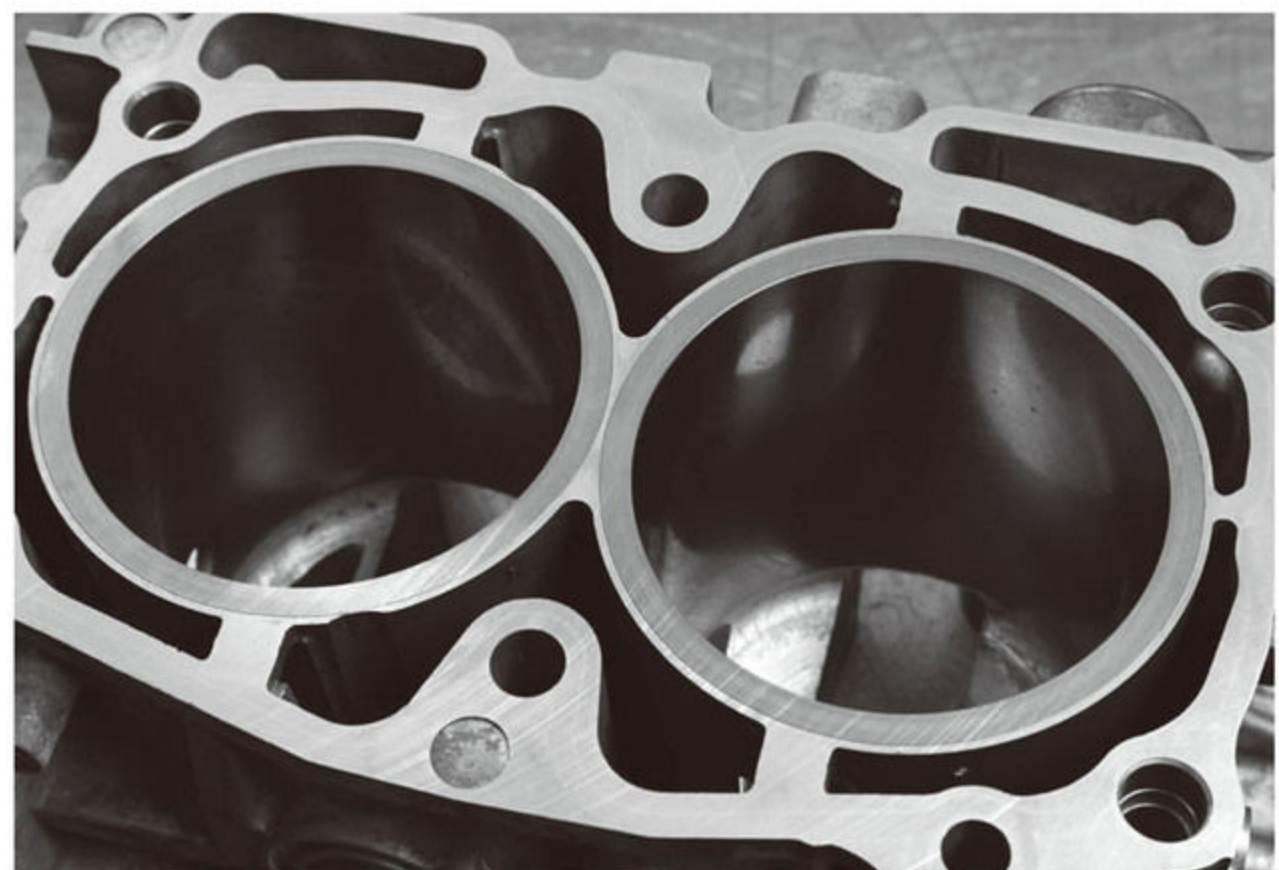
新型レガシイは、アウトバックとB4の2モデルで、ツーリングワゴンにレヴォーグという形になった。サイズ感は今までのとおりで、主に海外ユーザー向けに作られているようだ。

モータージャーナリスト 齋藤 聡氏



レガシイはもちろん、歴代のインプレッサやフォレスターなど、スバル車全般をよく知るモータージャーナリスト。ノーマルからチューンドカーまでなんでも乗りこなし、派手なドリフト走行も得意としている。某輸入車メーカーのインストラクターも務める人物だ。

スバル系チューナー桑原正典が感じた ツーリングワゴン進化論



**エンジンブロックは
500馬力も許容するレベル**
長年搭載されてきたEJエンジンのノウハウをベースに、次世代エンジンとして誕生したFA20。オールアルミエンジンは熟成の域に達し、500馬力でも問題ない耐久性を持っている。

現代風に味付けされるが 血の通ったクルマ作り

今回20GT-Sで倒立ストラットのビルシユタイン製と1.6GTサスに乗る機会を得た。BP/BLレガシイのころ多くのユーザーに好まれたビルシユタインだが、フロントアクスル前方にエンジンが位置するAWDはさまざまなメリットを持つ半面、初期応答から連鎖してターンに入る際をリニアに調教するのは技がいる。これは高いフレーム性能も相まってスバルの目標値が高いところにある由縁だ。GT-Sのほうは、そのキモとなる

地味「硬さ」をいうならば、大きなダンパーピストンを持つGT-Sは、構造上フロントもリアも最初は硬い。しかし5000kmも走れば、バルブ

をはじめシリンダー内部までなじむから、乗り心地は好転する。第一印象にこびない質実剛健な部分も考慮し、グレード選択するといいたいだろう。

BP/BLレガシイでスタートした、電動パワーステアリング。操舵力は軽くソリッドでフリクションも少ない。素早いステアリングワークを再三繰り返してもアシストの遅れはない。20レヴォーグにて、作動音がわずかに聞こえるレベルまで故意にいじめたが十分にタフ。キャスターやキングピンオフセットを無神経にいじらない限り、タイヤのキャパシティを上げて大丈夫そう。

ただしコーナリングの補助として、アクティブトルクベクタリングもある。ゆえにブレーキ関係も含

め、チューニングするなら経験豊かなショップを選択したい。

BP/BLレガシイのフレームワークの伝統は踏襲されている。プレス成型を駆使したパネルが、組み合わせられると変身合体！ 神懸かりともいえる空間イメージ能力がなければ、この発想はなかったはず。

随所で閉断面のトルクボックスや、チューブラーフレームのごと化ける「新環状力骨構造」は、安全性や優れたハンドリングの根幹をなす。普通のユーザーが「うまくいえないがほかと違う」説明できないがスバル」というとき……、陰には理由があるはずだ。

BP/BLを基に、GRBなどでもAピラーへの補強ガセットは存在したが、フロントサスからの入力をより積極的にAピラーで支えるレヴォーグ。ルーフ強度や音振、ピラーの太さやインテリアデザイン、フロントフロアまでの協調設計が必要なはずで、難

しい課題を見事にクリアした結果だ。ボクはその昔、補強パーツで成功したことがある。でも今回は出番がないことを素直に喜ぶたい！

リアアクスルは走りというなら、かつてのWRX以上に神経をつかって調律されている。前後力規制がしっかりとっていて標準タイヤでは非常に好感が持てる。フロントロアアームに呼応するようにリアにも設けられたピロブッシュなど、なますることなく引き締めつつ快適性を確保しているのがうれしい。今回からのPCD114・3ハブもスペックに見合う進化だ。

DIT仕様FA20のピストン、コンロッドは、あちこちのショップの86デモカーにも流用され400馬力オーバーのターボチューンでも活躍している。シリンダーブロック自体は500馬力レベルの強烈なチューンでも耐える。高周波焼き入れのクラン

クシャフトを挟み堅牢に支えるその構造だが、左右ブロックの結合をする10本のメインボルトの内側6カ所に中空ノックピンを併用。

これはスバルに限らず高出力のボクサーエンジンでは常套手段。ボクもEJ207をノックピンタイプに改造したことがあるがその差は歴然。精度のうえでも有利で、クランクシャフトを左右から支えるブレンベンベアリングの合い口も、数ミクロンレベルで左右がそろい強烈なトルクでも許容する。FA20ではDITのパワフルな燃焼、長いストロークがもたらすサイドスラストを受け止める。

「極限のパワーなんて関係ないよ」といわれてしまいうだが、レヴォーグの持つ雑味のない加速感はずっじ心地よい。精度が高くフリクションを消し去ったシリンダーブロックが、その一躍を担っていると確信する。DIT制御も、そのデビュー時から比べると

ツーリングワゴン進化の軌跡

急速に進化している印象。パフォーマンスにおいては、かつてのWRX STIワゴンの立ち位置にあるといつてよいだろう。

FB16は、リリースでは25ℓNAモデルの後継という表現が用いられていた。とかく1.6ℓという小排気量に目が行きがちだが、ターボエンジンはどれだけの混合気を詰め込んで緻密に燃焼させるかがある。そして元の排気量はコンパクトなほど効率がいい。この変幻自在ともいえるキャラクターはかなり魅力的にまとめられている。おそらくECU制御にも多大な努力と技術が注ぎ込まれたことだろう。2.0モデルと1.6モデルの出力／トルクの差は数値では大きい、1.6モデルの普段乗りのクオリティは高い。ボクは緻密なリアトリックの制御プログラムやDBW（電制スロットル）が大きな立役者のように感じる。

ヨーロッパの自動車メーカーでもレヴォーグ同様に、同ボディで大小異なるエンジンの例は数多くある。たいしては最終減速比の大胆な変更でパワーの差を埋め合せているもの。カタログを見すると、レヴォーグの2.0モデルと1.6モデルの間で15〜18%ほ



Aピラー周辺の剛性の高さがスバルらしい走りを生み出している

ボディ剛性の高さは特筆モノ。とくにハンドリング特性に直結するAピラー付け根周辺は、後付けの補強パーツを必要としないくらいに強度を誇る。それくらい完成度が高いシャシーだ。

と異なる。しかし、注意深く観察すると日常の走行において、加速時に使用される3速4速使用時のレシオ差は10%以下の違いにすぎない。

小排気量のターボエンジンを余裕ある大排気量NAのように働かせるために、DBWはスツとターボを立ち上げたり、ドライバーの右足とエンジンとの間でワイドかつ巧みに仕事をしている。これが必要なときは補助しつつも、小賢しいような部分はない。ドライバーにストレスを感じさせないようになかなかうまくやってのける。ボクはここに有能なアシスタントがECUに存在するののように感じた。経済性で安易な方法を採用せず、ドライバビリティをエンジニアの英知によって築いている好例だと思う。

リアトリックやECUの連携を探るべく、負荷をかけながら加速を試みたり、かなり意地悪な乗り方もしてみた。だがエンジンやシャシー、駆動系がクリアに息づく部分をうまく

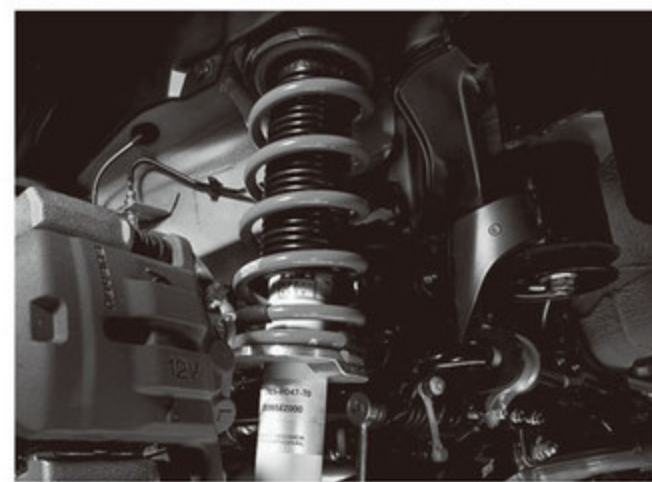
選択抽出しクオリティを高めている。本来はトルクと回転を無段階に変換することが売りのCVT変速。しかしリアトリックでは、その変速比を細分化しステップ制御としている。もしもスクーターのように、ヌボーツと無段階で変速したならば加速タイムは短縮されるかもしれないが、ほぼ全員が絶望感を味わうはず。あまりにも素っ気なくて。対してレヴォーグでは、心地よさや乗りやすさの部分を大切にしている。その理由付けだが、単にフィーリングの向上という言葉で片づけるのはもったいなく感じた。

「操作に呼応したクルマの動きを、ドライバーの体が記憶するから一体感が生まれる」。そもそも、エンジンの発生するトルクをドライバーが操るとき、それを受けるトランスミッション側も変化し続けるならば複雑すぎる。あたかも昔のAT車のように、ドライバーは感覚的なつかみどころがボケてしまう。対してステップ制御の

加速感はエンジン回転の上昇というアクションを味方につけ、地に足がついたような、わかりやすい加速を作り出している。

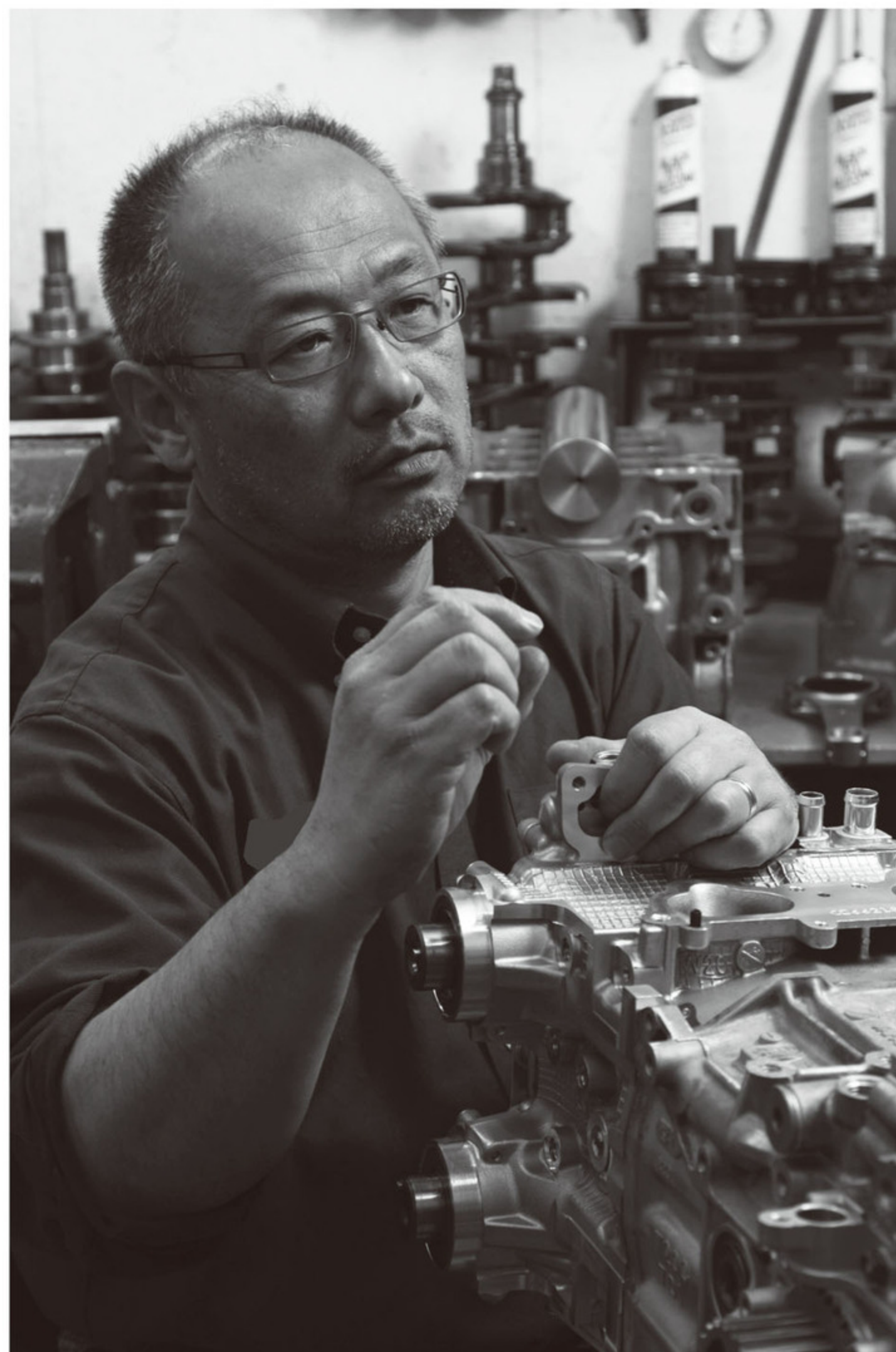
「これなら6MTも！」とは欲張らぬが、もう少し低負荷域までステップ制御を広げられたら楽しそう。情報が豊富な昨今、マニアは性能を数値で評価しがちだが、リアトリックは、

そんなジレンマを乗り越えた。価値観とは日々変化するものだが、現時点で最良の制御に違いない。それほどにレヴォーグは、開発陣が長い時間走り込んで築いた感がある。「血の通ったクルマ造りにウエイトを置く！」。そんな采配がクルマから感じられるのがスバルの特徴。かくして傑作が生まれるものとボクは思う。



標準サスとビルシュタイン それぞれに特徴がある

レガシィから受け継がれるビルシュタイン製ダンパーと、KYBベースのスタンダードダンパー。それぞれに味付けが異なり、乗り比べてみるとじつに面白い。



スバル系チューナー 桑原正典氏

某チューニングショップで、スバル車向けのパーツ開発を行ってきたチューナー。とくにレガシィやインプレッサなどのスポーツモデルを得意とし、エンジンからサス、そしてボディ補強パーツに至るまで、ユーザーが求める数々のチューニングパーツを生み出してきた。

平成国産モデルを振り返る…… SPORTS WAGON HISTORY



**スバルは90年代から
熟成を続けてきた**

ここからは、国産メーカーがどんなワゴンを発売してきたかを振り返ってみたいと思う。年表を見て読みとれるのが、各メーカーとも05年くらいからミニバンブームに押され、徐々に新規モデルが出なくなっている。そんななかスバルだけは、コンスタントにレガシイのモデルチェンジを

繰り返して、ミニバン主流の現在、新たにレヴォーグというワゴンもモデルを打ち出してきた。

「スバルはミニバンを造るのが苦手だからでしょ？」という意見もあるとは思う。だがハイレブ編集部は、「時代の波に流されないこだわりメーカー」としてスバルをとらえたい。

水平対向&AWDというパッケージなど、他メーカーとは異なるスバル独自のこだわりが最大の魅力だ。

NISSAN

<http://www.nissan.co.jp>

**現行モデルはウイングロードのみ
あとは商業車みのラインアップ**

90年代後半は、日産でもさまざまなワゴンをラインアップしてきた。アベニールやプリメーラ、ステージアにセフィーロなど、40代以上のお父さんには、じつに懐かしい名前だろう。だが時代はミニバンが主流に。現行モデルとして購入できる日産のワゴンは、96年に登場したウイングロードのみ。約20年も続くロングセラーモデルとなっている。なお商業車としてはAD&ADエキスパートが街なかで数多く見かけられる程度。ワゴン好きにはちょっと寂しい。

TOYOTA

<http://toyota.jp>

**数多くのワゴンモデルを販売
だがミニバンが主流となる**

現行モデルとして今も発売されているのは、カローラフィールダーとアベンシスワゴンの2種類。どちらも2000年初頭に発売され、マイナーチェンジを経て今に至る息の長いモデルとなっている。このことからトヨタはここ数年、新規のワゴンモデルをほとんど開発していないということがわかる。なぜなら今時の主流はミニバン&ハイブリッドだから。アルファード&ヴェルファイア、そしてハイエースの3車種に押され、ワゴンモデルはおまけ扱いとなっている。

SUBARU

<http://www.subaru.jp>

**レガシイの大ヒットで
ワゴンというジャンルが確立**

1989年、これまで商業車イメージの強かったワゴンを、ファミリーカーとして使える「ツーリングワゴン」として販売。初代モデルから徐々に認知され、そして2代目が爆発的に大ヒット！各メーカーが、レガシイとよく似たステーションワゴンをラインアップしてきた。なおスバルにはレガシイ以外にも、2代目インプレッサまでにはワゴンが存在したが、現在はセダンと5ドアハッチバックというモデルとしてラインアップ。現在はご存じのとおりのレヴォーグとなる。

MAZDA

<http://www.mazda.co.jp>

**ディーゼルが好評のマツダは
アテンザワゴンが大人気**

90年代にカペラワゴンとファミリアワゴンの2台体制となっていたマツダは、このころから徐々にカーラインアップを一新。スカイアクティブ技術を採用したディーゼルエンジンの開発により、幅広いユーザーを獲得することに成功している。2002年登場のアテンザスポーツワゴン、そして2012年登場のアテンザワゴンとその流れは受け継がれ、自動車ファンから大きな支持を得ている。ハイブリッドが主流のエコモデルに対抗できる、ディーゼル人気が高い。

MITSUBISHI

<http://www.mitsubishi-motors.co.jp>

**06年のランエボワゴン以来
三菱にはワゴンがない……**

各メーカーのワゴンみのラインアップを比較して、もっとも寂しいメーカーは三菱だろう。90年代後半からミラージュワゴン、ダイヤモンドワゴン、レグナム、そしてランサー系とコアなファンが多かったモデルを数多くラインアップしていたが、2006年に登場したランサーエボリューションワゴン以降は、ワゴンモデルは存在しない。主流はやはりミニバンとSUVとなっている。かなり寂しい状況だが、今後はEV仕様のワゴンの登場を期待して待っていたい。

HONDA

<http://www.honda.co.jp>

**人気のアコードも終了し
現在はフィットシャトルのみ**

他メーカーは2005年以降、ワゴンの開発をあまり行っていないのに対し、Hondaは2005年にアヴァンシア、2008年にアコードツアラー、そして2011年にフィットシャトルと定期的にワゴンモデルを発表している。ただし長年、Hondaのワゴンを牽引してきたアコードは、惜しまれつつも2013年に終了。現行モデルとして残っているのは、フィットシャトル&フィットシャトルハイブリッドの2車種のみ。他メーカーと同様のラインアップとなっている。

平成9年 1997年	平成8年 1996年	平成7年 1995年	平成6年 1994年	平成5年 1993年	平成4年 1992年	平成3年 1991年	平成2年 1990年	平成元年 1989年
---------------	---------------	---------------	---------------	---------------	---------------	---------------	---------------	---------------

SUBARU

2代目レガシーツーリングワゴン (BG型・後期)

発売期間：1998年6月～2001年5月
もともとハイパワーだったレガシに、さらに手を加えることで280馬力に到達。またビルシュタイン製ダンパーの採用も話題となった。



SUBARU

2代目レガシーツーリングワゴン (BG型・前期)

発売期間：1993年9月～1996年6月
初代がきっかけを作り、この2代目でワゴン人気を確立。速くて悪路に強い4WD、そして手ごろな販売価格。これが人気の秘密だった。



SUBARU

初代レガシーツーリングワゴン・ブライトン (BF型)

発売期間：1992年6月～1993年9月
2.2ℓのエアサス仕様まであったブライトン。3ナンバーモデルとすることで、よりゴージャスなステーションワゴンを生み出した。



SUBARU

初代レガシーツーリングワゴン (BF型)

発売期間：1989年2月～1993年9月
これまで商業車というイメージが強かったバンだったが、スバルはスポーツモデルとして発売。ワゴンブームを作った記念すべきモデル。



TOYOTA

カムリグラシアステーションワゴン

発売期間：1996年12月～1999年8月
北米仕様のカムリに「グラシア」というサブネームを追加して登場。アンダートレーや電源ソケットを装備するなど、使い勝手を追求したモデル。



TOYOTA

カルディア

発売期間：1992年11月～2007年5月
初代は92年発売と古く、97年と02年にモデルチェンジ。4WDターボを用意するなどスポーティに仕上げ、打倒レガシを目指したモデルだった。



TOYOTA

カローラツーリングワゴン

発売期間：1989年8月～2002年8月
カローラ&スプリンターをベースに、ワゴンモデルに仕上げた。当初は1.5ℓNAエンジンを搭載。その後1.6ℓ・2ℓ・2.2ℓのディーゼルがあった。



TOYOTA

スプリンターカリブ

発売期間：1989年8月～2002年8月
ワゴンながら、オフロード性能を加えたRVワゴンのパイオニア。手ごろな車両価格ながら4WDだったため、レジャー志向のユーザーから人気だった。



NISSAN

ウィングロード

発売期間：1996年5月～
96年、99年、05年と計3回のモデルチェンジを行った現行モデル。取りまわしがしやすい6ナンバーサイズながら、快適な室内空間を確保する。



NISSAN

パルサーセリエ

発売期間：1995年1月～2000年8月
5代目パルサーをベースに、RV要素を加えたワゴン。ラゲッジルームの広さが特徴で、エンジンは1.5ℓと1.8ℓ、のちに1.6ℓが加わった。



NISSAN

アベニールサリュエ

発売期間：1990年5月～2005年10月
プリメーラをベースにした、ミドルサイズのスポーツワゴン。95年にサリュエという名前が加わり、ターボモデルが追加。05年まで発売された。



HONDA

オルティア

発売期間：1997年2月～2002年1月
シビックをベースに、リアオーバーハングを延長し荷室空間を確保。リアゲートはガラスハッチのため、荷物の出し入れが手軽にできた。



HONDA

アコードワゴン

発売期間：1991年4月～2008年12月
91年発売のアコードワゴンは、08年までに4度のモデルチェンジを行った人気車種。上質な室内に加え、便利な機能が盛り込まれた高級ワゴン。



MITSUBISHI

レグナム

発売期間：1996年8月～2002年12月
ギャランのワゴンバージョンとなるレグナム。280馬力を誇るV6ツインターボを用意するなど、いかついフェイスにふさわしいスポーツモデル。



MITSUBISHI

ディアマンテワゴン

発売期間：1993年3月～2001年10月
オーストラリア生産のLサイズワゴン。ワゴンらしいラゲッジルームを確保し、上質な乗り心地を目指した。当時としては珍しくABSが標準だった。



MITSUBISHI

ミラーージュワゴン

発売期間：1989年10月～1992年5月
ミラーージュをベースに、3ドアハッチ・4ドアセダン・そしてこの5ドアワゴンがあった。1.5&1.8ℓのガソリンと、1.8ℓディーゼルがあった。



MAZDA

カペラワゴン

発売期間：1994年10月～2002年8月
大型フォグランプやガードバーなど、RV要素を持ったワゴン。ガソリンとディーゼルモデルがあり、4WD&FF駆動が用意されていた。



SUBARU

TOYOTA

NISSAN

HONDA

MITSUBISHI

MAZDA

SUBARU

TOYOTA

NISSAN

HONDA

MITSUBISHI

MAZDA

SUBARU

4代目レガシーツーリングワゴン
(BP型・前期)

発売期間：2003年5月～2006年5月



レガシらしい機能性を残しつつ、よりスポーティさを追求するためついに3ナンバー化。エンジンは3.0L NA、2.5Lターボ&NAを用意した。

SUBARU

3代目レガシーツーリングワゴン
(BH型・後期)

発売期間：2001年5月～2003年4月



各部を細かく見直すことで、より熟成されたレガシ。スバルの最先端技術はまずレガシに採用され、より完成度の高いモデルとなった。

SUBARU

3代目レガシーツーリングワゴン
(BH型・前期)

発売期間：1998年6月～2001年5月



世の中のクルマが3ナンバーサイズへと移行するなか、かたくなに5ナンバーにこだわった。なおこの時期セダンボディのB4が加わった。



TOYOTA

マークIIブリット

発売期間：2002年1月～2007年5月
9代目となるマークIIをベースに、スポーティなモデルとして開発。280馬力の直6ターボのFR駆動など、外観も中身もかなりスポーティだった。



TOYOTA

アルテッツァ

発売期間：2001年7月～2005年7月

トヨタが手がけるひさしぶりのFRセダンで話題となったアルテッツァのワゴンモデル。ボディやサスペンションなど、ワゴン専用でリメイクされた。



TOYOTA

カロラフィールダー

発売期間：2000年8月～

これで3代目となる人気のワゴン。コンパクトなサイズながら快適性や荷室容量を確保し、使い勝手を追求している。現行モデル。



TOYOTA

クラウンエステート

発売期間：1999年12月～2007年5月

11代目クラウンをベースに作られたワゴン。高級感とスポーティな要素を採用し、280馬力の直6ターボ搭載モデルもあった。



NISSAN

プリメーラワゴン

発売期間：1997年9月～2005年12月

初代&2代目は5ナンバーだったが、3代目でボディサイズを拡大。マルチリンクサスのおかげで、スポーティな走りが自慢のワゴンだった。



NISSAN

ステージア

発売期間：1996年9月～2007年6月

96年に初代、01年に2代目が登場したステージア。スカイラインのパワーユニットを持ち、パワフルな加速とスポーティな走りを堪能できた。



NISSAN

ルキノS-RV

発売期間：1996年5月～2000年8月

バルサーセリエS-RVとの兄弟車。こちらもRVルックが最大の特徴だ。エンジンは1.5&1.8L直4で、ミッションは5MTと4ATがあった。



NISSAN

セフィーロワゴン

発売期間：1997年6月～2000年8月

快適な室内空間がウリのセフィーロをベースにしたワゴンモデル。セダンボディのリアのみ延長し、広々としたラゲッジルームを確保している。

HONDA

エアウェイブ

発売期間：2005年4月～2010年8月

フィットをベースにしたコンパクトなワゴン。天井がガラスルーフで開放感あふれる室内は、手軽にリアシートをフラット化できる使い勝手も◎。



HONDA

アヴァンシア

発売期間：1999年9月～2003年7月

3ナンバーサイズのワイドなボディで、ミニバンのような広い室内空間が特徴。ウオークスルーなので、室内を自由に移動できるくらい広かった。



MITSUBISHI

ランサーエボリューションワゴン

発売期間：2005年9月～2006年12月

ラリーで戦うことを目的に作られたランエボのワゴンバージョン。中身はほとんどセダンと同じで、ATとMTの両方が用意されたスポーツモデル。



MITSUBISHI

ランサーセディアワゴン

発売期間：2000年11月～2003年2月

車両価格は150万円からと手軽に乗れるワゴンとして登場。165馬力の1.8Lターボを追加するなど、走りを追求したモデルだった。



MAZDA

アテンザスポーツワゴン

発売期間：2002年6月～2012年11月

02年に初代、08年に2代目とモデルチェンジ。スポーティワゴンがコンセプトで、ワゴン以外にもセダンやハッチバックボディも用意されていた。



MAZDA

ファミリアSワゴン

発売期間：1998年6月～2004年4月

Sの名のとおり、スポーティな味付けが施されたワゴン。コンパクトなボディサイズながら、窮屈さを感じさせない室内空間に仕上げていた。



SUBARU

レヴォーグ(VM型)
発売期間：2014年4月～

大きくなってしまったレガシィに代わり、国内ユーザー向けに開発されたのがレヴォーグ。道路や駐車事情を考慮すると、まさにぴったりだ。



SUBARU

5代目レガシィツーリングワゴン
(BR型)

発売期間：2009年5月～2014年10月
より快適性能を求め、さらにボディサイズを拡大。高級セダンと変わらないクオリティを実現できたが……。大きすぎるという声も高まった。



SUBARU

4代目レガシィツーリングワゴン
(BP型・後期)

発売期間：2006年5月～2009年4月
今では装着率9割ともいわれるアイサイトが登場。当時はまだアイサイトはオプションのような扱いで、認知度も低かった。

STIが手がけたレガシィ限定モデル
S&tSシリーズに注目!! 1レガシィツーリングワゴン
tuned by STI

発売日：2006年 限定台数：600台
BP/BLのアブライドD型をベースに、足まわりやブレーキなどにSTIパーツを採用。ブレンボブレーキや室内など、ブラック化した大人のルックスが特徴。

レガシィツーリングワゴン
tuned by STI

発売日：2005年 限定台数：600台
ドライビングフィールを重視し、足まわり関係のセットアップを中心に煮詰めたモデル。なお現在の名前の「tS」とは、この「tuned by STI」の略となる。

S401
STI version

発売日：2002年 限定台数：400台
レガシィ最初のコンプリートカーがこのS401。293馬力と当時の自主規制となる280馬力よりもパワーを出していた。当然、走りに特化したモデルだ。



STIはスバル車をベースに、数々のコンプリートカーを限定で発売してきた。初めて手がけたのが今でも伝説として語り継がれている、インプレッサをベースとした「22B」だ。レガシィベースのコンプリートカーは計6台。クルマ全体的に手が入っているモデル

が「S」シリーズで、ハンドリング向上をねらったライトチューンモデルが、「tS」シリーズとなる。どちらもコンプリートカーらしいバランス感が最大の特徴で、さすがメーカー直系というすばらしい完成度だった。現在、限定モデルのためプレミアが付いている。

TOYOTA

アベンシスワゴン

発売期間：2003年10月～
開発を欧州で行ったのが最大の特徴で、スタイリッシュなデザインに仕上がっている。03年の登場以来、現行モデルとして発売されている。



HONDA

フィットシャトル・ハイブリッド
発売期間：2011年6月～

フィットシャトルと同時に発売されたハイブリッドモデル。居住性や積載性はガソリン車と同等で、燃費は30km/ℓを達成している。



HONDA

フィットシャトル

発売期間：2011年6月～
11年に登場したフィットをベースにした現行モデル。燃料タンクを中央に配置し、低床かつ広々とした室内空間を持つ人気モデルだ。



HONDA

アコードツアラー

発売期間：2008年12月～2013年3月
ツアラーという名前どおり、運動性能の高さが自慢のワゴン。エンジンは2.4ℓ VTECのみで、ミッションはパドルシフト仕様のSATとなっていた。

STIが手がけたレガシィ限定モデル
S&tSシリーズに注目!! 2レガシィツーリングワゴン
tuned by STI

発売日：2007年 限定台数：600台
GTを取りしめる辰巳監督が、初めて手がけたモデルがこちら。フレキシブルパーツを初採用した。ここからボディを固めるという考えから、「いなす」という造りになった。



レガシィtS

発売日：2010年 限定台数：600台
これまでのtuned by STIという名前からtSへと変更。ハンドリングを中心に煮詰めたモデルで、特別感を演出する上品な空力パーツも採用されたクルマだった。



S402

発売日：2008年 限定台数：402台
エンジン内部から足まわり、そして内外装に至るまで、徹底的に手に入れた究極のレガシィ。ワイドボディやモノブロックキャリバーなど、隙がない仕上げだった。



MAZDA

アテンザワゴン

発売期間：2012年11月～
新世代技術となるスカイアクティブを採用した、現行モデルのワゴン。スタイリッシュなデザインが、幅広い年齢層から支持されている。



全国ショップガイド

SHOP GUIDE

発売間もないレヴォーグだが、スバルチューナーならしっかりと相談に乗ってくれる
デザイン性に優れた快適なグランドツアラーのよさをさらに伸ばすべく
いい相棒となってくれるショップを見つけてみよう！

アイコン解説

各ショップが得意とする分野を
アイコンで表しています。



エンジン系

吸排気・CPU・エンジン内部・ターボ・冷却などのエンジンチューニング



足まわり・剛性

車高調・ダンパー・スプリング・スタビライザーなどの足まわり関係や、剛性アップパーツのチューニング



メンテ

吸排気・CPU・エンジン内部・ターボ・冷却などのエンジンチューニング



ドレスアップ系

各種エアロ&ドレスアップチューニング



ホイール・タイヤ

タイヤとホイールの販売やオフセットなどのセッティング



オーディオセキュリティ

オーディオ、セキュリティのインストール



その他

その他の項目に関する作業

FOR
LEVORG

埼玉県

blackline



📍 川越市下広谷690-1
☎ 049-239-6667
🌐 <http://www.blackline-racing.com>
🕒 10:00～21:00
🗓 月曜日

エンジン内部パーツ、ミッション内部パーツ、ワンオフ製作可能。エンジンルームもカッコいいクルマに仕上げます。

群馬県

SYMS Racing



📍 太田市本町43-15
☎ 0276-25-1055
🌐 <http://www.syms.jp/>
🕒 10:00～19:30
🗓 月曜日、第1・3日曜日

一般走行のメンテナンスからサーキット走行のメンテナンス、そしてドライビングまでお客様のクルマの最適化をお手伝いできます。

宮城県

RDMW



📍 柴田郡村田町村田字西原49
☎ 0224-86-3891
🌐 <http://www.rdmw.com>
🕒 9:00～19:00
🗓 予約制

ブレーキとサスペンションならお任せください。サーキット走行向けセットアップからタイヤ交換などの日常メンテまでサポートします。

岩手県

ステイ自動車整備センター



📍 八幡平市大更2-266-3
☎ 0195-76-4044
🌐 <http://www.stayh.com/>
🕒 9:00～18:30(土曜・日曜・祝日 ~18:00)
🗓 火曜日

ライトチューンからハードチューンまで、幅広く対応します。認証工場なので、分解整備も安心です。HKS製品の取り扱いも得意です。

東京都

YR-Advance



📍 日野市旭が丘3-3-19
☎ 042-581-7135
🌐 <http://www.yr-advance.com>
🕒 10:00～19:00
🗓 木曜日

コミュニケーションをとりながら、パーツ選びやセッティングに満足してもらうことを心がけています。オリジナルパーツも多数。

東京都

AVO TURBOWORLD JAPAN



📍 昭島市武蔵野2-13-13
☎ 042-549-1296
🌐 <http://avoturboworld.jp>
🕒 9:00～18:00
🗓 月曜日、日曜日、祝日

エンジン本体中身をご覧になりたい方や、ちょっとしたメンテナンスなどのご相談も随時受け付けています。

千葉県

ワンガン



📍 市川市福栄4-1-12
☎ 047-395-5505
🌐 <http://www.wangan-spl.co.jp>
🕒 10:00～20:00
🗓 水曜日

ドレスアップからスポーツチューンまで、トータルでカスタムが可能な、スバル車のスペシャリストです。お気軽にご来店ください。

千葉県

アイエーコンセプト ピットイン千葉



📍 千葉市花見川区朝日ヶ丘1-34-16
☎ 043-276-1916
🌐 <http://www.iacpc.jp>
🕒 10:00～19:30(日曜・祝日 ~18:30)
🗓 水曜日

独自のコンピュータセッティングのノウハウが豊富です。ドライバーのスキルに合わせてクルマを作っていきます。お気軽にどうぞ。

神奈川県

プローバ



📍 横浜市都筑区早淵3-30-8
☎ 045-591-5501
🌐 <http://prova.co.jp/index.html>
🕒 10:00～19:00
🗓 日曜日(第1除く)、第2・3土曜日、祝日

ショールームや商談室も完備。ニュルブルクリンクを走っている吉田選手にも、平日ならいろいろご相談いただけます。

神奈川県

ザウィオートスタジオ



📍 横浜市都筑区池辺町4505
☎ 045-929-5903
🌐 <http://www.zowie.jp>
🕒 10:00～19:00
🗓 水曜日

「部品は素材、チューニングとは調律」と考え、的確な技術でハードな走行でも壊れない、タイムが出る、楽しく走れるクルマを作ります。

神奈川県

コクピット戸塚



📍 横浜市区中田東1-8-22
☎ 045-802-6731
🌐 http://www.cockpit.co.jp/shop/17_totsuka/
🕒 10:00～19:00
🗓 水曜日、第3木曜日

数あるスポーツ系チューニングのなかでも、とくにブレーキシステムを中心としたセットアップに絶対の自信を持っているショップです。

神奈川県

55モータース



📍 横浜市青葉区鉄町703
☎ 050-1004-9595
🌐 <http://www.55motors.jp>
🕒 11:00～21:00
🗓 不定休(レース イベント開催日)

サーキットを安全に楽しく走れるクルマ作りがモットー。レースメカニックでもある代表とドレスアップカスタムの匠がご相談を承ります！

富山県

PROJECT K



📍 高岡市下伏間江575
☎ 0766-23-5502
🌐 <http://www.pr-k.com>
🕒 10:00～19:00
🗓 水曜日

元WRCドライバー・神岡政夫の運営です。自らが試して効果を確認したパーツのみを扱っており、予算を効果的に生かすことができます。

岐阜県

Pleasure Racing Service



📍 大垣市大井4-45-1
☎ 0584-87-0687
🌐 <http://www.prs.jp>
🕒 10:00～19:00
🗓 火曜日、祝日(土日除く)

各種メンテナンス、チューニングのご相談など、なんでもお任せください。モータースポーツ参戦へのサポートもしています。

大阪府

K2 GEAR



📍 大阪市城東区今福東3-7-4
☎
🌐 <http://www.k2gear.com>
🕒 10:00～19:00(土曜・日曜・祝日～18:00)
🗓 水曜日

ユーザーのみなさま、ひとりひとりのご意見・ご要望にきめ細かくこたえ、安心な商品と技術を提供するショップです。

奈良県

ミラージュオートアラーム



📍 天理市三味町3-4
☎ 0743-67-8181
🌐 <http://mirage.gs/>
🕒 10:00～19:00
🗓 月曜日、火曜日

セキュリティ専門店です。車種別の専用施工で完全武装をお約束します。最適なシステムをオリジナルセットでご提供します。

福岡県

スバルショップCORAZON(コラゾン)



📍 福岡市南区横手1-1-24
☎ 092-581-2040
🌐 <http://carazon-world.com>
🕒 10:00～18:00
🗓 木曜日、第2・第4日曜日、祝日

オリジナル製品・スバル専用カー用品の販売と取り付けを行なっています。カスタマイズのご相談や製品へのご意見・ご要望もどうぞ。

神奈川県

RST



📍 大和市代官1-15-10 B-1
☎ 046-279-4350
🌐 <http://www.rst-cs.com>
🕒 11:00～19:00
🗓 不定休

ベース車両の長所を生かし、ユーザーの不満を効率よく改善します。ストリートカーのメンテナンスから競技車まで幅広く対応します。

岐阜県

カーライフショップゼロマックス東海本店



📍 各務原市大野町6-101-2
☎ 058-380-2882
🌐 <http://www.zeromax.ne.jp>
🕒 10:00～20:00(日曜・祝日～19:00)
🗓 月曜日

カウンセリング販売を基本とするスバル車専門のプロショップです。現車合わせECUセッティングも好評です。メンテナンスもお任せを。

京都府

フェニックスパワー京都店



📍 久世郡久御山町佐古外屋敷37-2
☎ 0774-48-1157
🌐 <http://www.phoenixs.co.jp>
🕒 10:00～20:00
🗓 火曜日

ライトチューンからフルチューンまで、すべてに対応いたします。とくにコンピュータチューンは最先端をいっております。

兵庫県

ばくばく工房



📍 神戸市西区宮下1-21-74
☎ 070-5433-5872
🌐 <http://www.bakubaku-studio.com>
🕒 WEBショップは24時間受け付け(電話対応10:00～19:00)
🗓 年中無休

ほかにはない、独自のパーツ作りをしています。開発車両に装着し、テストを重ねることで、よりよいパーツをリリースしています。

岡山県

オリジナルランデュース



📍 倉敷市三田118-1
☎ 086-464-0606
🌐 <http://www.runduce.com>
🕒 11:00～20:00(日曜・祝日～19:00)
🗓 水曜日

走りプロデュースするという意味の名前である「ランデュース」。快適で走って楽しいクルマ作りを提案していきます。

神奈川県

トータルショップゼロマックス南関東店



📍 相模原市相模原市南区古淵1-31-16
☎ 042-707-0361
🌐 <http://www.zeromaxminamikantou.co.jp/>
🕒 10:00～19:00
🗓 火曜日

ストリートからサーキットまで、幅広いユーザーに対する的確なカウンセリングが評判のスバル専門のプロショップです。

長野県

AQUA



📍 松本市島内4113-1
☎ 0263-48-6818
🌐 <http://www.aqua-alarm.com/>
🕒 10:00～20:00
🗓 水曜日、第3火曜日、イベント日、年末年始、GW、お盆

専門のセキュリティはもちろん、ガルウイングなど他店では断られるような難しい加工や作業もご相談ください。

愛知県

KHUL名古屋



📍 名古屋市緑区大根山2-503
☎ 052-693-9805
🌐 http://ruf-gt.co.jp/nagoya_stocklist/
🕒 10:00～19:00
🗓 水曜日

メーカーを問わず最先端の高品質カスタムが可能です。オール自社製作で、アフターフォローにも力を入れています。

兵庫県

エムズエンジニアリング



📍 尼崎市水堂町4-17-18
☎ 06-6437-3560
🌐 <http://www.emus-eng.co.jp>
🕒 10:00～20:00
🗓 水曜日

ドレスアップ、チューニングが得意なお店です。また、マフラーに関してはすぐその場で修理、加工が可能。足まわりもお任せください。

和歌山県

ガレージノブ



📍 和歌山市西小二里2-4-82
☎ 073-447-0233
🌐 <http://garagenob.com/>
🕒 10:00～19:00
🗓 水曜日

昔ながらの町の自動車工場みたいな店です。日常的なメンテナンスもよくやっております。なんでもお気軽にご相談ください。

神奈川県

EX-FORM(エックスフォルム)



📍 横浜市都筑区中川中央2-3-12
☎ 045-590-0017
🌐 <http://www.ex-form.jp>
🕒 10:00～20:00
🗓 火曜日

GIALLAのアンテナショップです。カスタマイズ、チューニング、アライメント、オイル交換、車検、板金修理など、お気軽にご相談ください。

福井県

フェニックスパワー福井店



📍 坂井市丸岡町朝陽2-317
☎ 0776-67-2980
🌐 <http://www.phoenixs.co.jp>
🕒 10:00～20:00
🗓 火曜日

レヴォーグはコンピュータチューンで大きく性能が変わります。まずはコンピュータからチューンを楽しんでください。

愛知県

ラック



📍 長久手市岩作琵琶ヶ池20-1
☎ 0561-63-0101
🌐 <http://www.luck.co.jp/>
🕒 9:00～20:00(日曜・祝日～19:00)
🗓 水曜日、第2火曜日

ラリーのイメージが強い当店ですが、ストリート仕様の製作もお任せください。公道レースならではのノウハウをご提供します。

大阪府

オートプロデュースA3



📍 岸和田市稲葉町216-5
☎ 072-479-2760
🌐 <http://apa3.jp>
🕒 11:00～20:00(土曜・日曜・祝日 10:00～19:00)
🗓 水曜日、第2火曜日

日ごろのメンテナンスから、ミッション・エンジンスワップなどの特殊作業、新車・中古車のコンプリートカー販売まで幅広く対応します。

奈良県

Kansaiサービス



📍 奈良市小倉町1080
☎ 0743-84-0126
🌐 <http://www.kansaisv.co.jp>
🕒 10:00～19:30
🗓 木曜日、第2水曜日

長年チューニングカー市場の第一線で活動してきた圧倒的なノウハウで、必ず満足のいくチューニングカーをご提供していきます。

掲載メーカー&ショップ 問い合わせ住所録



あ			
RST	046-279-4350	神奈川県大和市代官1-15-10 B-1	http://www.rst-cs.com
RDMW	0224-86-3891	宮城県柴田郡村田町村田字西原49	http://www.rdmw.com
アイエーコンセプト ピットイン千葉	043-276-1916	千葉県千葉市花見川区朝日ヶ丘1-34-16	http://www.iacpc.jp
アクア	0263-48-6818	長野県松本市島内4113-1	http://www.aqua-alarm.com
阿部商会	03-3233-2213	東京都千代田区神田美土代町3	http://abeshokai.jp
ウェッズ	03-5753-8201	東京都大田区大森北1-6-8 ウィラ大森ビル6階	http://www.weds.co.jp
uno per uno	03-3701-9111	東京都世田谷区尾山台3-9-3	http://www.carrozzeriajapan.co.jp/unoperuno.htm
AVOターボワールドジャパン	042-549-1296	東京都昭島市武蔵野2-13-13	http://www.avoturboworld.jp
エスクラフト	049-259-7313	埼玉県入間郡三芳町北永井520-2	http://www.frp-craft.com
STI	0422-33-7848	東京都三鷹市大沢3-9-6	http://www.sti.jp
エスペリア	0492-32-2700	福岡県久留米市本町17-19 オーシャン本町ビル1F	http://www.espelir.co.jp
EX-FORM(エクスフォルム)	045-590-0017	神奈川県横浜市都筑区中央2-3-12	http://www.ex-form.jp
エッチ・ケー・エス	0544-29-1235	静岡県富士宮市北山7181	http://www.hks-power.co.jp
HPI	03-5663-2551	東京都江戸川区松江2-10-20	http://www.hpi.co.jp
エナペタル	052-775-3328	愛知県尾張旭市東山町2-14-8	http://www.ennepetal.co.jp
エムケーカシヤマ ウインマックスディビジョン	0267-67-7700	長野県佐久市小田井1119	http://winmax.jp
エムズエンジニアリング	06-6437-3560	兵庫県尼崎市水堂町4-17-18	http://www.emus-eng.co.jp
M2販売	03-3704-2272	東京都世田谷区等々力 2-1-2-301	http://www.m2-hanbai.com
エンケイ	053-522-5245	静岡県浜松市中区板屋町111-2 アクトタワー26F	http://www.enkei.co.jp
エンドレスアドバンス	0267-68-6888	長野県佐久市三河田522-3	http://www.endless-sport.co.jp
オーゼットジャパン	053-469-5011	静岡県浜松市中区佐藤2-35-20	http://www.oz-japan.com
AUTOBACS ASM YOKOHAMA	045-629-0905	神奈川県横浜市新山下2-4-7	http://autobacs-asm.com
オートプロデュースエスリー	072-479-2760	大阪府岸和田市稲葉町216-5	http://www.apa3.jp
オートリファイン	045-920-1223	神奈川県横浜市瀬谷区五貫目町21-9	http://www.autorefine.co.jp
OKADA PROJECTS	044-822-3341	神奈川県川崎市高津区北見方2-3-5 山竹マンション1F	http://www.okadaprojects.com
オリジナルランデュース	086-464-0606	岡山県倉敷市三田118-1	http://www.runduce.com
か			
カーケアオフィス	059-370-5590	三重県鈴鹿市住吉2-19-8	http://homepage2.nifty.com/carcareoffice
カキモレーシング	072-265-8411	大阪府堺市西区浜寺船尾町東1-111	http://www.kakimotoracing.co.jp
ガレージKM1	0533-72-5084	愛知県豊川市宿町白山159	http://www.garagekm1.com
ガレージノブ	073-447-0233	和歌山県和歌山市西小二里2-4-82	http://garagenob.com
ガレージベリー	048-469-1708	埼玉県和光市下新倉5-18-21	http://www.vary.co.jp
カロツェリアジャパン	03-5851-1852	東京都足立区平野1-12-16	http://czj.jp
Kansaiサービス	0743-84-0126	奈良県奈良市小倉町1080	http://www.kansaisv.co.jp
キャロッセ	027-352-3578	群馬県高崎市新保町1664-1	http://www.cusco.co.jp
Cool Nuts	045-800-3157	神奈川県横浜市泉区上飯田町2509-2F	http://www.cool-nuts.com
KUHL名古屋	052-693-9805	愛知県名古屋市長区大根山2-503	http://ruf-gt.co.jp
グラッド・ジャパン	03-3298-8195	東京都大田区大森北3-42-8	http://www.glad-japan.com
グループ・エム	048-450-2911	埼玉県朝霞市幸町3-12-24	http://www.gruppem.co.jp
ケースベック	0566-54-2855	愛知県高浜市論地町3-9-57-201	http://kspec.co.jp
K2ギア	06-6932-7772	大阪府大阪市城東区今福東3-7-4	http://www.k2k2.jp
55モータース	050-1004-9595	神奈川県横浜市青葉区鉄町703	http://www.55motors.jp
コクピット戸塚	045-802-6731	神奈川県横浜市泉区中田東1-8-22	http://www.coto-sports.com
コラント VARENTI事業部	058-397-0303	岐阜県羽島市福寿町平方4-43	http://www.valentijapan.com
さ			
ザウィオートスタジオ	045-929-5903	神奈川県横浜市都筑区池辺町4505	http://www.zowie.jp
ジアラ	045-590-0311	神奈川県横浜市都筑区中川中央2-3-12	http://www.gialla.co.jp
ジー・コーポレーション	0566-25-8105	愛知県刈谷市東陽町2-1	http://www.g-corp.co.jp
ジェイ・ロード	03-5746-0720	東京都大田区北馬込1-22-2 ハイッス大橋201	http://www.siecle.co.jp
シムスレーシング	0276-25-1055	群馬県太田市本町43-15	http://www.syms.jp
スーパーオートバックス東京ベイ東雲	03-3528-0357	東京都江東区東雲2-7-20	http://www.sa-tokyobay.com
スーパースター	072-979-0923	大阪府柏原市雁多尾畑4576	http://www.superstar-wheel.com
ズームエンジニアリング	042-670-8555	東京都八王子市南陽台2-31-2	http://zoom-eng.com
ステイ自動車整備センター	0195-76-4044	岩手県八幡平市大更2-266-3	http://www.stayh.com
SUBARU SHOP CORAZON	092-581-2040	福岡県福岡市南区横手1-11-24	http://www.corazon-world.com

スピリットパフォーマンス	042-516-9550	東京都武蔵村山市学園3-19-2	http://www.spirit-shocks.jp
スプーン リジカラ事業部	03-3220-3411	東京都杉並区荻窪 5-2-8	http://www.rigidcollar.jp
スラッシュ	072-631-5850	大阪府茨木市天王2-4-7-402	http://www.slashowy.com
制動屋	059-373-5871	三重県鈴鹿市庄野羽山4-21-12	http://www.seido-ya.com
ゼロスポーツ	058-380-2828	岐阜県各務原市大野町6-101-2	http://www.zerosports.co.jp
ゼロマックス東海本店	058-380-2882	岐阜県各務原市大野町6-101-2	http://www.zeromax.ne.jp
ゼロマックス南関東店(TPS)	042-707-0361	神奈川県相模原市南区古淵1-31-16	http://www.zeromaxminamikantou.co.jp
ソニックデザイン	043-209-1777	千葉県千葉市中央区南町2-6-18	http://www.sonic-design.co.jp
た			
タナベ	072-728-6700	大阪府箕面市小野原東1-4-15	http://www.rd-tanabe.com
タニダ	052-871-3741	愛知県名古屋市昭和区鶴舞2-3-17	http://www.tanida-web.co.jp
ダムド	0120-53-9991	神奈川県大和市下鶴間45-2	http://www.damd.co.jp
TAN-EI-SYA WHEEL SUPPLY	0766-86-3311	富山県射水市片口高場1-1	http://www.tws-forged.com
ダンロップファルケンタイヤ	0120-39-2788	東京都中央区日本橋蛸殻町1-30-5 いずみ日本橋ビル3F	http://tyre.dunlop.co.jp
ディーランゲージ	03-6807-1557	東京都足立区皿沼3-24-11	http://dlanguage-z.com
ティエムシー／RS★R	0120-826-644	大阪府豊中市今在家18-10	http://www.rs-r.co.jp
T.M.WORKS	0555-72-0546	山梨県南都留郡富士河口湖町船津6913-1	http://tmworks-web.jp
テイン	045-810-5501	神奈川県横浜市戸塚区上矢部町3515-4	http://www.tein.co.jp
データシステム	086-445-1617	岡山県倉敷市神田1-1-11	http://www.datasystem.co.jp
ドウオール	03-5725-3625	東京都目黒区碑文谷5-20-1	http://www.doall.jp
東京発条製作所	03-3732-4112	東京都大田区蒲田4-27-3	http://www.tohatsu-springs.com/swift
トップラインプロダクト	04-7190-1391	千葉県柏市高柳1147-2	http://www.tpl.co.jp
な			
日本精機 Defi事業部	03-3835-3639	新潟県長岡市藤橋1-190-1	http://www.nippon-seiki.co.jp/defi
は			
ばくばく工房	070-5433-5872	兵庫県神戸市西区宮下1-21-74	http://www.bakubaku-studio.com
バリス	042-689-2939	神奈川県相模原市緑区牧野8420	http://www.varis.co.jp
ハリアンテック	044-455-6441	神奈川県川崎市中原区小杉御殿町1-940-19	http://www.harriantech.co.jp
BBSジャパン	0120-57-4433	東京都中央区日本橋久松町9-9 SCI日本橋ビル4F	http://www.bbs-japan.co.jp
BE FREE	06-6324-0405	大阪府大阪市東淀川区東中島2-11-10	http://www.befree.sh
ピボット	0263-46-5901	長野県松本市岡田下岡田87-3	http://pivotjp.com
フェニックスパワー京都	0774-48-1157	京都府久世郡久御山町佐古外屋敷37-2	http://www.phoenixs.co.jp
フェニックスパワー福井	0776-67-2980	福井県坂井市丸岡町朝陽2-317	http://www.phoenixs.co.jp
藤壺技研工業	055-998-0130	静岡県裾野市須山1220-12	http://www.fujitsubo.co.jp
ブラックライン	049-239-6667	埼玉県川越市下広谷690-1	http://www.blackline-racing.com
ブリヂストンリテールジャパン／プロドライブ	0120-036710	東京都中央区京橋1-12-2	http://www.prodrive-japan.com
ブリッツ	0422-60-2277	愛知県安城市高棚町大道40-1	http://www.blitz.co.jp
プレジャーレーシングサービス	0548-87-0687	岐阜県大垣市大井4-45-1	http://www.prs.jp
プローバ	045-591-5501	神奈川県横浜市都筑区早濑3-30-8	http://www.prova.co.jp
プロジェクトK	0766-23-5502	富山県高岡市下伏間江575	http://www.pr-k.com
プロト	0566-36-0456	愛知県刈谷市井ヶ谷町桜島5	http://www.plotonline.com
ブロンコ・バスター	048-577-0606	埼玉県大里郡寄居町赤浜1903	http://www.brig-bb.co.jp
ま			
マツ.ショウ	048-935-1130	埼玉県草加市青柳8-64-2	http://www.ganador.co.jp
ミノルインターナショナル	03-5706-1888	東京都世田谷区等々力2-1-2スクウェアビル3F	http://www.billion-inc.co.jp
ミラージュオートアラム奈良本店	0743-67-8181	奈良県天理市三味田町3-4	http://mirage.gs
ムーンフェイス	0566-75-4455	愛知県安城市浜富町5-9	http://www.moonface.co.jp
や			
横浜ゴム	0120-667-520	東京都港区新橋5-36-11	http://www.yokohamatire.jp
ら			
ラ・アンスポーツ	04-7124-9199	千葉県野田市中野台鹿島町11-13	http://www.launsport.com
ラック	0561-63-0101	愛知県愛知郡長久手町岩作琵琶ヶ池20-1	http://www.luck.co.jp
リベラルコーポレーション	044-753-0180	神奈川県川崎市高津区千年792-1 青木ビル2F	http://liberal-aero.com
ルートシックス	03-3690-0600	東京都葛飾区東堀切1-3-15	http://route6.co.jp
レイズ	06-6787-0019	大阪府東大阪市長田西2-4-7	http://www.rayswheels.co.jp
ROWEN	0565-41-5755	愛知県豊田市堤本町山畑7	http://www.rowen.co.jp
ロブソンレザー	03-3656-6477	東京都江戸川区大杉5-26-15	http://www.robson-leather.co.jp
わ			
ワーク	06-6746-1133	大阪府東大阪市長田西4-1-13	http://www.work-wheels.co.jp
YRアドバンス	042-581-7135	東京都日野市旭が丘3-3-19	http://www.yr-advance.com
ワンガン	047-395-5505	千葉県市川市福栄4-1-12	https://www.wangan-spl.co.jp

- この本に掲載したパーツや用品の価格・仕様・販売元などのデータは、2015年1月1日現在のものです。場合によっては、価格改訂や仕様変更、発売中止となっていることもあります。
- ご購入に際しては、事前によくご確認ください。また、ご購入や実際の作業の際に生じたトラブルに関しては、当編集部ではいっさいの責任を負いかねますのでご了承ください。
- この本に掲載したパーツや用品のなかには、競技専用のもも含まれています。ご購入に際しては、商品の仕様や特徴、取り付け方法、価格など、事前にご確認ください。
- この本に掲載したパーツや用品の特徴・性能などのデータは、いずれもメーカー発表値となっております。

AD CONTENTS

AQUA	123
阿部商会	表4
エッチ・ケー・エス	4-5
AVOターボワールドジャパン	107
オートプロデュースエースリー	106
オートモード オリジナル	107
カキモトレーシング	122
カルマ	6
Kansaiサービス	97
キャロッセ	176
Kuhl名古屋	78
K2ギア	94
シムスレーシング	95
ソニックプラスセンターニイガタ	174-175
藤壺技研工業	表3
ブリッツ	2-3
プロドライブジャパン	38
レイズ	表2見開き、8
ワンガン	7

HYPER REV

車種別チューニング&
ドレスアップ徹底ガイドシリーズ

LEVORG

STAFF

EDITOR IN CHIEF

伊藤勝徳

EDITOR

mink's 石津 徹/木村貴行/中村ブンコ

村田純也/青木志保/金井徹郎

WRITER

齋藤 聡/塩見 誠/正松本 宏/高橋明宏/堀 辰也

堀口 訓/松本尊重/桑原正典

PHOTOGRAPHER

稲田浩章/犬塚直樹/金子信敏/小竹 充/高松 弘

鶴身 健/中島昌吾/服部真哉/宮崎雄司/吉見幸夫

DESIGN

緒崎真司/佐藤香奈/石田 亘/山口義広

mink's 長谷川修史/田邊雅人

COVER ILLUSTRATION

都築雅一

PROOFREADER

青森蝦夷

PRODUCER

渡辺文緒



ニューズムック HYPER REV 車種別チューニング&ドレスアップ徹底ガイドシリーズ vol.189 「スバル・レヴォーグ」 2015年3月16日発行

発行人:鈴木 賢志 編集人:渡辺 文緒

発行所:株式会社三栄書房

〒160-8461 東京都新宿区新宿6-27-30 新宿イーストサイドスクエア 7F

編集:TEL03-6897-4635

受注センター:TEL048-988-6011 FAX:048-988-7651

広告:TEL03-6897-4622 販売:TEL03-6897-4611



SAN-EI SHOBO Publishing co.,Ltd.

PRINTED IN JAPAN 凸版印刷

*本誌中の記事、ロゴ、イラストなどの無断転載・無断使用を禁じます。

*本誌に掲載した商品の価格・仕様・発売元等は編集部調べです(2015年1月1日現在)。
商品の価格は原則消費税込みの総額表記ですが、一部消費税別の価格が混在している場合があります。
また、2014年4月1日に消費税率が変更されましたが、税率が5%、8%での総額表記が混在している場合もあります。恐れ入りますが商品を購入される場合は、メーカー、ショップで必ず価格、仕様、返品方法等についてご確認のうえ、お買い求めください。購入後のトラブルについて出版元・編集部は一切関知しません。また責任も負いかねますのでご了承ください。

LEVORG 向け 最新オススメパーツ



DIXEL

ディクセル
☎072-654-0121

ブレーキパッド、ブレーキローターとも
現在、急ピッチで開発中!



補修用から本格スポーツ対応の製品まで幅広くブレーキパッド&ローターをリリースするディクセル。レヴォーグ用のアイテムは一部の製品しかリリースされていないが、金型の製作は終え、そのほかの製品も間もなくリリース開始とのこと。

2015東京オートサロンでCHECK!

LEVORG 向け 最新 オススメ パーツ



レヴォーグにオススメの最新パーツを探しに
年明け恒例イベント「東京オートサロン」に潜入!
定番のエンジン&足まわり系パーツはもちろん
電子パーツやタイヤに至るまで
さまざまな2015年発売のアイテムをピックアップ
今年の流行をいち早くチェックしておこう!!



ACRE&SPIRIT

アクレ
☎042-516-9600

ブレーキシステムでおなじみのアクレから
レヴォーグ用車高調キットが登場!



アクレのサスペンションブランド「スピリット」から、レヴォーグ用の新作車高調キットが登場。まずはストリート向けの「スペックN」からラインアップを開始した。そのほかにもフルコンピュータのリンクやラジエーターホースなど、ハードパーツが続々と登場している。

SPIRIT Spec-N

減衰は前後ともに20段調整、正立式の全長調整式のダンパーキット。バネレートは7 & 5 kg/mmと、ストリート向けの味付けだ。19万9000円(税抜き)。



手ごろな価格ながら、さまざまな制御が可能になるため、最近支持されているチューナーが増えているリンク。アクレでも取り扱いを始めた。

LINK G4+シリーズ



CLUBMOTION
シリコンラジエーターホース

安定した冷却システムの構築には欠かせないラジエーターホース。耐久性はもちろん、ドレスアップ効果も期待できるフルシリコン製の。



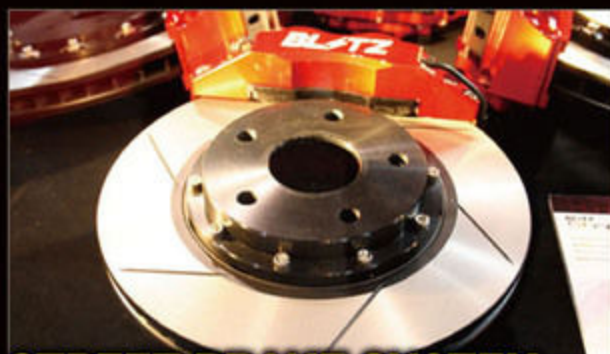
NUR-SPEC VS.

SUS304材を採用した、見た目もサウンドも大人向けのマフラー。左右2本出しのスポーティなスタイルは、レヴォーグにぴったり!



DAMPER ZZ-R Spec-R(3WAY)

発売時期などはまだ未定だが、ZZ-Rシリーズのフラッグシップモデルとなる3WAYが展示されていた。縮み側がハイスピードとロースピードの別調整が可能だ。



STREET BRAKE SYSTEM

本格的なサーキットスペックではなく、ドレスアップ向けアイテムとして開発しているブレーキシステム。リーズナブルな価格で車種別キットとする予定。



Touch B.R.A.I.N

次世代タイプの追加メーター「タッチブレイン」。OBD IIコネクタに接続することで、水温や車速などの情報を表示できる万能モニターだ。



FLD METER

OBD IIコネクタを使わず、イグニッション電源に接続できるタイプが登場。アナログとデジタルのハイブリッド表示で、視認性に優れたLEDが好印象だ。



BLITZ

ブリッツ

☎0422-60-2277

BRZやWRX STIなどスバル系を得意とするブリッツ レヴォーグ向けパーツもラインアップ開始!

BRZ & 新型WRX STIをベースに、精力的にタイムアタックを行っているブリッツ。ここで得たデータを基に、定番のサスペンションキットに加え、ブレーキやエアロパーツまで着手。汎用となるが、追加メーターや電子系アイテムも充実。今年もブリッツは、スバル系車種のパーツ開発ラッシュとなりそうだ。



写真は新型のWRX STIだが、フロント周辺のエアロパーツはレヴォーグと共通。適合確認がすみ次第、カタログラインアップされるそうだ。

CUSCO

キャロッセ

☎027-352-3578



2015年もチューニングフリークをうならせる 本格的な機能系パーツが登場した!

競技系パーツを得意とするクスコで注目したいのは、クワイフ社製ヘリカルLSDだ。レヴォーグのように、ストリートでの使い勝手を求めるユーザーが多い場合、ガッツリと効く機械式LSDよりもスムーズなヘリカルLSDのほうが◎。とくにATやCVTといった車両にマッチするLSDなので、今からパーツラインアップが楽しみだ。

ヨーロッパでは絶大な支持を得ているクワイフ社製ヘリカルLSD。今回クスコは正規代理店となり、取り扱いを開始することになった。



クワイフ社ヘリカルLSD



SMART SLOPE

クルマが乗った状態でも、先端部分を取り外すことでジャッキが使用できるスロープ。プラスチックなので軽いうえ、分割なので収納に便利なのがうれしい。



Racing Harness

ハンス対応の本格的な6点式ハーネスが登場。安全性の追求はもちろん、脱着のしやすさを追求した競技系モデル。価格は4万2000円(税抜)となる。



COLOR : Silver

COLOR : Black



HANS SPORT 3

従来モデルよりも200g軽くなった、FRP性のコストパフォーマンスモデル。ヘルメットに取り付けるポストキットプロも用意する。

LEVORG^{向け} 最新オススメパーツ



新型モノブロックキャリパー

高温時でも熱変形が発生しにくい特殊なアルミ合金を採用。従来モデルと同サイズのモノブロックキャリパーなので、交換はボルトオンだ。



X COILS PLUS

安定した挙動とバグンのレスポンスを追求した、高性能スプリング「X COILS PLUS」。現在開発中で、2015年発売を目指している。



4-NRL DAMPER

その名の通り、伸び縮みともに独立調整が可能な4WAYダンパー。S耐マシンの86で開発し、今後ラインアップされる予定だ。



ENDLESS

エンドレス

☎0267-68-6888

レヴォーグ用ブレーキパッドのラインアップ完了 キャリパー&ダンパーも最先端パーツも発表してきた

日本国内に限らず、海外メーカーからも絶大な信頼を得ているブレーキメーカーのエンドレス。特殊なリアキャリパーを採用するレヴォーグだが、ついに前後ともブレーキパッドのラインアップが完了。ストリートからミニサーキットまで幅広く対応するぞ。

MX72&SuperStreet S-sports

定番のMX72やSスポーツなど、レヴォーグ用の定番アイテムはラインアップ完了。パッドは、スポーティな走りには欠かせないパーツだ。



HKS

エッチ・ケー・エス

☎0544-29-1235

HKS

純正エアクリーナーボックスに対応 ドライカーボン製サククションパイプを開発中!



EJ20用にラインアップ済みのカーボンサククションは、インプレッサオーナーから圧倒的な支持を得ている人気パーツ。ドライカーボン製で非常に軽く、スムーズなR形状のため吸気効率が飛躍的にアップ。とくにターボ車には効果が高いので、ぜひとも装着しておきたい。

カーボンサククション

まだまだ開発初期段階なので、発売時期や価格、形状も暫定となっている。気になるレヴォーグオーナーは、気長に発売を待てよう。

FUJITSUBO

藤壺技研工業

☎055-998-0130

FUJITSUBO

より低回転域からスムーズにブーストが立ち上がる FA20向けエキゾーストマニホールド

FA20エンジン向けに開発された、ステンレスエキマニ。集合は4-2タイプで、パイプ系は45φと太めの仕様だ。交換することでパワー&トルクともに、低中間域での性能がアップ! アクセルの踏み始めの領域がかなり改善されるようになる。

Super EX BASIC VERSION



可能ならばこのエキマニと同時に、触媒やマフラーの同時交換がオススメ。低速トルクが向上し、乗りやすさが向上する。価格は10万円(税抜き)。

JUN AUTO

ジュンオートメカニック

☎03-3920-4165

鍛造コンロッド

このコンロッドも含めて、本格的なセッティングの煮詰めはこれから開始される。ターボエンジン用パーツへの展開も期待大。

本格的なエンジンパーツ開発に 定評のあるJUNがFA20に着手

取材しているその場で配達されてきた、まさに出来立てホヤホヤのFA20用のエンジンパーツ。これ自体はNA用、つまり86/BRZ向けだが、EJ20エンジンでも実績のあるJUNだけに、近い将来のターボエンジン用のパーツ開発にもぜひ期待しておきたい。



試作ハイカムシャフト

まだまったくの試作段階で、発売される製品のプロフィールなども決定していない状態。どれだけ詰めてくるのか期待したい。



ハイコンプピストン

純正エンジンにポン付けできるタイプのNA用ハイコンプピストン。材質にはフォージドアルミニウムを採用して、ウエイト面でもメリットが大きい。



展示されていたのは、ピストン、コンロッド、ハイカムの3アイテム。まだ価格も発売時期も未定だが、JUNがどうFA20をチューニングするのか楽しみだ。

MOUNTAIN

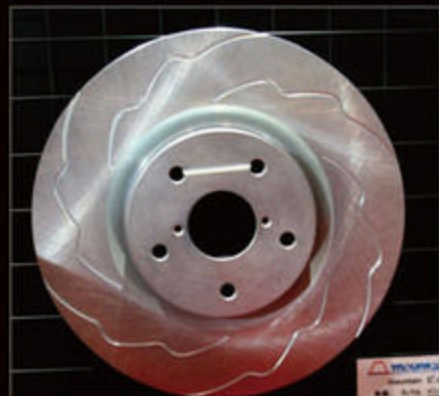
マウンテン

☎052-871-1800 (販売代理店 CRK)

自動車メーカーの純正ローターを製作する メイドインジャパンのチューニングローター



自動車メーカーの純正ローターの製造を行っているマウンテンは、国内の自社工場にてすべてを生産している。その同社が手がけるアフターパーツ向けローターが、このピュアシリーズ。補修用の低価格仕様から、サーキット向けの高性能モデルまで、幅広くラインアップしている。



ピュアシリーズ ディスクローター

現在はまだ、インプレッサ系のみのラインアップとなっているが、適合さえとればすぐにでもレヴォーグ用として発売されるだろう。

MARCHE

カーステーション・マルシェ

☎027-265-6789

スバル車での実績は文句なし レヴォーグも積極的に パーツを開発していく予定

「WRX STIも購入してデモカーを製作しているので、そのノウハウを生かして、どんどんパーツをリリースしていきます」と語ってくれたのは石田代表。インプレッサやレガシィチューンでの実績はご存じのとおりだけに、レヴォーグ用製品も楽しみだ。



レヴォーグ用として展示されていたのは、高速道路でのレーンチェンジや峠道でリアの安心感が向上するという「リアメンバー合体くん」。

リアメンバー合体くん



LEVORG^{向け} 最新オススメパーツ

K&N

グループ・エム
☎048-450-2911

PERFORMANCE FILTERS
Imported by GruppeM

抜群な吸気効率を誇るパワークリーナーに 2.0GT系レヴォーグ専用が登場

純正交換タイプは1.6&2.0モデルの両方、むき出しタイプのパワークリーナーは残念ながら2.0モデルのみとなっている。どちらも車種専用設計なので、ボルトオンで装着OK。パワークリーナータイプは、取り付けステーなどもセットされる。



パワークリーナー

純正交換タイプは9800円(税抜き)で、ムキ出しタイプは2万8000円(税抜き)となっている。目的に合わせセレクトしていこう。

TEIN

ティン
☎045-810-5501

リーズナブルな2タイプの 車高調がラインアップ EDFCも使用可能

ティンのレヴォーグ用車高調キットは、全長調整式で減衰力も変更できるストリートフレックスとストリートベシスの2種類から登場。そのほか、ローダウンスプリングのハイ・テクもすでにラインアップしている。今後も精力的に開発を行っていくとのこと。



STREET FLEX

ストリートフレックスは、車内から減衰力を調整できるEDFCにも対応している。ファミリユースにも最適だ。



K-SPEC

ケースベック
☎0566-45-2055

レヴォーグ用パーツはまだ開発中 ただし、豊富な汎用パーツにも注目だ

製品のジャンル別に数多くのオリジナルブランドを展開しているケースベック。レヴォーグにも使えるパーツは、HID製品の「GLANZ」、光モノの「GALAX」、そしてシートカバーの「ARTINA」でラインアップ。今後もどんどん製品が増えていく予定とのこと。

GLANZ LEDフォグバルブ

少ない消費電力で純正ハロゲンバルブの2倍の明るさを実現する、超発光LEDシステムを採用した汎用フォグバルブだ。



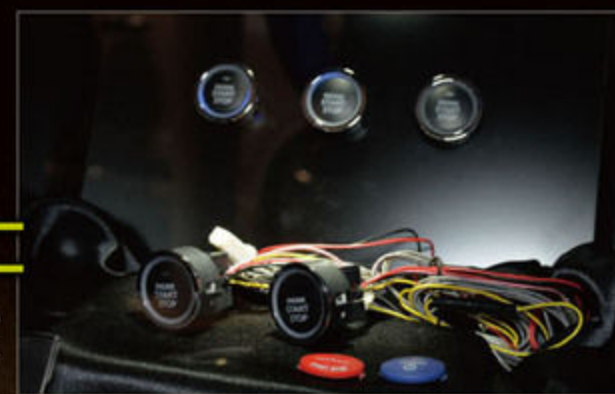
GLANZ バックドアLEDランプ

バックドアに付けると、夜間の荷物の出し入れが非常に便利になるバックドアLEDランプ。ワゴンのレヴォーグにはピッタリだ。



GALAX ブッシュスターター イリュージョンスキャナー

ブッシュスターターのリングにフルカラーLEDを採用して多彩なカラーや発光パターンが楽しめる。汎用タイプが利用できる。



ARTINEシートカバーシリーズ

車種別の型どりで、抜群のフィット感を誇るシートカバー。バリエーションも豊富に揃っているのが好みに合わせて選ぶことができる。



Valenti JAPAN

ヴァレンティジャパン
☎058-322-6700

**光モノのカスタムならお任せ。手軽にキラキラ感と
明るい光を手に入れることができるのだ**

光モノパーツの流行で存在感を示しているヴァレンティ。前後のライトまわりやウインカー、リフレクター、ルームランプなどに豊富なラインアップを誇っている。汎用パーツも多く、ちょっとしたアクセントになるドレスアップカスタムには欠かせない存在だ。



間もなくレヴォーグ用がリリースされるLEDルームランプ。レンズやインナーリフレクターの効果でキラキラ感を演出できる。

車種専用

JEWEL LEDルームランプ

LEDリアバンパーリフレクター

点灯時はもちろん、消灯時でもキラキラ感を演出できる。保安基準適合で1年保証も付いているので安心して装着できる。



JEWEL LEDヘッド&フォグバルブ

LEDバルブはハロゲン仕様のライトを簡単に明るくて見やすい光に変えられるアイテム。ヘッドライト用とフォグランプ用がそろう。

Revier

レヴィーア
☎0774-52-3331

**エクステリアのアクセントにぴったりな
LEDウインカーレンズがオススメ**

国産車を対象とした光りモノパーツブランドであるレヴィーア。レヴォーグ用にはLEDのウインカーミラーレンズがラインアップ。また、純正交換タイプのCCFLフォグランプも近日発売予定とのことなので、こちらもチェックしておきたい。



LEDウインカーミラーレンズキット

ウインカーミラーのレンズのみを交換するタイプ。クリアとスモークが選べるほか、カラーバリエーションも豊富。フットランプも付いている。

BELLOF

ベロフ
☎027-267-0984

**ヘッドライトバルブの
スペシャリスト・ベロフから
最新アイテムを紹介**

HIDキットやLEDバルブでおなじみのベロフでは、最新パーツを発見。HIDのようにタイムラグがなく、瞬時にハイパワーの明るい光が照射できるハイビーム用のLEDバルブだ。2000ルーメンのバルブ2発を搭載。



スーパーLEDハイビームバルブ

今年春ごろのリリースとなるハイビーム用のLEDバルブ。レヴォーグは、ハイビームにはLEDランプの設定がないので注目だ。



RECARO

レカロ

☎0800-919-5881

欧州車のような
雰囲気演出できる
カラーバリエーション
豊富なスポーツシート

レカロのブースでチェックしたのは、多くのレヴォーグデモカーにも装着されていたスポーツシート「Sportster」。2014年12月発売のSportster Limited Editionや2015年の新色などが展示されていた。上質な乗り心地とインテリアの質感向上に大いに貢献してくれそうだ。



Sportster leather Special Edition

オートサロンで初のお披露目となったスポーツスターレザーズスペシャルエディションは、サイドファスナーのカラーアクセントが特徴。

TOP XEN TECH

TOP XEN TECH

URL <http://www.txtmotivepower.com>

クルマに1台積んでおくと安心
コンパクトでリーズナブルな
クルマ用ジャンプスターター

中国福建省広州市のTOP XEN TECHがリリースする、小型のジャンプスターターはとっても便利。コンパクトなのに、バッテリー上がりのときはこれでエンジンを始動できるうえ、LEDライトなども装備している。いざというときに頼りになる存在だ。



マルチファンクションジャンプスターター

スマホ程度のコンパクトサイズをはじめ数タイプがラインアップ。スマホなどの充電もできるマルチチャージャーとして利用できる。ネットショップなどで発売中。

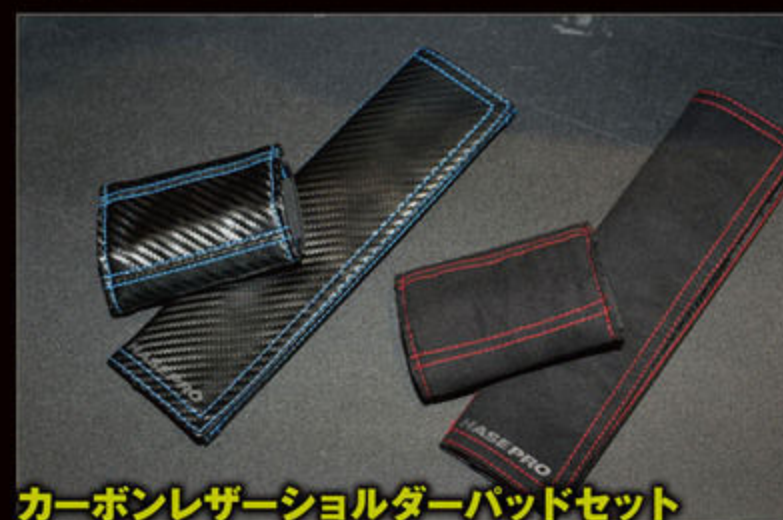
HASEPRO

ハセプロ

☎0120-277-907

手軽にカーボンドレスアップが楽しめる
小物系アイテムの新作がラインアップ!

マジカルカーボンでおなじみのハセプロブースでは、スポーティな雰囲気演出できるアイデアパーツをピックアップ。小物までしっかりと気を配るか否かがドレスアップの完成度を左右するので、ドレスアップ派はしっかりとチェックしておこう。



カーボンレザーショルダーパッドセット

今回のオートサロンで先行発売されていたアイテム。カーボン調とステッド調があり、ステッチは青と赤の2タイプが用意される。



ラジエターキャップエンブレム

ラジエターキャップに貼るだけでスポーティな雰囲気。黒が0.9kg/cm²、赤が1.1kg/cm²、青が1.3kg/cm²と開弁圧を表示できる。



フューエルキャップエンブレム

レギュラー、ハイオク、ディーゼルと油種表示ができるようになっているうえ、それぞれに5色のカラーバリエーションを用意。

GOODYEAR

グッドイヤー

☎0120-609-188



EfficientGrip Performance

2014年に発売されたばかりのエフィシエントグリップ・パフォーマンスは、ハイパフォーマンスカーをメインターゲットにしたタイヤ。ドライ&ウェットブレーキ性能に優れるうえに静粛性も高く、しかも低燃費。GTカーであるレヴォーグには最適なタイヤなのだ。

ヨーロッパの道で磨かれた
ハイパフォーマンスなエコタイヤ

BRIDGESTONE

ブリヂストン

☎0120-39-2936



POTENZA RE-71R

伝説のポテンザRE71の名を受け継ぐ、ラジアル最速にこだわり開発されたのが、オートサロンで大々的に発表された「POTENZA RE-71R」だ。トレッドパターンからコンパウンドまですべてを見直し、最新の技術を投入。サーキットユーザーが満足する、ハイパフォーマンスタイヤの誕生だ。

ついにラジアル最強を目指し
ブリヂストンが乗り出してきた

FALKEN

ファルケン

☎0120-392788



ZIEX ZE914

転がり抵抗を減少させつつ、高い走
光性を引き出したZE914。とくに
ウェット性は特筆モノで、スポー
ティなコンフォートタイヤだ。



AZENIS RT615K

見た目からもわかるとおり、圧倒的
なグリップ力を誇るRT615K。な
タイムアタック向けのタイヤなが
ら、ロングライフも両立している。



AZENIS FK453

快適な乗り心地を確保しつつ、高速
域での操作性やウェット性能を突
き詰めたハイパフォーマンスタイ
ヤ。レヴォーグにオススメだ。

ストリート系からハイグリップまで 3種類のラジアルタイヤを紹介

昨年まではダンロップ・ファルケンとしての出展だったが、2015年からはファルケン単独でのブース出展とし、より幅広い層にアピールしていた。レヴォーグにオススメのラジアルタイヤはこの3種類。コンフォートからハイグリップモデルまで、幅広いラインアップが特徴だ。





KENDA

ケンダ

URL <http://www.kendajp.com>



KR20A

最近ではドリフト系ユーザーからの支持もあり、コストパフォーマンス重視のユーザーに人気のケンダ。その同社が送り出す、2015年3月発売予定の最新モデルがKR20A。トレッドパターンはかなり大胆で、ブロックはかなり大型のデザインだ。サイズは17&18インチがメインなので、レヴォーグにピッタリとなる。

アジアンタイヤのケンダが
ハイグリップラジアルの
「KR20A」を発売開始

KUMHO

クムホ

☎03-3553-4076



SOLUS Majesty

クムホのコンフォートタイヤシリーズ「SOLUS」。その最新プレミアムコンフォートタイヤがマジェスティだ。ロングツーリングをメインにレヴォーグの乗り味を楽しんでいるユーザーにはぴったりなモデル。ウェット性能やライフ性能もハイレベルなので、1.6&2.0モデルの両オーナーにオススメだ。

高い静粛性に加え
上質な乗り心地を誇る
最新のプレミアムコンフォート

YOKOHAMA

ヨコハマタイヤ

☎0120-667-520



ADVAN A08B

参加台数も多く、予選落ちも当たり前となっている86&BRZのワンメイクレース。そこで圧倒的な速さを見つけていたA08B。これまで86&BRZ向けの1サイズだったが、今回、R35GT-R用をラインアップ。将来、レヴォーグ向けのサイズが発売されるかも？

86&BRZワンメイクレース向けが
今後ラインアップが拡大していくかも？

TOYO TIRES

トーヨータイヤ

☎0800-3001456

ミニバンの技術をコンフォートタイヤにフィードバック

右に掲載したCF2は、低燃費を意識したコンフォートモデル。ショルダー部分に特殊なリブを設けることで絶妙なブロック剛性に仕上げ、グリップ力と転がり抵抗を両立させたタイヤとなっている。



PROXES Sport CONCEPT



コンセプトモデルなので発売されるかは未定だが、大胆なトレッドパターンにひと目ぼれ！ 近い将来、サーキット向けのハイグリップモデルとして登場？



PROXES CF2



燃費やウェット性能など、オールラウンドな性能を突き詰めたCF2。ストリートが中心となるレヴォーグにベストマッチする、低燃費コンフォートタイヤだ。

THE NEWEST WHEELS

“ホイールの
“今”が
ここに
ある

欧州車のような塊感を持った美しいデザインのレヴォーグを
よりスタイリッシュに見せるにはホイールカスタムが欠かせない
デザイン性と機能性に富んだホイールの最先端をご覧ください



レイズ ☎06-6787-0019
<http://www.rayswheels.co.jp>

Photo: 稲田浩章
Text: 村田純也 (四馬力)

RAYS

WALZ FORGED>>>S7
デザイン重視の鍛造プレミアム



取材協力: オートプロデュースA3
☎072-479-2760 <http://www.apa3.jp>

足もとに気品を生む 洗練されたたくましさ

走りの性能を突き詰めて機能美を生み出すイメージの強いスポーツホイールサプライヤーがレイズだが、今回ここで紹介するのは、ルックスからアプロウチした先進の鍛造ホイール「ヴァルト・フォージド・S7」。たくましさを持ち出したポリウレムのスポークを巧みに組み合わせ、魅せるディスクデザインは、センターホールへと滑らかにコンケイブ

ていくフォルムと相まって、レヴォーグのボディラインにふさわしい気品を足もとへもたらしてくれる。

なお、写真だけでは質感をパーフェクトに伝えることができないが、FDMC加工したのちにブラッククリアを施すことで実現可能となった吸い込まれるような漆黒感も魅力。まさに開発コンセプトどおり、デザインまでも鍛え上げた次世代スポーツホイールへ仕上がっている。

ちなみに、S7と同一デザインでスポーク部分へマシニングによる文字入れ

を施して、クリスタルミラーカットで光沢感を変えたS7・コンフォートモデルも注目の存在。こちらは鏡面仕上げのディスクといったイメージで、S7と同系色である黒ながら高級感を強く感じる仕上がりだ。

いずれのアイテムも、ユーロスポーツ的なスタイリングを持つレヴォーグの足もとへ違和感なく映える逸品。見せるデザイン鍛造だからこそ成し遂げられる「洗練されたたくましさ」を、思う存分愛車で堪能してほしい。



SPECIFICATIONS

■レヴォーグ用推奨サイズ	8.0J×19+48
■仕様	鍛造1ピース
■カラー	プレスブラッククリアー
■価格	8万1000円

メタルの質感を放ちながら、ソリッドとは異なる漆黒感を演出するS7のプレスブラッククリアー。小ぶりのセンターホールとリムエンドまで結ぶ力強いスポークで、足もとの存在感と奥行き感を高め上げていく。

WALTZ FORGED>>>S5



レイズ
森 漣さん

見せる鍛造ブランドとして展開されるヴァルトに新しく仲間入りの発表された2015年最新モデルが、S5。S7とは対照的に伸びやかな2×5スリムスポークが与えられたコイツは、足長感とボルクレイシング同等の軽量を徹底追求したものだ。5月付近をめぐり18インチが先行リリースされ、17インチと19インチが順次デリバリーされていく予定となっているので、こちらも注目しておきたい。



ホイールの
“今”が
ここに
ある



GRAM LIGHTS>>>57VALKYRIE

立体的かつアグレッシブな存在感

取材協力:Kuhl名古屋
☎052-693-9805
<http://ruf-gt.co.jp>

同銘柄初のメッシュが 採用された意欲作

最先端の理論を用いて、鑄造製法の限界に挑んだ「グラムライツ」。スポーツ走行を愛する幅広いフリークから支持を集めており、その高い機能性とマーケット人気はもはや鍛造製品に匹敵するといっている。そんな感度の高いエッジな銘柄に新作がアップされた。

ご登場願うは「グラムライツ・57ヴァルキリー」である。4/5ホール別に専用デザインが採用されたロングスポーク、メッシュスタイルが最大の特徴なのだが、とりわけヴァリアブルレイヤーと銘打たれたメッシュデザインは、同銘柄初の試みとなるだけに傾けられた意欲は並大抵ではなかったとか。

聞けば今作はグラムライツが持つスポーティな印象はそのままに、より装飾性が強められているらしく、ゲッターに続くセンターユニットの採用のほか、スポークとリム天面をちょうど5スポークを描くように縁取る太めのリブが設けられるなど、上質なステーションワゴンの足もとにこそ似合うドレッシーな要素が盛り込まれているのだ。また、ボード、キャップ、リングからなるセンターユニットは日々の気分やTPOに応じた、いわば重ね着感覚にも似たアレンジを楽しむことも可能。

ときにはレーシーなセンターロック風、ときには重厚なフォーマル風、アイデア次第で印象のまったく異なる足もとを磨くことができる点は、流行の移り変わりが激しい今時にも心強い。



レイズ 加藤照幸さん



レイズ ☎06-6787-0019 <http://www.rayswheels.co.jp>
Photo: 稲田浩章 Text: 堀口 訓



GRAM LIGHTS>>>57VALKYRIE

SPECIFICATIONS

■レヴォーグ用推奨サイズ	8.5J×18+42
■仕様	鋳造1ピース
■カラー	サンライトシルバー(SU)、ブラック/ ラインダイヤモンドカット/ブラッククリア(KK)
■価格	5万760円(SU)、5万4000円(KK)

ホール数の異なる17インチと18インチ別に専用の表情が与えられた意欲作。ヴァリアブルレイヤーとセンターユニットが生み出す美しい緊張感、ピュアスポーツ感に注目だ。

GRAM LIGHTS>>>57FXX

SPECIFICATIONS

■レヴォーグ用推奨サイズ	7.0J×17+38、7.5J×18+40、 8.5×19+45、8.5×20+45
■仕様	鋳造1ピース
■カラー	サンライトシルバー(SU)、 ブラック&マシニング(BM)
■価格	4万3200円~7万4520円



サイズ変更でイメージも大きく変わる。どこまでインチアップするか!?



こちらは「グラムライツ57FXX」の履き比べとなる。実装サイズは左からそれぞれ7.0J×17+38(205/55)、7.5J×18+40(225/45)、8.5×19+45(225/40)、8.5×20+45(225/35)。1クラス上のリムオーバー×コンケイブで紡ぐ大径感をどのマッチングで着こなすべきか、フットワークインストール時の参考にぜひご活用あれ。

プリヂストンリテールジャパン ☎0120-036710
http://www.prodrive-japan.com
Photo: 稲田浩章 Text: 村田純也(四馬力)

Prodrive

>>>GC-05N FORGED MONOBLOCK

美しさと
速さの共存



取材協力:K2 GEAR
☎06-6932-7772
http://www.k2k2.jp



専用エクステンションでリムエンドまでスポークを伸ばし、足長感をアピール。そのアイデアが実現した奥行き感を存分に楽しむのであれば、光沢あるリムと漆黒のスポークでメリハリをきかせたマイスターブラック／マシーンドリムが最適。



ボディカラー問わずに高級感とスポーティさを打ち出すブリティッシュゴールドを採用したプロトモデル。8.5×20+45というレヴォーグをターゲットにした新サイズ以上に気になる存在だ。



SPECIFICATIONS

■サイズ	7.5J×17+50～11.0J×20+15
■仕様	鍛造1ピース
■カラー	ブリティッシュブラック、ブリティッシュホワイト、フラットブラック、ブリティッシュシルバー／マシーンドリム、マイスターブラック／マシーンドリム、ブラッシュドフィニッシュ
■価格	7万200円～15万6600円

THE NEWEST WHEELS
“ホイールの
今”が
ここに
ある



5本スポークの美しさを 極限まで研ぎ澄ます

熟練された技術を持つ職人が1本ずつ手がけていくために完全受注生産としているプレミアムモデル、プロドライブ・GC105N。一見ただけではフラットな5本スポークを与えたオーソドックスデザインにも思えるが、プリンカーと呼ばれる専用エクステンションパーツでリムエンドまでスラリと伸ばしたスポークによって、奥行き感と足長感を十分に高めたものだ。

その魅力は見るほどに足もとの美しさが湧き上がってくるものとなっていて、2ピースのような高級感とともにレヴォーグのスタイリングを引き締めてくれる。鍛造モデルならではの頼もしさを武器に、美しき速さを実現した新時代の5本スポークホイールとして、これは大いに注目しておくべきだろう。

さて、今回はノーマル+αのカスタムをコンセプトにしたK2ギアのデモカーでGC105Nをマッチングチェックしたのだが、プロトタイプとして8.5×20+45が投入されていた。20インチではレヴォーグにジャストなインセットが設定されていなかったため、これは期待が高まるポイントだ。

また、本来はカラー設定がないはずのブリティッシュゴールドが与えられていたのも見逃せない。アルミの質感を引き立てるブラッシュドフィニッシュや奥行き感を打ち出すマイスターブラック／マシーンドリムも気になるが、プロドライブの定番カラーでありスバル車と好マッチングなゴールドカラーに引かれるユーザーはきっと多いはずだ。

受注生産ゆえにオーダーして即納とならないものかしきはあるが、待つ価値十二分の逸品。プロドライブの妥協なきこだわりを、心ゆくまで堪能しよう。

THE NEWEST WHEELS
“ホイールの
今年が
ここにある”

2015オートサロンでCHECK!

今年のWHEELトレンドは!?

世界三大オートパーツショーに数えられるオートサロンには各メーカーがここぞとばかりに新作を投入してくるそこでチェックした、2015年の最新ホイールを見てみよう



FS
シンプルな12本スポークは、側面にリブが入る。

RI-S
細身のツインスポークが、立体的に飛び出した形状だ。

RI-A
鍛造1ピースならではの、細身の軽量スポークホイール。

SX
「Y」と「I」という文字を組み合わせたデザインが特徴。

BBSジャパン
☎0766-31-8091
<http://www.bbs-japan.co.jp/>

BBS

世界的なプレミアムブランドのBBSから新たなスポーツ系ホイールが4つも登場

BBSのブースには、2015年発表の新作モデルが大量に展示されていた。すべてBBSらしい鍛造モデルで、RI-Sのみ2ピースでそれ以外は1ピースだ。近年のトレンドを取り入れた細身のツインスポークやリムオーバーデザインなど、老舗ブランドが本気で新作ホイールの開発に乗り出したようだ。品質の高さはだれもが知るところ。今後、BBSブームがくるかもしれない……。



POTENZA RW006
6本スポークの半分をツイン、半分をシングルデザインとした斬新さが◎。

PRODRIVE GC-0100
プロドライブらしいシンプルな10本スポークながら、スポーク側面やリム部に凝った形状を採用。上品さとスポーティさを両立させたデザインだ。

住友ゴム工業
☎0120-39-2788
<http://wheel.dunlop.co.jp>

BRIDGESTONE

「POTENZA RE-71R」がマッチする軽量スポークホイールがラインアップ開始

最速ラジアルを目指し新たに開発した、POTENZA RE-71Rの発表で沸くブリヂストンブース。ここではスバルオーナーにはおなじみのプロドライブとポテンザの2ブランドから、新作ホイールが発表されていた。どちらも同じスポーク形状だが、細身のスポークのプロドライブに対し力強い6本スポークのポテンザと、相反するデザインで勝負していた。どちらがみんなの好みかな？



Racing Revolution GTC01RR
レース直系の「GTC01」の後継モデルとなる「GTC01RR」が新登場。

PerformanceLine PF07
Matte Dark Gunmetallicを始めとする新色が追加されたPF07。

PerformanceLine PF03
12本のツインスポーク形状が特徴のPF03は、SC03の進化モデル。

エンケイ
☎053-522-5245
<http://www.enkei.co.jp>

ENKEI

スポーティなレヴォーグにふさわしいレース直系スポーツホイール

あらゆるカテゴリーのマシンに装着されているエンケイからは、2本の新作スポークホイールが発表されていた。どちらも流行りの12本ツインスポーク形状を採用。ただし、PF03は定番のリムオーバーデザイン、GTC01RRは今流行りのコンケイブ形状となっている。どちらもスポーティなレヴォーグにぴったりな、軽量&高剛性な1ピースホイールに仕上がっていた。



M-50
今年50周年を迎えるMOMO社。それを記念した名を冠したフラッグシップモデルだ。力強くデザイン性も高い10スポークデザインが存在感抜群。

REVENGE
エッジのきいたスポークメッシュデザインがレヴォーグに似合いそう。

レアーズ
☎03-5716-3501
<http://www.momojapan.com/>

MOMO

ステアリングでおなじみのMOMOが日本でのホイールのリリースも開始

日本ではステアリングやレーシングギアでおなじみのMOMOだが、じつはヨーロッパではホイールも展開されていた。そのホイールが、日本でも発売されることになったのだ。もともとデザイン性の高いイタリアンブランドとして定評があっただけに、これは楽しみ。5穴PCD114.3の日本車向けサイズもちゃんと用意されているので、しっかりチェックしておこう。

WARWIC NOBLE

ECOTEX MCM-012

モンツァジャパン
☎029-247-7772
http://www.monza-japan.co.jp

MONZA JAPAN



今年1月にリリースされたばかりの最新モデル。リムエンドまで伸びるスポークは造形が複雑だけでなく色分けもされ、ドレスアップには最適なデザイン。

鋳造に加えて、水霧冷却方式を採用して軽量化を計ったエコなアイテム。

独自の技術やアレンジで高級感のある こだわりのデザインホイールをリリース

デザイン性の高いホイールを数多くラインアップするモンツァジャパンは、今年はカラーでさまざまな試みをしていくとのこと。高級感をアピールするのはもちろん、色あせの少ないBEC(電着)塗装や、3層構造というこだわりのセンターキャップなど、独自の技術で質感の高いホイールをリリースしていく。ドレスアップ派のレヴォーグオーナーは、ぜひ注目しておくといいだろう。

EXlete 105S Monoblock

EXlete 205S

TAN-EI-SYA WHEEL SUPPLY
☎0766-86-0117
http://www.tws-forged.com

TWS



105Sの1ピースバージョン。サイズは18〜20インチで、3色での展開。

2015年の新作。鍛造2ピースで19インチからのラインアップ。

ラインアップはすべて鍛造ホイール 高い技術力が機能美を生み出す

鍛造にこだわり、WECなど世界最高峰のモータースポーツにもホイールを供給するホイールメーカー。とはいえ、ハイエンドなスポーツホイールだけでなく、ハイパフォーマンスかつデザイン性も高いというホイールも数多く用意する。奇をてらったデザインではなく、機能美という言葉がぴったりなラインアップだけに、レヴォーグとの相性もかなりよさそう。

WedsSport SA-72R

ウェッズ
☎03-5753-8201
http://www.weds.co.jp

WEDS



サイズは15〜18インチで展開される。大きくインチアップすることなく純粋にスポーティさとカッコよさを手に入れたいというユーザーにとってはうってつけ。参考出品のレッドのカラーはレヴォーグに似合いそうなのに、ぜひ商品化してほしい。

WedsSportブランドに 新たなフラッグシップが登場

ウェッズのスポーツホイールブランド、WedsSportのフラッグシップとなるのがSA-72R。「なるべく細く見せたかった」という7本のツインスポークデザインがとびきりスポーティだ。ブルーとブラックが基本のカラーだが、オートサロンではレッドも参考出品されていた。発売は2015年1月から。新たなヒットモデルとなること間違いなしのスポーツホイールだ。

WORK EMOTION CR2

GNOSIS FMB01

ZEAST ST2

ワーク
☎06-6746-2859
http://www.work-wheels.co.jp

WORK



ワークエモーションCRの2ピースモデル。リムの選択肢が広がった。

鍛造1ピース。オーバーリムデザインで、エレガントかつスポーティ。

強烈なコンケイブデザインを採用した5スポークデザインが新鮮だ。

今年も新作・新色が数多く登場 こだわりのラインアップをチェック

本格スポーツから大径ドレスアップまで、膨大なラインアップを誇るワークのホイール群だが、今年も新作、新色が数多くリリースされてきた。純粋なスポーツホイールやユーロスタイルのドレスアップホイールなど、どんなホイールでも履きこなせるレヴォーグユーザーとしては、選択肢が増えるのはうれしいかぎり。今年もワークのラインアップには注目しておきたい。

ADVAN Racing RZ II

ワイエフシー
☎03-3431-9981
http://www.yokohamawheel.jp

YOKOHAMA



ADVAN Racing RZ II

ADVAN Racing GT
アドバンレーシングGTに、新作カラーが追加。鮮やかなブルーが美しい。

アドバンらしい、デザイン性に優れる10本スポークのRZ IIが新登場。

人気のRZシリーズが正常進化 より大胆なスポーク形状で登場

スポーツカーユーザーから絶大な支持を受けているアドバンから、2015年モデルのホイールが登場した。それは、5本ツインと10本シングルの融合させた「RZ II」。アドバンが得意とする軽量で高剛性な鋳造1ピースホイールで、従来モデルのRZのイメージを踏襲しつつ、最新の技術でリム側面に段付き形状を施している。これにより、より立体的なボリューム感が生み出されている。

LEVORGにオススメ!

ここからは、各メーカーから厳選した
レヴォーグにぴったりのホイールを
カタログ形式で紹介しよう
好みと使い方に合わせて選んでほしい

SPORTY × STYLISH

WHEEL CATALOG

“ホイールの
今”が
ここに
ある

BBS

■BBSジャパン■☎0766-31-8091■<http://www.bbs-japan.co.jp/>

1970年にドイツで産声を上げたBBS。その製品
はF1でも使用される、スポーツホイールメーカーの
頂点といっても過言ではない存在だ。

ブランド	商品名	適合	製法	サイズ	センター加工	価格	カラー
BBS	LM Anniversary Edition	VM4	鍛造・2ピース	F/R: 18×7.5+45 F/R: 18×8.0+45	要 要	11万5020円 11万7180円	BKM-SLD
	LM	VM4	鍛造・2ピース	F/R: 18×7.5+45 F/R: 18×8.0+45	要 要	10万3140円 10万5300円	GL-SLD, DS-SLDは +4000円。
	RS-GT	VM4	鍛造・2ピース	F/R: 17×7.0+50 F/R: 18×7.5+45 F/R: 18×7.5+50 F/R: 19×8.0+52	不要 要 不要 要	9万2340円 10万5300円 10万5300円 13万8240円	DB-SLD, GL-SLD, DS-SLD
	RF Special Edition	VM4	鍛造・1ピース	F/R: 17×7.0+48 F/R: 17×7.0+50 F/R: 17×7.5+45	不要 不要 要	6万7500円 6万7500円 6万9660円	BKM
	RF	VM4	鍛造・1ピース	F/R: 18×7.5+45 F/R: 17×7.0+48 F/R: 17×7.0+50 F/R: 17×7.5+45 F/R: 18×7.5+45	要 不要 不要 要 要	9万6660円 6万2100円 6万2100円 6万4260円 9万1260円	DB, DS
	RG-R	VM4	鍛造・1ピース	F/R: 17×7.0+42 F/R: 17×7.0+50 F/R: 17×7.5+48 F/R: 17×8.5+55 F/R: 18×7.5+45 F/R: 18×7.5+50 F/R: 18×7.5+56 F/R: 18×8.5+48 F/R: 18×8.5+53	要 不要 要 不要 要 要 不要 要 要	7万9380円 7万9380円 8万1540円 8万5860円 10万980円 10万980円 10万980円 10万5300円 10万5300円	DB, BKD, SLD, GLD, DS
	RE-V	VM4	鍛造・1ピース	F/R: 18×7.5+45	要	10万5300円	DS, DB



LM

ル・マンの名を冠し、躍動感あふれる走りを予感させる細身でスタイリッシュな10本スポークデザイン。アルミ鍛造2ピースホイールという魅力のひとつだろう。



LM Anniversary Edition

LMをベースに、ディスクに高品質の塗装を、リム部にはダイヤモンド加工を施したスペシャルモデル。2015年4月末までの期間限定発売品となるので、興味のある方はお早めに。

BE-V スポーク形状にVラインを採用したBBSオリジナルクロススポークの進化形。センターに向かい落とし込むスポークデザインがレヴォーグにピッタリ。18、19インチをラインアップ。



RF Special Edition

新色のブラックミラーは高品質の塗装を施した高級感のあるカラーリングで、光の反射による輝きはさらにクルマを際立たせる。期間2015年3月末受注分までの限定販売モデル。



RG-R

高性能を象徴するBBS伝統のクロススポークデザインで仕立てた、ロングセラーモデル。まさに王道の鍛造1ピースホイール。レヴォーグサイズはすべてハブリング仕様。



RF

BBS独自の鍛造技術と切削加工が生み出した、軽量1ピースホイール。シンプルな10本スポークモデルで、カラーはダイヤモンドシルバーとダイヤモンドブラックをラインアップ。



RS-GT

BBSファンにはたまらない、チタン製リムボルトの採用や、アウターリムフランジをF1用レーシングホイールと同形状にするなど、軽量化を追求して開発されたRS-GT。

ブランド名	商品名	適合	製法	サイズ	推奨タイヤサイズ	フッコー加工	価格	カラー
Racing	GTC01	VM4/VMG	MAT製法・1ピース	F/R: 18×8J+45	F/R: 225/45R18	不要	5万7240円	Hyper Silver
	RSM9	VM4	MAT製法・1ピース	F/R: 18×7.5J+48	F/R: 225/45R18	不要	6万480円	Platinum Silver, Piano Black
	VMG			F/R: 18×8.5J+48	F/R: 225/45R18	不要	6万2640円	
	RS05	VM4/VMG	MAT製法・1ピース	F/R: 18×8J+48	F/R: 225/45R18	不要	6万4800円	Chiaro Silver, SBC
	RPF1	VM4/VMG	MAT製法・1ピース	F/R: 18×7.5J+48	F/R: 225/45R18	不要	4万9680円	Silver, Matte Black
PerformanceLine	PF01	VM4/VMG	MAT製法・1ピース	F/R: 18×8.5J+48	F/R: 225/45R18	不要	4万4280円	Sparkle Silver, Matte Black
	PF07	VM4/VMG	MAT製法・1ピース	F/R: 18×8.5J+45	F/R: 225/45R18	不要	4万3200円	Dark Silver

■エンケイ■☎053-522-5245■<http://www.enkei.co.jp>

世界有数の規模を誇るホイールメーカー。その製品は、F1やWRCなどの最高峰をはじめ、幅広いモータースポーツシーンで採用されている。



RSM9

超高剛性ホイールGTC01と同等の剛性を保ちながら、スポーク側面にサイドカット加工を施しさらなる軽重量化を図られたのがRSM9。機能追求で実現したデザイン。



GTC01

超高剛性をコンセプトに設計され高いコーナリング性能を実現。ビードシート部には加減速時のタイヤのズレを抑制するアンチスリップ塗装で高いブレーキ性能を発揮。



PF01

高性能なディスクデザインに加え、剛性を高めるスポーク側面のリブ、インナーリム設計、タイヤのズレを防止するローレット加工など、ホイールとしての基本性能を大幅に向上させた。



RS05

極限までシェイプされたシャープな15フィンデザインは高い基本性能とデザイン性を両立。高輝度メタル配合塗料と6コートで美しいシルバーの輝きのChiaro Silverカラーを採用。



PF07

さらなる高剛性化をコンセプトに開発され、優れたコーナリング性能と耐衝撃性能を発揮。スポーク側面の肉抜き加工で高剛性化の重量増の影響を最小限にとどめている。

RPF1

マクラーレンのF1マシンに採用された、同社ホイールES021Rをベースに開発のRPF01。軽量の恩恵により優れた加減速性能およびハンドリング性能を発揮できる。



Fenice TX1

フェニチェTT1の派生モデル。スポークエンド部にエッジをきかせたポリッシュラインを設け、スポーク中央部にはオプションのアルミニウムプレートが装着可能だ。



Fenice TT1

エンタースリットに配置したカラードプレートが交換できることが特徴。標準付属はシルバープレート。オプションでレッド、ブルーをラインアップ。ボディカラーとコーディネート可能。

Doall

■ドゥオール アルジェノン事業部■☎03-5725-3625■<http://www.doall.jp>

スポーツカーからミニバンまで、装着するクルマを選ばないシンプルかつスタイリッシュなホイールをリリース。カラープレートなどの遊び心も◎。

ブランド名	商品名	適合	製法	サイズ	推奨タイヤサイズ	フッコー加工	価格	カラー
Algernon	Fenice TT1	VM4/VMG	鋳造・1ピース	F/R: 19×7.5+50	F/R: 225/40-19	不要	4万3200円	マットブラック
	Fenice TX1	VM4/VMG	鋳造・1ピース	F/R: 19×7.5+50	F/R: 225/40-19	不要	4万1040円	マットブラック

DUNLOP

■住友ゴム工業■☎0120-39-2788■<http://wheel.dunlop.co.jp>

「ROZEST」でおなじみの、ダンロップのホイールブランド。国産車に向けた豊富なラインアップがそろそろ。

ブランド名	商品名	適合	製法	サイズ	推奨タイヤサイズ	フッコー加工	価格	カラー
ROZEST	STYLISH MODE VS-BP	VM4		F/R: 17×7.0J+50	F/R: 215/50R17	不要	3万240円	
		VM4/VMG	鋳造・1ピース	F/R: 18×7.0J+50	F/R: 225/45R18	不要	3万7800円	ブラックポリッシュ
		VM4/VMG		F/R: 19×8.0J+45	F/R: 235/35R19	不要	4万4280円	

STYLISH MODE VS-BP

待望のカラー、ブラックポリッシュが登場。塗装品質の向上と徹底管理により通常の2倍以上の塩水噴霧試験をクリアしたサビに強いホイール。オールシーズン使える。



ブランド名	商品名	適合	製法	サイズ	推奨タイヤサイズ	ファンダー加工	価格	カラー
GtuneForged	NR-X2	VM4/VMG	鍛造・3ピース	F/R: 17×8.0+45	F/R: 215/50-17	要	7万9920円	マットブラック、グロスブラック、ホワイト、ガンメタ、マシードリッシュ、スモーククリア、ゴールド
	Type219	VM4/VMG	鍛造・2ピース	F/R: 19×8.0+36 F/R: 20×8.0+39	F/R: 225/40-19 F/R: 245/30-20	要 不要	11万8800円 12万5280円	アルマイトブラック、ブラッシュドクリア



Type219

日本製の鍛造2ピースホイール。クオリティ、精度ともにトップレベルの製品だ。1mm単位のインセットオーダーもできるので、レボグで理想のマッチングも夢じゃない。



NR-X2

日本製の鍛造3ピースで、クオリティ、精度ともにトップレベルのホイールだ。3ピース特有の自在なサイズオーダーで理想のマッチングも可能となっている。5.5J~12.0Jまで対応している。

GIALLA

■ジアラ■ ☎045-590-0311 ■http://www.gialla.co.jp

エアロメーカーとして有名だが、ホイールや車高調などもラインアップするジアラ。エアロメーカーらしい、スタイリッシュなデザインが特徴だ。

ブランド名	商品名	適合	製法	サイズ	推奨タイヤサイズ	ファンダー加工	価格	カラー
ESTATUS	Style-XTR	VM4/VMG	鍛造・1ピース	F/R: 18×7.5+48 F/R: 19×8.0+45	F/R: 225/45R18 F/R: 225/40R19	不要 不要	4万4280円 5万760円	ブラックポリッシュ
	Style-CTR		鍛造・1ピース	F/R: 18×7.5+48 F/R: 19×8.0+45	F/R: 225/45R18 F/R: 225/40R19	不要 不要	4万4280円 5万760円	ブラックポリッシュは+2160円、グロスブラック
	Style-TF57		鍛造・1ピース	F/R: 18×7.5+48 F/R: 19×8.0+45	F/R: 225/45R18 F/R: 225/40R19	不要 不要	4万4280円 5万4000円	ガンメタポリッシュ



Style-TF57

バランスのいい5本スポークに、ディープリムを生かしたメッキリムプレートとインバクトを与えるメッキディスクプレートが付属。オプションで100色以上のカラープレートもあり。



Style-CTR

ポリッシュ切削+ブラック塗装+クロムメッキという3つの質感をコンケイブ断面で見せる。開口部が大きく、ブレーキパーツを存分に見せつけることもできる。



Style-XTR

ポリッシュ切削+ブラック塗装+メッキプレートの3つの要素をコンケイブ断面で見せることで、今までにない輝きを放ち、スポーティさとラグジュアリー感を演出している。

G-CORPORATION

■Gコーポレーション■ ☎0566-25-8105 ■http://www.g-corp.co.jp

ホイールとエアロをリリースするドレスアップメーカー。ディーラーにもパーツを供給するなど、高い信頼性がうれしい。ドレスアップホイールが中心。

O・Z

■オーゼットジャパン

☎053-469-5011 ■http://www.oz-japan.com

イタリアを代表するスポーツホイールメーカー。近年、日本車向けのラインアップもどんどん充実してきている。



PRO CORSA

スパルコ・ホイール日本解禁。イタリアの2大ブランドOZとSPARCOの歴史的コラボレーションブランドの誕生だ。鈍く輝くマットダークチタニウムのクロススポークが圧倒的な存在感を放っている。

SUPERTURISMO-GT

OZ伝統のマルチスポークデザイン。スタイルさえも極めたトータルバランスは、サーキットで培った伝統の証。理想的で洗練された究極のスポーツホイールがこれだ。



ITALIA150

イタリア共和国統一150周年記念モデル「イタリア ワンフィフティ」。モダンなアーチスティックデザイン、スポーティなスタイルリッシュフォルムとイタリアの感性を映し出すモデル。



TORINO

5スポークデザインのトリノは、軽快なスポーティ感を演出するアスリート系イーゼードレスアップモデル。シェイプされたスタイルリッシュモデルは日本市場限定モデルだ。



SUPERTURISMO-GT EVO

スーパーツーリズムのスタイル。性能はそのままに日本のユーザーにより広く答えるべく、イタリアオーゼット社のスペシャルライセンスによる、日本専用国内生産モデル。



FORMULA-HLT

オーゼットとパートナーシップを結ぶ、F1 スクーデリア・フェラーリ。ふたつの伝統と技術が創造した、先進のホイールエレメントをそのままストーリーへ。セントラルロックカバーも装備。



SUPERTURISMO-LM

アウトワークスのノウハウ、伝統と先進のレーシングテクノロジーをストリートホイールへフィードバック。ルマンの名を持つ、OZ伝統のマルチスポークデザイン。



TARMAC

イタリアの2大ブランドOZとSPARCOの歴史的コラボによる6本のツインスポークを持つスポーツホイール。F1ゆずりの6ダブルスポークでターマックを駆け抜ける。



PISTA

こちらもOZとSPARCOのコラボモデル。ピスタは、微妙なアーチを描く16本のマルチスポークデザインが特徴だ。ドレスアップ派にも受けそうな、美しいデザイン。

LEGGERA-HLT

最先端テクノロジー、最高峰スポーツ性能に洗練されたデザインパフォーマンスをプラス。鍛造に匹敵する剛性と柔軟性を実現した、フローワーミング性、軽量インナーリムを採用。



ブランド名	商品名	製法	サイズ	推奨タイヤサイズ	ファンダー加工	価格	カラー
O・Z	LEGGERA-HLT	鍛造・1ピース	F/R: 17×7.5+45 F/R: 18×8.0+45 F/R: 19×8.0+45	F/R: 215/50-17 F/R: 225/45-18 F/R: 225/40-19	不要 不要 不要	6万1020円 7万8300円 9万5580円	グリジオコルサブライト
	FORMULA-HLT	鍛造・1ピース	F/R: 17×7.5+45 F/R: 18×7.5+47 F/R: 18×8.0+45	F/R: 215/50-17 F/R: 225/45-18 F/R: 225/45-18	不要 不要 不要	5万7240円 7万3440円 7万4520円	グリジオコルサ、マットブラック
	SUPERTURISMO-LM	鍛造・1ピース	F/R: 17×7.5+45 F/R: 18×7.5+48 F/R: 18×8.0+45	F/R: 215/50-17 F/R: 225/45-18 F/R: 225/45-18	不要 不要 不要	5万5080円 6万9120円 7万1280円	マットレースシルバー、マットグライフト、マットブラック
	ITALIA150	鍛造・1ピース	F/R: 17×7.0+45 F/R: 18×8.0+45	F/R: 215/50-17 F/R: 225/45-18	不要 不要	5万1840円 6万6960円	マットレースシルバーポリッシュ、マットダークグライフトポリッシュ、マットブラック
	SUPERTURISMO-GT EVO	鍛造・1ピース	F/R: 18×7.5+52 F/R: 17×7.0+45	F/R: 225/45-18 F/R: 215/50-17	不要 不要	5万5080円 5万1840円	シルバー、ゴールド
	SUPERTURISMO-GT	鍛造・1ピース	F/R: 18×7.5+50 F/R: 19×8.0+45	F/R: 215/50-17 F/R: 225/40-19	不要 不要	5万1840円 8万1000円	グリジオコルサ、マットブラック
	TORINO	鍛造・1ピース	F/R: 17×7.0+45	F/R: 215/50-17	不要	4万1040円	マットブラック、ハイパーシルバー
	PISTA	鍛造・1ピース	F/R: 17×7.0+45	F/R: 215/50-17	不要	3万8880円	マットシルバーテック
	TARMAC	鍛造・1ピース	F/R: 17×7.0+45 F/R: 18×8.0+45	F/R: 215/50-17 F/R: 225/45-18	不要 不要	3万8880円 5万760円	ガンメタル
	PRO CORSA	鍛造・1ピース	F/R: 18×8.0+45	F/R: 225/45-18	不要	5万760円	マットダークチタニウム
sparco wheels							

ブランド名	商品名	製法	サイズ	フェンダー加工	価格	カラー
VERSUS	Blacklabel Chrysaor	鋳造・1ピース	F/R: 18×7.0+48	不要	4万1040円	ブラック、ラインダイヤモンドカット、ブラッククリアー
			F/R: 19×8.0+45	要	4万6440円	
HOMURA	2x5s	鋳造・1ピース	F/R: 18×8.0+43	要	4万6440円	ダイヤモンドカットサイドダークガンメタ/ブラッククリアー
			F/R: 19×8.5+45	要	5万2920円	
Gram Lights	57C6	鋳造・1ピース	F/R: 17×7.0+50	不要	3万4560円	マットグラファイト (MF)、マットグラファイト/マシニング (+8640円)、蛍光ピンク (受注生産 +5400円、ヴェルヴェットマリン+8640円)
			F/R: 18×7.5+50	不要	3万9960円	
	57FXX-PRO	鋳造・1ピース	F/R: 19×8.5+45	要	8万2080円	ダークガンメタ+ブラッシュドリム、ブラック&マシニング+ブラッシュドリム (+6480円)
			F/R: 17×7.0+50	不要	3万9960円	
	57FXX	鋳造・1ピース	F/R: 18×7.5+50	不要	4万5360円	サンライトシルバー、ブラック&マシニング (+6480円)
			F/R: 19×8.0+45	要	5万4000円	
	57Getter	鋳造・1ピース	F/R: 18×7.5+50	不要	4万5360円	サンライトシルバー、マットグラファイト
			F/R: 19×8.5+45	要	5万5080円	
	57Xtreme	鋳造・1ピース	F/R: 17×7.0+50	不要	3万4560円	マットグラファイト、サンライトシルバー、マットグラファイト/マシニング (+8640円)
			F/R: 18×7.5+50	不要	3万9960円	
VOLK RACING	ZE40	鍛造・1ピース	F/R: 18×8.0+45	要	7万8840円	ブロンズ (アルマイト+2160円)、マットブルーガンメタ
			F/R: 19×8.5+38	要	8万7480円	
	G27	鍛造・1ピース	F/R: 18×8.5+45	要	8万5320円	フォーミュラシルバー/ブラッククリアー/リムエッジDC、プリズムダークシルバー/リムエッジDC (18インチは受注生産+5400円)、プリズムクリスタルホワイト/リムエッジDC (受注生産+5400円)、プリズムライトシルバー/リムエッジDC (受注生産+8640円)
			F/R: 19×8.5+45	要	9万720円	
	G25	鍛造・1ピース	F/R: 18×7.5+48	不要	7万5600円	マーキュリーシルバーII/リムエッジDC、フォーミュラシルバー/ブラッククリアー/リムエッジDC (+2160円)
			F/R: 19×8.0+48	F:要/R:不要	8万4240円	
	G2 Progressive Model	鍛造・1ピース	F/R: 17×7.0+45	不要	6万4800円	フォーミュラシルバー/ブラッククリアー/リムエッジMC、マーキュリーシルバーII/リムエッジMC (受注生産カラー)
			F/R: 18×7.5+48	不要	7万3440円	

RAYS

■レイズ ■ ☎ 06-6787-0019
■ http://www.rayswheels.co.jp

TE37など、数多くのメガヒットホイールを輩出する、日本を代表するホイールメーカー。スポーティかつデザイン性の高いホイールがそろそろ。

57Getter

V字ツインスポークを5組配置して全体をシェイプアップ。それぞれのスポーク端にリブを設け強度と剛性を確保。ヴァリアブルレイヤー・センターユニットという遊び心も加えた。



57FXX

レーシングホイール由来のスポークシルエット。トップ部は限りなく細く、縦断面と呼ぶ奥行き方向には質量を持たせることで、軽さと強さを高次元で両立させている。



57FXX-PRO

ディープリムとそのリムにオーバーディスク化した、57FXX譲りのパフォーマンスディスク。ディーブラッシュドリムに2FACEのコンケイブディスクで作出した新しいスタイリング。



57C6

レイズ伝統の6スポークデザインを最新の解析技術によってリファイン。軽量感をイメージさせる細みのスポークには豊かな縦断面を与え、サイドリブで卓越した強靱さも獲得。



G25

5H専用2×5デザインだからこそ可能なセンター部まで伸びるスポーク、駄肉のいっさいをそぎ落としたソリッドスポーク形状、美しいアールを描くレーシングコンケイブで足長感を表現。



G27

Gシリーズは鍛造だからこそ可能なパフォーマンスと美しさの両立を求めた新たなボルクレッシング。スポーツホイールとしては異例ともいえるセンターパッケージ方式を採用。



57Xtreme

ハブやキャリバーへの適合を極限まで攻め込み、インセットごとに専用のフェイスデザインを設定。スポーツを切り口にするあらゆるクルマ用のエクストリームモデル。



G2 Progressive Model

G2プログレッシブモデルはシリーズ1stモデルのG2を、最新の解析技術によってアップデートした2014年モデル。もっとも美しいレーシング6のカタチがこれだ。

ZE40

この先10年はこのZE40を上まわるSTRONGホイールは生まれないだろうというぐらい、これまで培った解析、形状の見直しを何度も繰り返し見出した、リアルスポーツモデル。

THE NEWEST WHEELS
“今”の
“ホイール”の
ここに
ある



2x5s

ダイナミックなコンケイブデザインを、ナットホールをセンターカバードすることにより繊細かつダイナミックなスポークを実現。ダイヤモンドカット+ブラッククリアーカラーも魅力的。



Blacklabel Chrysaor

黒の表現に挑むブラックレーベルシリーズで培った、ダイヤモンドカット+ブラッククリアーをスポークラインにあしらひ、よりタイトに大径に見せているホイール。

PROVA

■プローバ ■ ☎ 045-591-5501 ■ http://www.prova.co.jp

いわずと知れたスバルチューナーがホイールもリリース。存在感のあるデザインがレヴォーグの足もとを飾る。

PROVA all eight

エッジ感のあるスポークが織り成す、シャープなルックスのホイール。迫力あるフェイスデザインがレヴォーグをエレガントに演出。7.5Jx18+48モデルは純正タイヤが使える。



ブランド名	商品名	製法	サイズ	フェンダー加工	価格	カラー
PROVA	PROVA all eight	鋳造・1ピース	F/R: 18×7.5J+48	不要	4万9680円	ブラッククリア、切削クリア
			F/R: 18×8.0J+45	不要	4万9680円	
			F/R: 20×8.5J+44	要・オーバーフェンダーパネルキット	7万5600円	

豊富なブランド展開で、ドレスアップファンから本格スポーツユーザーまで、あらゆるニーズにこたえることができるラインアップがそろそろ。

ブランド名	商品名	製法	サイズ	推奨タイヤサイズ	フッダー加工	価格	カラー
Weds Sport	SA-15R	リムスピニング (AMF)・1ピース	F/R: 17×7.5+45 F/R: 18×7.5+45	F/R: 215/50-17 F/R: 225/45-18	不要	2万8620円 3万1320円	ガンメタリックブラッククリア、ブルーライトクローム (18インチ+15万000円)
	SA-10R	リムスピニング (AMF)・1ピース	F/R: 17×7.5+45 F/R: 18×7.5+45	F/R: 215/50-17 F/R: 225/45-18	不要	2万8620円 3万1320円	ゼブラブラックブライド、ブルーライトクローム (18インチ+15万000円)
	SA72-R	リムスピニング (AMF)・1ピース	F/R: 17×7.5+45 F/R: 18×8.0+55	F/R: 215/50-17 F/R: 225/45-18	不要	2万8620円 3万1860円	ハイパーブラッククリア、ブルーライトクロームII
LEONIS	UC	鍛造	F/R: 17×7.0+47 F/R: 18×7.0+47 F/R: 19×8.0+50	F/R: 215/50-17 F/R: 225/45-18 F/R: 225/40-19	不要	3万9960円 4万5900円 5万4000円	ハイパーシルバーブラッシュド、パールブラックミラーカット、BMCミラーカット (+7560円)
	SL	鍛造	F/R: 17×7.0+47 F/R: 18×7.0+47 F/R: 19×8.0+50	F/R: 215/50-17 F/R: 225/45-18 F/R: 225/40-19	不要	3万9960円 4万5900円 5万4000円	ハイパーブライドミラーカット、パールブラックミラーカット、BMCミラーカット (+7560円)
	LV	鍛造	F/R: 17×7.0+47 F/R: 18×7.0+47 F/R: 19×8.0+50	F/R: 215/50-17 F/R: 225/45-18 F/R: 225/40-19	不要	3万9960円 4万5900円 5万4000円	ハイパーシルバーミラーカットII、パールブラックミラーカット、BMCミラーカット (+7560円アップ)
	NAVIA02	リムスピニング (AMF)・1ピース	F/R: 17×7.0+47 F/R: 18×7.0+47	F/R: 215/50-17 F/R: 225/45-18	不要	3万8880円 4万4820円	マットガンメタマシニングカット、マットブラック
	NAVIA03	リムスピニング (AMF)・1ピース	F/R: 17×7.0+47 F/R: 18×7.0+47 F/R: 19×8.0+50	F/R: 215/50-17 F/R: 225/45-18 F/R: 225/40-19	不要	3万9960円 4万5900円 5万4000円	マットガンメタマシニングカット、マットシルバーマシニングカット
	NAVIA04	リムスピニング (AMF)・1ピース	F/R: 17×7.0+47 F/R: 18×7.0+47 F/R: 19×8.0+50	F/R: 215/50-17 F/R: 225/45-18 F/R: 225/40-19	不要	3万9960円 4万5900円 5万4000円	ダークシルバーミラーカット、マットブラック
MAVERICK	605S	鍛造・2ピース	F/R: 18×8.0+46 F/R: 19×8.0+46	F/R: 225/34-18 F/R: 225/40-19	不要	6万5880円 7万3440円	マットガンメタリック、シャイニングブロンズポリッシュ
	709M	鍛造・2ピース	F/R: 18×8.0+45 F/R: 19×8.0+45	F/R: 225/45-18 F/R: 225/45-19	不要	6万5880円 7万3440円	マットガンメタリック、プレミアムシルバー (+1080円)、ブラッシュド (19インチ以上+1万8360円)
	710S	鍛造・2ピース	F/R: 18×8.0+45 F/R: 19×8.0+43	F/R: 225/45-18 F/R: 225/45-19	不要	6万5880円 7万3440円	ブラックポリッシュ、シャイニングブロンズポリッシュ



NAVIA04

スポーク窓部全周にリブを設け、ナット穴周辺はアーチ状のヴォールト構造をイメージしたデザインをあしらうことにより、さらなる立体感とデザイン性を向上しながら軽量化も実現。



NAVIA03

航空機の主翼のストリンガー(縦通材)構造からインスパイアされた、緻密な立体感と剛性感がレオニスデザインに融合されている。バランスのよい10本ツインスポークホイール。



NAVIA02

Y字スポークの根元にトラス構造(三角形形状)を採用し、立体感と剛性感を表現する。スポーク先端をよりシャープな形状にすることにより軽量化を果たし足長感も強調している。



710S

710Sは、アウトラインを見ると細身のシンプルスポークの組み合わせに見えるが、その1本1本が、いくつものスポーク形状が積み重なっているかのような形状が特徴。



709M

スポークの太さ、Y字部分の位置および角度などを細かく変化させて、そのバランスを決定している。スポークまたは部はぜい肉を落とし、力強さも感じられるアクセントを入れたデザイン。



605S

5本ツインスポークの表面には装飾を施したかのような切削面を配置。スポーク表面切削はスポーク上で変化を遂げ、マルチフェイスであるためよりスポーク全体に動きをもたらす。



SA72-R

14本のスポークをセンターに落とし込むフェイスデザイン。剛性と軽量化を追求したモデル。センターキャップ付属。フラットキャップはオプション設定。



SA-10R

10本スポークをセンターに落とし込むフェイスデザイン。剛性と軽量化を追求したモデル。センターキャップ付属。フラットキャップはオプション設定。



SA-15R

フィンタイプで応力を分散し剛性と軽量化を追求したモデル。アンダーカットを採用。全サイズセンターキャップ付属。フラットキャップはオプションだ。



SL

一見シンプルな10本スポークに見えるが、じつはシリーズ初の高低差を生かした立体的デザインを採用。リム部には好評のエッジングロゴを採用する。



UC

リムからセンターに流れるような力強いVスポーク、その合間に弓のような繊細なラインを描くサブスポークをあしらうことで、躍動感と立体感を表現。



LV

レオニスLVの16インチ以上のサイズには、T.P.M.S.(空気圧センサー)の装着安定性を考慮したバルブ穴座繰り加工を施すなど、低扁平率タイヤの装着を考慮している。

THE NEWEST WHEELS
“ホイールの
今”が
ここに
ある

ブランド名	商品名	適合	サイズ	推奨タイヤサイズ	フェンダー加工	価格	カラー
LEONHARDIRITT	Adel	VM4/VMG	F/R: 19×8.0IN44 (SL) F/R: 20×8.0IN44 (SL)	F/R: 225/40R19 F/R: 225/35R20	不要	9万6000円 11万3000円	ブラックポリッシュ (BP)、ジュエルシルバーポリッシュ、ジュエルグラナイトポリッシュ (左記2色、BPは+3000円) ブラックポリッシュアンダーカットレッドクリアー (BPは+1万7000円)
	Jager	VM4/VMG	F/R: 19×8.0IN44 (SL) F/R: 20×8.0IN44 (SL)	F/R: 225/40R19 F/R: 225/35R20	不要	9万6000円 11万3000円	ブラックポリッシュ (BP)、ジュエルシルバーポリッシュ、ジュエルグラナイトポリッシュ、プリズマーガンメタポリッシュ (左記3色、すべてBP+3000円)
	Bugel	VM4/VMG	F/R: 18×8.0IN48 (STD) F/R: 19×8.0IN48 (STD)	F/R: 225/45R18 F/R: 225/40R19	不要	8万2000円 9万4000円	シルバーポリッシュ (SP)、ブラックポリッシュ、ブロンズポリッシュ、(左記2色、SP+3000円) 3D-ブラッシュド (SP+2万6000円)、ハレルブラッシュド (SP+2万8000円)

SUPER STAR

■スーパースター■☎072-975-3600
■http://www.superstar-wheel.com

3ピースにこだわったドレスアップホイールを数多くラインアップ。手間をかけて作り込まれた製品には、高い満足感を得られるはずだ。

Adel

3ピースホイールブランド・レオンハルトのアーデル。ラグジーでありながらカラーリングにより立体感、スポーティ感を演出することも可能。さまざまなバリエーションをチョイス可能。



Bugel

メッシュデザインのビューゲル。フルリバーシブル、カールフランジ、ノーマルリムなど、アウトリムを好みで設定できるだけでなく、さまざまな部分を自分好みにオーダーできる。



Jager

鋭い立体断面と緩やかな曲線断面、相反する形状を持つ攻撃的な意匠は、レオンハルト史上かつてない攻撃的なデザインを採用。イエーガーはスーパースターの新たな提案。



ブランド名	商品名	適合	製法	サイズ	推奨タイヤサイズ	フェンダー加工	価格	カラー
TWS Exlete	118F Monoblock	VM4/VMG	鍛造・1ピース	F/R: 18×7.5J+50 F/R: 18×8.0J+45	F/R: 225/45-18 F/R: 225/45-18	不要	7万3440円 7万4520円	シルバーポリッシュ、ハイパーガンメタ、ブラッシュドは+8,000円
	105S Monoblock	VM4/VMG	鍛造・1ピース	F/R: 18×7.5J+50	F/R: 225/45-18	不要	7万3440円	シルバーポリッシュ、ハイパーガンメタ、ブラッシュドは+8,000円

TWS

■TAN-EI-SYA WHEEL SUPPLY
■☎0766-86-0117■http://www.tws-forged.com

すべての製品が鍛造ホイールという、高い技術力を持ったスポーツホイールメーカー。機能美という言葉がふさわしい、逸品がそろっている。



118F Monoblock

正統派スタイルのフィンデザインが、高級感を醸し出す鍛造ワンピースホイール。サイズは18インチから20インチをラインアップしている。ハブリング73φ→56φは1個864円。



105S Monoblock

車種を選ばない5本ツインスポークデザインが、スポーティー感をアップさせる。サイズは18インチから20インチをラインアップしている。ハブリング73φ→56φは1個864円。

WORK

■ワーク■☎06-6746-2859■http://www.work-wheels.co.jp

スポーツホイールブランド・WORKEMOTIONでおなじみ。エンケイ、レイズと並び、日本三大ホイールサプライヤーと称されている。

04C

ソリッドな質感をまとったツイン5スポークは、戦う者に与えられた誇りの象徴。精悍なカタチに刻まれたファクターのすべてがXSAのアイデンティティを表現する。

11R

鍛え、磨き、研ぎ澄まされた切れ味鋭いレーシングデザインは、スポーツホイールの新時代を切り開く。感動と情熱の走りを求めるユーザーへ贈るスポーツ新時代の胎動。

CRkiwami

新世代のスポーツを具現化し、よりスタイリッシュにスポーツ性を高めたツインファイブスポーク。祖たるワークエモーションの血統は脈々と受け継がれる。

ブランド名	商品名	製法	サイズ	価格	カラー
WORK EMOTION	D9R	鍛造・1ピース	17×7.0J+38/8.5J+32+42 / 9.5J+17+28+38	4万2120円～	アッシュドチタン(AHG)、ブラック (BLK)、ホワイト (WHT)、グリミットシルバーダイヤカットリム (GTSRC)
			18×7.5J+38+47+53 / 8.5J+32+38+47 / 9.5J+12+23+30+38 / 10.5J+15+23+30	4万5360円～	
			19×8.5J+30+38+45 / 9.5J+12+23+30+38 / 10.5J+15+23+30	4万9680円～	
	CRkiwami	鍛造・1ピース	15×6.5J+42+52	3万2400円～	アッシュドチタン(AHG)、マットブラック (MBL)、ホワイト (WHT)、グリミットシルバー (GTS)
			16×6.5J+42+52	3万5640円～	
			17×7.0J+38+47+53 / 8.0J+35+47 / 9.0J+17+28+38	4万4280円～	
XSA	11R	鍛造・1ピース	18×7.5J+38+47+53 / 8.5J+30+38+47 / 9.5J+12+20+30+38 / 10.5J+15+22	4万7520円～	アッシュドチタン(AHG)、マットブラック (MBL)、ホワイト (WHT)、グリミットシルバー (GTS)
			19×8.5J+25+35+42 / 9.5J+15+25+38 / 10.5J+12+22+32 / 11.0J+18	5万1840円～	
			15×6.0J+44+48+52	3万1320円～	
	04C	鍛造・2ピース	16×6.5J+42+52	3万5640円～	マットチタン (MHG)、マットブラック (MBL)、ホワイト (WHT)、グリミットシルバーダイヤカットリム (GTSRC)、ワークメタルブライト仕様 (WMB)
			17×7.0J+38+47+53 / 8.0J+35+47 / 9.0J+17+28+38	3万9960円～	
			18×7.5J+38+47+53 / 8.5J+30+38+47 / 9.5J+12+20+30+38	4万3200円～	
MEISTER	S1R (STEP RIM)	鍛造・2ピース	17×7.0J+8~+63 / 7.5J+2~+69 / 8.0J+4~+75 / 8.5J+11~+82 / 9.0J+17~+88	5万5080円～	クリスタルシルバー、ブラックカットクリア
			18×7.0J+17~+46 / 7.5J+16~+52 / 8.0J+10~+58 / 8.5J+9~+65 / 9.0J+3~+71 / 9.5J+3~+77 / 10.0J+10~+84 / 10.5J+16~+90 / 11.0J+22~+96 / 11.5J+29~+103	5万7240円～	
			19×7.5J+5~+53 / 8.0J+1~+59 / 8.5J+8~+66 / 9.0J+14~+72 / 9.5J+20~+78 / 10.0J+27~+85 / 10.5J+33~+91 / 11.0J+39~+97	6万9120円～	
	M1R	鍛造・2ピース	19×8.0J+5~+46 / 8.5J+12~+53 / 9.0J+18~+59 / 9.5J+24~+65 / 10.0J+31~+72 / 10.5J+37~+78 / 11.0J+43~+84 / 11.5J+50~+91	7万200円～	ファインハイトシルバーⅡ (FS2)、マットブラック (MBL)、バフフィニッシュ (BBF)、マットブロンズ (GMB)
			20×8.0J+2~+54 / 8.5J+5~+61 / 9.0J+11~+67 / 9.5J+17~+73 / 10.0J+24~+80 / 10.5J+30~+86 / 11.0J+37~+87	8万1000円～	
			16×7.0J+28~+42 / 7.5J+9~+61 / 8.0J+3~+67 / 8.5J+4~+74 / 9.0J+10~+80	5万1840円～	
M・C・O RACING	Type CS	鍛造・1ピース	17×7.0J+1~+55 / 7.5J+5~+61 / 8.0J+1~+67 / 8.5J+18~+74 / 9.0J+24~+80 / 9.5J+30~+86	6万2640円～	ファインハイトシルバーⅡ (FS2)、マットブラック (MBL)、バフフィニッシュ (BBF)、マットブロンズ (GMB)
			18×7.5J+16~+50 / 8.0J+22~+56 / 8.5J+29~+63 / 9.0J+35~+69 / 9.5J+41~+75 / 10.0J+48~+82 / 10.5J+54~+88 / 11.0J+60~+94 / 11.5J+67~+101	7万4520円～	
			19×8.0J+13~+53 / 8.5J+20~+60 / 9.0J+26~+66 / 9.5J+32~+72 / 10.0J+39~+79 / 10.5J+45~+85 / 11.0J+51~+91 / 11.5J+58~+98	8万6400円～	
	Type CS	鍛造・1ピース	16×7.0J+15~+55 / 7.5J+9~+61 / 8.0J+3~+67 / 8.5J+4~+74 / 9.0J+10~+80	5万1840円～	ファインハイトシルバーⅡ (FS2)、マットブラック (MBL)、バフフィニッシュ (BBF)、マットブロンズ (GMB)
			17×7.0J+1~+55 / 7.5J+5~+61 / 8.0J+1~+67 / 8.5J+18~+74 / 9.0J+24~+80 / 9.5J+30~+86	6万2640円～	
			18×7.5J+16~+50 / 8.0J+22~+56 / 8.5J+29~+63 / 9.0J+35~+69 / 9.5J+41~+75 / 10.0J+48~+82 / 10.5J+54~+88 / 11.0J+60~+94 / 11.5J+67~+101	7万4520円～	

D9R

圧倒的なディープリムが特徴的な、孤高の9スポークデザイン。深き際立つディープリム形状と、シャープに引き締められた堅牢なスポークがホイールを彩る。

Type CS

速さを追求した極限の造形美。10本スポークの1本1本に散りばめられた珠玉のレーシングテクノロジー。多数の実戦により蓄積したノウハウをホイールへとフィードバック。

M1R

レーシングフィールドより培われし普通のメッシュデザインはMEISTERのフィロソフィーを体現する。時代を超えて支持されるホイールをレヴューオーナーに。

S1R (STEP RIM)

MEISTER伝統の5スポークは現代的に一新され、SPORTSをより魅力的に演出する。変わる事のない哲学とアイデンティティを求めるユーザーへ捧げるホイールだ。



YOKOHAMA

■ワイエフシー ■ ☎03-3431-9981
 ■http://www.yokohamawheel.jp

ADVAN Racingブランドが絶大な人気を誇る、ヨコハマのホイール部門。モータースポーツシーンでの実績も高い。RGやRSシリーズがクール。

ブランド名	商品名	適合	製法	サイズ	推奨タイヤサイズ	フェンダー加工	価格	カラー
YOKOHAMA WHEEL	ADVAN Racing RGIII	VM4/VMG	鋳造・1ピース	F/R : 18×8.5J+51/45 F/R : 19×8.5J+45	F/R : 225/45R18 F/R : 225/40R19		6万2640円 7万1280円	RACING GLOSS BLACK、 RACING HYPER BLACK (+4320円)、 RACING GOLD METALLIC
	ADVAN Racing RSII	VM4/VMG	鋳造・1ピース	F/R : 18×8.5J+51/45 F/R : 19×8.5J+51/45	F/R : 225/45R18 F/R : 225/40R19		6万3720円 7万2900円	SEMI GLOSS BLACK、RACING HYPER BLACK (+4320円)、 RACING HYPER SILVER (+4320円)
	ADVAN Racing RS-DF	VM4/VMG	鍛造・1ピース	F/R : 19×8.5J+47	F/R : 225/40R19	要	9万2340円	RACING GLOSS BLACK、 RACING HYPER BLACK (+5400円)、 RACING HYPER BRONZE
	ADVAN Racing RS-D	VM4/VMG	鋳造・1ピース	F/R : 18×8.5J+51 F/R : 19×8.5J+45/38	F/R : 225/45R18 F/R : 225/40R19		6万5340円 7万6140円	MACHINING & BLACK(+3240円)、MACHINING & SILVER (+3240円)、 MAT BLACK、BRIGHT CHROME (+8640円)
	ADVAN Racing RZ-DF	VM4/VMG	鍛造・1ピース	F/R : 18×8.5J+51 F/R : 19×8.5J+47	F/R : 225/45R18 F/R : 225/40R19	要	8万2080円 8万8560円	MACHINING & RACING HYPER BLACK(+5400円)、 MAT BLACK
	ADVAN Racing RZ	VM4/VMG	鋳造・1ピース	F/R : 18×8.5J+51/45 F/R : 19×8.5J+51/45	F/R : 225/45R18 F/R : 225/40R19		6万480円 6万9660円	RACING HYPER SILVER (+4320円)、 DARK GUN METALLIC、BRONZE
	ADVAN Racing GT	VM4/VMG	鍛造・1ピース	F/R : 18×8.5J+51/45	F/R : 225/45R18		7万7220円	MACHINING & RACING HYPER BLACK (+5400円)、 MACHINING & RACING METAL BLACK (+4320円)、 SEMI GLOSS BLACK、RACING WHITE



ADVAN Racing RZ
 均等10本スポークとツイン5本スポークを融合させたクロスオーバーデザイン。インナーリムはフローフォーミングによる成形で、軽量性と高い剛性を獲得している。



ADVAN Racing RZ-DF
 ブランド初の鍛造製。RZのツイン5本スポークデザインを基本としRS-Dで確立したディープリムデザインの組み合わせ。スタンダード、ミディアム、エキストラの3つのリム深さを設定。

ADVAN Racing RSII

フルモデルチェンジでスポークディテールを徹底して見直し、加えて可能な限りのコンケイブスポークを追求。さらにスポーク側面にはサイドカット処理を施した。



新しいフラッグシップモデル。正統派の5本スポークデザインを徹底的にシェイプアップしたそのフォルムは、ディープリムデザインと組み合わせられ、アグレッシブさが全開だ。

ADVAN Racing GT



ADVAN Racing RS-D
 RSの10本スポークを基本とし、可能な限りのディープリムと組み合わせている。アウターリム切削仕様。インナーリムはフローフォーミングによる成形で軽量性と高い剛性を獲得。



ADVAN Racing RS-DF
 RSIIのデザインエッセンスと、RZ-DFのディープリムコンセプトを融合した金型鍛造1ピースホイール。ADVAN Racingなどのロゴ文字をマシニングで彫り込むなどこだわりの1本。



ADVAN Racing RGIII
 同ブランドのルーツともいえるRGが、3世代目へモデルチェンジした。スポークの基本デザインをさらにブラッシュアップし、サイドカット加工も施した点に注目したい。

ブランド名	商品名	適合	仕様	サイズ	価格
M2HANBAI	クロモリレーシングナット ロングタイプ/ショートタイプ	VM4/VMG	SCM435 クロモリ鋼	48mm・35mm / 17HEX / M12 / P1.5 / 57g・45g / 各4本入り	ロング1800円 ショート2000円
	Racing Nut	VM4/VMG			2520円
JURAN	Racing Nut PRO	VM4/VMG			5940円
	Heptagon Lock Nut	VM4/VMG			5940円



Heptagon Lock Nut

超軽量ジュラルミン採用のスポーツナットは特殊形状で防犯機能をプラス。19HEX。軽さの貫通タイプと泥の進入を防止する袋ナットの2種類。4個入り。ブラック、ブルー、レッドの3色。



Racing Nut PRO

高強度のクロモリ材をベースに肉抜き加工を施すことで軽量化。35mm / 48mmの2種類。17HEX。ジュラルミン製の貫通および袋タイプやロックタイプもラインアップ。

■タニダ ■ ☎052-871-3741
 ■http://www.tanida-web.co.jp

JURAN



Racing Nut

超タジュラルミンA7075-T6を採用したスポーツナット。軽さにこだわった貫通タイプと泥の進入を防止する袋ナットの2種類。4個入りでブラック、ブルー、レッドの3色を用意する。19HEX。

WHEEL NUT

ホイール交換の際には、ぜひ機能性や整備性にも優れるナット選びにもこだわってみてほしい。

M2HANBAI

■エム・ツー販売
 ■ ☎03-3704-2272
 ■http://www.m2-hanbai.com



クロモリレーシングナット ロングタイプ/ショートタイプ

サーキット走行など頻りにタイヤ交換をする場合は、強度抜群のクロモリレーシングナットがオススメ。材質はSCM435クロモリ鋼。ロングタイプとショートタイプをラインアップ。

FULL AERO PARTS CATALOG

フルエアロ系パーツカタログ

フルエアロはクルマのイメージを変えるカスタマイズドパーツだ
シンプルからアグレッシブなスタイルまでバリエーションはさまざま
フルタイプにするか？ ハーフタイプにするか？ 好みに合ったものをチョイスしたい

CORAZON

◎カルマ CORAZON事業部 ☎092-581-3490

適合車種
VM4/VMG

フルエアロ FULL AERO

SPORIER Decollete Line

フロントデコルテライン バンパーフェイス	レギュラーFRP/ ハイグレードFRP	レギュラーFRP10万8000円 ハイグレードFRP14万4000円
サイドデコルテライン スカート	レギュラーFRP/ ハイグレードFRP	レギュラーFRP8万6400円 ハイグレードFRP12万9600円
リアデコルテライン バンパーフェイス	レギュラーFRP/ ハイグレードFRP	レギュラーFRP9万7200円 ハイグレードFRP12万9600円
デコルテライン エアロコンプリート	レギュラーFRP/ ハイグレードFRP	レギュラーFRP23万7600円 ハイグレードFRP32万4000円

「よりスポーティなプロポーションとより美しいボディラインが生み出す、先進的なエクステリアデザインの追求」をコンセプトとして仕上げたエアロシリーズ。ハイグレードは衝撃が加わった際の破損率を抑えるタイプ。

DAMD

◎ダムド
☎0120-53-9991

DAMDが誇る、ボディキット製作の最新テクノロジーを投入されたレヴォーグのためのエクステリアパッケージ。アイコンとなるオーバーフェンダーパネルが独創的なスタイリングを構築する。ルーフスポイラー以外はABS素材を採用。

Styling Effect

フロントアンダースポイラー	ABS	未塗装5万7600円/ 塗装済み6万6960円
サイドアンダーエクステンション	ABS	未塗装5万2920円/ 塗装済み7万200円
リアバンパーサイドエクステンション	ABS	未塗装3万6720円/ 塗装済み5万5080円
リアバンパーアンダーエクステンション	ABS	未塗装3万2400円/ 塗装済み4万6440円
オーバーフェンダーパネルキット	ABS	未塗装12万9600円/ 塗装済み17万2800円
ルーフスポイラーエクステンション	—	未塗装4万3200円/ 塗装済み6万480円
セット価格	ABS	未塗装31万1040円/ 塗装済み42万4440円



SYMS AERO SYSTEM

フロントバンパー	FRP	8万6400円
サイドステップ	FRP	7万3440円
リヤバンパー	FRP	8万6400円
リヤウイング	FRP	5万1840円
AERO kit Aセット	FRP	21万6000円
AERO kit Reセット	FRP	12万2040円
AERO kit Fullセット	FRP	26万1360円

レヴォーグの持つ欧州車のようなラインを生かしつつ、シムスレーシングのノウハウを盛り込み、コンペティティブなイメージで、エッジのきいたラインとエアロダイナミクス機能をスタイリングに融合させた。



PROVA

 01 プローバ
 045-591-5501


VM専用 LEVORG ボディキット

フロントアンダースポイラー	塗装済み(ブライトシルバー)	6万6960円
サイドアンダーステップ	塗装済み(ブライトシルバー)	7万200円
オーバーフェンダーパネルキット	塗装済み(ブライトシルバー)	17万2800円
リヤサイドアンダーエクステンション	塗装済み(ブライトシルバー)	5万5080円
リヤルーフエクステンション	塗装済み(ブライトシルバー)	6万480円

レヴォーグのボディデザインを崩すことなく、ダイナミックなスタイリングを実現。東京オートサロン2014に出展したLEVORG Prova CONCEPTと同じスタイリングを忠実に再現したボディキットがこれだ。



EXTERIOR PARTS CATALOG

エクステリア系パーツカタログ

アクセントとなるエクステリアアイテムをジャンル別に分けて紹介するので
オリジナリティあふれる1台に上げるためのワンポイントアイテムを
レヴォーグオーナーのセンスを生かしてチョイスしていただきたい

AGRESS

📍オートプロデュース エースリー
☎072-479-2760



リアサイドアンダースポILER

¥ 3万240円

適合車種 VM4/VMG

「STIのアンダースポILERがリアサイドだけない」という声にこたえて製作された人気パーツ。AGRESSリアバンパーとマッチングする。未塗装・黒ゲルコート仕上げ。

AGRESS

📍オートプロデュース エースリー
☎072-479-2760



リアバンパー

¥ 8万8560円

適合車種 VM4/VMG

センターはディフューザー形状でWRX純正リアフォグユニットも装着可。バックドア部リアフォグ装着車の場合はフォグランプの扱いで必要部品が出るので問い合わせを。

AGRESS

📍オートプロデュース エースリー
☎072-479-2760



フロントバンパー

¥ 9万5040円

適合車種 VM4/VMG

WRX STIをイメージさせるデザインはフォグカバー部を一体成型で軽量化。グリル部はメッシュタイプ。WRX純正グリル装着仕様も選択可能。未塗装・黒ゲルコート仕上げ。

エアロパーツ AERO

VALENTI

📍VALENTI
☎058-397-0303



HIDコンバージョンキット

🔗 オープン

適合車種 VM4/VMG

ハロゲンバルブのHIDコンバージョンキット。ラインアップは6000K、8000K、1万Kの3種。圧倒的な明るさを実現する。8000K、1万Kは競技車専用。1年保証付き。

ランプ LUMP

BE FREE

📍BE FREE
☎06-6324-0405



アルミカーボンフェイクシングルウイング ハッチバック

¥ 2万1384円

適合車種 ハッチバック

羽根の部分はアルミで、中空構造を採用。角度調整付きでカーボン柄も特徴だ。シングルウイングモデル。高速走行時効果を発揮。接地感が増し直進安定性が向上する。

BE FREE

📍BE FREE
☎06-6324-0405



アルミカーボンフェイクダブルウイング ハッチバック

¥ 2万1384円

適合車種 ハッチバック

羽根はアルミ製で、中空構造を採用したGTウイング。角度調整付きでカーボン柄も特徴だ。ダブルウイングモデル。高速走行時効果を発揮。接地感が増し直進安定性が向上。

VALENTI

📍VALENTI
☎058-397-0303



ジュエルLEDポジションバルブ プレミアムホワイト

🔗 オープン

適合車種 VM4/VMG

圧倒的な明るさと白さで、高輝度ハイパワー2LED(SMD) & 超拡散レンズ搭載と、高輝度ハイパワー4LED(SMD) & 超拡散レンズ搭載モデルを設定。

VALENTI

📍VALENTI
☎058-397-0303



ジュエルLEDヘッド&フォグバルブ Deluxe3800

🔗 オープン

適合車種 VM4/VMG

発光点をハロゲンバルブと同位置にし、圧倒的な明るさと理想的な配光を高次元で両立。マルチフレクター式とプロジェクター式に対応。6000Kと2800Kで、1年保証付き。

CORAZON

📍カルマ
☎092-581-3490



HIDフォグランプコンバージョンキット

🔗 オープン

適合車種 VM4/VMG

PIAA社製HIDシリーズとのコラボによる、スバル車専用HIDフォグランプコンバージョンキット。過酷なレースシーンで培った圧倒的な技術力を一般車両へ応用させた。

GIALLA

📍ジアラ
☎045-590-0311



LEDフォグデイルイトキット

¥ 1万4904円

適合車種 VM4/VMG

純正フォグをLEDデイルイトのキット。エンジン始動でLEDフォグを自動点灯、アンロック時は10秒間点灯。別売ストロボスイッチでLEDフォグのストロボ発光も可能だ。

VALENTI
VALENTI
058-397-0303

VL53-T20-65
バック、コーナリングランプなど

ジュエルLEDバックバルブ

オープン

適合車種
VM4／VMG

T20サイズ。鋭い発光のクールホワイト。3チップ18LEDで最強の明るさを実現。ヴァレンティLEDライセンスランプと併せて使用すれば、コーディネートも抜群に。

CUSCO
キャロッセ
027-352-3578

オートレベライザー・アジャストロッド

5400円

適合車種
VM4／VMG

車高調整着などによるローダウン時に生じる、ライトの光軸が下側を照らしてしまう問題を解消する。適正な光軸に補正することで、夜間走行時の視認性を確保できる。

SCHROTH
タニダ
052-871-3741

Towing Strap

4860円

適合車種
VM4／VMG

ドイツのDMSB規格に適合。牽引許容重量は1800kg以上で、100mm固定タイプと400mm長さ調整可能タイプを設定。7/16インチまたは最大12mmまでのボルトに対応する。

ZERO/SPORTS
ゼロスポーツ
058-380-2828

ライセンスプレートボルト

3240円

適合車種
VM4／VMG

ロゴ入りのライセンスプレート固定ボルト。ドレスアップと盗難防止に効果抜群。ライセンスプレートを本製品で固定し、レンチ穴の上から専用エンブレムを貼付。2個入り。

VALENTI
VALENTI
058-397-0303

ユーロウinkerリレー

オープン

適合車種
VM4／VMG

装着すると、ウinkerレバーを1回クリックするだけでウinkerが3回点滅する。ハイフラッシュ制御機能や、アンサーバックにも対応。メーカーの1年保証付き。

VALENTI
VALENTI
058-397-0303

ジュエルLEDライセンスランプ

オープン

適合車種
VM4／VMG

鋭い発光のクールホワイト仕様で、LEDで最強の明るさを実現したモデル。ナンバープレートをクールに照らす。同社LEDバックバルブともベストマッチする。

CUSCO
キャロッセ
027-532-3578

可倒式牽引フック

1万584円

適合車種
VM4／VMG

溶接なしの丈夫な一体成型で、高強度なスチール製の牽引フック。固定チェックボール付きで、0°、90°にワンタッチで可倒、バンパーへの接触や傷を防ぐ。ボルトオン。

YR-Advance
YR-Advance
042-581-7135

汎用ナンバーフレーム

2592円

適合車種
VM4／VMG

軽量樹脂製のフロント・リア共通タイプで、ブラックとシルバーのラインにロゴが入ったシンプルさが、さりげないアクセントになる。リアは封印を外さずに取り付け可能。

VALENTI
VALENTI
058-397-0303

VL55-T20-AM
ウinkerランプ

ジュエルLEDウinkerバルブ

オープン

適合車種
VM4／VMG

T20サイズのウinker専用LEDバルブ。3チップ(SMD)で強烈なアンバー色を360°発光。ウinkerをLED化することでキレのよい点滅を実現。

VALENTI
VALENTI
058-397-0303

LEDリアバンパーリフレクター

オープン

適合車種
VM4／VMG

インナーリフレクターを搭載したトリプルレイヤー構造。圧倒的な光量と照射角、照射範囲を可能に。消灯時でも反射板+インナーリフレクターで独自のキラキラ感を演出。

外装その他
OTHERS

ZERO/SPORTS
ゼロスポーツ
058-380-2828

ライセンスプレートフレーム

4104円

適合車種
VM4／VMG

専用エンブレムを配し、クロムメッキ仕上げのオシャレで存在感のあるライセンスプレートフレーム。フロント、リアどちらでも使用可能。もちろん保安基準に適合している。

VALENTI
VALENTI
058-397-0303

ジュエルLEDウinkerポジションプレミアムT20

オープン

適合車種
VM4／VMG

1個のバルブでホワイトとオレンジ2色の発光が可能。点灯パターンは6パターンと、今までにない高機能キット。定電圧制御回路内蔵なので、ハイブリッド車でもOK。

VALENTI
VALENTI
058-397-0303

VL57-T20-RE
テールランプ

ジュエルLEDバックフォグバルブ

オープン

適合車種
VM4／VMG

T20サイズで鋭い発光のレッド。3チップ18LEDで最強の明るさを実現した。ヴァレンティLEDライセンスランプ、LEDバックランプと併せて使用するのがベスト。

siecle
ジェイ・ロード
03-5746-0720

S608P2

7020円

適合車種
VM4／VMG

配線方法によりウinkerポジションやハイビームポジションが可能になる。USスタイルや車両をワイドに見せるドレスアップパーツとして使える。安心の日本製だ。

CUSCO
キャロッセ
027-352-3578

アジャストナンバーステー

4320円

適合車種
VM4／VMG

純正ナンバープレートの取り付け穴を利用し簡単装着。ナンバープレートの位置を上方向へ3段階に調整可能で、ラジエターへの通気性向上により冷却効率もアップする。

CORAZON

📍カルマ
☎092-581-3490



ドアロックチェッカー

¥1万6200円

適合車種 VM4／VMG

ドアロックに連動してドアミラーが自動で開閉するバックシステム。離れた場所からでも、ドアミラーをひと目見るだけでロックとアンロックの判断ができる優れもの。

JURAN

📍タニダ
☎052-871-3741



ガーニーフラップ

¥4104円

適合車種 VM4／VMG

リアウイングの下側を流れるエアを加速させることで、ダウンフォースを稼ぐ。素材は硬度、柔軟性のバランスがとれたウレタンゴムを採用している。長さ2mで1本入り。

SilkBlaze

📍ケースベック
☎0566-54-0335



HELICAI SHORT ANTENNA

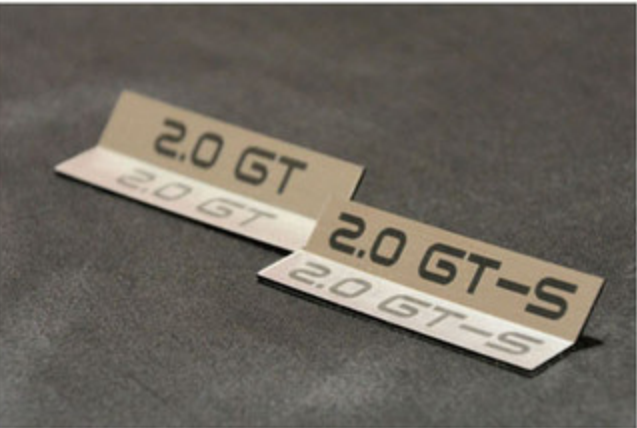
¥2592円～3024円

適合車種 VM4／VMG

径4mmの絶縁素材丸棒に、0.5mmの銅線を200cm巻きつけ、約156周させたヘリカル方式を内蔵。ショートタイプながら多くの電波を受信し、電波を漏らさず収集可能だ。

EAST CLOUD

📍スーパーオートバックス東京ベイ東雲店
☎03-3528-0357



LEVORG グレードエンブレム

¥2160円

適合車種 VMG

2ℓLEVORGオーナーの心をくすぐるオリジナルエンブレム。5cm×1cmなのでピラーへの貼り付けにベストマッチする。「2.0GT-S」と「2.0GT」の2種類をラインアップ。

YR-Advance

📍1万1880円
☎042-581-7135



ブルーレンズドアミラー

¥1万1880円

適合車種 VM4／VMG

純正ミラーに貼るだけの手軽さでブルーミラーにでき、後続車のヘッドライトのまぶしさを軽減。熱伝導シートを入れてあるので、ヒートッドミラーにも安心して使用できる。

K2GEAR

📍K2GEAR
☎06-6932-7772



ウィンドモール

¥7560円

適合車種 VM4／VMG

樹脂製のよさを生かして湾曲したガラスにもきれいに沿う点がポイントのウインドウモール。クォーターガラスまできれいにモールラインをつなげることができる。

SilkBlaze

📍ケースベック
☎0566-54-0335



AEROGUARD

¥2700円

適合車種 VM4／VMG

凸凹路面でこすれても、エアロガードが衝撃を吸収しバンパーの傷つきもガードできる。取り付けは両面テープ。さらに強力に保護する「エアロガードⅡ」(3024円)もある。

WRC CUSTOM

📍ラ・アンスポーツ
☎0471-24-9199



ピンクオーナメント(加工完成品)

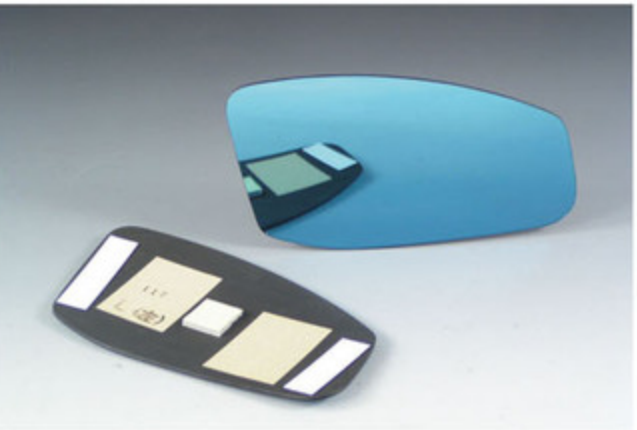
¥フロント5400円～/リア6480円～

適合車種 VM4／VMG

過去にピンクがあったSTIバージョンのエンブレムにあこがれた人も少なくないはず。SUBARUの純正品をピンクに加工塗装したラ・アンオリジナルオーナメントをどうぞ。

ZOOM ENGINEERING

📍ズームエンジニアリング
☎042-670-8555



エクストラブルーワイドミラー

¥1万800円

適合車種 VM4／VMG

ガラス表面に特殊処理を施して発色させ、着色では得られない高い防眩効果と美しい深い青が両立した。600Rの凸面鏡でワイドな視界を確保。両面テープで簡便取り付け。

JURAN

📍タニダ
☎052-871-3741



Fender Arch Mole

¥4104円

適合車種 VM4／VMG

フェンダーアーチモールは、ウレタン製のボディエクステンションだ。片側9.5mmのワイド化を実現する汎用品で、装着部分に合わせてカットして使う。長さ2.5mで1本入り。

JURAN

📍タニダ
☎052-871-3741



Multi Deflector

¥8424円

適合車種 VM4／VMG

適度な硬度を持たせたウレタン製汎用スポイラー。自由にカットできるので、リップスポイラーやカナード、さらにウイングなどにも使用可能だ。長さは2.5mで1本入り。

EAST CLOUD

📍スーパーオートバックス東京ベイ東雲店
☎03-3528-0357



六連星オーナメント

¥フロント用7452円/リア用7192円

適合車種 VM4／VMG

ノーマルパーツではシルバー色の六連星と緑の部分をオリジナルで加工した。さりげない大人のドレスアップパーツだ。フロント、リアともに各色をラインアップしている。

JURAN

📍タニダ
☎052-871-3741



Bonnet Pin Slide

¥4104円

適合車種 VM4／VMG

軽量なアルミ製やFRP製ボンネットに替えた際、ボンネットの浮き上がりを未然に防止することができるアイテム。スライド仕様など3タイプをラインアップしている。

JURAN

📍タニダ
☎052-871-3741



Grille Net

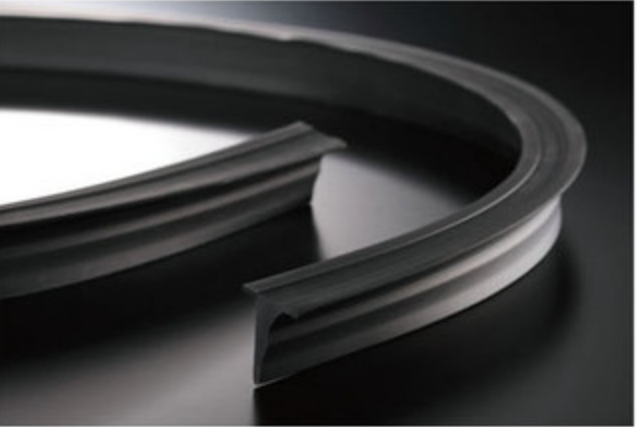
¥6264円

適合車種 VM4／VMG

ドレスアップ効果はもちろん、樹脂製の純正ネットに比べ軽量化も図れるアルミ製。アルマイト処理で耐候性も優れている。シルバーとブラックの2色。大判タイプもあり。

JURAN

📍タニダ
☎052-871-3741



アンダースパッツ

¥1万2960円

適合車種 VM4／VMG

アンダーフロアに潜り込むエアを整流することで揚力を低減させさせるパーツ。装着することでエアロパーツの破損防止アイテムとしても使える。長さは2.5mで1本入り。

SilkBlaze

📍ケースベック
☎0566-54-0335



HELICAI SUPER SHORT ANTENNA

¥2376円

適合車種 VM4／VMG

アンテナ内部は、4mmの絶縁素材ロッドに0.5mmの銅線を幾層にも重ねて製造している。効果的に多くの電波を受信することが可能となり、電波を漏らさず収集できる。

INTERIOR PARTS CATALOG

インテリア系パーツカタログ

ドレスアップアイテムはもちろんのこと、機能性も向上するパーツが豊富にそろったインテリアカタログ。
シートやミラー、役立ち小物、などドライバー目線から、ぜひ交換したいと思うアイテムをピックアップした。
自分の好みと目的に合ったアイテムをレヴォーグに装着していただきたい。

ASM

☎ AUTOBACS ASM YOKOHAMA
☎ 045-629-0905



RECARO SP-JC ASM LIMITED

¥ 28万7280円

適合車種 VM4/VMG

電動AM19シリーズをベースに、黒本革と赤Wステッチ仕上げるシート。スポーティサスペンションに最適な振動吸収構造を持つ座面を採用するなど、こだわり派にお勧め。

ASM

☎ AUTOBACS ASM YOKOHAMA
☎ 045-629-0905



RECARO SR-7 ASM LIMITED Ruby

¥ 16万4160円

適合車種 VM4/VMG

こちらもASM横浜店舗限定モデルで、ベースはSR-7。漆黒のアルカンターラ、パンチング加工を施した黒染めの赤革など、素材とデザインにとことんこだわった造りだ。

ASM

☎ AUTOBACS ASM YOKOHAMA
☎ 045-629-0905



RECARO RS-G ASM LIMITED Ruby

¥ 16万4160円

適合車種 VM4/VMG

RS-Gをベースに、漆黒のアルカンターラと黒く染めてパンチング加工を施した赤革を採用し、銀系のRECARO×ASMダブルネームなど、ASM横浜ならではの限定モデル。

シート SEAT

CUSCO

☎ キャロッセ
☎ 027-352-3578



CUSCO×BRIDEコラボレーションシート STRADIA II+C SPORT

¥ 13万8240円

適合車種 VM4/VMG

フルバケの高いホールド性能に加え、快適な有段リクライニング機構を搭載したモデル。スチールフレームとリクライニングデバイスを一体化し、高い剛性感を実現した。

CUSCO

☎ キャロッセ
☎ 027-352-3578



CUSCO×BRIDEコラボレーションシート EUROSTER II+C

¥ 8万7480円

適合車種 VM4/VMG

座面のウレタンフォームの最適化や座面形状にこだわり、長時間ドライブに対応する。無段階リクライナーで、最適なシートポジションを確保できる。CUSCO刺繍ロゴ入り。

CUSCO

☎ キャロッセ
☎ 027-352-3578



CUSCO×BRIDEコラボレーションシート DIGO II+C

¥ 7万8840円

適合車種 VM4/VMG

バックレストやシート座面に高張力ネットを使用し、体の面圧を均等にして、包み込むようなホールド感を実現した。カーボン素材をイメージしたショルダーホールドを採用。

HT-PRO

☎ ハリアンテック
☎ 044-455-6441



レザーシートカバー PT7000シリーズ

¥ 5万6160円

適合車種 VM4/VMG

本革並みの素材感を実現する最高級PVCレザーを採用したレザーシートカバー。ギャザーレスWステッチ、パンチング、ツートンカラーの3種類をラインアップしている。

BE FREE

☎ BE FREE
☎ 06-6324-0405



RS-2 リクライニングシート ファブリック

¥ 2万6784円

適合車種 VM4/VMG

サイドサポートが大きく、コーナリングで発生する横Gにも体をしっかりホールドしてくれる。またドライブによる疲労も軽減される。ファブリック仕様、黒、赤、青の3色。

BE FREE

☎ BE FREE
☎ 06-6324-0405



RS-2 リクライニングシート フェイクレザー

¥ 3万2184円

適合車種 VM4/VMG

サイドサポートが大きくコーナリングで発生する横Gに対して体をしっかりホールドし、ドライバーのコントロールテクにこたえる。フルフェイクレザー仕様、色は赤と黒。

CUSCO

☎ キャロッセ
☎ 027-352-3578



CUSCO×BRIDEコラボレーションシート VIOS III+C

¥ 7万4520円～16万7400円

適合車種 VM4/VMG

独自のシートレールイン構造と深くポジショニングするバックレスト形状を採用することで、究極のローポジションと理想的なドライビングポジションを実現できる。

CUSCO

☎ キャロッセ
☎ 027-352-3578



CUSCO×BRIDEコラボレーションシート ZETA III+C

¥ 7万4520円～18万2520円

適合車種 VM4/VMG

フルバケットシートのスタンダードモデル。ドライバーの体格や車種、カテゴリーに合わせて、シェル素材は4種類を用意。シートサイズも4種類から選べる。

SONIC DESIGN

📞 ソニックデザイン
☎ 043-209-1777



Sonic PLUS LEV. SX-01E

¥ 10万8000円(F/Rセット価格)

適合車種 VM4/VMG

レヴォーグ専用のスタンダードモデル。独創のユニットとウーハーで共振やこもり音が減少し、クリアな音質を楽しめる。フロントとリア、それぞれ単独でも購入可能だ。

ROBSON STEERING

📞 ロブソンレザー
☎ 03-3656-6477



ステアリング張り替え

¥ 3万3480円

適合車種 VM4/VMG

ステアリングを本革100%で張り替えてくれる。革のカラーは12色から選択可能。シフトノブにも対応しているので、ステアリングとコーディネートするのもいい。

JURAN

📞 タニダ
☎ 052-871-3741



Profi II asm

¥ 5万5080円

適合車種 VM4/VMG

新設計アルミ製ターンバックルを装備してリニューアルした、FIA公認のハーネス。HANS対応。ショルダーベルトには衝突時の潜り込みを防止するasm機構も採用した。

ZOOM ENGINEERING

📞 ズームエンジニアリング
☎ 042-670-8555



コンパクトルームミラー

¥ 1万7280円～1万8360円

適合車種 VM4/VMG

アルミ削り出しボディに1400Rのブルーミラーを使用。S(136×46×7mm・102g)は必要最小限、M(170×60×7mm・140g)は純正よりワイドな視界に。ボルトオン装着可能。

スピーカー SPEAKER

Reiz

📞 K2GEAR
☎ 06-6932-7772



Reizスポーツステアリング360c

¥ 5万760円

適合車種 VM4/VMG

純正形状ながら外形サイズを360mmと小径サイズにセットアップ。ノーマルからトレードインで交換完了。純正エアバッグにも対応。ステッチカラーは4色を用意。

Artina

📞 ケースバックインテリア
☎ 0566-54-2855



SEAT HEATER

¥ 1万9440円

適合車種 VM4/VMG

驚速ヒートアップのうえ従来品比で200%の暖かさを実現。安全性も考慮し、60℃以上になると通電をストップし温度が下がれば自動再開するサーモスタット機能付き。

ZOOM ENGINEERING

📞 ズームエンジニアリング
☎ 042-670-8555



エアロルームミラー

¥ 1万2960円～1万9440円

適合車種 VM4/VMG

横幅205mm・縦62mm・奥行き60mmとコンパクトな楕円形ミラー。1400Rのブルーミラーが、ワイドでまぶしくない視界を実現する。車種別専用アームで、ボルトオン装着。

ROBSON LEATHER

📞 ロブソンレザー
☎ 03-3656-6477



本革シート張り替え

¥ 19万4400円～

適合車種 VM4/VMG

純正では体感できない最高級本革シートへチェンジしたい人への張り替えシステム。素材は100%本革を使用し、カラーバリエーションは12色からチョイス可能だ。

コクピット COCKPIT

GARAGE KM1

📞 ガレージKM1
☎ 0533-72-5084



アルミシフトノブ

¥ 6480円

適合車種 VM4/VMG

球面タイプのアルミ製。サイズは43φで手にフィットする大きさで、重量も100gとベストな重さ。軽快なシフトチェンジが可能だ。ブルーアルマイト仕上げも魅力的だ。

ミラー MIRRORS

BE FREE

📞 BE FREE
☎ 06-6324-0405



LP-2 フルバケットシート

¥ 2万7000円

適合車種 VM4/VMG

しなり、ねじれなどがなく、ハイスピードコーナリング時やブレーキングなどの強力なGからドライバーをしっかりとホールド。剛性感でクルマの挙動を正確に把握できる。

SONIC DESIGN

📞 ソニックデザイン
☎ 043-209-1777



Sonic PLUS LEV. SX-01M

¥ 21万600円(F/Rセット価格)

適合車種 VM4/VMG

新開発部品や独自の技術を惜しみなく投入したハイグレードモデルは、さらに緻密で豊かなサウンドが再現できるように。フロントとリアの各セットでの購入も可能だ。

PRS

📞 プレジャーレーシング
☎ 0584-87-0687



スポーツパドルシフト

¥ 3万7584円～3万9744円

適合車種 VM4/VMG

カラーバリエーションが多数あり、アルマイト加工のため要望に応じて濃いカラーや薄いカラーもオーダー可能。ドレスアップ効果も期待できる。装着はかぶせるタイプ。

JURAN

📞 タニダ
☎ 052-871-3741



Anchor Bolt

¥ 2484円～3240円

適合車種 VM4/VMG

FIAおよびJAF基準の剛性を確保したアイボルトセット。ショート、ロング、スーパーロングの3サイズをラインアップしている。材質はスチールを採用。1ペア入り。

ZOOM ENGINEERING

📍ズームエンジニアリング
☎ 042-670-8555



モナコミラー-240

¥ 1万7280円～2万1384円

適合車種 VM4/VMG

ドライバーなどの映り込みを抑える設計や1400Rのブルーミラー採用は203と同様ながら、横幅240×縦80×奥行き96mmと大きめのボディだ。ボルトオン装着可能。

CUSCO

📍キャロッセ
☎ 027-352-3578



スポーツアクセルペダル

¥ 4104円

適合車種 VM4/VMG

形状にこだわり、アクセルとブレーキの操作性を飛躍的にアップさせる。ステンレス製鏡面仕上げでCUSCOロゴ入り。取り付けはボルトオンながら、ぴったりフィット。

garage NOB

📍ガレージノブ
☎ 073-447-0233



フットレストガイド

¥ 4536円

適合車種 VM4/VMG

1.2mm厚のアルミ製で、フットレストへ足を滑らせやすくなり、フロアマットの傷つき防止にもなる。レッドとブラックがあり、いずれも美しく耐久性の高いアルマイト仕上げ。

K2GEAR

📍K2GEAR
☎ 06-6932-7772



ラゲッジマット

¥ 1万6200円

適合車種 VM4/VMG

カーゴ床下収納に合わせたカットは入れず、シンプルな1枚構造とし、液体や粉塵などからカーゴフロアを守る。アルミ製のK2GEARロゴプレートが標準装備されている。

ZOOM ENGINEERING

📍ズームエンジニアリング
☎ 042-670-8555



モナコミラー-203

¥ 1万7280円～2万1384円

適合車種 VM4/VMG

車内人員の映り込みを最小限に抑える形状。横幅203×縦63×奥行き85mmのボディに、小さめながら1400Rブルーミラーで、ワイドでまぶしくない視界に。ボルトオン装着。

足もとアイテム

FOOT ITEM

ZOOM ENGINEERING

📍ズームエンジニアリング
☎ 042-670-8555



ペンタミラー-190

¥ 1万7280円～2万1384円

適合車種 VM4/VMG

横幅190mm・縦65mm・奥行き65mmとコンパクトな五角形のボディ。1400Rのブルーミラーも小さめだが、ワイドでまぶしくない視界が得られる。取り付けはボルトオン。

PROVA

📍ブローバ
☎ 045-591-5501



カラードワイドミラー

¥ 7560円

適合車種 VM4/VMG

光学特殊コーティングが施された広角・防眩ミラー。最適な凸面鏡形状で、ノーマルミラーより後方視界を拡大。カラーバリエーションはブルーとイエローの2色だ。

ZOOM ENGINEERING

📍ズームエンジニアリング
☎ 042-670-8555



TSミラー

¥ 1万9440円

適合車種 VM4/VMG

横幅256mm・縦68mm・奥行き50mmのシンプルなフォルムであや織りカーボンの美しさが際立つ。1400Rのブルーミラーで視界は純正よりワイドになる。ボルトオン装着。

ZOOM ENGINEERING

📍ズームエンジニアリング
☎ 042-670-8555



リトルミラー

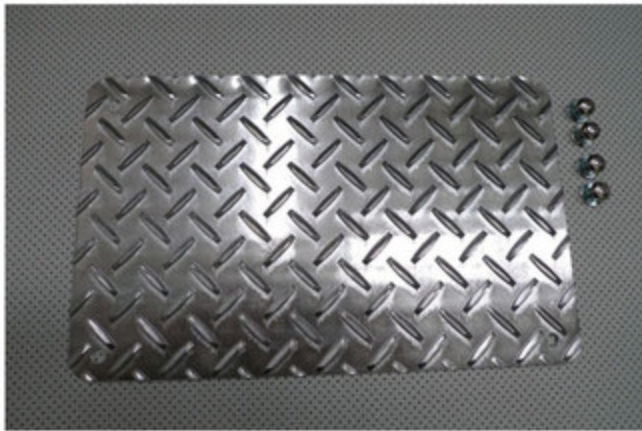
¥ 1万7280円～1万9440円

適合車種 VM4/VMG

左右比対称の異形デザインは、130g、155×65×47mmと純正の約半分のサイズながら、1400Rのブルーワイド曲面鏡で必要最小限の視界を確保した。ボルトオン装着。

EMU'S ENGINEERING

📍エムズエンジニアリング
☎ 06-6437-3560



Emu'sアルミヒールプレート

¥ 5184円

適合車種 VM4/VMG

フロアマットに取り付けるだけで、擦れやすいかと部分を補強する。材質はアルミ縞板で、取り付けはボルトによりしっかり固定、滑り止めエッジも装備した。日本製。

NEOPLOT

📍プロト
☎ 0566-36-0456



フットレストバーNEO

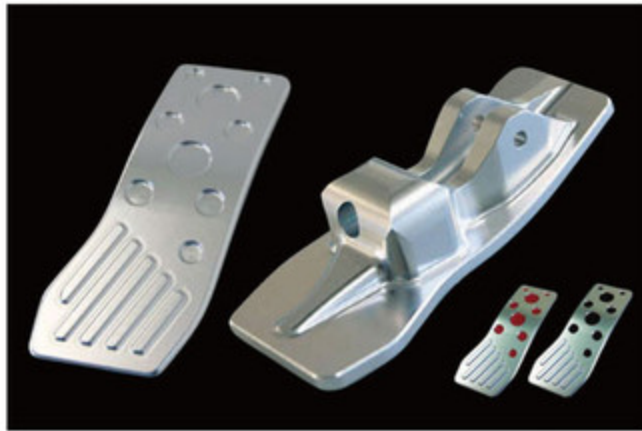
¥ 1万1880円

適合車種 VM4/VMG

ドライビングポジション決定にもっとも重要な、左足(軸足)を置く「フットレストのポジション」を最適化する。驚くほど安定したドライビングポジションを実現できる。

NEOPLOT

📍プロト
☎ 0566-36-0456



アクセルペダルNEO

¥ 1万9440円

適合車種 VM4/VMG

ペダル形状とポジションを最適化し、より自然なアクセルワークを実現。ペダルそのものを交換する。剛性感のあるペダルタッチとスムーズな操作フィーリングが得られる。

YR-Advance

📍YR-Advance
☎ 042-581-7135



フロアマット

¥ 8640円～1万7280円

適合車種 VM4/VMG

全16タイプの幅広い設定のうえ、2700円アップで縁取りの糸の色を変更できる。細部までこだわって、車内の印象でも「自分仕様」をさりげなく主張しよう。

KANSAI SERVICE

📍Kansaiサービス
☎ 0743-84-0126



フロアマット

¥ 2万6784円

適合車種 VMG

フック穴と裏面には滑り止めを装備した専用形状。高級感のある厚手の生地だが、燃焼性試験(FMVSS NO.302)で問題なしと結果が出た素材なので安心して使用できる。

AGRESS

📍オートプロデュース エースリー
☎ 0742-479-2760



フロアマット

¥ 2万5920円

適合車種 VM4/VMG

縁取りはレッドとブルーの2色展開。純正同等の品質で価格を抑え、無地にシンプルなロゴだけのデザインが、さりげない上品さだ。純正フック対応、ヒールパッドも装備。

AGRESS

📍オートプロデュース エースリー
☎072-479-2760



ラゲッジルームマット

¥ 1万7280円

適合車種 VM4/VMG

フロアマットと同仕様の、シンプルで使いやすく購入しやすい価格のラゲッジルームマット。フロアマットもこちらでも、単品でもセット(3万6000円)でも購入可能だ。

K2GEAR

📍K2GEAR
☎06-6932-7772



3Dデザインマット

¥ 3万240円

適合車種 VM4/VMG

表側はエンボス加工されたウレタンで、水などの液体や砂・ほこりから室内を保護。裏側はズレ止め加工を装備。縁取りのカーブ部分はレボーク専用の青と赤を用意。

ZOOM ENGINEERING

📍ズームエンジニアリング
☎042-670-8555



ボトルホルダー

¥ 2700円

適合車種 VM4/VMG

エアコンルーバーに取り付ける。180ml缶から500mlペットボトルまで対応。ダッシュボードの傾斜が緩く、合う市販品が少ないレヴォークもOKだ。軽く丈夫なアルミ製。

VALENTI

📍VALENTI
☎058-397-0303



ジュエルLEDルームランプシリーズ

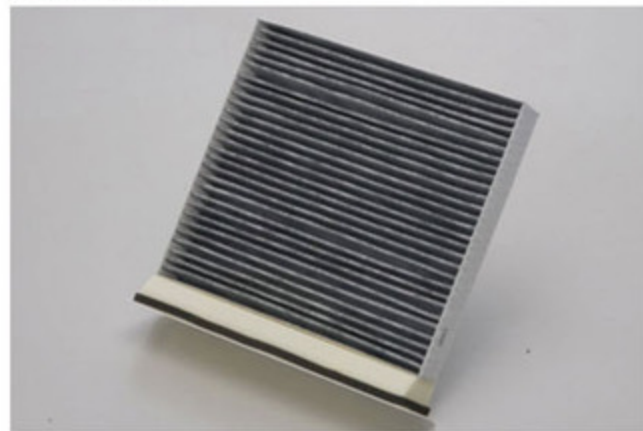
¥ オープン

適合車種 VM4/VMG

マップランプ、ルームランプ、ラゲッジランプ、ライセンスランプのセット。装備されるLEDにはSMD仕様のものを採用しており、他に類を見ない最強の明るさを実現した。

ZERO/SPORTS

📍ゼロスポーツ
☎058-380-2828



カーエアコン用カーボンフィルター

¥ 5400円

適合車種 VM4/VMG

3層構造、活性炭配合脱臭タイプを採用。花粉、ほこり、排気ガス、ディーゼル粉などをカットすると同時に、タバコや排気ガスの嫌なにおいも除去し、車内を快適に保つ。

VALENTI

📍VALENTI
☎058-397-0303



ジュエルルームランプレンズ インナーリフレクター

¥ オープン

適合車種 VM4/VMG

ヴァレンティのLEDルームランプとの同時装着により、レンズカットの中心点がLEDの位置と合い、光を美しく反射し拡散させる。車内が明るく照らし出されるようになる。

内装その他

OTHERS

SUSPENSION PARTS CATALOG

サスペンションパーツカタログ

スタイリッシュにローダウンできる車高調から、サーキットをターゲットにした本格的な車高調まで
レヴォークオーナーのニーズに合わせて、さまざまなアイテムがリリースされるサスペンションパーツ
キミのレヴォークにピッタリの足まわりがきっと見つかるはずだ!!

RS★R

📍ティエムシー
☎0120-826-644



ストリート 図 仕

Basic☆i

適合	バネレート (kg/mm)	車高ダウン量 (mm)	減衰力 調整段数	価格
VM4 VMG	F:7/R:7	F:5~100 R:5~100		15万6600円

単筒式を採用(フロントは倒立式)し、リニアに立ち上がる減衰力特性と高剛性を発揮。車高を落としてもしっかりストロークを確保し、乗り心地を損なわず安定した走りを実現。

ARAGOSTA SUSPENSION SYSTEM

📍トップラインプロダクト
☎04-7190-1391



ストリート 図 仕

Type-E

適合	バネレート (kg/mm)	車高ダウン量 (mm)	減衰力 調整段数	価格
VM4 VMG	F:8/R:6	F/R:30	20	28万4040円~ 29万1600円

ストリートでの扱いやすさや乗り心地、スタイル重視のユーザーにお薦めのモデル。こちらも用途や好みに応じて、アッパーマウントの仕様が選べるのがうれしい。

ARAGOSTA SUSPENSION SYSTEM

📍トップラインプロダクト
☎04-7190-1391



ストリート~サーキット 図 仕

Type-S

適合	バネレート (kg/mm)	車高ダウン量 (mm)	減衰力 調整段数	価格
VM4 VMG	F:9/R:7	F/R:30	20	32万7240円~ 33万4800円

特殊コーティングシリンダーの採用や軽量化など、アラゴスタ最高スペックを搭載したスポーツタイプ。アッパーマウントの仕様は用途や好みに応じて選べるようになっている。

全長調整式車高調

FULL SPEC ABSOBER

HKS

📍 エッチ・ケー・エス
☎ 0544-29-1235



HIPERMAX MAX IV GT

適合	バネレート (kg/mm)	車高ダウン量 (mm)	減衰力 調整段数	価格
VM4 VMG	F:6/R:6	F:26/R:29	30	19万4400円

ローダウンと、より上質な走りを加味するようにセッティング。しっとりしたロール感にしっかりした接地感が特徴だ。単筒式で前後ゴムアッパーを採用。2年4万km保証付き。

CUSCO

📍 キャロッセ
☎ 027-352-3578



Street ZERO

適合	バネレート (kg/mm)	車高ダウン量 (mm)	減衰力 調整段数	価格
VM4 VMG	F:6/R:6	F:25 R:25~30		13万1760円

サスストロークを確保しつつ、スタイリッシュなローダウンを可能にする、ストリートがターゲットの全長調整式。マイルドな乗り味の複筒式低圧ガスショックを採用している。

SPIRIT

📍 スピリットパフォーマンス
☎ 042-516-9550



SPIRIT SHOCKS SPEC-S

適合	バネレート (kg/mm)	車高ダウン量 (mm)	減衰力 調整段数	価格
VM4 VMG	F:7/R:5	F:30~50 R:30~50	20	30万240円

オーダー製作できるカスタマイズモデル。フロントのみ倒立式で、アッパーはフロント調整ピロ、リア強化ラバー仕様。レート変更とスプリングメーカー変更も可能(要別途料金)。

Reiz

📍 K2GEAR
☎ 06-6932-7772



ReizTEN車高調キット

適合	バネレート (kg/mm)	車高ダウン量 (mm)	減衰力 調整段数	価格
VM4 VMG	F:6/R:5	F/R:25	10	36万5040円

初期減衰の立ち上がりも含め、微細な減衰設定値から全体の動きを再考慮。スプリングとテンドースプリングはアイパッサ製。K2GEARがラインアップする最高峰の車高調だ。

SSD pro

📍 オリジナルランデュース
☎ 086-464-0606



SSD pro

適合	バネレート (kg/mm)	車高ダウン量 (mm)	減衰力 調整段数	価格
VM4 VMG	F:8/R:6	F:40/R:30	25	30万2400円

ランデュースが理想とするダンパーキットがこれ。別タンク式で伸縮各25段調整式の車高調キットで、普段の街乗りからサーキット走行まで、十分攻められる仕様が完成させた。

garage NOB

📍 ガレージノブ
☎ 073-447-0233



オリジナルアラゴスタサスペンションキット

適合	バネレート (kg/mm)	車高ダウン量 (mm)	減衰力 調整段数	価格
VM4 VMG	F:8~10 R:7~9	F:30/R:25	20	33万4900円/別タンク付き44万2800円

アラゴスタをベースに、オリジナルスベックで味付け。フロントは倒立式、リアは正立式。オーバーホール料金は、フロントが1万6200円から、リアが1万2960円から。

SPIRIT

📍 スピリットパフォーマンス
☎ 042-516-9550



SPIRIT SHOCKS SPEC-N

適合	バネレート (kg/mm)	車高ダウン量 (mm)	減衰力 調整段数	価格
VM4 VMG	F:7/R:5	F:30~50 R:30~50	20	21万4920円

ストリートに最適なコンフォートモデル。標準でKYB製スプリングを装備。フロント/リアともに正立式。アッパーは強化ラバー仕様だが、2万7000円プラスでピロ仕様も可。

BLITZ

📍 ブリッツ
☎ 0422-60-2277



DAMPER ZZ-R SpecDSC

適合	バネレート (kg/mm)	車高ダウン量 (mm)	減衰力 調整段数	価格
VM4 VMG	F:6/R:6	F:20/R:25	96	23万5440円

DAMPER ZZ-Rをベースに4輪独立での電子制御式減衰力調整を採用。車内のコントローラーから減衰力を自在に変更可能で、より細かいセットアップと乗り心地を実現。

RST

📍 RST
☎ 046-279-4350



サイバーショック

適合	バネレート (kg/mm)	車高ダウン量 (mm)	減衰力 調整段数	価格
VM4 VMG	F:6~9 R:6~9		無or4	15万8000円~19万8000円

走行ステージに合わせてセットアップしてくれる。価格は取り付け代込み。純正アッパーマウント仕様のストリートタイプとピロアッパーマウントのスポーツタイプを設定。

OHLINS

📍 カロツツェリアジャパン
☎ 03-5851-1852



DFV全長調整式車高調

適合	バネレート (kg/mm)	車高ダウン量 (mm)	減衰力 調整段数	価格
VMG	F:10/R:7	F/R:20	20	37万5840円

DFVバルブで市街地走行の快適性とスポーツ走行時のハイレベルな運動性を両立。フロントアッパーマウントはピロでキャンバー調整式、リアは固定式でピロとラバーを選択。

ZOWIE AUTOSTUDIO

📍 ザウィオートスタジオ
☎ 045-929-5903



ZASセッティングダンパー エナペタル

適合	バネレート (kg/mm)	車高ダウン量 (mm)	減衰力 調整段数	価格
VM4 VMG				未定

オーダーメイドダンパーエナペタルを、ザウィスベシャルにセッティング。ストリートからサーキット仕様まで、ユーザーのニーズに合わせてトータルバランスを追求したモデルだ。

BLITZ

📍 ブリッツ
☎ 0422-60-2277



DAMPER ZZ-R

適合	バネレート (kg/mm)	車高ダウン量 (mm)	減衰力 調整段数	価格
VM4 VMG	F:6/R:6	F:20/R:25	32	17万640円

減衰力32段調整、単筒式、全長調整式を採用しながら、リーズナブルな価格と幅広いシチュエーションに対応するダンパーキット。オーバーホールやスプリング変更も可能だ。

RS★R

📍 ティエムシー
☎ 0120-826-644



best☆i

適合	バネレート (kg/mm)	車高ダウン量 (mm)	減衰力 調整段数	価格
VM4 VMG	F:7/R:7	F:5~100 R:5~00		19万2240円

車高を落としてもしっかりストロークを確保し、乗り心地を損なわない安定した走りを実現。減衰力調整機構により、シチュエーションごとに好みの設定に変更して楽しめる。

EL SPORT

📍 ラック
☎ 0561-63-0101



サスペンションキットV1-LS DFA

適合	バネレート (kg/mm)	車高ダウン量 (mm)	減衰力 調整段数	価格
VM4 VMG	フルオーダー		24	32万6968円

ベースにビルシュタインを採用。これまで培ってきた独自のノウハウやデータを基に、フルオーダーメイドシステムにより、走行ステージや好みに合わせた足を製作してくれる。

CUSCO

📍 キャロッセ
☎ 027-352-3578



Street ZERO A

適合	バネレート (kg/mm)	車高ダウン量 (mm)	減衰力 調整段数	価格
VM4 VMG	F:6/R:6	F:25 R:25~30	40	17万2800円

走行ステージにより快適な乗り心地を調整可能で、スタイリッシュなローダウンを両立させる減衰力40段調整+全長調整システムを装備。e-con2にも対応している。

TEIN

📍 テイン
☎ 045-810-5501



STREET FLEX

適合	バネレート (kg/mm)	車高ダウン量 (mm)	減衰力 調整段数	価格
VM4 VMG	F:6/R:6	F:35~40 R:35		15万9840円

あらゆるシチュエーションを網羅するストリートユース車高調。快適な乗り心地とスタイリッシュなローダウンスタイルを両立。ADVANCEニードル採用。EDFCにも対応する。

TEIN



ティン



045-810-5501



ストリート

STREET BASIS

適合	バネレート (kg / mm)	車高ダウン量 (mm)	減衰力 調整段数	価格
VM4 VMG	F:5 / R:5	F:35~40 R:35		9万5040円

ストリートユース車高調の高品質なベーシックモデル。表面処理ZTコートの採用により防錆性能が向上。さらに新開発の部品も搭載するなど車高調入門にも最適だ。

ネジ式車高調

HIGHT
ADJUSTABLE
ABSORBER

WANGAN



ワンガン



047-395-5505



ストリート～ワインディング 

MONOCEROS ZERO

適合	バネレート (kg / mm)	車高ダウン量 (mm)	減衰力 調整段数	価格
VM4 VMG	F:8kg/mm R:6kg/mm	F/R:60~0	32	13万8240円

市街地でのストップ＆ゴーや長距離のドライブも苦にならない足だ。ハイウェイクルージングからワインディング、またミニサーキットまで確実な追従性とスタビリティを実現。

RS★R



ティエムシー



0120-826-644



Ti2000 DOWN

適合	バネレート (kg / mm)	車高ダウン量 (mm)	価格
VM4 VMG	F:5.2 / R:5.7	F:20~30 / R:15~25	5万2380円

車検ギリギリまでのダウン量を実現し、理想的なローダウンフォルムに。チタン配合の新素材が耐へたり性をはじめ、あらゆる面でダントツの性能を発揮。「へたり永久保証」付き。

スプリング

SPRING

CUSCO



キャロッセ



027-352-3578



ストリート～ワインディング

Touring A

適合	バネレート (kg / mm)	車高ダウン量 (mm)	減衰力 調整段数	価格
VM4 VMG			40	8万4240円

減衰力40段調整式の純正形状ショックアブソーバーで、減衰力MAX時には純正比で140%アップ。マイルドな乗り味に定評のある複筒式低圧ガスショックを採用している。

純正形状

SHOCK ABSORBER

TEIN



ティン



045-810-5501



Swift



東京発条製作所



03-3732-4112



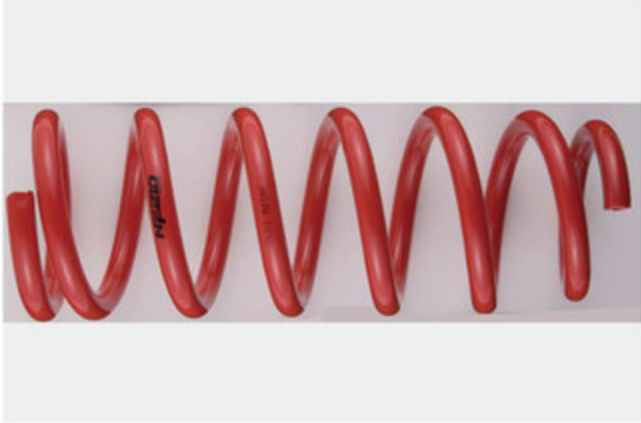
SUSTEC



タナベ



072-728-6700



ESPELIR



エスベリア



0942-32-2700



HIGH.TECH

適合	バネレート (kg / mm)	車高ダウン量 (mm)	価格
VM4 VMG	F:5.2 / R:5.5	F:20~25 / R:15~20	5万760円

業界初の、乗り心地、異音、へたりに対する3大保証を採用。スプリングの素材には、バナジウムを配合したSAE9254を採用することで、軽量化と高品質を実現したモデル。

Swift Racing Springs

適合	バネレート (kg / mm)	車高ダウン量 (mm)	価格
全車			2万2680円～ 2万7000円

車高調用の汎用直巻きスプリング。内径は60、65、70mmで、自由長は127(5インチ)～300mm、スプリングレートは3～34kg/mmをラインアップ。ヘルパースプリングもあり。

NF210

適合	バネレート (kg / mm)	車高ダウン量 (mm)	価格
VM4 VMG	F:4.6 / R:5.2	F / R:15~25	3万1320円

乗り心地を損なうことなく、スタイリッシュなローダウンを追求して開発された、タナベのローダウンスプリング、NF210。スプリングのカラーはレーシーなレッド仕様だ。

Super DOWNSUS

適合	バネレート (kg / mm)	車高ダウン量 (mm)	価格
VM4 VMG	F:3.3~4.4 R:2.8~3.5	F:30~35 / R:25~30	4万5360円

スーパーGTやD1グランプリなど各種レース参戦経験から得たノウハウをフィードバック。保安基準ギリギリのローダウンを実現しつつ耐久性に富む。安心の耐へたり保証付き。

CUSCO



キャロッセ



027-352-3578



e-con2

¥ 5万1300円

適合車種 対応機種装着車

Street-A、ZERO-Aに対応する電調式減衰力40段コントロール。車内に装備した本体からボタンひとつで減衰力調整ができるうえ、オプション装着で前後のG表示も可能。

サスペンションその他

OTHERS

PROVA



ブローバ



045-591-5501



ローダウンスプリング

適合	バネレート (kg / mm)	車高ダウン量 (mm)	価格
VM4 VMG	F:5.0 / R:4.89	F:16 / R:8	4万3200円

GT-S(ビルシュタイン装着車)用。高品質鋼材を使用し、入念に後処理を行うことで、長期使用でもへたりや縮みが発生せず安心して使用可能。防音ラバー装備で接地音を低減。

HYPERCO



ミノルインターナショナル



03-5706-1888



ハイパコ スプリング

適合	バネレート (kg / mm)	車高ダウン量 (mm)	価格
VM4 VMG			要問い合わせ

ストローク中のレート変化がきわめて小さく、たった1mmの変化でも、確実に荷重の移動量をドライバーへ伝えるリニア感が走りを激変させる。高追従性、高耐久性も備えている。



EDFC II

¥ 3万5100円

適合車種 対応機種装着車

車内からの減衰力調整を可能にするEDFCをブラッシュアップし、ユーザーが手に入れやすい価格でラインアップしたモデル。これで気軽にセッティングが楽しめる。



EDFC ACTIVE

¥ 5万4540円

適合車種 対応機種装着車

車内から減衰力調整を可能にする、電動減衰力コントローラー。Gセンサーを内蔵しているため、走行中の加速Gに応じて減衰力を自動調整することが可能だ。



EDFC ACTIVE PRO

¥ 7万6140円

適合車種 対応機種装着車

360° 全方位で完全制御可能な電動減衰力コントローラーの最高峰がこれ。新たに旋回G制御を追加し、減衰力は4輪独立で調整が可能となった。外部入力制御もできる。

BRAKE PARTS CATALOG

ブレーキパーツカタログ

カスタマイズはスタイルアップなど見た目を優先するパーツを先にチョイスしがちだが、ぜひとも注目したいのがブレーキパーツだ。ブレーキパッド、ブレーキキャリパーなど「クルマの使い方」によって制動力やコントロール性を考慮しつつ、セットアップしよう

ARMA

エムケーカシヤマ ウィンマックスディビジョン
☎ 0267-67-7700



エコと快適性を追求した、究極のストリートパッド。低コストで純正品同等の性能を持つAT1から、耐フェード性やコントロール性を高めたAT3までラインアップする。

商品名	適合	材質	適正温度域 (°C)	対応ステージ	ローター取替性	価格
ARMA STREET AT1	VM4 VMG	ロースチール	常温～400°C	ストリート	弱	F/R:8640円
ARMA STREET AT2	VM4 VMG	ロースチール	常温～450°C	ストリート	弱	F/R:1万2960円
ARMA STREET AT3	VM4 VMG	ロースチール	常温～500°C	ストリート	弱	F/R:1万6200円

acre

アクレ
☎ 042-516-9600



街乗りをターゲットにしたスーパーフォーミュラや、ストリートからサーキットまでをカバーするフォーミュラ800Cまで5種類を用意。ニーズに合わせてチョイスすることが可能だ。

商品名	適合	材質	適正温度域 (°C)	対応ステージ	ローター取替性	価格
スーパーファイター	VM4 VMG	ノンアスベスト	0～450°C	ストリート	弱	F/R:6840円～
ライトスポーツ	VM4 VMG	ノンアスベスト	0～500°C	ストリート～ワインディング	弱	F/R:1万1664円～
ダストレスリアル	VM4 VMG	ノンアスベスト	0～500°C	ストリート	弱	F/R:2万520円～
フォーミュラ700C	VM4 VMG	カーボンメタル	0～700°C	ストリート～ワインディング～サーキット	弱～中	F/R:1万7280円～
フォーミュラ800C	VM4 VMG	カーボンメタル	0～800°C	ストリート～ワインディング～サーキット	弱～中	F/R:2万1384円～

ブレーキパッド BRAKE PAD

ENDLESS

エンドレスアドバンス
☎ 0267-68-6888



国内外のさまざまなレースシーンで活躍するエンドレスのブレーキパッド。多彩なラインアップをそろえ、街乗りユーザーからサーキット派のユーザーまで幅広く対応している。

商品名	適合	材質	適正温度域 (°C)	対応ステージ	ローター取替性	価格
Super Street Y-sport	VM4 VMG	ノンアスベスト	0～400°C	ストリート～ワインディング	弱	F/R:1万5120円
Super Street S-sport	VM4 VMG	ノンアスベスト	0～480°C	ストリート～ワインディング		F/R:1万7280円
NS97	VM4 VMG	ロースチール	0～500°C	ストリート～ワインディング		F/R:1万9440円
Super Street M-sport	VM4 VMG	ノンアスベスト	0～530°C	ストリート～ワインディング		F/R:2万4840円
MX72	VM4 VMG	セミメタル	50～700°C	ストリート～ワインディング～サーキット		F/R:2万5920円
CC-Rg	VM4 VMG	セラミックカーボンメタル	50～800°C	ストリート～ワインディング～サーキット～レーシング		F:3万240円

ARMA

エムケーカシヤマ ウィンマックスディビジョン
☎ 0267-67-7700



サーキットでのタイムアップをねらうユーザーをターゲットに製作されたACシリーズ。とくにAC3は、効き、レスポンス、コントロール性、ライフに優れたバランスのいいモデル。

商品名	適合	材質	適正温度域 (°C)	対応ステージ	ローター取替性	価格
ARMA CIRCUIT AC1	VM4 VMG	ロースチール	50～650°C	サーキット	弱	F:2万7000円 R:2万4840円
ARMA CIRCUIT AC2	VM4 VMG	ハイスチール	100～750°C	サーキット	中	F:2万9160円 R:2万7000円
ARMA CIRCUIT AC3	VM4 VMG	ハイスチール	300～800°C	サーキット	中	F:3万2400円 R:3万2400円
ARMA CIRCUIT AC4	VM4 VMG	ハイスチール	300～850°C	サーキット	強	F:3万4560円 R:3万2400円

ARMA

エムケーカシヤマ ウィンマックスディビジョン
☎ 0267-67-7700



ハイグリップラジアルを装着し、ミニサーキット走行を想定して製作されたのがAP1。制動力と扱いやすさが程よいバランスの、オールマイティモデルAP2。AP3はSタイヤ対応。

商品名	適合	材質	適正温度域 (°C)	対応ステージ	ローター取替性	価格
ARMA SPORTS AP1	VM4 VMG	ロースチール	常温～600°C	ストリート～サーキット	弱	F/R:2万1600円
ARMA SPORTS AP2	VM4 VMG	ロースチール	常温～700°C	ストリート～サーキット	中	F/R:2万1600円
ARMA SPORTS AP3	VM4 VMG	ロースチール	常温～750°C	ストリート～サーキット	中	F/R:2万1600円

SEIDOU-YA

制動屋
059-373-5871



街乗りなどのストリート向けに開発されたSP、ストリートからサーキットまでオールラウンドに対応するSM500、サーキットに特化したモデルRM500など、さまざまなタイプを製品化。

商品名	適合	材質	適正温度域(℃)	対応ステージ	ローター 互換性	価格
SP	VM4 VMG	ノンスチール		ストリート		1万2960円
SM400	VM4 VMG	カーボンセミメタル	50～650℃	ストリート～ワインディング		1万9440円～ 2万1600円
SM500	VM4 VMG	カーボンセミメタル	50～750℃	ストリート～サーキット		2万1600円～ 2万3760円
RM551+	VM4 VMG	カーボンセミメタル	0～800℃	ストリート～サーキット		2万7000円
RM550	VM4 VMG	カーボンセミメタル	0～800℃	サーキット		2万7000円

Coto Sports

Coto Sports
045-802-6731



低温から高温まで幅広いコントロール性、耐フェード性、耐久性を重視して開発されたブレーキパッドシリーズ。ブレーキタッチフィーリングをストリートやサーキットで体感してほしい。

商品名	適合	材質	適正温度域(℃)	対応ステージ	ローター 互換性	価格
TC BRAKE PADS LD材	VM4 VMG	ノンアス・ロースチール	常温～450℃	ストリート	弱	F:2万2680円 R:2万1600円
TC BRAKE PADS GNM材	VM4 VMG	ノンアス・ノンスチール	常温～600℃	ストリート～ワインディング	弱	F:2万5920円 R:2万4840円
TC BRAKE PADS NA材	VM4 VMG	ノンアス・ロースチール	常温～650℃	ストリート～ワインディング	中	F:2万2680円 R:2万1600円
TC BRAKE PADS BT材	VM4 VMG	ノンアス・ハイスチール	常温～700℃	ストリート～サーキット		F:2万5920円 R:2万4840円

GLAD

グラッドジャパン
03-3298-8195



グラッドでは、ストリートユースのG-BASICからワインディングで力を発揮するCZを現在開発中。さらにサーキット走行からレースシーンで効果を発揮するZZ1も開発中とのこと。

商品名	適合	材質	適正温度域(℃)	対応ステージ	ローター 互換性	価格
G-BASIC	開発中	ノンアスベスト	0～500℃	ストリート	弱	F/R:1万6200円
Type-CZ	開発中	カーボンメタル	0～850℃	ワインディング～サーキット	中	F:3万240円 R:2万8080円
Type-ZZ1	開発中	カーボンメタル	300～900℃	サーキット～レーシング	強	F/R:3万4560円

BRIG

ブロンコ・バスター
048-577-0606



国内のナンバー付き車両によるモータースポーツのジャンルで人気のBRIG。ストリート仕様のSDFから、スポーツ走行、コンペティションまで対応のモデルを用意する。

商品名	適合	材質	適正温度域(℃)	対応ステージ	ローター 互換性	価格
VSZ	VM4 VMG	ノンアスベスト	0～650℃	ストリート～レーシング	弱	F/R:1万7280円
VSR	VM4 VMG	セミメタリック	0～850℃	ストリート～レーシング	弱～中	F/R:2万3760円
Street Sports	VM4 VMG	ノンアスベスト	50～450℃	ストリート～ワインディング	弱	F/R:1万4040円
SDF(Super Dust Free)	VM4 VMG	ノンスチール・ノンアスベスト	0～350℃	ストリート	弱	F:2万1600円 R:1万9440円
VXS	VM4 VMG	NAO～セミメタリック	0～850℃	ストリート～レーシング		F/R:1万7280円～

RDMW

RDMW
0224-86-3891



リア用4ポットモノブロックキャリパーキット

¥ 26万7840円

適合車種	開発中
スペック	リア用 ポット数4 330mm2ピースローター カービングスリット

軽量かつ高剛性なモノブロックキャリパーを採用したリアブレーキキット。純正サイドブレーキにも対応する3ピースローターを採用。RDMWとTWRのコラボモデルだ。

RDMW

RDMW
0224-86-3891



フロント大型6ポットモノブロックキャリパーキット

¥ 26万7840円

適合車種	開発中
スペック	フロント用 ポット数6 330mm2ピースローター カービングスリット

軽量かつ高剛性なモノブロックキャリパーを採用したキット。2ピース大径ローターを採用し強力なストッピングパワーと熱容量を誇る。RDMWとTWRのコラボモデル。

RDMW

RDMW
0224-86-3891



フロント大型6ポットキャリパーキット

¥ 21万3840円

適合車種	開発中
スペック	フロント用 ポット数6 330mm2ピースローター カービングスリット

鍛造アルミマルチピストンキャリパーを採用したブレーキキット。大容量2ピースローターを採用し、強力な制動力と熱容量を誇る製品。RDMWとTWRのコラボモデルだ。

ZOWIE AUTO STUDIO

ザウィオートスタジオ
045-929-5903



ZowieキャリパーSystem

¥ 37万5840円

適合車種	VM4/VMG	スペック	フロント用 ローター径:345φ
ローター構造	2ピース	ポット数	4 スリットあり

サーキットユースをねらったフロントブレーキのキャリパーキット。ローター径は330mm、345mm、355mmの3タイプ、専用ブレーキパッドも3種類から選べる。

CAR CARE OFFICE

カーケアオフィス
059-370-5590



WILWOOD BRAKE KIT(リア)

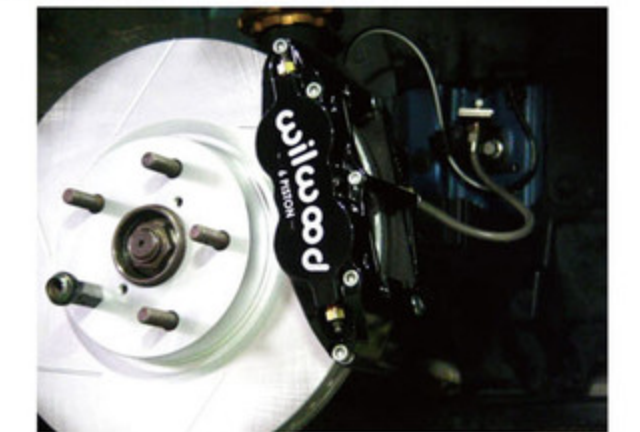
¥ 12万5000円～

適合車種	VMG	スペック	リア用小径4ポット/パッド:WILWOOD BP-10(ストリート専用・変更可)
------	-----	------	--

リア用となる小径4ポットキャリパーも発売される予定。ローターは純正サイズへの対応で、オプションで複数の別カラーを選択することも可能だ。

CAR CARE OFFICE

カーケアオフィス
059-370-5590



WILWOOD BRAKE KIT(フロント)

¥ 20万5000円～

適合車種	VMG	スペック	フロント/キャリパー:異径6ポット/パッド:WILWOOD BP-10(ストリート専用・変更可)
------	-----	------	--

超薄型デザインにより多くのホイールが装着可能なウィルウッドブレーキキット。カーケアオフィスからレヴォーグ用を発売予定。フロント用で異径6POTを採用予定。

キャリパー&ローターキット
CALIPER & ROTOR KIT

ENDLESS

エンドレスアドバンス
0267-68-6888



チビロク

¥ 未定

適合車種	VM4/VMG(各設定予定)	スペック	フロント/ローター材質:アルミ/ローター径:326mm×30/ローター構造:2ピース/スリット/カービング/ピストン数:6/付属品:取り付けブラケット・専用パッド・専用ローター・専用ブレーキライン
------	----------------	------	--

純正ローターのままでもキャリパーだけをグレードアップできる、コンパクトな6ポットキャリパー。鍛造アルミ製。確実な制動性、カチッとしたペダルタッチを実現する。

Coto Sports

☎ Coto Sports
☎ 045-802-6731



フロント純正ローター対応AP CP9040キャリパーキット

¥ 35万8560円～38万160円

適合車種 VM4/VMG
スペック フロント用 ポット数:6 付属品:TCブレーキパッド各種

スバル純正ローターサイズ、316φ、326φに6ポットキャリパーAP CP9040がボルトオン装着可能。ブラケット、ブレーキパッド、ブレーキライン、ショートパーツが付属。

ブレーキキャリパーキット CALIPER KIT

RUNDUCE BRAKE KIT

☎ オリジナルランデュース
☎ 086-464-0606



ランデュースブレーキKit

¥ 26万820円

適合車種 VM4/VMG
スペック フロント用 ローター径:330φローター構造:2ピース ポット数:6

軽量かつ高剛性なキャリパーキットでサーキット派からドレスアップ派まで対応。キャリパーサイズやカラー、ローターサイズ、パッドなど要望に合わせて選べる。

Reiz

☎ K2GEAR
☎ 06-6932-7772



Reizブレーキキット345

¥ 61万1280円

適合車種 VM4/VMG
スペック フロント用 ローター径:345φ
ローター構造:2ピース スリット:8本 ポット数:4

フロント用ブレーキキット。4ポットキャリパーに組み合わされるローターサイズは345mmで、2ピースモデル。スリット数は8本。パッドとブラケット、ショートパーツが付属。

Coto Sports

☎ Coto Sports
☎ 045-802-6731



フロント純正ローター対応AP CP5200キャリパーキット

¥ 33万480円～34万3440円

適合車種 VM4/VMG
スペック フロント用 ポット数:4 付属品:TCブレーキパッド各種

純正ローターサイズ、316φ、326φに4ポットAP CP5200キャリパーを取り付ける。純正ローターを使って、ブレーキチューンのステップアップに最適なキットだ。

Coto Sports

☎ Coto Sports
☎ 045-802-6731



フロント純正ローター対応AP CP5555キャリパーキット

¥ 40万8240円～42万1200円

適合車種 VM4/VMG
スペック フロント用 ポット数:6 付属品:TCブレーキパッド各種

強力な制動力を発揮するAP製6ポットキャリパーを、純正ローターに装着できる。専用ブラケット、ブレーキホース、ブレーキパッド、ショートパーツが付属する。

Coto Sports

☎ Coto Sports
☎ 045-802-6731



フロント純正ローター対応AP 6600キャリパーキット

¥ 26万7840円～28万800円

適合車種 VM4/VMG
スペック フロント用 ポット数:4 付属品:TCブレーキパッド各種

純正ローターサイズ、316φ、326φにボルトオンで取り付け可能。キット内容はAP CP6600(4ポット)キャリパー、ブラケット、ブレーキパッド、ブレーキラインなどを付属。

garage NOB

☎ ガレージノブ
☎ 073-447-0233



ブレーキライン

¥ 3万3480円

適合車種 VM4/VMG

ステンレスのフィッティングに、ブラックナイロンのコーティングで、ホースの膨張をしっかり抑制するので、ブレーキフィールがよくなる。シムスのクランプが付属。

ブレーキホース BRAKE HOSE

BE FREE

☎ BE FREE
☎ 06-6324-0405



ブレーキディスクローター

¥ 1万7064円～/スリット入り2万1384円～

適合車種 VM4/VMG
スペック 材質:ネズミ鋼鉄

純正同等以上の品質がこの価格。FC鋼鉄製ノーマルタイプのほか、ブレーキパッドの性能を100%引き出すタイプの、スリット入りも設定あり。スリット数は6本。

ブレーキローター BRAKE ROTOR

garage NOB

☎ ガレージノブ
☎ 073-447-0233



オリジナルペイント ブレンボキャリパー

¥ 4万3200円

適合車種 VM4/VMG

ホイールの内側から、ただのブレンボではないとアピールできる。希望のカラーが選べるので、ボディ&ホイールの色やデザインとのマッチングをとるのもいい。

その他 OTHERS

SWAGE-LINE

☎ プロト
☎ 0566-36-0456



スウェッジライン リア用キット (スチール/ステンレス)

¥ 1万5120円～1万9440円

適合車種 VM4/VMG

フロントビッグキャリパーキットを装着した場合に、バランスをとるために最適なリア用のキット。純正同様のカシメ方式を採用。JIS規格もクリア。保安基準適合品。

SWAGE-LINE

☎ プロト
☎ 0566-36-0456



スウェッジライン (スチール/ステンレス)

¥ 2万7540円～3万2400円

適合車種 VM4/VMG

純正同様カシメ方式採用の高品質ホースで、JIS規格の厳しい試験をクリア。独自のスカート&ダンパー構造フィッティングでカシメ部とホースを保護。保安基準適合品。

garage NOB

📍ガレージノブ
☎073-447-0233



バンジョーボルト

¥1620円

適合車種 VM4/VMG

SUS304の丸棒から削り出し、高精度に仕上げた、ブレーキホースとキャリパー固定用のボルト。せっかくアフターのホースに替えるなら、ボルト1本にもこだわりたい。

JURAN

📍タニダ
☎052-871-3741



BFS

¥3780円

適合車種 VM4/VMG

ストリートからレーシングユースまで使用車種やレースカテゴリーを選ばない。高い安定性と吸湿トラブルを未然に防止。DOT4。ドライ沸点288℃、ウエット沸点188℃。

BAKUBAKU-STUDIO

📍ばくばく工房
☎070-5433-5872



タイロッドエンド

¥1万800円

適合車種 VM4/VMG

フロントキャリパーに共締めするだけで、ブレーキフィーリングに効果を発揮する。ブレーキのフィーリングがダイレクトになり、純正パッド&キャリパーでも実感できる。

BILLION

📍ミノルインターナショナル
☎03-5706-1888



スーパーブレーキフルード

¥4860円(1ℓ)

適合車種 VM4/VMG

ドライ沸点330℃で、サーキットでも安心して使用できる。交換した瞬間から実感できる強靱なペダルフィール、リニアな踏みコントロールも可能だ。素材はグリコール系。

SLASH.

📍スラッシュ
☎072-631-5850



ドレスアップローターカバー

¥1万9440円(1台分)

適合車種 VM4/VMG

材質の問題上どうしてもサビてしまうブレーキローターハブ部分をカバーする。本体は1mm厚のアルミ製。レッド、ブルー、ゴールドのアルマイト仕様で鮮やかな発色が魅力。

BILLION

📍ミノルインターナショナル
☎03-5706-1888



BB4

¥3024円(1ℓ)

適合車種 VM4/VMG

通常のDOT4クラスと同価格帯でありながら、ドライ310℃の高沸点を達成している。剛性感のあるペダルフィールが体感できるのが、このブレーキフルードなのだ。

CUSCO

📍キャロッセ
☎027-352-3578



BCS(ブレーキシリンダーストッパー)

¥9180円

適合車種 VM4/VMG

ブレーキシリンダーストッパーは、ブレーキをかけるときにバルクヘッドが押されて起こる「たわみ」を抑えるパーツ。ダイレクト感あるブレーキフィーリングを体感できる。

SEIDOU-YA

📍制動屋
☎059-373-5871



SUPER-DOT4

¥3888円

適合車種 VM4/VMG

DOT4ながら高沸点を実現。ストリート性を重視しながらもハードなスポーツ走行にも対応。コストパフォーマンスに優れた製品。ドライ沸点280℃、ウエット沸点190℃。

CHASSIS PARTS CATALOG

足まわり系パーツカタログ

サスペンションで理想のスタイルを実現したら、ドライバビリティも追求したい
ダンパーやタイヤの性能を十分に使いきるためには、さらなるセッティングが必要だ
適正なジオメトリーにセットアップできるのが、ここで紹介する足まわりのアイテムたち

SUPER LAP

📍ムーンフェイス
☎0566-75-4455



バンプアジャストタイロッドエンド

¥2万520円

適合車種 VM4/VMG

ローダウンした際に起こる、異常になったタイロッドの角度を補正。ステアリング操作にクルマがリニアに反応するようになり、スポーツドライビングの楽しさを体感できる。

タイロッドエンド TIE ROD END

SUPER LAP

📍ムーンフェイス
☎0566-75-4455



RCジョイント

¥2万520円

適合車種 VM4/VMG

車高ダウンによるロールセンターの狂いを適正値へ補正することで、ジオメトリーを最適化し、サスペンションを正常に機能させる。保安基準に適合しているので安心だ。

ロールセンターアジャスター ROLL CENTER ADJUSTER

AVO

AVOターボワールドジャパン
042-549-1296



フロントロアアームブッシュ:後部側(オフセット)

¥ 1万9980円

適合車種 VM4/VMG

スタンダードタイプよりステアリングをきった際のキャンバー角が増加、コーナリング時の踏ん張りやステアリング操作時のクイック感も向上。欧州車風ステアフィールに。

AVO

AVOターボワールドジャパン
042-549-1296



フロントロアアームブッシュ:後部側(スタンダード)

¥ 1万9980円

適合車種 VM4/VMG

加速時のアライメント変化を抑制し、コーナリング中のふわふわ感も減少。ステアリング応答にも確実感が出る。ロードノイズも少なく、快適なドライブが楽しめる。

AVO

AVOターボワールドジャパン
042-549-1296



フロントロアアームブッシュ:フロント側

¥ 7776円

適合車種 VM4/VMG

フロントロアアームブッシュのフロント側の交換で、ロアアームの作動がスムーズに。別売のキャンバーアジャストメントロアアームブッシュ(後ろ側)との併用もお勧め。

アーム&ブッシュ

SUSPENTION ARM&BUSH

スタビライザー

STABILIZER

PROVA

ブローバ
045-591-5501



クロスメンバーカラー

¥ F/R各2万1600円

適合車種 VM4/VMG

フロントクロスメンバーの位置を補正しつつ不要な動きを抑制し、操舵時のリニアリティを高めるカラー。シャシーの質感を損なわずに操舵フィールを改善できるアイテムだ。

AVO

AVOターボワールドジャパン
042-549-1296



リアデフメンバーブッシュ

¥ 7776円

適合車種 VM4/VMG

好評のポリウレタン製で、既存のデフブッシュにかませるだけの簡単装着。リアデフのばたつきを抑え、減速時にもプロペラシャフトやドライブシャフトが安定する。

AVO

AVOターボワールドジャパン
042-549-1296



リアメンバーブッシュ

¥ 1万3392円

適合車種 VM4/VMG

後部デフやロアアームなどを支えるサブフレームブッシュ4か所の、既存のブッシュにかませる。コーナリング時や加速時に、車両のふらつきが減少するようになる。

arc

オートリファイン
045-920-1223



HYPER LINK SYSTEM レヴォーグリア

¥ 2万2680円

適合車種 VMG

フロント用と同じく、NMB製の特注ロッドエンドやステンレスパーツを採用した。剛性や耐久性を確保し、防塵性能などにも十分な対策を施し、安心して使用できる。

arc

オートリファイン
045-920-1223



HYPER LINK SYSTEM レヴォーグフロント

¥ 2万1600円

適合車種 VMG

純正リンクのたわみから生じる初期ロールを抑え、装着スタビライザーのレスポンスを向上させる。NMB(ミネア)製の特注ロッドエンドやステンレスパーツを採用。

CUSCO

キャロッセ
027-352-3578



スタビライザー

¥ 2万8080円~2万2680円

適合車種 VM4/VMG

コーナリング時、旋回時のロールを抑え、安定したコーナリングを実現。また高速走行時のフラつきも抑制し安心感のある走行を可能とする。フロントは26φ、リアが22φ。

AVO

AVOターボワールドジャパン
042-549-1296



リアスタビライザーバー

¥ 2万6676円

適合車種 VM4/VMG

純正は中空だが、高剛性の中実棒材を採用して強化。ねじれやたわみを抑えて、スタビライザーの効果を最大限に発揮させる。21mの強化ポリウレタンブッシュが2個付属。

SYMS Racing

SYMS Racing
0276-25-1055



リヤ アジャスタブルオフセットスタビリンク

¥ 1万9440円

適合車種 VM4/VMG

サスペンション作動方向とほぼ同角度にスタビライザーを作動させることが可能となり、サスペンションのスムーズな動きを助け、より高い走行フィーリングを実現できる。

garage NOB

ガレージノブ
073-447-0233



スタビリンクセット

¥ 1台分4万9464円/フロント2万8080円

適合車種 VM4/VMG

重荷重ピロボールを採用、防塵対策が施され作動角が確保されたカラーおよびターンバックルは超々ジュラルミンA7075S、ステンボルトも丸棒から削り出しで製作した。

AVO

AVOターボワールドジャパン
042-549-1296



リア調節タイプ強化スタビリンク

¥ 1万4472円

適合車種 VM4/VMG

好評を得ているポリウレタンブッシュをスタビリンクに適合させ、スタビライザーの作動がさらに確実に発揮されるようになるよう、より強固なタイプに仕上げた。

AVO

AVOターボワールドジャパン
042-549-1296



フロントスタビライザーリンク

¥ 1万5552円

適合車種 VM4/VMG

ピロボールがスタビの効果をさらにアップ。ジョイント部にブーツを採用し、グリスのはみ出しもなく、メンテフリーで耐久性も確保。65~80mmの範囲で調整可能だ。

AVO

AVOターボワールドジャパン
☎ 042-549-1296



リアスタビ強化マウント

¥ 1万3392円

適合車種 VM4/VMG

リアスタビライザー取り付け部をプレートで覆い、リアメンバーに共締めする新タイプ。車線変更時やコーナリング時、リアの腰砕け感が解消し、きびきびした走りに。

SUPER LAP

ムーンフェイス
☎ 0566-75-4455



ヒートプロテクターリング

¥ 2808円

適合車種 VM4/VMG

こちらはヒートプロテクターのリングバージョン。シート同様に1600℃の高熱に耐える耐久性を持つ。取り付けには、ボールジョイントを分離する必要がある。

AVO

AVOターボワールドジャパン
☎ 042-549-1296



リアスタビブッシュ

¥ 4860円

適合車種 VM4/VMG

スタビライザーバーの位置と作動を確実にして、効きをさらに向上させる。14φ、18~21φまで、径に合わせたサイズを用意。強化ポリウレタン製専用グリスが付属する。

SUPER LAP

ムーンフェイス
☎ 0566-75-4455



ヒートプロテクターシート

¥ 2808円

適合車種 VM4/VMG

アメリカのジェンテックス社が開発した、1600℃の高熱にも耐える耐熱・耐摩耗アルミクロスを採用したシート。ボールジョイントなどを熱害からカバー。6種類あり。

PROVA

プローバ
☎ 045-591-5501



ピロボールスタビリンク

¥ 3万5100円(F/R各)

適合車種 VM4/VMG

ノーマルスタビリンクに比べ高剛性、低摩擦抵抗の遊びが生じない製品。装着することでノーマルスタビライザーの効きを100%発揮、リニア感のあるハンドリングを実現。

足まわりその他

OTHERS

DRIVE & STABILITY PARTS CATALOG

駆動&剛性パーツカタログ

確実にエンジンパワーをタイヤへ伝達するために必要なパーツ・リミテッドスリップデフやサスペンションなどが本来の性能を発揮できるようにしてくれる補強バー各種など
どちらもドライビングが楽しくなるセッティングに効果を発揮する

CUSCO

キャロッセ
☎ 027-352-3578



CUSCO LSD Spec-F

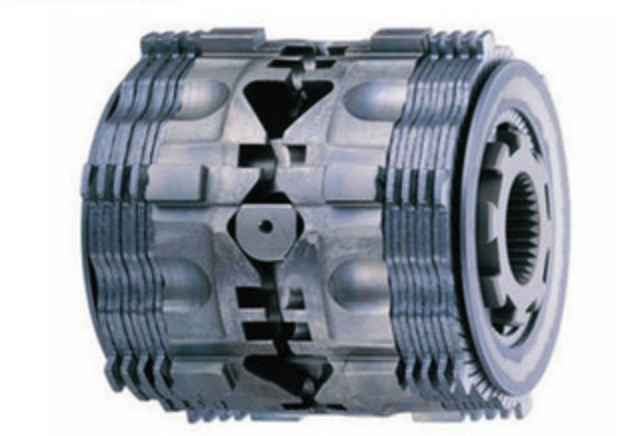
¥ 10万9080円~11万3400円

適合車種 VMG スペック リア ディスク:メタル 差動:1WAY・1.5WAY・2WAY インシャルトルクRS7~8kgm・MZ8~10kgm 差動変更:可

アクセルON、OFFでの初期作動や効きの特性をマイルドにセットアップ。高速コーナーなどのピーキーさを解消し、ウェット路面など低ミュー路でのコントロール性が向上。

CUSCO

キャロッセ
☎ 027-352-3578



CUSCO LSD TYPE-MZ

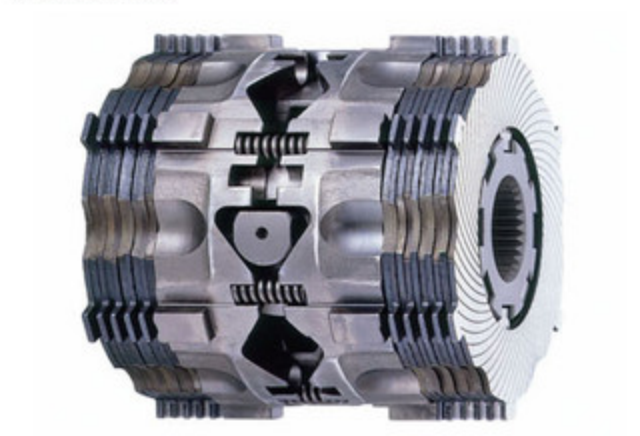
¥ 10万9080円

適合車種 VMG スペック リア ディスク:メタル 差動:1WAY・1.5WAY・2WAY インシャルトルク8~10kgm 差動変更:可

ケース外側の皿バネでインシャルトルクを発生させるTYPE-MZは、唐突感のないマイルドな効き。わかりやすい安定した挙動で抜群のアクセルコントロール性を発揮。

CUSCO

キャロッセ
☎ 027-352-3578



CUSCO LSD TYPE-RS

¥ 11万3400円

適合車種 VMG スペック リア ディスク:メタル 差動:1WAY・1.5WAY・2WAY インシャルトルク7~8kgm 差動変更:可

インシャルトルクをLSDの差動方向へ発生させ、低インシャルトルクながら鋭い効きのレスポンスを発揮。特殊精密RSスプリングが安定した効きと抜群の耐久性を実現。

L.S.D.

LIMITED SLIP DIFFERENTIAL

BLACKLINE

blackline
049-239-6667



強化ミッションシャフト

¥ 18万円～

適合車種 VM4/VMG

パワーアップに伴うミッショントラブル対策ならこれ。純正のミッションメインシャフトなどを、材質を変更し削り出しでワンオフ製作をしてくれる。まずは相談してみよう。

駆動その他

DRIVE PARTS OTHERS

CUSCO

キャロッセ
027-352-3578



ハイブリッドデフ

¥ 10万6920円

適合車種 VMG スベック リア ディスク:メタル 差動:1WAY
インシャルトルク2~4kgm 差動変更:可

AT/CVT車用に開発されたLSD。超低インシャルトルクの1ウェイタイプで、唐突感もなくAT/CVTとの相性も抜群ながら、ノーマル車では味わえない走行性能が魅力。

AGRESS

オートプロデュース エースリー
072-479-2760



フロントショックアッパーサポート

¥ 2万8080円/STIフレキシブルタワーバー対応 3万2400円

適合車種 VM4/VMG

フロントアッパーマウント取り付け部を3点で円状に補強。加減速時やコーナリング時にサス本来の性能が発揮できる。STI製タワーバーのバー部分移植用もある。

CUSCO

キャロッセ
027-532-3578



ストラットバー

¥ 1万6200円

適合車種 VM4/VMG

ストラットタワーの左右を補強バーで連結し、ボディのねじれ、ゆがみに対する剛性をアップ。ハンドリングにダイレクト感が増し、サスペンションも本来の動きを取り戻す。

KANSAI SERVICE

Kansaiサービス
0743-84-0126



フロントタワーバー

¥ 2万520円

適合車種 VMG

通常のシャフト形状と比較し、3倍の強度を有する「アルミ製目の字断面」オーバルシャフトを採用している。シャフト材質はアルミ製で、ブラケットはスチール製だ。

タワーバー

STRUT TOWER BAR

CUSCO

キャロッセ
027-532-3578



パワーブレース フロントメンバー

¥ 1万6200円

適合車種 VM4/VMG

フロントバンパー内の左右先端部をつなぐことで剛性アップする補強パーツ。ブレーキングや、コーナリングなどのハンドリング時に、車両の一体感が体感できる。

garage NOB

ガレージノブ
073-447-0233



FFTb

¥ 予備2万5920円

適合車種 VM4/VMG

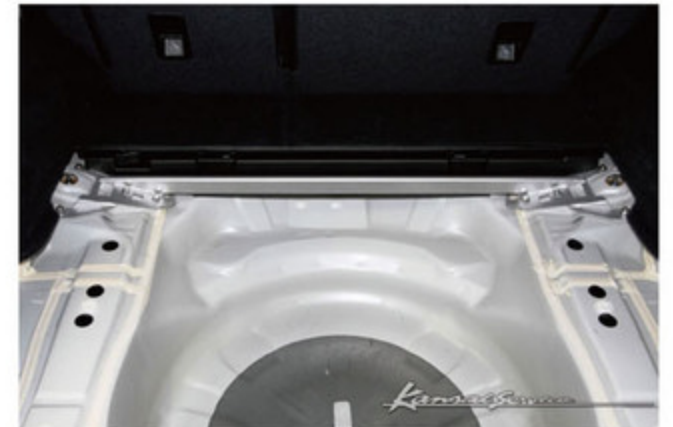
レヴォーグ専用に開発。高剛性なアルミ製のシャフトがリア部分のゆがみやねじれを抑制。スチール材ステーはオフブラックのカチオン仕上げ、バーはポリッシュの予定。

フロアバー&その他バー類

FLOOR BAR & OTHER BARS

KANSAI SERVICE

Kansaiサービス
0743-84-0126



リアタワーバー

¥ 2万3760円

適合車種 VMG

トランクまわりの剛性アップだけでなく、ハードな走行によるボディのゆがみを軽減する。ラゲッジスペースをまったく犠牲にしないレイアウトを採用。スチール製だ。

AGRESS

オートプロデュース エースリー
072-479-2760



クロスメンバーサポート

¥ 2万5920円

適合車種 VM4/VMG

ねじれに強い中空の丸棒タイプ。クロスメンバーとアーム部後ろ側取り付け部をつなぐ純正部品と交換する。クロスメンバーのむだな動きを抑制し、トラクションが向上。

AGRESS

オートプロデュース エースリー
072-479-2760



フロントナックルサポート

¥ 2万8080円

適合車種 VM4/VMG

ストラット取り付け部とキャリパー取り付け部を結合補強し、ステアフィールに剛性感をもたらし、ブレーキタッチを向上させる。アイサイト装着車にも使用可能。

KANSAI SERVICE

Kansaiサービス
0743-84-0126



フロントロアブレスバー

¥ 1万9440円

適合車種 VMG

ブレス成型された純正よりも5倍以上のねじれ耐性を実現。高剛性スチールオーバルシャフトの採用と取り付け位置の見直しで、フロントまわりの剛性が飛躍的にアップ。

CUSCO

キャロッセ
027-532-3578



パワーブレース フロントサイド

¥ 1万8360円

適合車種 VM4/VMG

フロントロアアームとボディをつなぐ補強プレートを、頑丈なスチール製オーバルシャフトで製作。高剛性でアライメント変化を抑制し、ハンドリングレスポンスも向上。

AGRESS

📍オートプロデュース エースリー
☎072-479-2760



リアショックロアサポート

¥ 2万5920円

適合車種 VM4／VMG

リアショックロア部を中心に、ナックルとスタビリンク取り付け部を強固に結合。むだな動きが抑制されてサス全体の動きが正常化し、レスポンスや乗り心地が向上する。

KANSAI SERVICE

📍Kansaiサービス
☎0743-84-0126



リアメンバーブレスバー

¥ 2万3760円

適合車種 VMG

純正でも採用されたリアメンバー補強。蓄積した多数のテストデータ解析を基に、スチールオーバルシャフトと3.2mm厚スチールプレートを採用し、さらなる剛性を確保した。

garage NOB

📍ガレージノブ
☎073-447-0233



RFEB

¥ 2万3220円

適合車種 VM4／VMG

レヴォーグ専用に開発。オフブラックのタワー部は、スチール材をカチオン仕上げで耐久性を高め、コストパフォーマンスも向上させた。バー部分はアルミのバフ仕上げ。

AGRESS

📍オートプロデュース エースリー
☎072-479-2760



リアショックアッパーサポート

¥ 2万8080円

適合車種 VM4／VMG

リアアッパーマウント室内側を補強する。加減速時やコーナリング時にサスペンション本体のむだな動きを抑えられ、本来の性能を発揮させる。装着時に要トリム加工。

AGRESS

📍オートプロデュース エースリー
☎072-479-2760



リアメンバーサポート

¥ 2万8080円

適合車種 VM4／VMG

リアメンバー後ろ側左右取り付け部とボディ4カ所をつなぐ純正部品と交換する。リアメンバー各部につながるアームのむだな動きを抑制し、トラクションを向上させる。

AGRESS

📍オートプロデュース エースリー
☎072-479-2760



リアセッションサポート

¥ 3万240円／STIスポイラー対応3万2400円

適合車種 VM4／VMG

トランクやバックドアで開口部が大きいため、もともとゆがみやすいリアエンドパネル下側を補強する。コーナリング時にリア側が遅れて追従してくる感覚が解消。

KANSAI SERVICE

📍Kansaiサービス
☎0743-84-0126



トランスミッションメンバーブレスバー

¥ 1万9440円

適合車種 VMG

トランスミッションメンバー取り付け部から車両前方にかけて、左右2本のスチールシャフトをセット。フロアへのストレスを軽減してボディを保護する。スチール製だ。

KANSAI SERVICE

📍Kansaiサービス
☎0743-84-0126



リアロアアームバー

¥ 2万1600円

適合車種 VMG

リアロアアームとトレーリングアームを結び、走行中に变化するホイールアライメントを最小限に抑制。タイヤやサスペンションが持つ本来の性能を引き出す。スチール製。

CUSCO

📍キャロッセ
☎027-532-3578



パワーブレス リヤメンバーサイド

¥ 1万4040円

適合車種 VM4／VMG

リアメンバーの前側とラテラルリンクボディ側をつないで剛性アップするパーツ。アライメント変化を抑制しコントロール性も向上する。スチール製オーバルシャフト。

AGRESS

📍オートプロデュース エースリー
☎072-479-2760



フロアサポート

¥ 2万3760円

適合車種 VM4／VMG

車両センター部のフロア部を左右に連結して、走行時のよじれを抑制する。プラス2000円で、4点ベルト用フック取り付け可能。ノーマルシート用とレカロシート用の2種類。

AGRESS

📍オートプロデュース エースリー
☎072-479-2760



トライアングルサポート

¥ 2万8080円

適合車種 VM4／VMG

コーナリング中によじれやすいフロア前部とミッションメンバーを確実に補強し、ステアリングきり始めの応答が素早く鋭くなる。ノーマルの足まわりでも体感できる。

AGRESS

📍オートプロデュース エースリー
☎072-479-2760



リアロアアームサポート

¥ 2万5920円

適合車種 VM4／VMG

剛性の低いリアサスリンクの内側取り付け部を、高剛性のリアメンバー前側部と結合。加減速時にリアサスリンク部のむだな動きを抑えてトラクションや乗り心地が向上。

CUSCO

📍キャロッセ
☎027-532-3578



パワーブレス リヤメンバー

¥ 1万8360円

適合車種 VM4／VMG

リアサスメンバー取り付け部の左右を補強バーで連結し剛性アップ。アライメント変化を抑制しトラクション性能も向上。スチール製オーバルパイプ採用。ボルトオン。

CUSCO

📍キャロッセ
☎027-532-3578



パワーブレス リヤエンド

¥ 1万8360円

適合車種 VM4／VMG

リアフレームエンドの左右をつないで、ねじれ剛性を向上させる。リアの限界を高め挙動を安定させるだけでなく、負荷のかかるリアのねじれ、ゆがみ、へたりも抑制する。

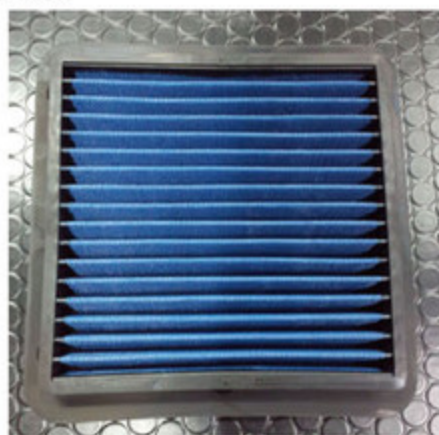
INTAKE & EXHAUST PARTS CATALOG

吸排気系パーツカタログ

いちばん手軽なエンジンチューンが吸排気系パーツのカスタマイズ
純正タイプのエアクリナーや、リアピース交換タイプのマフラーでも十分体感できる
吸排気系パーツの“サウンド”の変化も、カッコいいクルマに必須アイテムといえる

RST

● RST
☎ 046-279-4350



アブソルートパワーエアフィルター

¥ 5400円

適合車種 VM4/VMG
スペック 乾式

より広い吸気開口面積を持つカーボン仕上げのインテークダクト。純正と同じ外形形状のため、クリーナーボックスや取り付けも純正部品と同様に交換可能。

純正交換フィルター AIR FILTER

M's

● グループ・エム
☎ 048-450-2911



POWER CLEANER

¥ 3万240円

適合車種 VMG
スペック 湿式 材質:コットン 交換用フィルター:1万2960円

実績と信頼のK&Nフィルターを採用し、吸入効率と濾過性能の高次元なバランスを実現したハイフロー・スポーツクリーナー。フィルターは洗浄可能。ヒートプレート付属。

スポーツタイプエアクリナー SPORTS AIR CLEANER

K&N

● グループ・エム
☎ 048-450-2911



REPLACEMENT(純正交換フィルター)

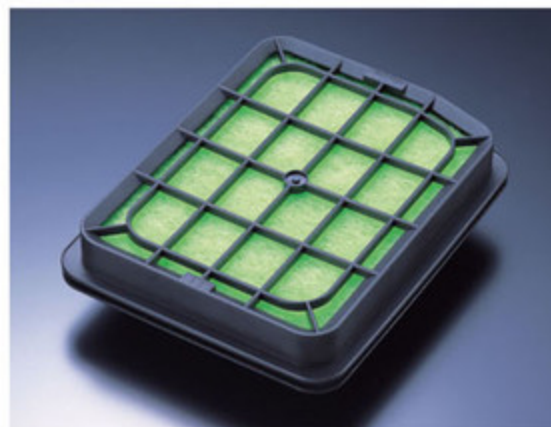
¥ 1万584円

適合車種 VM4/VMG
スペック 湿式 材質:コットン

簡単確実にパフォーマンスアップを実現する、K&N純正交換タイプエアフィルター。専用メンテナンスキットで洗浄再生することで、繰り返し使用できる。K&N正規輸入品。

HKS

● エッチ・ケー・エス
☎ 0544-29-1235



スーパーハイブリッドフィルター

¥ 4860円

適合車種 VM4/VMG
スペック 乾式 材質:不織布+ポリウレタンフォーム

不織布とポリウレタンフォームによるハイブリッドタイプフィルター採用で、低吸気抵抗の追求とロングライフ化を実現。交換フィルター2700円、フレーム部は再使用可。

AVO

● AVOターボワールドジャパン
☎ 042-549-1296



Ecoパネルフィルター

¥ 7236円

適合車種 VM4/VMG
スペック

特殊繊維をステンレスメッシュでパーティングしており、純正より圧損が少ない。砂塵舞うオーストラリアの砂漠で鍛えられた、集塵効果抜群のウオッシュブルタイプ。

APEXi

● アベックス
☎ 0544-65-5061



パワーインテークフィルター

¥ 4752円

適合車種 VM4/VMG
スペック 乾式 材質:不織布+ポリウレタンフォーム

特殊素材「密度勾配型繊維層フィルター」を採用。内側にいくにしたがって密度が高まる素材が、吸入抵抗を最小限に抑えながらも高いダストキャッチ性能を発揮する。

BLITZ

● ブリッツ
☎ 0422-60-2277



SUS POWER AIR FILTER LM

¥ 4860円

適合車種 VM4/VMG
スペック 乾式 材質:特殊繊維フィルター

ブリッツ独自開発のフィルターが高い集塵効果を実現する、純正交換型エアクリナー。純正と比較して大幅に吸入抵抗を減らし、鋭いアクセルレスポンスを実現可能。

ZERO/SPORTS

● ゼロスポーツ
☎ 058-380-2828



N1エアクリナー

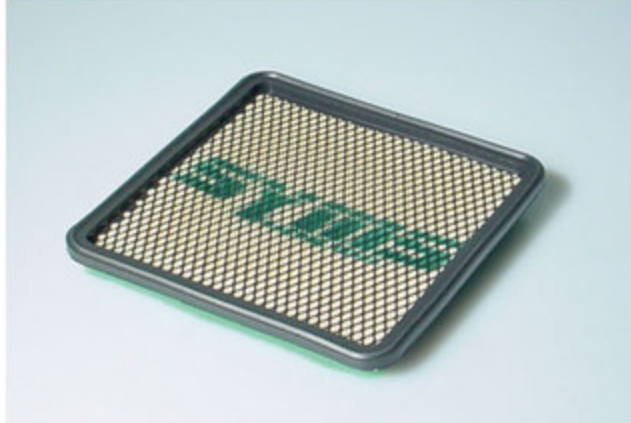
¥ 5400円

適合車種 VM4/VMG
スペック 乾式 材質:ドライフィルター

純正エアクリナーボックスを生かしながら流入空気量をアップ。吸入空気抵抗の低減によりアクセルレスポンスを向上させ、エンジンポテンシャルを引き出すアイテム。

SYMS racing

● SYMS Racing
☎ 0276-25-1055



三層NTフィルター

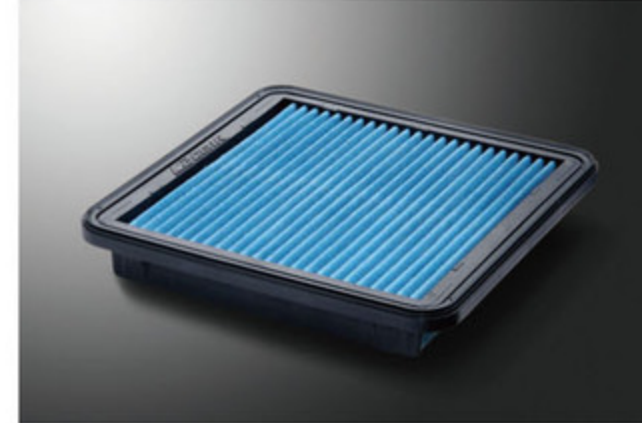
¥ 8100円

適合車種 VM4/VMG
スペック 乾式 三層

純正エアクリナーケースを使用する純正交換タイプ。スポンジ、3層構造により吸入空気の流れ性能と低吸気抵抗を実現。洗浄して使用でき、ランニングコスト減にもなる。

K2GEAR

● K2GEAR
☎ 06-6932-7772



X-COREスポーツエアフィルター

¥ 4968円

適合車種 VM4/VMG
スペック 乾式 材質:コットン

フィルター材質のコットンにこだわり、幾度の改良を経て完成した純正交換タイプのエアフィルター。特殊繊維フィルターで吸入抵抗を減らし、高い集塵力を備えている。

PROVA

📍ブローバ
☎045-591-5501



カーボンインテークダクト

¥ 4万1040円

適合車種 VM4/VMG

より広い吸気開口面積を持つカーボン仕上げのインテークダクト。純正ダクトと同じ形状なので、クリーナーボックスや取り付けも純正部品と同様に交換可能。

JURAN

📍タニダ
☎052-871-3741



High Temp. Air Duct Hose

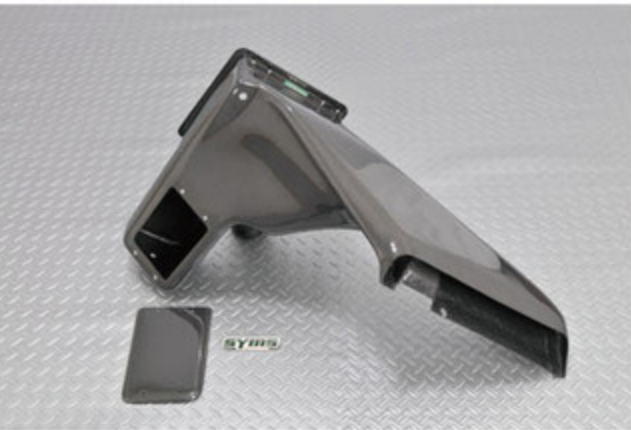
¥ 6804円～6万4800円

適合車種 VM4/VMG

外気をダイレクトに引き込み、ブレーキの熱ダレ、タービントラブルを防ぐ。レース使用前提の、耐熱・耐摩耗性を高めたシリコンコート加工ガラスクロス。耐熱温度300℃。

SYMS racing

📍SYMS Racing
☎0276-25-1055



エアインダクションボックス

¥ 8万6184円(フィルターなし)/9万1584円(フィルター付き)

適合車種 VM4/VMG

純正のエアインテーク、レゾネーター、エアクリーナーロアケースを一体成型、さらなる吸入効率のアップにより、高出力を実現。交換フィルターは8100円で、純正形状。

JURAN

📍タニダ
☎052-871-3741



Air Duct Funnel

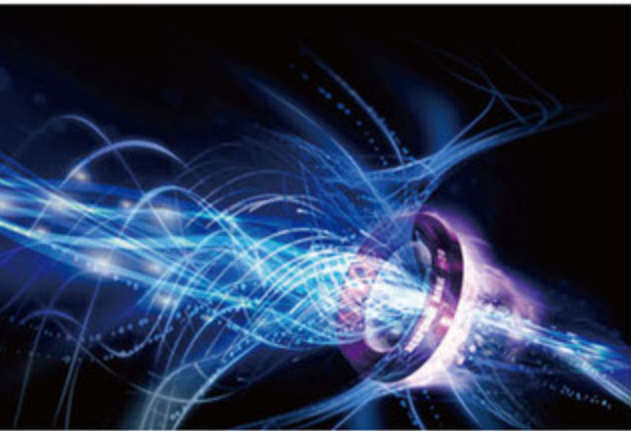
¥ 2916円～3564円

適合車種 VM4/VMG

ダクトホースと併せて使用することで、さらに効果を高める外気導入パーツ。ファンネル効果で効率よく外気を引き込む。アルミ製で赤と青、サイズは50φ、75φ、100φ。

SIECLE

📍ジェイ・ロード
☎03-5746-0720



レスポンスリング

¥ 8424円

適合車種 VM4/VMG

レスポンスリングを装着しエア導入経路を緻密に抑制することで、整流効果と流速向上が生じ、アクセルを踏んだ時点からのアクセルレスポンス&トルクアップを実現。

AVO

📍AVOターボワールドジャパン
☎042-549-1296



デュアルマフラー

¥ 7万7868円

適合車種 VM4/VMG スペック 競技用(欧州eマーク取得検討中) 音量:3(サイレンサーあり) 材質:ステンレス メイン63φ/出口101φ リアピース 左右出し 付属品:ガスケット

低音重視の設計ながら、加速時には乾いたレーシーなサウンドが楽しめる。メインパイプを63φに抑えるなど、1.6～2ℓクラスのパワーを引き出しやすい造りとしている。

APEXi

📍アペックス
☎0544-65-5061



N1 evolutionマフラー typeB チタンコート

¥ 9万9360円

適合車種 VM4/VMG スペック 音量:2 材質:オールステンレス 交換部位:リアピース 径:メイン50φ・60φテール115φ 左右出し

際立つ機能美、そして排気効率、さらに音を追求した砲弾型マフラー。メインはステン製でテールエンドにはチタンを採用し、ヒートグラデーションを施した専用デザイン。

インテークパイピング&ダクト
PIPING & DUCT

JURAN

📍タニダ
☎052-871-3741



Silicone Hose

¥ 要問い合わせ

適合車種 VM4/VMG

ストレート、異形レデューサー、エルボーなど、多彩な形状があるイギリス製ホース。高い耐熱性のNOMEX仕様、耐油性仕様、高強度ワイヤー仕様も ある。

インテークその他
OTHERS

AGRESS

📍オートプロデュース エースリー
☎072-479-2760



デュアルエキゾーストシステム

¥ 要問い合わせ

適合車種 VM4/VMG スペック 保安基準適合予定/音量:3/材質:オールステンレス/交換部位:触媒後/径:メイン50～42.7φ出口90φ

フロントパイプ結合部から片側50φのデュアルに。楕円形状のタイコを上側にオフセット、エンド部は4本出しカールタイプテールをバンパー後端にセット。迫力のスタイルだ。

PROVA

📍ブローバ
☎045-591-5501



スポーツエアフィルタ

¥ 8100円

適合車種 VM4/VMG

通気抵抗が小さく、同時に優れた防塵性能を高い次元で両立させたスポーツフィルター。フィルター面は乾式でフィルム式のエアフローセンサーのトラブルを未然に防止。

AVO

📍AVOターボワールドジャパン
☎042-549-1296



インタークーラースロットルホース

¥ 6686円

適合車種 VM4/VMG

インタークーラー～スロットルバルブ間用のシリコンホース。高ブーストにも耐え、熱変形や圧力漏れが抑制される。赤、青、黒の3色で、エンジンルームのアクセントにも。

BILLION

📍ミノルインターナショナル
☎03-5706-1888



スーパーレーシングエアダクト

¥ 2700円～8640円

適合車種 VM4/VMG

レーシングカーにも採用されている、耐熱性、耐久性に優れたエアダクト。断熱材とアルミクロスの計4層構造なので、優れた強度を実現しハードな仕様にも対応する。

マフラー
MUFFLER

KAKIMOTO KAI
 ㊤ 柿本レーシング
 ☎ 072-265-8411



Class KR (Singleセンター付き)

¥ 18万9000円

適合車種 VM4 / VMG
 スペック JQR認定 音量2 材質:ステンレス(テールはチタンフェイス) 交換部位:触媒後 バイプ径:メイン60・50φテール115φ 左右出し

柿本改を名乗るにふさわしい、音質と性能を追求した上位クラスエキゾーストシリーズのClass KR。メインにシングル60φのセンターパイプを組み合わせたもの。

KAKIMOTO KAI
 ㊤ 柿本レーシング
 ☎ 072-265-8411



Class KR (リアのみ)

¥ 12万4200円

適合車種 VM4 / VMG
 スペック JQR認定 音量2 材質:ステンレス(テールはチタンフェイス) 交換部位:リアピース バイプ径:メイン50φテール115φ 左右出し

規制をクリアしつつ確実な性能向上を実現。2重ディフューザーテール(チタンフェイス)の採用で、サウンドは静かに、ルックスは美しさを表現。音質と性能を追求した。

HKS
 ㊤ エッチ・ケー・エス
 ☎ 0544-29-1235



ハイパワースペックL

¥ 12万9600円

適合車種 VM4 / VMG スペック JASMA認定/音量:2/材質:オールステンレス/交換部位:触媒後/径:65mm(2.0L用メイン)60mm(1.6L用メイン)94mm(テール)/左右出し

純正比で約40%減の軽量化を実現しているハイパワースペックL。2.0ℓ、1.6ℓでそれぞれ最適な排気を実現するため専用設計により開発。2010年4月新騒音規制対応品。

HKS
 ㊤ エッチ・ケー・エス
 ☎ 0544-29-1235



スーパーターボマフラー

¥ 16万4160円

適合車種 VM4 / VMG スペック JASMA認定/音量:1(インナーサイレンサーなし)/材質:オールステンレス/交換部位:触媒後/径:65mm(2.0L用メイン)60mm(1.6L用メイン)110mm(テール)/左右出し

絞りなしのストレート構造で排気効率を確保しつつ高い静粛性を確保。最適化を図るため2.0ℓ、1.6ℓそれぞれ専用設計により開発した。2010年4月新騒音規制対応品。

KAKIMOTO KAI
 ㊤ 柿本レーシング
 ☎ 072-265-8411



regu.06&R (Dualセンター付き)

¥ 17万8200円

適合車種 VM4 / VMG
 スペック JQR認定 音量3 材質:ステンレス(テールはチタンフェイス) 交換部位:触媒後 バイプ径:メイン50φ テール90φ 左右出し

レギュレーションに合致しながら最大限の性能とパワーを引き出す、砲弾型合法タイプ。リアピースとフロントパイプ直後から50φデュアルのセンターパイプのセット。

KAKIMOTO KAI
 ㊤ 柿本レーシング
 ☎ 072-265-8411



regu.06&R (Singleセンター付き)

¥ 15万6600円

適合車種 VM4 / VMG
 スペック JQR認定 音量3 材質:ステンレス(テールはチタンフェイス) 交換部位:触媒後 バイプ径:メイン60・50φ テール90φ 左右出し

レギュレーションに合致しながら最大限の性能とパワーを引き出す、ストリート最強の砲弾型合法タイプ。リアピースとシングル60φのセンターパイプのセット。

KAKIMOTO KAI
 ㊤ 柿本レーシング
 ☎ 072-265-8411



regu.06&R (リアのみ)

¥ 9万1800円

適合車種 VM4 / VMG
 スペック JQR認定 音量3 材質:ステンレス(テールはチタンフェイス) 交換部位:リアピース バイプ径:メイン50φテール90φ 左右出し

厳しいレギュレーションを採用しながらも、最大限のパワー&トルクを引き出す、ストリート最強の砲弾型、合法チューニングマフラー。リアピースのみのタイプとなる。

KAKIMOTO KAI
 ㊤ 柿本レーシング
 ☎ 072-265-8411



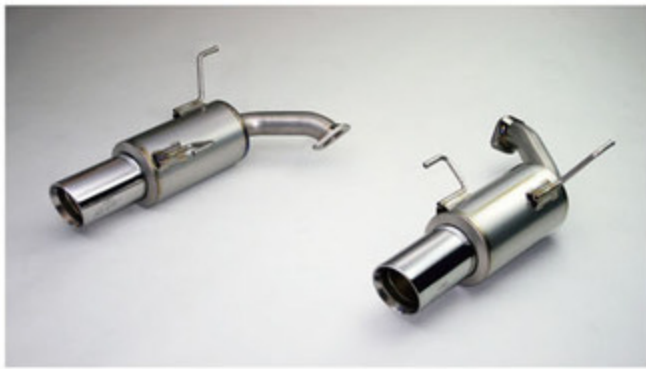
Class KR (Dualセンター付き)

¥ 21万600円

適合車種 VM4 / VMG
 スペック JQR認定 音量3 材質:ステンレス(テールはチタンフェイス) 交換部位:触媒後 バイプ径:メイン50φテール115φ 左右出し

柿本改の名にふさわしい、音質と性能を追求した上位クラスエキゾースト「Class KR」。リアピースとフロントパイプ直後から、50φデュアルのセンターパイプをセット。

GANADOR Vertex SPORTS
 ㊤ マツ・ショウ
 ☎ 048-935-1130



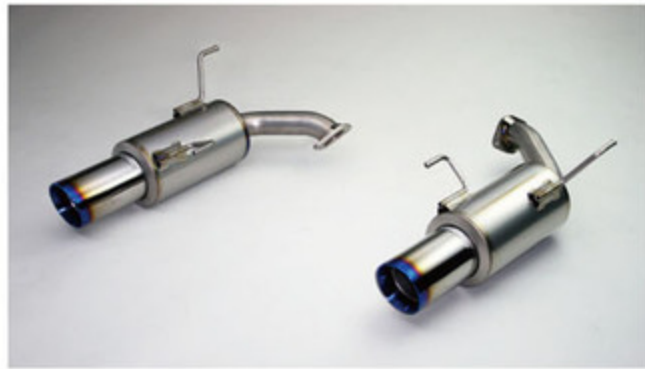
VRE-040TP

¥ 22万6800円

適合車種 VM4 スペック JASMA認定/音量3/材質:チタニウム/交換部位:リアピース/径:メイン60mm・テール112mm/左右出し

左右合わせて4.6kgの超軽量フルチタン製。テール部は発色加工なしのポリッシュ仕上げ。パワーブーストシステム搭載の、これが次世代型スポーツマフラーだ。

GANADOR Vertex SPORTS
 ㊤ マツ・ショウ
 ☎ 048-935-1130



VRE-040TB

¥ 22万6800円

適合車種 VM4 スペック JASMA認定/音量3/材質:チタニウム/交換部位:リアピース/径:メイン60mm・テール112mm/左右出し

パワーブーストシステム搭載の次世代型スポーツマフラー。左右合わせて4.6kgの超軽量フルチタン製。テール部は、ブルー発色タイプを採用している。

GANADOR Vertex SPORTS
 ㊤ マツ・ショウ
 ☎ 048-935-1130



VRE-040BL

¥ 11万2320円

適合車種 VM4 スペック JASMA認定/音量3/材質:ステンレス(テールはチタニウム)/交換部位:リアピース/径:メイン60mm・テール112mm/左右出し

テール部はチタニウム製ブルー発色タイプのステンレス製。ドレスアップ効果も期待できる。パワーブーストシステム搭載の次世代型スポーツマフラー。

GANADOR Vertex SPORTS
 ㊤ マツ・ショウ
 ☎ 048-935-1130



VRE-040PO

¥ 10万1520円

適合車種 VM4 スペック JASMA認定/音量3/材質:ステンレス/交換部位:リアピース/径:メイン60mm・テール112mm/左右出し

パワーブーストシステム搭載の、次世代型マフラー。ステンレス製で、テールはポリッシュ仕上げタイプ。乗りやすく、高速域まで胸のすくような加速を実現。

BLITZ
 ㊤ ブリッツ
 ☎ 0422-60-2277



NUR-SPEC C-Ti

¥ 10万5840円

適合車種 VM4 / VMG スペック JASMA認定 音量:3 材質:ステンレス(チタンテール)/交換部位:リアピース/径:メイン6φ・テール94mm 左右出し

超軽量チタン合金材とSUS304材の融合により、耐久性の向上に加えレーシーなリアビューを両立。チタンを使用しながらもリーズナブルプライスを実現。

FUJITSUBO
 ㊤ 藤壺技研工業
 ☎ 055-998-0130



AUTHORIZE S

¥ 11万8800円

適合車種 VM4 / VMG スペック 保安基準適合 音量:3 材質:オールステンレス 交換部位:リアピース バイプ径:メイン50.8φテール117φ

ハイレベルにチューンアップされた、スタイリッシュなベック。トータルバランスを重視した開発から生まれたマフラーで、スタイルも重視するレヴォーグユーザーに。

FUJITSUBO
 ㊤ 藤壺技研工業
 ☎ 055-998-0130



AUTHORIZE R

¥ 16万8480円

適合車種 VM4 / VMG スペック 保安基準適合 音量:3 材質:オールステンレス 交換部位:触媒後 バイプ径:メイン60.5-50.8φテール117φ 左右出し

サウンドとパフォーマンスにプライオリティを置いて開発された、アスリートスポーツベックのハイクオリティなアイテム。ストリートメインのレヴォーグにマッチする。

GANADOR Vertex SPORTS
 ㊤ マツ・ショウ
 ☎ 048-935-1130



VRE-040TH

¥ 22万6800円

適合車種 VM4 スペック JASMA認定/音量3/材質:チタニウム/交換部位:リアピース/径:メイン60mm・テール112mm/左右出し

左右合わせて4.6kgの超軽量フルチタン製。テール部はヘアライン仕上げ。パワーブーストシステム搭載の次世代型スポーツマフラー。高速域まで加速を体感できる。



ステンレスマフラーZERO plus+
¥ 10万5840円

適合車種 VM4/VMG スペック JQR認定 音量2 材質:ステンレス 交換部位:リアピース パイプ径:メイン50φテール109φ 左右出し

ガラスウールに頼らないハイブリッド構造で、経年変化による音量増大も心配不要。サイレンサー内部の拡張室で、排圧をコントロールし低速トルクの落ち込みを防ぐ。

BILLION
● ミノルインターナショナル
☎ 03-5706-1888



ビリオンスーパーサーモバンテージ 70/90/100
¥ 4860円～2万3760円

適合車種 VM4/VMG

エキマニやマフラーなど、高温になる部品に巻きつけて放熱を抑制し、熱害から周囲のパーツを保護する。耐熱グラスファイバーを採用。100なら耐熱温度は1650℃までOK。



スポーツエキゾーストキット
¥ 20万5200円

適合車種 VM4/VMG スペック JQR認定 材質:オールステンレス(ブラックステンステール) 交換部位:触媒後 パイプ径:メイン60.5-50.8φ/テール90-110φ 左右出し

テール部に特殊表面処理を施したステンレス材を使用する、美しい輝きと高い質感を実現したマフラー。JQR認定品で、近接、加速騒音、定常音量ともにJQR規定をクリア。

JURAN
● タニダ
☎ 052-871-3741



Exhaust Jacket 1800
¥ 4860円～1万7820円

適合車種 VM4/VMG

溶解温度1800℃のセラミックファイバーをテープ状に加工、金属ネットを織り込み強度を増した遮熱テープ。エキマニなどに巻いて熱害を防止。ステンタイラップ付属。



リヤマフラーセット
¥ 12万9600円

適合車種 VM4/VMG スペック JQR認定 材質:オールステンレス 交換部位:リアピース パイプ径:メイン50φ/テール114.3φ 左右出し

ストレート構造で音量を抑え、低速から高回転までスムーズな吹け上がり。1.6ℓ加速騒音67dB/近接Rh75dB・Lh78dB。2.0ℓ加速騒音70dB/近接Rh76dB・Lh78dB。

AGRESS
● オートプロデュース エースリー
☎ 072-479-2760



マフラーカッター
¥ 5万1840円

適合車種 VM4/VMG

純正マフラーのまま、スパルタンな左右4本出しスタイルに。オールステン各90φスラッシュカット仕様。純正マフラーの先端部をカットして取り付け。画像は試作品。



EXチャンバー&リヤマフラーセット
¥ 19万4400円

適合車種 VM4/VMG スペック JQR認定 音量:3 材質:オールステンレス 交換部位:センター&リアピース パイプ径:センター60.5-101.6-54-48.6φW・リアメイン50φ/テール114.3φ 左右出し

低中速レスポンスが向上し、全域で効率もアップする組み合わせだ。1.6ℓ加速騒音70dB/近接Rh80dB・Lh78dB。2.0ℓ加速騒音71dB/近接Rh80dB・Lh80dB。

排気その他
OTHERS

ENGINE PARTS CATALOG

エンジン系パーツカタログ

スポーツワゴンのレヴォーグをカスタマイズする方向性は……!?
クルマの性能を一変させるアイテムからメンテナンスパーツまで
多種多様なアフターパーツがあるので、楽しみ方はいくらでも見つけ出せる

garage NOB
● ガレージノブ
☎ 073-447-0233



クランクプーリー
¥ 2万5920円

適合車種 VM4/VMG

純正の2220gに対して、4分の1以下の465g。慣性モーメントの減少により、エンジンレスポンスがグッと向上する。美しく耐久性も高いアルマイト仕上げで、色はレッド。

garage NOB
● ガレージノブ
☎ 073-447-0233

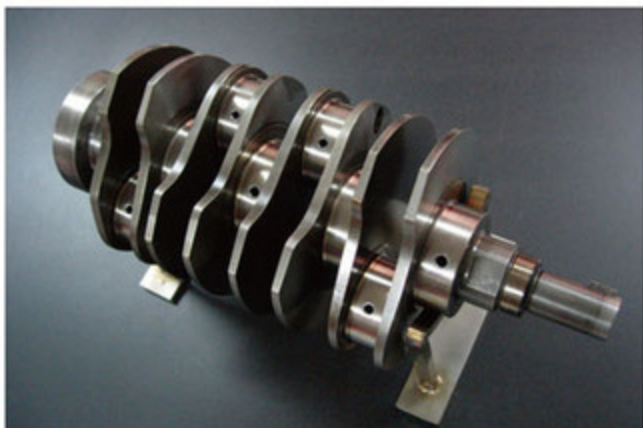


ウォーターポンププーリー
¥ 2万3760円

適合車種 VM4/VMG

純正の316gに比べて200gと、負荷減少によるエンジンレスポンスの向上にひと役買う。鮮やかな赤とシックな黒があり、アルマイト仕上げで見た目も耐久性も確保した。

BLACKLINE
● blackline
☎ 049-239-6667



Crank Syaft
¥ 54万5000円～

適合車種 VM4/VMG

鍛造削り出しクランクをワンオフ製作。ストロークやウエイトなどを指定でき、使用ステージなど希望の仕様で新規に設計も可能。コンロッドやピストンもワンオフ対応。

エンジンパーツ
ENGINE PARTS



ウォーターポンププーリー-NEO

¥ 2万520円

適合車種 VM4/VMG

軽量かつ高強度のジュラルミン製とし、エンジンの負荷を軽減。別売のクランクプーリー-NEOと同時装着で、より完成度の高い軽量化が実現。ピンク、ブルー、シルバー。



クランクプーリー-NEO

¥ 2万9160円

適合車種 VM4/VMG

純正比で約4分の1にまで軽量化でき、エンジンレスポンスが向上。発進加速やコーナー立ち上がりで、そのレスポンスが体感できる。ピンク、シルバー、ブルーを用意。



WRCクランクプーリー EJ/ELエンジン用

¥ 2万9160円

適合車種 VM4/VMG

高精度の削り出しジュラルミン製で、耐久性を確保しながら大幅な軽量化に成功。軽量化しにくい、フロントオーバーハングの重量減にも貢献する。ブルーとシルバーの2色。



スポーツオイルフィルター

¥ 2700円

適合車種 VM4/VMG

高効率濾紙採用で細かいゴミや摩耗粉を確実にキャッチ。過酷な条件下でもメッシュフィルターが濾紙の変形、破損を防止。高磁力磁石で鉄粉を吸着、エンジンを保護する。



マグエレメント

¥ 2160円

適合車種 VM4/VMG

濾過面積が広く微細なゴミを逃さない高品質エレメント。超強力フェライトキャップ磁石の働きで、エンジン内で発生した鉄粉も強力吸着。エンジンとタービンを保護する。



ハイブリッドスポーツオイルフィルター

¥ 2376円

適合車種 VM4/VMG

従来品に対して、オイル圧力損出およびオイル流量特性を約30%向上させたオイルフィルター。エンジン負荷を軽減することにより、エンジンレスポンスの向上に貢献した。

オイル関連パーツ OIL PARTS



オイルフィルター移設用 スバルピッチ変換ユニオンボルト

¥ 5400円

適合車種 VM4/VMG

オイルインレットパイプを留めるユニオンボルトは、小さくてもオイル流量を左右する重要部品。オイルフィルター移設の際には、ピッチがきちんと合うものを使用しよう。



マグドレンボルト

¥ 1620円

適合車種 VM4/VMG

エンジン内部で発生する鉄粉を強力なマグネットに吸着させ、鉄粉を循環させずエンジンを保護するドレンボルト。強力な磁力を持つマグネットを採用。スチール製。



強化オイルポンプ

¥ 6万8000円

適合車種 VM4/VMG

ノーマルオイルポンプギアは、衝撃・振動に弱くクラックが入りやすい。高回転を常用するとトラブルを起こすことがあるため、対策として製作された強化品。



Racing Filter

¥ 2592円

適合車種 VM4/VMG

純正に比べ厚さを抑えた超薄型設計。内部のバックアップネットにより、高圧力時でも安定した濾過性能を発揮。オイルセンサーアタッチメント装着時の干渉も防ぐ。



オイルフィルターキャップ

¥ 1万584円

適合車種 VM4/VMG

アルミ削り出しボディの高級感と輝きに、ゼロスポーツの鮮やかなブルーのロゴが、エンジンルームをスポーティに演出する。回しやすい形状なのもポイント。

エンジンドレスアップ ENGINE DRESS UP



エンジンオイル

¥ 2916円～3240円(1ℓ缶) / 1万260円～1万1232円(4.5ℓ缶)

適合車種 VM4/VMG

独自の化学合成ベースオイルにC60フラレーンを配合したスポーツオイル。優れたエンジン保護性能とエンジンレスポンスが魅力だ。2.5W-40、7.5W-40、10W-50。



Oil Sensor Attachment

¥ 7560円

適合車種 VM4/VMG

社外の油温／油圧メーターを装着するために必要になるセンサーフィッティング。FB20に合わせた専用設計パーツだ。FA20/EJ20にも使用可能。SAB-4に対応。

PROVA

📍ブローバ
☎045-591-5501



オイルフィルターキャップ

¥ 5292円

適合車種 VM4/VMG

エンジニアリング樹脂製のオイルフィルターキャップ。純正キャップと交換するだけで容易に取り付け可能だ。装着すればエンジンルームのドレスアップにもピッタリ。

NEOPLLOT

📍プロト
☎0566-36-0456



バッテリーホルダーNEO(Dサイズ用)

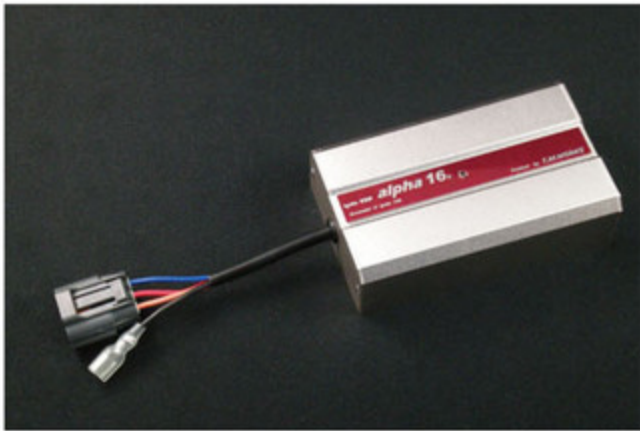
¥ 9720円

適合車種 VM4/VMG

アルミ削り出しのぜいたくな造りのバッテリー固定用クランプ。素材感とアルマイト、弧を強調した剛性感のあるデザインがクールな印象。ピンク、シルバー、ブルーの3色。

T.M.WORKS

📍T.M.WORKS
☎0555-72-0546



ignite VSD alpha 16V

¥ 2万7300円

適合車種 VM4/VMG

点火コイルへの入力電圧を通常の12Vを16Vまでブーストアップ。さらに電気負荷時においても電圧を16Vから下げることはない安定した電圧を点火コイルに供給する。

RST

📍RST
☎046-279-4350



ハイパーシールド

¥ 2万300円

適合車種 VM4/VMG

ハイパーシールドは着火能力、スロットレスポンス、CVTシフトレスポンスをすべて改善し、燃費向上、パワートルクもアップ。装着すれば鋭いレスポンスを実現する。

garage NOB

📍ガレージノブ
☎073-447-0233



フィルターキャップ

¥ 8640円

適合車種 VM4/VMG

エンジンルームの手軽なドレスアップに役立つだけでなく、超々ジュラルミンA7075Sを素材に採用し、軽量かつ高剛性、耐久性も高い。美しいレッドのアルマイト仕上げ。

CUSCO

📍キャロッセ
☎027-352-3578



バッテリーステー

¥ 6264円

適合車種 VM4/VMG

クスコのストラットバーをイメージしたデザイン。シャフト部はストラットバーと同じ部材を使用し、軽量アルミ製、高剛性オーバルシャフトのブルーアルマイト仕上げ。

T.M.WORKS

📍T.M.WORKS
☎0555-72-0546



Ignite VSD alpha CI

¥ 1万6200円

適合車種 VM4/VMG

電気負荷時の点火コイルへの電力供給を高次元で安定させ、パワーロスを抑える。Ignite VSD、VSD II、alpha16Vとの同時装着で、効果をさらに高められる。

RST

📍RST
☎046-279-4350



ダイレクトCi

¥ 3万800円

適合車種 VM4/VMG

ダイレクトハーネスに大容量キャパシタをセットした製品。アイドリングからレッドゾーンまで強力で安定したスパークを実現する。ダイレクトハーネスは1万5500円。

GARAGE KM1

📍ガレージKM1
☎0533-72-5084



オイルフィルターキャップ

¥ 4320円

適合車種 VM4/VMG

エンジンルームのワンポイントドレスアップ効果の高いGARAGE KM1のオイルフィルターキャップ。握りやすく回しやすいので、サーキット走行車にも装備しておきたい。

garage NOB

📍ガレージノブ
☎073-447-0233



ブリーカバー

¥ 4860円

適合車種 VM4/VMG

1.2mm厚のアルミ製・アルマイト仕上げ。黒の赤の2色があり、エンジンルームを重厚にも華やかに演出できる。雨水が当たらないので、サビ防止にも役立つ。

HKS

📍エッチ・ケー・エス
☎0544-29-1235



スーパーファイヤーレーシング

¥ 2700円

適合車種 VM4/VMG

0.6mmイリジウム合金中心電極やプラチナ角チップ付接地電極、サーモエッジ、補助火花ギャップ装備で、着火性能が向上。カーボンの堆積を抑えてカブリやくすぶりを防止。

ROUTE6

📍ルートックス
☎03-3690-0600



ミラクルパワーダイレクト

¥ 2万1384円

適合車種 要問い合わせ

イグニッションコイルの先にセットすることで、コンデンサーの効果によって放電時間を延ばすことができるため、トルクアップやパワーアップの体感が可能となる。

NEOPLLOT

📍プロト
☎0566-36-0456



オイルフィルターキャップNEO

¥ 8640円

適合車種 VM4/VMG

ジュラルミン材を削り出して製作するぜいたくな作り。素材感とカラーアルマイト、円を基調にした機能的なデザインがエンジンルームをクールに彩る。ピンクとシルバー。

CLUB MOTION

📍アクレ
☎042-516-9600



Brake Fluid Cap

¥ 1万584円

適合車種 VM4/VMG

エンジンルームのワンポイントドレスアップにひと役買う、取り付けも簡単なブレーキフルードキャップ用のアルミカバー。アクレのロゴ入り。カラーは赤と青を用意。

電装系パーツ

ELECTRIC PARTS

OKADA PROJECTS

📍OKADA PROJECTS
☎044-822-3341



PLASMA DIRECT

¥ 10万2600円

適合車種 VM4/VMG

点火エネルギーの増大とマルチスパーク(複数回点火)により、パワーとトルクの向上を図る、ダイレクトイグニッションコイル専用のハイパワーイグニッションコイル。

PHOENIX'S POWER

☎ フェニックスパワー
☎ 0776-67-2980(福井店) / 0774-48-1157(京都店)



アプリケーションCPUデータ

¥ 18万3000円

適合車種 VM4 / VMG

燃料・点火・バルブタイミングを適性化し、ブースト圧を上げてパワー&トルクアップさせる。各リミッターも解除し、スムーズに軽く回るようになるコンピュータ。

PRS

☎ プレジャーレーシングサービス
☎ 0584-87-0687



プレジャーエンジン マネージメントシステム

¥ 15万9840円

適合車種 VM4 / VMG

1台1台の車両の特性や個性に合わせてデータを変更しセッティングする、オーダーECU。フルノーマル車からフルチューニング車まで幅広く、フレキシブルに対応。

ECUTEK RACE ROM

☎ ステイ自動車整備センター
☎ 0195-76-4044



STAYH ECU

¥ 16万5360円

適合車種 VM4 / VMG

CVTの耐久性を考慮しトルク&パワーを向上させる。スピードリミッターカット、クルーズコントロール値の変更のみの作業は8万5200円となる。アイサイト3にも対応。

SIECLE

☎ ジェイ・ロード
☎ 03-5746-0720



MAP CONTROLLER

¥ 1万7064円

適合車種 VM4 / VMG

本体のダイヤルで、燃調を-5%~+5%まで簡単補正できるMAP CONTROLLER。専用ハーネス付属なので、クルマのエアフロカブラーに無加工で取り付けできる。

SIECLE

☎ ジェイ・ロード
☎ 03-5746-0720



MINICON

¥ 1万4256円

適合車種 VM4 / VMG

セッティング済みサブコンピュータ、シエクルのMINICONは、付属のカブラーでクルマに接続するだけの簡単取り付けが魅力だ。本体スイッチで3モードから切り替え可能。

ia Concept

☎ アイエーコンセプト ビットイン千葉
☎ 043-276-1916



AFS-L

¥ 18万円~

適合車種 VM4 / VMG

アイエーコンセプトのAFSからフューエルマネージ機能を抜いたモデル。低回転では純正のフィードバックを使い、高回転ではリアルタイムフィードバックが可能に。

純正書き換え

RE SETTING

サブコンピュータ

SUB COMPUTER

EMS

☎ ルートシックス
☎ 03-3690-0600



EMS4424Stinger(ハーネス付き)

¥ 12万7440円

適合車種 VM4 / VMG

データロガー付きのコンピュータ。セッティング幅の広さとともに、ロギングによるデータ管理が可能なので、よりシビアなセッティングができるのが大きなメリットだ。

EMS

☎ ルートシックス
☎ 03-3690-0600



EMS8860(ハーネス付き)

¥ 18万1440円

適合車種 VM4 / VMG

競技車にも使われているフルコンピュータ。ハーネスが付属しているので装着は簡単。セッティング幅が広いためどんな仕様の車両にも対応できるのがEMS8860の魅力。

フルコンピュータ

FULL COMPUTER

BLACKLINE

☎ blackline
☎ 049-239-6667



ビッグスロットル加工

¥ 4万4500円

適合車種 VM4 / VMG

現在クルマで使用中のスロットルをベースに拡大加工、バタフライを製作してくれるビッグスロットル加工のメニュー。価格は本体の分解と加工、組み立て工賃込み。

BAKUBAKU-STUDIO

☎ ばくばく工房
☎ 070-5433-5872



ビッグスロットル・スーパーレーシング シャフト

¥ 4万3200円

適合車種 VM4 / VMG

スロットル径を拡大し、低速域からの加速感やレスポンスが大幅に向上する。1.6GT、2.0GTの両方のスロットルを用意。手軽にエンジンフィーリングが変わるぞ。

スロットル&サージタンク

THROTTLE & SURGE TANK

PIVOT

●ピボット
☎ 0263-46-5901



スロットルコントローラー
コンパクト THC

¥ 1万9440円

適合車種 VM4/VMG

小型ワンボディタイプで非常にコンパクト。装着場所にも困らない。セーフティモードも搭載し、過度な設定(SP4以上)であれば自動的にSP3に戻るようになっている。

PIVOT

●ピボット
☎ 0263-46-5901



スロットルコントローラー
フラット THF2

¥ 2万4840円

適合車種 VM4/VMG

電子スロットル車のレスポンスアップ/ダウンが可能になるスロットルコントローラー。本体の厚さは14mmと薄型で、取り付け場所を選ばずスマートな装着ができる。

A'PEXi

●アベックス
☎ 0544-65-5061



SMART ACCEL CONTROLLER

¥ 1万2960円～

適合車種 VM4/VMG

鋭いレスポンスを実現するモードから、低燃費のふんわりモードまで、7つのモードを搭載。リバース時はノーマル制御に復帰するなど、安全性も考慮しセッティング。

コンピュータその他

OTHERS

SIECLE

●ジェイ・ロード
☎ 03-5746-0720



TREC-S7X

¥ 2万2680円

適合車種 VM4/VMG

強烈なアクセルレスポンスを実現したスポーツ志向のスロコン。驚異の加速のスクランブルモードや、上質なレスポンスのインテリジェントオートモードを搭載している。

Shadow Meter

●クールナッツ
☎ 045-800-3157



電動ファンコントローラー

¥ 1万800円

適合車種 VM4/VMG

温度センサーが2個付属するので、水温と油温どちらでも制御が可能。視認性の高いデジタルLED表示は、水温、油温はもちろん電圧計としても使える。アラーム設定もOK。

BLITZ

●ブリッツ
☎ 0422-60-2277



THROTTLE CONTROLLER
FULL AUTO LIGHT

¥ 2万1384円

適合車種 VM4/VMG

操作はON/OFFスイッチのみで、取り付けは電源や配線の不要な完全カプラーオン設計。全部で10モードを搭載し、本体側のロータリースイッチでモード切り替えできる。

BLITZ

●ブリッツ
☎ 0422-60-2277



THROTTLE CONTROLLER
FULL AUTO PLUS

¥ 4万3200円

適合車種 VM4/VMG

全24モード搭載という、業界でもトップクラスのモード数を実現。モード表示やオートモードのカスタマイズ、アクセル開度の表示など多数の機能を搭載している。

Braille

●タニダ
☎ 052-871-3741



Advanced AGM

¥ 要問い合わせ

適合車種 VM4/VMG

最高のクランキングパワーを発揮する軽量密閉型ドライバッテリー。縦横どちらのレイアウトにも対応したステンレス製端子。温度や振動に強いカーボンペースタイプだ。

BLITZ

●ブリッツ
☎ 0422-60-2277



Lithium-ion Battery Spec Li-Fe

¥ 7万5600円～

適合車種 VM4/VMG

最新の蓄電池技術「LiFePO4」を採用したリチウムイオンバッテリー。約2.8kgと超軽量。13.2Vの高電圧を安定出力、オートシャットダウン機能、インジケータLED搭載。

バッテリー

BATTERY

PIVOT

●ピボット
☎ 0263-46-5901



デジタルモニターDMC

¥ 1万2960円

適合車種 VM4/VMG

付属のハーネスを故障診断コネクタに差し込むタイプのマルチデジタルモニターDMC。取り付けは簡単ながら、回転、水温、電圧をデジタル表示可能だ。

アイエーコンセプト ビットイン千葉

●アイエーコンセプト ビットイン千葉
☎ 043-276-1916



水冷式インタークーラー

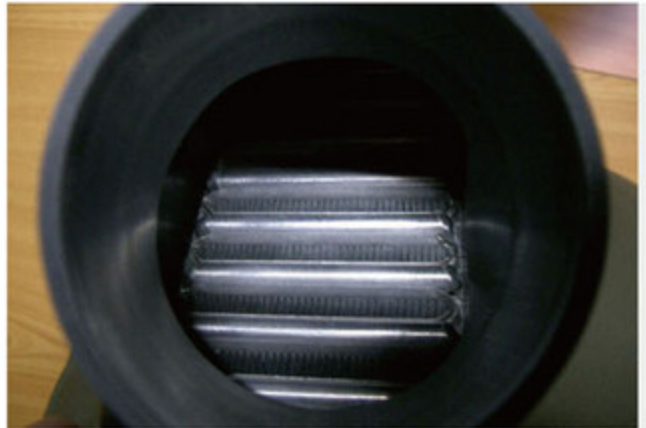
¥ ワンオフ

適合車種 VM4/VMG

前置きインタークーラー並みの冷却性能と、純正以上のレスポンスを実現する水冷式インタークーラー。渋滞でもサーキットでも、安定した吸気温度維持が可能になる。

BAKUBAKU-STUDIO

●ばくばく工房
☎ 070-5433-5872



純正IC圧力損失低減ブチ加工

¥ 3万2400円

適合車種 VM4/VMG

純正IC圧力損失低減ブチ加工は、ばくばく工房の大人気パーツ。レヴオーグの純正インタークーラーも、もちろん加工OK。VM4、VMGどちらもよく効くと大評判だ。

Coto Sports

●Coto Sports
☎ 045-802-6731



純正加工 強化ブローオフバルブ

¥ 1万4904円

適合車種 VM4/VMG

純正加工による強化ブローオフバルブ。装着することで、タービンレスポンスが大幅にアップ。また低中速のトルクもアップするだけでなく、加速特性も向上。車検もOKだ。

過給器関係パーツ

CARGER
&
OTHER PARTS

garage NOB

☎ ガレージノブ
☎ 073-447-0233



アルミラジエター

¥ 10万8000円

適合車種 VM4/VMG
スベック

放熱性と耐久性に優れたオールアルミ製。確実な冷却性能の獲得と狭いスペースに収まるコンパクトさを両立させるため、2層とした。水温センサーアタッチメント付き。

BILLION

☎ ミノルインターナショナル
☎ 03-5706-1888



スーパーソリッドクーラントライン

¥ 1万2960円～1万6200円

適合車種 VM4/VMG

強化素材「SEPゴム」を採用。2層から成るSEPゴムの間に「ストロングネットコンストラクション」と呼ばれる補強素材をサンドイッチし、トリプルレイヤー構造としている。

JURAN

☎ タニダ
☎ 052-871-3741



Water Temp. Sensor Attachment Light

¥ 3024円

適合車種 VM4/VMG

社外の後付け水温計を装着するために必要な、温度センサー用のフィッティング。本体の素材にはアルミを採用。装着に必要な固定用ホースバンドも付属している。

Defi

☎ 日本精機
☎ 03-3835-3639



ADVANCE CR

¥ 1万6200円～2万5920円

適合車種 VM4/VMG

高精細目盛文字盤採用。昼間は文字盤の印刷、夜間は照明を後ろから透過させ文字や目盛りを表現するメーター。なお夜間照明は2色のカラーチェンジ、リング照明を備える。

ラジエター&オイルクーラー COOLER

garage NOB

☎ ガレージノブ
☎ 073-447-0233



ビッグインタークーラー アルミカバー

¥ 3240円

適合車種 VM4/VMG

航空機などにも多く採用される超タジュラルミンA7075 Sが素材。ブローオフバルブレスにするときに便利なカバー。鮮やかなアルマイトが、ドレスアップにも◎。

CUSCO

☎ キャロッセ
☎ 027-352-3578



水冷式エンジンオイルクーラー

¥ 6万2640円

適合車種 VM4/VMG
スベック 段数:7段

レヴォーグにボルトオンで装着できるように設計された。スポーツ走行時には大幅に上昇するエンジンオイルの温度を、冷却水を循環させて大幅にクールダウン。

CUSCO

☎ キャロッセ
☎ 027-352-3578



ハイプレッシャーラジエターキャップ

¥ 2700円

適合車種 VM4/VMG

主圧力弁スプリングを強化し、ラジエター内の圧力を上昇させて冷却水の沸点を引き上げて、オーバーヒートを防止する設計。シール性に優れたシリコンパッキンを採用。

CUSCO

☎ キャロッセ
☎ 027-532-5378



クスコ・レーシングメーター

¥ 2万1000円～2万5200円

適合車種 VM4/VMG

黒い基盤に高輝度LEDによる目盛り、文字表示を採用。深紅に自発光するメーター指針と相まって、抜群の視認性を発揮。多機能電子式だがコントロールユニットは不要。

AVO

☎ AVOターボワールドジャパン
☎ 042-549-1296



トップマウントインタークーラー

¥ 11万6856円

適合車種 VM4/VMG

純正の約2倍の容量で、圧力損失や冷却面でも高性能な、パープレート(GTコア)のトップマウント式。全域でパワー&レスポンスの向上が体感できる。取り付けはボルトオン。

garage NOB

☎ ガレージノブ
☎ 073-447-0233



水冷式オイルクーラー

¥ 4万1040円

適合車種 VM4/VMG
スベック

エンジンのキャラクターを考え、金銭的な負担や性能のバランスをも考慮して設計。コンパクトながら十分な冷却性能を備え、コストパフォーマンスもよいと好評だ。

BILLION

☎ ミノルインターナショナル
☎ 03-5706-1888



スーパーサーモ

¥ 7560円(71℃タイプ)

適合車種 VM4/VMG

スーパーサーモは開弁温度が71℃。冷却効果はもちろんのこと、冬季においてのオーバーヒートを抑制し、燃調の不具合を防止。ヒーターの効きも向上する。

メーター&メーターカバー

METER & METER COVER

Defi

●日本精機
☎ 03-3835-3639



RacerGauge

¥ 1万2960円～2万3760円

適合車種 VM4／VMG

Racer Gaugeは完全独立作動で、コントロールユニットは不要。ワーニング、ピーク、メモリーなどの機能をあえてそぎ落とし、ユーザーが求めやすい価格を実現した。

BLITZ

●ブリッツ
☎ 0422-60-2277



FLD METER

¥ 4万1040円

適合車種 VM4／VMG

故障診断コネクタに接続で、水温、エンジン回転数、スロットル開度、車速などがチェック可能なアナログ型74φメーター。オプションの温度、圧力センサーも追加可能。

EAST CLOUD

●スーパーオートバックス東京ベイ東雲店
☎ 03-3528-0357



LEVORG メータークラスター

¥ 2万1900円

適合車種 VM4／VMG

メーターフード内側の純正パーツを、光沢のあるピアノブラックに塗装したオリジナル製品。内装パネルがピアノブラックのグレードであればベストマッチなアイテム。

Defi

●日本精機
☎ 03-3835-3639



ADVANCE ZD ClubSportsPackage

¥ 7万4520円

適合車種 VM4／VMG

本体にADVANCE UNIT、水温、油温、油圧センサーセットが1パッケージになったモデルがこれ。単品でそろえるよりも、なんと9000円以上もお得なセットとなる。

PIVOT

●ピボット
☎ 0263-46-5901



DUAL GAUGE ブースト計 DXB

¥ 2万8080円

適合車種 VM4／VMG

付属のハーネスを故障診断コネクタに差し込むタイプの60φメーター、DUAL GAUGEブースト計DXB。アナログでブースト、デジタルで水温、電圧を表示可能だ。

Defi

●日本精機
☎ 03-3835-3639



Defi-Link ADVANCE UNIT

¥ 1万4904円

適合車種 VM4／VMG

ADVANCEシステムの専用司令塔。ピークホールド、3分間REC機能、ワーニング設定が可能だ。最大7機種のADVANCE CR、BF、ZDなどを接続可能となっている。

YR-Advance

●YR-Advance
☎ 042-581-7135



メーターステー

¥ 3024円

適合車種 VM4／VMG

四角い小型タイプのメーターなどを、純正フォードの左右に取り付けるためのステー。両面テープで貼るだけの手軽さで、コックピットを自分仕様ができる。左右設定あり。

Defi

●日本精機
☎ 03-3835-3639



ADVANCE ZD

¥ 3万4560円

適合車種 VM4／VMG

自社製有機ELディスプレイを採用したマルチ表示機。メーターハーネス1本でDefi-Link ADVANCEシステムに接続することができ、一画面で最大6機種の表示が可能。

Defi

●日本精機
☎ 03-3835-3639



DIN-Gauge

¥ 5万9400円

適合車種 VM4／VMG

1DINサイズの一体型3連アナログメーター。ドライバー側に8° 傾斜しているのも特徴のひとつで、最高峰ステップングモーターSTS26Bを搭載しているロングセラー。

BLITZ

●ブリッツ
☎ 0422-60-2277



Smart-B.R.A.I.N.

¥ 5万3784円

適合車種 VM4／VMG

故障診断コネクタに接続するだけで、最大26項目の車両情報表示とレーダー探知機の機能を併せ持つ、2in1デバイス。スマートフォンとの接続で最大限に機能拡張も可能。

BLACKLINE

●blackline
☎ 042-239-6667



ミラーメーターホルダー

¥ ワンオフ3万円～

適合車種 VM4／VMG

追加メーターをルームミラー下に設置するためのホルダー。ルームミラーがフロントガラス貼り付けタイプの場合には取り付け加工工賃が必要になる。車両持ち込みのみ。

Defi

●日本精機
☎ 03-3835-3639



ADVANCE BF

¥ 2万520円～3万240円

適合車種 VM4／VMG

BFはブラックフェースの頭文字をとったもの。イグニションOFF時は真っ暗で文字盤が見えず、ONと同時に照明が点灯し、昼間でも文字や目盛りが照明により表現される。

Defi

●日本精機
☎ 03-3835-3639



RacerGauge TA

¥ 2万8080円

適合車種 VM4／VMG

「手に届くDefi」をコンセプトに、購入しやすい価格で自発光式メーター（BFタイプ）を実現したRacer Gaugeの、ピーク、ワーニング機能を搭載した80φタコメーター。

BLITZ

●ブリッツ
☎ 0422-60-2277



Touch-B.R.A.I.N.

¥ 5万1840円

適合車種 VM4／VMG

3.5インチTFT液晶採用の車両モニタリングシステム。操作はタッチパネル、接続はOBDIIコネクタで簡単接続。最大56パターンの画面デザインに車両情報を表示可能。

SLASH.

●スラッシュ
☎ 072-631-5850



ピラーメーターパネル

¥ 2万1600円

適合車種 VM4／VMG

視野角の移動も最小限ですむAピラー部へ、追加メーターをセットアップ。専用品なので無加工装着。60mmメーター用で、52mmにはオプションスペーサーで対応する。

レヴォーグにまつわる最新&興味深いトピックスを一挙にご紹介!

6MT搭載のコンセプトカーが登場! LEVORG S CONCEPT

スバルテクニカインターナショナル ☎0422-33-7848 <http://www.sti.jp>

レヴォーグMT車実現の 第1歩となるか!?

今年のオートサロンのスバルブースに展示されていた「レヴォーグSコンセプト」をご覧になった方も多いだろう。何せレヴォーグに6MTが搭載されたコンセプトカーなのだから、レヴォーグファンとしては気にならないわけがない。しかし、レヴォーグのマニュアル車がすぐリリースされるのか、と思うのは早計。これはSTIが製作したスタディモデルなのだ。

ただし、STIの本気度は高い。なんとハイパワーのターボ車で直噴エンジン+マニュアルミッションを実現してほしい、という願いをこめて製作されたのだ。実際、MT車がどんどん減っている今でも、レヴォーグユーザーのマニュアル車を望む声は高いとのこと。このモデルが一石を投じることで、プロジェクトが本格的に動くことをねらった野心的なコンセプトカーというわけだ。

というわけで、MT車自体の実現は未定なもの、レヴォーグユーザーとしては気になる部分が多々あったのも事実。今やトラッドともいえるBBSの19インチスポークメッシュデザインホイールしかり、Sシリーズ用という6ポットキャリパーしかり。そしてなんといっても大開口部を設けたフロントバンパーは圧巻だ。ぜひ部分的にでも製品化してもらえないものだろうか。カーボン製のサイドミラーカバーなんかは、あってもおかしくないパーツだけど……。

今後のSTIの頑張りに期待したくなる、そんな1台だったのだ。

この6速シフトがいつか実現する日はくるのだろうか。レッドのアクセントを用いた内装色やオリジナルカラーのレカロ・スポーツスターは非常に魅力的。



手軽にスポーティなイメージを手に入れられる、カーボン製のウインカーカバーはぜひ実現してほしいアイテム。

S206用の19インチホイールとフロント6ポット、リア4ポットのビッグキャリパー。やはりスバル車の足にはBBSがよく似合う。



SPECIFICATIONS

ENGINE	FA20
EXTERIOR	オリジナルフロントバンパー&グリル カーボンサイドスカート カーボンリアサイドスカート
EXTERIOR	オリジナルシート&インテリア加飾
BRAKE	Sシリーズ用キャリパー&ローター
TIRE	MICHELIN PSS 245/35ZR19
WHEEL	8.5J×19+53



Photo: 小竹 充



制動力とともに与える存在感 ORIGINAL RUNDUCE オリジナルブレーキキット

オリジナルランデュース 岡山県倉敷市三田118-1 ☎086-464-0606 <http://www.runduce.com>

Photo: 稲田浩章 Text: 村田純也(四馬力)



こまやかなアレンジで オリジナルリティを楽しむ

スポーツ走行を楽しむことがなくとも、愛車を意のままにコントロールするためには欠かすことのできないブレーキチューニング。もちろん、パッド交換だけでも目的は果たせるが、大径化の進むホイール事情や車重のあるストリート仕様といった部分を考えると、やはりキャリパーとローターの双方から制動力を十分に高めるブレーキキット投入を考えたいところだ。

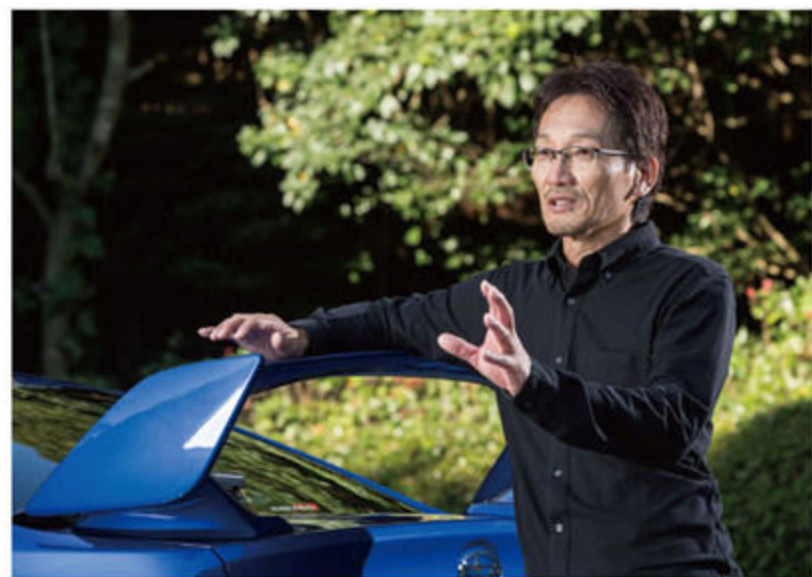
ということで今回クローズアップするのは、デビューから間もないレヴォーグに素早く6ポットキャリパー&330φローターを対応させてきたオリジナルランデュースのブレーキキットだ。電動パーキングブレーキの関係からフロントのみの設

定だが、当然ながら前後バランスを考慮したセッティングとなっているため、安心して愛車へ投入することができるだろう。

なお、注目すべきは、頼もしい制動力とともに引き出せるオリジナルリティ。ローターはスリットとスリットドリルドの2種類。モノブロック風に仕上げられたキャリパーのカラーリングはペイントだけでなくアルマイト仕上げも多数用意したうえにロゴカラーまで指定できるので、ボディやホイールとのマッチングを考慮したアレンジがOKとなっている。

ちなみに、ブレーキパッドはストリート、スポーツ、レースの3タイプからチョイスするのだが、こだわり派に向けてゾーンをベースとしたオーダーパッドシステムも用意。あらゆるニーズや走行ステージへ対応可能なアイテムへと仕上げられてきた。

安心の制動力とともに足もとから放つ圧倒的な存在感。ブレーキチューニングを考えるなら、ぜひランデュースのブレーキキットを有力候補にしよう。



オリジナルランデュース

浅田浩文氏

ストリート仕様のポテンシャル引き出し過程でさまざまなオリジナルパーツを生み出す実力派。機能美にこだわる姿勢で広く知られる。



メタリックな質感を楽しむアルマイトカラー以外にペイントカラーも用意。ロゴカラーも別途指定することが可能とされている。



スリット、スリットドリルドを用意するローターは、放熱性にこだわるユーザーのために、フローティング仕様もオプションで設定済み。

RUNDUCE BIG BRAKE KIT

SPECIFICATIONS

フロントキャリパー	6POT
フロントローター	330φ
価格	24万1500円(税別)



制動力の高さはもちろんのことモノブロック風に見せるボルト固定、豊富なカラー設定に加え、充実のオーバーホール体制やシリアルナンバーでの品質管理まで徹底してこだわりを注いだキャリパーキット。オーダー前にマッチング確認用の型紙を取り寄せることも可能だ。



好みに応じて細かくアレンジ可能な レヴォーグの新車コンプリートが クール名古屋からデリバリースタート!

レヴォーグライフを

理想形でお得にスタート!

洗練されたスタイル、先進機能を惜しみなく投入しての満足度が高い走りが人気を集めるレヴォーグ。ただ、人気上昇街なかでの遭遇率アップとなるため、オリジナリティを引き出すことを考えるなら早い段階でのカスタムが必要となっていく。

そこでレヴォーグ購入を考えているユーザーに注目してもらいたいのは、東京オートサロンのコンセプトカー部門で最優秀賞を受賞するなどハイセンスなカスタムノウハウを持つクール名古屋の新車コンプリート販売。このシステムでオーダーすれば、納車直後からオリジナリティあふれるレヴォーグライフをスタートできるといふワケだ。

「モデルプランは1.6GTのアイサイトをベース車両としていますが、これはあくまでもひとつのサンプル。どのような雰囲気になるかイメージしてもらうために展示車両は用意していません。購入時は展示車両でなく新車オーダー&カスタムしての納車という体制を整えていますから、ベースモデルやボディカラーはもちろん、カスタム内容を細かくアレンジしてい

くこともOKです」(片岡代表)

ちなみにモデルプランの一例を挙げると、重厚感あふれるユーロスポーツテイストを楽しめるコラソンのフルエアロや19インチホイール、車高調やフルセグナビなどまでフル投入した1.6GTが349万円。車両価格+パーツ価格+各種工賃まで含めると410万円強となるので、じつに61万円強の値引きにもなる!

クール名古屋 片岡孝裕氏

チューニングからドレスアップまで精通し、ユーザーのニーズに応じたスタイルをフレキシブルに提案。そのセンスの高さは定評が高い!

クール名古屋

住所: 愛知県名古屋市
緑区大根山2-503

☎052-693-9805

WEB: <http://ruf-gt.co.jp/>





1.6GTアイサイト・コラゾンコンプリート
349万円(値引き額61万680円)

コラゾンコンプリート仕様

SPECIFICATIONS

EXTERIOR	コラゾン・フロントバンパー コラゾン・フロントグリル コラゾン・サイドステップ コラゾン・リアバンパー
タイヤ&ホイール	グラムライツ・57FXXプロ ポテンザ・S001
SUSPENSION	ブリッツ・ダンパーZZ-R
INTERIOR	クール名古屋フロアマット フルセグナビ ほか



ボディのボリューム感、デザインを考慮してマッチングされた19インチのグラムライツ・57FXXプロ。シャープな足もととともに奥行き感も打ち出せる好アイテムだ。



いち早くフルバンパータイプでのエアロをデビューさせたコラゾンのスポーティア。ボリュームアップとともにダクトワークで引き締める緩急がレヴォーグに映える。

19インチ仕様



シンプル派に提案される19インチ仕様のモデルコンプリート。デュランダルDD5.2とダンパーZZ-Rで引き締めた足もとが洗練されたスタイリングを生む。



1.6GT-Sアイサイト・ワーク19インチコンプリート
340万円(値引き額48万3600円)

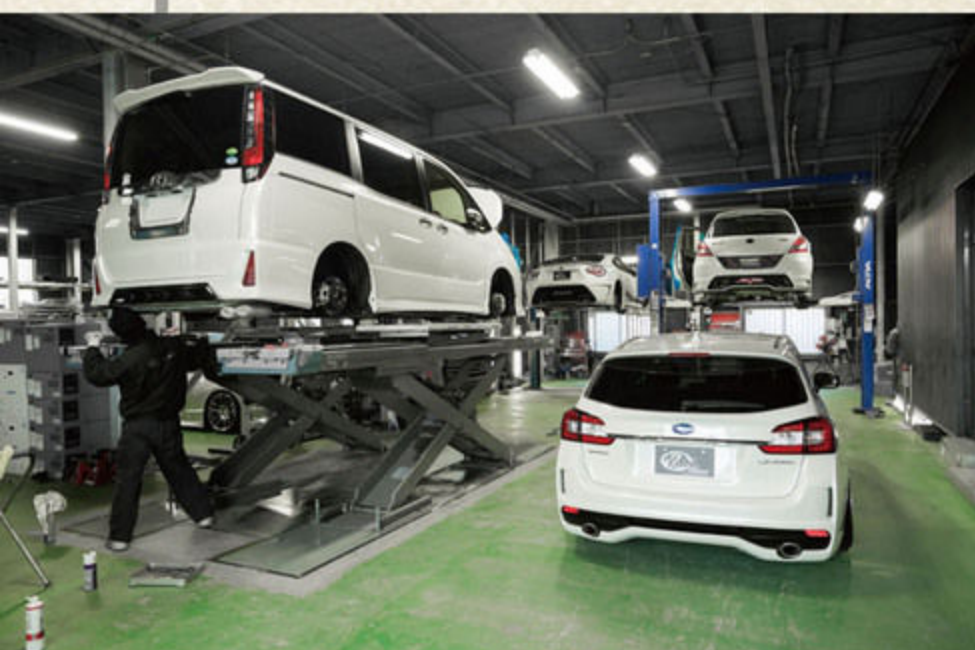
この驚きのリースナブルプライスは、車両購入からドレスアップやチューニングといった各種カスタムまで、一括して自社で手がけることが可能なクール名古屋ならではのもの。希望どおりにカスタムされた新車で納車されるうえに大幅値引きまで受けられるとなれば、フルノーマルにこだわりたいというのでもない限り、新車コンプリート購入が断然お得だ。なお、代金支払いに関しては、頭金

0円の120回払いや3.9%からの特別金利のローンも用意。カスタム時のローンでは車両購入と異なり高金利になってしまふことも多いので、ここでもお得感を存分に味わえる。この新車コンプリートはレヴォーグ以外でも展開されているのだが、そのコストパフォーマンスの高さから遠方からのオーダーも相次いでいる。また、仮に遠方であっても積載車でクルールのスタッフは納車へと向かい、

車両の基本操作からカスタムパーツに関する注意点まで詳細に説明してくれるため、ショールームへ訪れることができるユーザーも安心してオーダーすることができるよう。スタートから理想形でのレヴォーグライフを楽しめるだけでなく、コストパフォーマンスも高いクール名古屋の新車コンプリート。車両購入するならココしかないといっても、まったく過言じゃない。

車両持ち込みのカスタムにも対応!

インテリアやフットワークも万全!



購入後の追加カスタムはもちろん、車両を持ち込んでのカスタムオーダーにも対応。カスタムレベルの高さはオートサロンでの最優秀賞受賞実績からも明らかだ。



モデルプランはいつでも乗り心地のよさとハンドリングを高次元で両立するブリッツのダンパーZZ-Rを採用。もちろん、ここから異なるアイテムへの変更もOK。



スバル系イベント目白押し スーパーオートバックス東京ベイ東雲で レヴォーグユーザーをキャッチ!

Photo: 犬塚直樹

スーパーオートバックス東京ベイ東雲 ☎03-3528-0357



茨城県 前橋 亮さん

2月(2014年)に予約を入れて、納車されたのは7月。「BHレガシィに13年乗っていたんですが、走行距離が4万kmだったんで買い替えるか迷ったんですけど。発表会の映像を見てこれだって思いました。飛ばさないけど、前のレガシィも2.0だったんで2.0GTにしました」

スピーカーを交換しているのだが、バックで見てもわからない。Jポップもトランスもいろいろ聞くという前橋さんが満足いくサウンドメイクも自慢。



ラゲッジスペースにはアンプが。ソニックデザインのイベントに行って、ちょっと、のつもりが……。ソニックプラスセンター新潟で施工してもらう。



純正マフラーはわずか3000km楽しんだだけ。交換後の姿を見てしまうと、やはり存在感が違う。オーディオに手を入れるので、程よいサウンドが心地いい。

ホイールはレイズのグラムライツ58Gで、前後いずれも7.5Jだ。もともとWRブルーっぽい色だった、という外装色だがベストマッチしている。



ホイールはロクサーニのバラボラで、純正サイズを選択。やはりホイールは真っ先に交換して個性を発揮するのが◎。

フォレスターのころにはオーディオは手つかず。純正があまりいけてなかったんで、替えてみようと思って現在進行形というわけだ。



タイヤの空気圧を随時モニターできる「PRMSバルブ」を取り付けている。欧州車では標準装備されているとか。事前にトラブルを発見できる。

ツイーターのセット中防振材を貼ってもらったり、リアタイヤまわりのノイズ除去作業もしてもらった。このあたりのポイントが随所にある。



茨城県 谷中勇介さん

フォレスターから乗り替えたという谷中さんは、モーターショーでそのカタチを見て購入を決めた。SUVのあとは低めのクルマに乗りたと思ったからだ。東雲にはオーディオをやってもらっている。「たまたま来て、説明を受けたらよさそうだと思って」とのこと。



HKSパーツがお買い得
ピットにはさっそく新車が

全国各地にあるスーパーオートバックスは、それぞれの店舗で個性的な展開で特色を出している。東京都江東区にある東雲(しのめ)は、スバル車に力を入れている。

レヴォーグが発売されてまだ間もない10月25日、さっそくフェアが開催された。早々にパーツをラインアップしていたHKSのデモカー、パーツがお目見えしていた。さすがに次から次へとレヴォーグオーナーが、というわけにはいかなかったが、さっそくマフラーを取り付けをお客さんの姿が。マフラー交換に来店した2台を購入した前橋さんは、レガシィからの乗り替え。まだ走行距離は3000km程度だが、純正はもったいないが処分し

てしまうという。また1.6を購入した谷中さんはオーディオにこだわっていて、東雲で数回に分けて作業してもらっているという。まだまだパーツが発売されていないにもかかわらず、「ヤル気」のあるユーザーは先の仕様を見据えて動き出しているようだ。HKSフェアではデモカーの同乗走行も実施しており、マフラーの音やサスペンションのフィーリングを体感してもらおうとできた。これもイベントならではの。今後ますますなアプローチで定期的にイベントが開催されるので、ホームページをチェックしておくといだろう。ユーザー間でも盛り上がりを見せてつつあるだけに、これからがとっても楽しみ。レガシィが集まったように、東雲にレヴォーグの姿が多く見られるようになっていくだろう。

HKSの製品が展示されており、購入してその場で取り付けてもらう、というの也有可能なのだ。



サイズも走りもレースサポートにピッタリ 大手自転車パーツメーカーMAVICが レースサポートカーにレヴォーグを採用

マヴィック <http://japan.mavic.com>

Photo: 宮崎雄司 Text: 塩見 誠



**素早いサポートを可能とする
レヴォーグの機敏な走り**

自転車好きの人なら、マヴィックというブランドは知っているはずだ。1989年にフランスで創業したこのブランドは、自転車のホイールをはじめとした、さまざまな最先端の技術を生かしたアイテムを、世に送り出し続けている。

その活動は単にパーツ開発だけにとどまるものではない。たとえばレースでのサポートもその活動のひとつ。それもマヴィックユーザーのサポートだけでなく、ニュートラルサポート、つまり参加者すべてをサポートするサポートも行っている。

そのときにサポートカーとして使われているのが、このレヴォーグだ。ロードレースのサポートカーは、パー

ツを満載して参加者とともにコースを走り、パンクや車両故障を起こしたマシンの修理を行う。自転車というのは最高速こそクルマにはかなわないが、コーナリングスピードはとてつもなく速い。そのためコーナーが連続するコースでは、油断をしているとサポートカーが置いていかれる事態も起こりうる。さらにサポートを必要としている参加者を一刻も早くレース

マヴィックはスバルから車両提供を受けていて、BR型のレガシィも併用している。このSTIエアロ付きのレヴォーグは車幅が狭くなっているため、より小回りがきいて使いやすくなったという。

**クロモリ製キャリヤはワンオフ
レース仕様のギミック満載だ**



マヴィック
スペシャルサービス
コースディレクター
村上嘉之氏

自身も競技者である村上氏は、それだけにサポートの重要性を理解している。「レヴォーグはレースサポートにピッタリのクルマです」

クロモリ製パイプでワンオフ製作されたキャリヤは、車体をバネで押さえているのでフロントにクイックリリースを外せばワンタッチで降ろせる。ホイール固定フレームは折りたたみ可能。



サービスはスピード命、迅速な作業のために装備が満載



ニュートラルサポートなので、マヴィック製ホイールだけではなくさまざまな種類のアイテムを搭載。カーゴスペースのホイールは予備のもので、急加速や急制動で崩れてしまわないよう、組み合わせて置かれている。



「ハイパーレブ」車種別チューニング&ドレスアップ徹底ガイドシリーズ

vol.189

スバル・レヴオーグ

2015年3月16日発行

発行人●鈴木賢志 編集人●渡辺文緒 発行所●株式会社三栄書房
〒160-8461 東京都新宿区新宿6-27-30 新宿イーストサイドスクエア7F
編集 ☎03-6897-4625

受注センター
販売部
☎048-988-6011
☎03-6897-4622
☎03-6897-4611

FAX 048-988-7651

スバル・レヴォーグ

デューニングが主役のスポーツ車に挑む

WITH
REV

Vol.189

LEVORGS

リアルスポーツツアラー

完全解剖

レヴォーグのベースモデルに迫る



レヴォーグのベースモデルに迫る

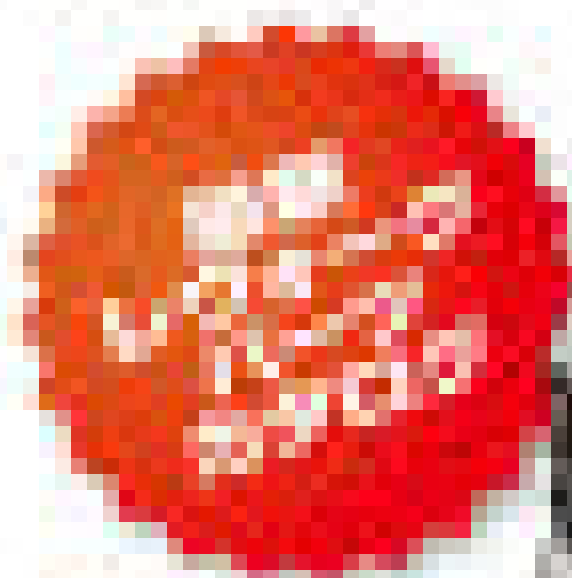
DEMONSTRATION LEVORGS

LEVORGS THE CUTTING EDGE OF DRESS UP CUSTOM

The Cutting Edge of
Dress up Custom

THE
NEWEST
WHEELS

—THE NEWEST WHEELS—
LEVORGS



SUBARU
DRIVEN BY THE HEART

スバル・グランドツアラーの軌跡

